

(財団法人 市原市文化財センター調査報告書 第60集)

千葉県 市原市

祇園原貝塚

(本文編 2 )

1 9 9 9

財団法人 市原市文化財センター



# 本文目次

## V 貝塚

1 貝層の調査方法と概要 .....	551
2 貝層出土の人工遺物	
a 土器 .....	614
b 土製品、石器・石製品 .....	614
c 骨角貝製品 .....	614
3 貝層出土の動物遺存体	
a 節足動物門（甲殻綱）・棘皮動物門 .....	638
b 軟体動物門（腹足綱・二枚貝綱・微小貝） .....	639
c 脊椎動物門（軟骨魚綱・硬骨魚綱・両生綱・爬虫綱・鳥綱・哺乳綱） .....	676
4 祇園原貝塚出土の動物遺体の特徴 .....	679

## VI 遺物包含層

1 遺物包含層の概要と調査方法 .....	763
2 包含層出土の人工遺物	
a 土器 .....	764
b 土製品 .....	958
c 石器・石製品 .....	992
VII まとめ .....	1112

## 挿図目次

第419図 貝層分布および分析対象サンプル位置図	557・558	第478図 貝層出土骨角貝製品(14)	635
第420図 貝層サンプル中内容物の比較(1)	567・568	第479図 貝層出土骨角貝製品(15)	636
第421図 貝層サンプル中内容物の比較(2)	569・570	第480図 貝層出土骨角貝製品(16)	637
第422図 貝層実測図および出土遺物(1)	571	第481図 マガキとフジツボ検出量の比較	638
第423図 貝層実測図(2)	572	第482図 時期別・地点別貝種組成(1)	657
第424図 貝層実測図および出土遺物(3)	573	第483図 時期別・地点別貝種組成(2)	658
第425図 貝層実測図および出土遺物(4)	574	第484図 時期別・地点別貝種組成(3)	659
第426図 貝層出土遺物(5)	575	第485図 ハマグリの殻高分布(1)	660
第427図 貝層出土遺物(6)	576	第486図 ハマグリの殻高分布(2)	661
第428図 貝層出土遺物(7)	577	第487図 ハマグリの殻高分布(3)	662
第429図 貝層出土遺物(8)	578	第488図 ハマグリの殻高分布(4)	663
第430図 貝層実測図および出土遺物(9)	579	第489図 ハマグリの殻高分布(5)	664
第431図 貝層実測図および出土遺物(10)	580	第490図 ハマグリの殻高分布(6)	665
第432図 貝層実測図および出土遺物(11)	581	第491図 海産・陸産微小貝の時期別組成	673
第433図 貝層出土遺物(12)	582	第492図 時期別・地点別魚種組成(1)	675
第434図 貝層出土遺物(13)	583	第493図 時期別・地点別魚種組成(2)	696
第435図 貝層実測図および出土遺物(14)	584	第494図 獣骨の時期別組成	754
第436図 貝層実測図および出土遺物(15)	585	第495図 稀少獣骨の検出部位	757
第437図 貝層出土遺物(16)	586	第496図 遺物包含層断面図位置	775
第438図 貝層出土遺物(17)	587	第497図 遺物包含層断面図(1)	777・778
第439図 貝層出土遺物(18)	588	第498図 遺物包含層断面図(2)	779・780
第440図 貝層出土遺物(19)	589	第499図 調査区グリッド配置図	781
第441図 貝層実測図および出土遺物(20)	590	第500図 包含層出土土器-Z 2・Z 3・A 1・B 0 区-	782
第442図 貝層実測図および出土遺物(21)	591	第501図 包含層出土土器-A 2 区-(1)	783
第443図 貝層実測図(22)	592	第502図 包含層出土土器-A 2 区-(2)	784
第444図 貝層実測図および出土遺物(23)	593	第503図 包含層出土土器-A 2 区-(3)	785
第445図 貝層実測図および出土遺物(24)	594	第504図 包含層出土土器-A 2 区-(4)	786
第446図 貝層実測図および出土遺物(25)	595	第505図 包含層出土土器-A 2 区-(5)	787
第447図 貝層出土遺物(26)	596	第506図 包含層出土土器-A 2 区-(6)	788
第448図 貝層出土遺物(27)	597	第507図 包含層出土土器-A 2 区-(7)	789
第449図 貝層出土遺物(28)	598	第508図 包含層出土土器-A 3 区-(1)	790
第450図 貝層実測図および出土遺物(29)	599	第509図 包含層出土土器-A 3 区-(2)	791
第451図 貝層出土遺物(30)	600	第510図 包含層出土土器-A 3 区-(3)	792
第452図 貝層出土遺物(31)	601	第511図 包含層出土土器-A 3 区-(4)	793
第453図 貝層出土遺物(32)	602	第512図 包含層出土土器-A 3 区-(5)	794
第454図 貝層出土遺物(33)	603	第513図 包含層出土土器-A 3 区-(6)	795
第455図 貝層実測図および出土遺物(34)	604	第514図 包含層出土土器-A 3 区-(7)	796
第456図 貝層実測図および出土遺物(35)	605	第515図 包含層出土土器-B 1 区-	797
第457図 貝層実測図および出土遺物(36)	606	第516図 包含層出土土器-B 2 区-(1)	798
第458図 貝層実測図および出土遺物(37)	607	第517図 包含層出土土器-B 2 区-(2)	799
第459図 貝層出土遺物(38)	608	第518図 包含層出土土器-B 2 区-(3)	800
第460図 貝層実測図および出土遺物(39)	609	第519図 包含層出土土器-B 2 区-(4)	801
第461図 貝層実測図および出土遺物(40)	610	第520図 包含層出土土器-B 2 区-(5)	802
第462図 貝層出土遺物(41)	611	第521図 包含層出土土器-B 2 区-(6)	803
第463図 貝層実測図および出土遺物(42)、遺構覆土中検出の獣骨分布(1)	612	第522図 包含層出土土器-B 2 区-(7)	804
第464図 遺構覆土中検出の獣骨分布(2)	613	第523図 包含層出土土器-B 2 区-(8)	805
第465図 貝層出土骨角貝製品(1)	622	第524図 包含層出土土器-B 2 区-(9)	806
第466図 貝層出土骨角貝製品(2)	623	第525図 包含層出土土器-B 2 区-(10)	807
第467図 貝層出土骨角貝製品(3)	624	第526図 包含層出土土器-B 2 区-(11)	808
第468図 貝層出土骨角貝製品(4)	625	第527図 包含層出土土器-B 2 区-(12)	809
第469図 貝層出土骨角貝製品(5)	626	第528図 包含層出土土器-B 2 区-(13)	810
第470図 貝層出土骨角貝製品(6)	627	第529図 包含層出土土器-B 2 区-(14)	811
第471図 貝層出土骨角貝製品(7)	628	第530図 包含層出土土器-B 2 区-(15)	812
第472図 貝層出土骨角貝製品(8)	629	第531図 包含層出土土器-B 2 区-(16)	813
第473図 貝層出土骨角貝製品(9)	630	第532図 包含層出土土器-B 2 区-(17)	814
第474図 貝層出土骨角貝製品(10)	631	第533図 包含層出土土器-B 2 区-(18)	815
第475図 貝層出土骨角貝製品(11)	632	第534図 包含層出土土器-B 2 区-(19)	816
第476図 貝層出土骨角貝製品(12)	633	第535図 包含層出土土器-B 2 区-(20)	817
第477図 貝層出土骨角貝製品(13)	634	第536図 包含層出土土器-B 2 区-(21)	818
		第537図 包含層出土土器-B 2 区-(22)	819

第538図	包含層出土土器-B 2 区-(23) .....	820
第539図	包含層出土土器-B 2 区-(24) .....	821
第540図	包含層出土土器-B 2 区-(25) .....	822
第541図	包含層出土土器-B 2 区-(26) .....	823
第542図	包含層出土土器-B 2 区-(27) .....	824
第543図	包含層出土土器-B 2 区-(28) .....	825
第544図	包含層出土土器-B 2 区-(29) .....	826
第545図	包含層出土土器-B 2 区-(30) .....	827
第546図	包含層出土土器-B 2 区-(31) .....	828
第547図	包含層出土土器-B 2 区-(32) .....	829
第548図	包含層出土土器-B 2 区-(33) .....	830
第549図	包含層出土土器-B 2 区-(34) .....	831
第550図	包含層出土土器-B 2 区-(35) .....	832
第551図	包含層出土土器-B 2 区-(36) .....	833
第552図	包含層出土土器-B 2 区-(37) .....	834
第553図	包含層出土土器-B 2 区-(38) .....	835
第554図	包含層出土土器-B 2 区-(39) .....	836
第555図	包含層出土土器-B 2 区-(40) .....	837
第556図	包含層出土土器-B 2 区-(41) .....	838
第557図	包含層出土土器-B 2 区-(42) .....	839
第558図	包含層出土土器-B 2 区-(43) .....	840
第559図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 1 区 .....	841
第560図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 2 区-(1) .....	841
第561図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 2 区-(2) .....	842
第562図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 2 区-(3) .....	843
第563図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 2 区-(4) .....	844
第564図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(1) .....	845
第565図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(2) .....	846
第566図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(3) .....	847
第567図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(4) .....	848
第568図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(5) .....	849
第569図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(6) .....	850
第570図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(7) .....	851
第571図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(8) .....	852
第572図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(9) .....	853
第573図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(10) .....	854
第574図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(11) .....	855
第575図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(12) .....	856
第576図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(13) .....	857
第577図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(14) .....	858
第578図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(15) .....	859
第579図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(16) .....	860
第580図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(17) .....	861
第581図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(18) .....	862
第582図	包含層出土土器-B 3・B 4 区-(19) .....	863
第583図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 3・B 4 区-(1) .....	864
第584図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 3・B 4 区-(2) .....	865
第585図	包含層出土土器-C 3 区-(1) .....	866
第586図	包含層出土土器-C 3 区-(2) .....	867
第587図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 C 3 区- .....	868
第588図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 3・B 4・C 3 区-(1) .....	869
第589図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 3・B 4・C 3 区-(2) .....	870
第590図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B 3・B 4・C 3 区-(3) .....	871
第591図	包含層出土土器-D 3 区-(1) .....	872
第592図	包含層出土土器-D 3 区-(2) .....	873
第593図	包含層出土土器-D 3 区-(3) .....	874
第594図	包含層出土土器-D 3 区-(4) .....	875
第595図	包含層出土土器-D 3 区-(5) .....	876
第596図	包含層出土土器-D 3 区-(6) .....	877
第597図	包含層出土土器-D 3 区-(7) .....	878
第598図	包含層出土土器-D 3 区-(8) .....	879
第599図	包含層出土土器-D 3 区-(9) .....	880
第600図	包含層出土土器-D 3 区-(10) .....	881
第601図	包含層出土土器-D 3 区-(11) .....	882
第602図	包含層出土土器-D 3 区-(12) .....	883
第603図	包含層出土土器-D 3 区-(13) .....	884
第604図	包含層出土土器-D 3 区-(14) .....	885
第605図	包含層出土土器-D 3 区-(15) .....	886
第606図	包含層出土土器-D 3 区-(16) .....	887
第607図	包含層出土土器-D 3 区-(17) .....	888
第608図	包含層出土土器-D 3 区-(18) .....	889
第609図	包含層出土土器-C 3・D 3 区- .....	890
第610図	包含層出土土器-E 3・F 3 区-(1) .....	891
第611図	包含層出土土器-E 3・F 3 区-(2) .....	892
第612図	包含層出土土器-E 3・F 3 区-(3) .....	893
第613図	包含層出土土器-E 3・F 3 区-(4) .....	894
第614図	包含層出土土器-E 3・F 3 区-(5) .....	895
第615図	包含層出土土器-1・2 次調査出土地区不明-(1) .....	895
第616図	包含層出土土器-1・2 次調査出土地区不明-(2) .....	896
第617図	包含層出土土器-Q H 区-(1) .....	897
第618図	包含層出土土器-Q H 区-(2) .....	898
第619図	包含層出土土器-Q I 区- .....	899
第620図	包含層出土土器-R H 区・4 次調査出土地区不明-(1) .....	900
第621図	包含層出土土器-R H 区・4 次調査出土地区不明-(2) .....	901
第622図	包含層出土土器-R H 区-(3) .....	902
第623図	包含層出土土器-S H 区-(1) .....	903
第624図	包含層出土土器-S H 区-(2) .....	904
第625図	包含層出土土器-S H 区-(3) .....	905
第626図	包含層出土土器-S H 区-(4) .....	906
第627図	包含層出土土器-S H 区-(5) .....	907
第628図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 S H 区-(1) .....	908
第629図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 S H 区-(2) .....	909
第630図	包含層出土土器-R I・S I 区-(1) .....	910
第631図	包含層出土土器-S I 区-(2) .....	911
第632図	包含層出土土器-S I 区-(3) .....	912
第633図	包含層出土土器-S I 区-(4) .....	913
第634図	包含層出土土器-S I 区-(5) .....	914
第635図	包含層出土土器-S I 区-(6) .....	915
第636図	包含層出土土器-S I 区-(7) .....	916
第637図	包含層出土土器-S I 区-(8) .....	917
第638図	包含層出土土器-S I 区-(9) .....	918
第639図	包含層出土土器-S I 区-(10) .....	919
第640図	包含層出土土器-S I 区-(11) .....	920
第641図	包含層出土土器-S I 区-(12) .....	921
第642図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 S I 区-(1) .....	922
第643図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 S I 区-(2) .....	923
第644図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 S I 区-(3) .....	924
第645図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 S I 区-(4) .....	925
第646図	包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 S I 区-(5) .....	926
第647図	包含層出土土器-T H・T I 区-(1) .....	927
第648図	包含層出土土器-T I 区-(2) .....	928
第649図	包含層出土土器-T I 区-(3) .....	929
第650図	包含層出土土器-T I 区-(4) .....	930
第651図	包含層出土土器-T I 区-(5) .....	931
第652図	包含層出土土器-T I 区-(6) .....	932
第653図	包含層出土土器-T I 区-(7) .....	933
第654図	包含層出土土器-T I 区-(8) .....	934
第655図	包含層出土土器-T I 区-(9) .....	935
第656図	包含層出土土器-T I 区-(10) .....	936
第657図	包含層出土土器-T J 区-(1) .....	937

第658図 包含層出土土器-T J 区-(2).....	938
第659図 包含層出土土器-T J 区-(3).....	939
第660図 包含層出土土器-U I 区-(1).....	940
第661図 包含層出土土器-U I 区-(2).....	941
第662図 包含層出土土器-U J 区-(1).....	942
第663図 包含層出土土器-U J 区-(2).....	943
第664図 包含層出土土器-U J 区-(3).....	944
第665図 包含層出土土器-U J 区-(4).....	945
第666図 包含層出土土器-U J 区-(5).....	946
第667図 包含層出土土器-U J 区-(6).....	947
第668図 包含層出土土器-U J 区-(7).....	948
第669図 包含層出土土器-V J 区- .....	949
第670図 包含層出土土器- 3次調査出土地区不明-(1).....	949
第671図 包含層出土土器- 3次調査出土地区不明-(2).....	950
第672図 包含層出土土器- 3次調査出土地区不明-(3).....	951
第673図 包含層出土土器- 3次調査出土地区不明-(4).....	952
第674図 包含層出土土器- 3次調査出土地区不明-(5).....	953
第675図 包含層出土土器-上総国分尼寺調査分 B1・B2・B3・C3・SI・SH区- .....	954
第676図 調査区外遺構・包含層出土土器(1)-北東部・東部- .....	954
第677図 調査区外遺構・包含層出土土器(2)-東部- .....	955
第678図 調査区外遺構・包含層出土土器(3)-南西部- .....	956
第679図 調査区外遺構・包含層出土土器(4)-南西部- .....	957
第680図 包含層出土土製品(1).....	962
第681図 包含層出土土製品(2).....	963
第682図 包含層出土土製品(3).....	964
第683図 包含層出土土製品(4).....	965
第684図 包含層出土土製品(5).....	966
第685図 包含層出土土製品(6).....	967
第686図 包含層出土土製品(7).....	968
第687図 包含層出土土製品(8).....	969
第688図 包含層出土土製品(9).....	970
第689図 包含層出土土製品(10) .....	971
第690図 包含層出土土製品(11) .....	972
第691図 包含層出土土製品(12) .....	973
第692図 包含層出土土製品(13) .....	974
第693図 包含層出土土製品(14) .....	975
第694図 包含層出土土製品(15) .....	976
第695図 包含層出土土製品(16) .....	977
第696図 包含層出土石器・石製品(1).....	999
第697図 包含層出土石器・石製品(2) .....	1000
第698図 包含層出土石器・石製品(3) .....	1001
第699図 包含層出土石器・石製品(4) .....	1002
第700図 包含層出土石器・石製品(5) .....	1003
第701図 包含層出土石器・石製品(6) .....	1004
第702図 包含層出土石器・石製品(7) .....	1005
第703図 包含層出土石器・石製品(8) .....	1006
第704図 包含層出土石器・石製品(9) .....	1007
第705図 包含層出土石器・石製品(10) .....	1008
第706図 包含層出土石器・石製品(11) .....	1009
第707図 包含層出土石器・石製品(12) .....	1010
第708図 包含層出土石器・石製品(13) .....	1011
第709図 包含層出土石器・石製品(14) .....	1012
第710図 包含層出土石器・石製品(15) .....	1013
第711図 包含層出土石器・石製品(16) .....	1014
第712図 包含層出土石器・石製品(17) .....	1015
第713図 包含層出土石器・石製品(18) .....	1016
第714図 包含層出土石器・石製品(19) .....	1017
第715図 包含層出土石器・石製品(20) .....	1018
第716図 包含層出土石器・石製品(21) .....	1019
第717図 包含層出土石器・石製品(22) .....	1020
第718図 包含層出土石器・石製品(23) .....	1021
第719図 包含層出土石器・石製品(24) .....	1022
第720図 包含層出土石器・石製品(25) .....	1023
第721図 包含層出土石器・石製品(26) .....	1024
第722図 包含層出土石器・石製品(27) .....	1025
第723図 包含層出土石器・石製品(28) .....	1026
第724図 包含層出土石器・石製品(29) .....	1027
第725図 包含層出土石器・石製品(30) .....	1028
第726図 包含層出土石器・石製品(31) .....	1029
第727図 包含層出土石器・石製品(32) .....	1030
第728図 包含層出土石器・石製品(33) .....	1031
第729図 包含層出土石器・石製品(34) .....	1032
第730図 包含層出土石器・石製品(35) .....	1033
第731図 包含層出土石器・石製品(36) .....	1034
第732図 包含層出土石器・石製品(37) .....	1035
第733図 包含層出土石器・石製品(38) .....	1036
第734図 包含層出土石器・石製品(39) .....	1037
第735図 包含層出土石器・石製品(40) .....	1038
第736図 包含層出土石器・石製品(41) .....	1039
第737図 包含層出土石器・石製品(42) .....	1040
第738図 包含層出土石器・石製品(43) .....	1041
第739図 包含層出土石器・石製品(44) .....	1042
第740図 包含層出土石器・石製品(45) .....	1043
第741図 包含層出土石器・石製品(46) .....	1044
第742図 包含層出土石器・石製品(47) .....	1045
第743図 包含層出土石器・石製品(48) .....	1046
第744図 包含層出土石器・石製品(49) .....	1047
第745図 包含層出土石器・石製品(50) .....	1048
第746図 包含層出土石器・石製品(51) .....	1049
第747図 包含層出土石器・石製品(52) .....	1050
第748図 包含層出土石器・石製品(53) .....	1051
第749図 包含層出土石器・石製品(54) .....	1052
第750図 包含層出土石器・石製品(55) .....	1053
第751図 包含層出土石器・石製品(56) .....	1054
第752図 包含層出土石器・石製品(57) .....	1055
第753図 包含層出土石器・石製品(58) .....	1056
第754図 包含層出土石器・石製品(59) .....	1057
第755図 包含層出土石器・石製品(60) .....	1058
第756図 包含層出土石器・石製品(61) .....	1059
第757図 包含層出土石器・石製品(62) .....	1060
第758図 包含層出土石器・石製品(63) .....	1061
第759図 包含層出土石器・石製品(64) .....	1062
第760図 包含層出土石器・石製品(65) .....	1063
第761図 包含層出土石器・石製品(66) .....	1064
第762図 包含層出土石器・石製品(67) .....	1065
第763図 包含層出土石器・石製品(68) .....	1066
第764図 包含層出土石器・石製品(69) .....	1067
第765図 包含層出土石器・石製品(70) .....	1068
第766図 包含層出土石器・石製品(71) .....	1069
第767図 包含層出土石器・石製品(72) .....	1070
第768図 包含層出土石器・石製品(73) .....	1071
第769図 包含層出土石器・石製品(74) .....	1072
第770図 時期別遺構分布図 1 (称名寺期) .....	1113
第771図 時期別遺構分布図 2 (堀之内 1・2 期) .....	1114
第772図 時期別遺構分布図 3 (加曾利 B 期) .....	1115
第773図 時期別遺構分布図 4 (曾谷・安行 1・2 期) .....	1116
第774図 時期別遺構分布図 5 (後～晩期) .....	1117

付図1 祇園原貝塚遺構配置図

## 表 目 次

第37表	貝層サンプルリスト	555
第38表	貝層サンプル内容物一覧	559~566
第39表	貝層サンプル内容物集計表	565~566
第40表	貝層サンプルの量と分析に要した作業量	565~566
第41表	骨角貝製品集計表	617
第42表	ヤス状刺突具計測表	617
第43表	鍔計測表	617
第44表	刺突具計測表	617
第45表	大型針計測表	617
第46表	牙斧計測表	617
第47表	彎形角製品計測表	617
第48表	貝刃計測表	618
第49表	スレ貝計測表	618
第50表	髪針計測表	619
第51表	管状垂飾計測表	619
第52表	巻貝製垂飾計測表	619
第53表	骨角歯牙製垂飾計測表	620
第54表	貝輪計測表	620
第55表	赤彩貝計測表	620
第56表	素材計測表	621
第57表	出土節足動物・棘皮動物・軟体動物種名一覧	643
第58表	軟体動物検出数一覧	645~654
第59表	軟体動物集計表	655~656
第60表	微小貝検出数一覧	666~670
第61表	微小貝集計表	671~672
第62表	幼貝検出数一覧	674
第63表	穿孔貝検出数一覧	675
第64表	出土脊椎動物種名一覧	692
第65表	魚類集計表	693~694
第66表	軟骨魚綱 サメ類集計表	697
第67表	カスザメ集計表	697
第68表	エイ類集計表	698
第69表	アカエイ集計表	698
第70表	トビエイ集計表	699
第71表	硬骨魚綱 カタクチイワシ集計表	699
第72表	マイワシ集計表	700
第73表	ウナギ集計表	701
第74表	ウグイ集計表	702
第75表	フナ類集計表	702
第76表	コイ集計表	703
第77表	ドジョウ集計表	703
第78表	ギバチ集計表	704
第79表	ダツ集計表	704
第80表	ボラ集計表	705
第81表	メナダ集計表	706
第82表	サヨリ集計表	706
第83表	スズキ集計表	707
第84表	カマス類集計表	708
第85表	イシモチ集計表	708
第86表	キス集計表	709
第87表	マアジ集計表	710
第88表	ブリ集計表	711
第89表	ヘダイ集計表	711
第90表	マダイ集計表	712
第91表	クロダイ集計表	713
第92表	タイ科集計表	714
第93表	ハゼ類集計表	714
第94表	サバ類集計表	715
第95表	コチ類集計表	716
第96表	メゴチ集計表	717
第97表	アイナメ類集計表	717
第98表	カレイ類集計表	718
第99表	ヒラメ集計表	719
第100表	シタビラメ類集計表	720
第101表	カワハギ類集計表	720
第102表	フグ類集計表	721
第103表	魚骨主要部位計測値	722~724
第104表	両生・爬虫綱 ヒキガエル検出数一覧	725
第105表	カエル類検出数一覧	725
第106表	ウミガメ類検出数一覧	725
第107表	ヘビ類検出数一覧	726
第108表	鳥綱 カツオブリ類検出数一覧	727
第109表	ハイイロミズナキドリ検出数一覧	727
第110表	オオハクチョウ検出数一覧	727
第111表	ヒシクイ検出数一覧	727
第112表	カモ類検出数一覧	727
第113表	ガン類検出数一覧	728
第114表	ワシタカ類検出数一覧	728
第115表	キジ類検出数一覧	728
第116表	ウミウ検出数一覧	728
第117表	ウ類検出数一覧	728
第118表	アオサギ検出数一覧	728
第119表	コウノトリ検出数一覧	728
第120表	タンチョウ検出数一覧	729
第121表	クイナ検出数一覧	729
第122表	カモメ類検出数一覧	729
第123表	シギ類検出数一覧	729
第124表	ハト類検出数一覧	729
第125表	フクロウ検出数一覧	729
第126表	ヒヨドリ検出数一覧	729
第127表	カケス検出数一覧	729
第128表	スズメ目・中型検出数一覧	730
第129表	スズメ目・小型検出数一覧	730
第130表	哺乳綱 モグラ類 検出数一覧	731
第131表	ヒミズ類検出数一覧	731
第132表	ニホンザル検出数一覧	731
第133表	ムササビ検出数一覧	731
第134表	ヒト検出数一覧	732
第135表	ノウサギ検出数一覧	733
第136表	ハタネズミ検出数一覧	734
第137表	アカネズミ検出数一覧	734
第138表	ネズミ類検出数一覧	735~736
第139表	ジネズミ検出数一覧	737
第140表	ゴンドウクジラ検出数一覧	737
第141表	クジラ類検出数一覧	737
第142表	バンドウイルカ検出数一覧	737
第143表	イルカ類検出数一覧	737
第144表	イタチ検出数一覧	737
第145表	イヌ検出数一覧	739~740
第146表	タヌキ検出数一覧	741
第147表	テン検出数一覧	742
第148表	アナグマ検出数一覧	742
第149表	カワウソ検出数一覧	742
第150表	ニホンアシカ検出数一覧	742
第151表	イノシシ検出数一覧（1）	743~744
第152表	イノシシ検出数一覧（2）	745~746
第153表	ニホンジカ検出数一覧（1）	747~748
第154表	ニホンジカ検出数一覧（2）	749~750
第155表	両生・爬虫綱集計表	751

第156表 烏綱集計表	752
第157表 哺乳綱集計表	753
第158表 遺構覆土中獸骨検出量	754
第159表 貝層サンプル中獸骨検出量	755
第160表 51号住居覆土中獸骨検出量	756
第161表 イノシシ主要部位骨計測表	759・760
第162表 ニホンジカ主要部位骨計測表	759・760
第163表 116号土坑出土犬骨	761
第164表 116号土坑出土犬骨計測値	762
第165表 土製品集計表	978
第166表 遺構土玉計測表	978
第167表 遺構土鍤計測表	978
第168表 遺構土器片鍤計測表	978
第169表 遺構土製円盤計測表	979
第170表 遺構ミニチュア土器計測表	980
第171表 遺構釣手・香炉形土器計測表	980
第172表 遺構異形土器計測表	980
第173表 遺構耳飾計測表	981
第174表 遺構垂飾計測表	981
第175表 遺構土偶計測表	981
第176表 遺構土版計測表	981
第177表 遺構未詳土製品計測表	981
第178表 包含層土器片鍤計測表	982・983
第179表 包含層土玉計測表	983
第180表 包含層土製円盤計測表	984～988
第181表 包含層蓋形土製品計測表	988
第182表 包含層ミニチュア土器計測表	989
第183表 包含層釣手・香炉形土器計測表	989
第184表 包含層異形土器計測表	989
第185表 包含層手燭形土器計測表	990
第186表 包含層耳飾計測表	990
第187表 包含層腕飾計測表	990
第188表 包含層垂飾計測表	990
第189表 包含層未詳土製品計測表	990
第190表 包含層土偶計測表	991
第191表 石器集計表	1073
第192表 遺構石鏃計測表	1073
第193表 遺構石鍤計測表	1073
第194表 遺構浮子計測表	1073
第195表 遺構打製石斧計測表	1073
第196表 遺構軽石製品計測表	1074
第197表 遺構磨製石斧計測表	1074
第198表 遺構有角石斧計測表	1074
第199表 遺構磨石・敲石計測表	1075・1076
第200表 遺構凹石計測表	1076
第201表 遺構砥石計測表	1077
第202表 遺構石皿計測表	1077
第203表 遺構小型磨石計測表	1078
第204表 遺構垂飾計測表	1078
第205表 遺構石冠計測表	1078
第206表 遺構石棒・石剣計測表	1079
第207表 遺構結晶片岩系コア・フレーク計測表	1079
第208表 遺構鉄鏃計測表	1079
第209表 遺構コア・フレーク計測表	1080～1092
第210表 包含層結晶片岩系コア・フレーク計測表(抜粹)	1092
第211表 包含層コア・フレーク計測表(抜粹)	1093
第212表 包含層石鏃計測表	1094
第213表 包含層石錐計測表	1094
第214表 包含層石鍤計測表	1094
第215表 包含層浮子計測表	1094
第216表 包含層軽石製品計測表	1095・1096
第217表 包含層打製石斧計測表	1096
第218表 包含層磨製石斧計測表	1097
第219表 包含層磨石・敲石計測表	1098～1104
第220表 包含層垂飾計測表	1104
第221表 包含層凹石計測表	1105
第222表 包含層小型磨石計測表	1106・1107
第223表 包含層独钻石計測表	1107
第224表 包含層石冠計測表	1107
第225表 包含層未詳石器計測表	1107
第226表 包含層砥石計測表	1108
第227表 包含層石皿計測表	1109・1110
第228表 包含層石棒・石剣計測表	1111
第229表 繩文土器観察表	1124

#### 付録(CD-ROM版)

第38表 貝層サンプル内容物一覧
第58表 軟体動物検出数一覧
第60表 微小貝検出数一覧
第151表 イノシシ検出数一覧(1)
第152表 イノシシ検出数一覧(2)
第153表 ニホンジカ検出数一覧(1)
第154表 ニホンジカ検出数一覧(2)
第230表 魚種別検出数一覧
第231表 包含層コア・フレーク計測表
第232表 包含層結晶片岩系コア・フレーク計測表

#### 写真図版目次

カラー図版8 土器にみられる使用痕	1125
-------------------	------

# V 貝 塚

## 1 貝層の調査方法と概要

### 貝塚の規模と貝層の分布状況

根田祇園原貝塚は、市内では西広貝塚や山倉貝塚などと並ぶ馬蹄形貝塚として知られるように、貝層の分布域が広範囲に及ぶ大規模貝塚である。しかし実際は第419図に示すように、貝層の分布は面的と言うよりはむしろ点の集合と言ったほうが実態に近い。部分的にかなりの範囲に面的に広がる貝層も見られるが、それらは概して貝の密度の低い混貝土層であって、貝塚の形成過程は最初住居や土坑など遺構の窪地を利用して貝殻等が投棄され、それが徐々に遺構外の周辺部に溢れ出たものと想定できる。ただし祇園原貝塚は弥生時代以降も集落が形成され、また上総国分尼寺の寺域の一部となっていることから、面的に広がる混貝土層の形成がこれら縄文時代以降の時期の所業である可能性も十分念頭に入れなければならない。貝塚の規模を示すもう一つの要素である厚さについては、西広貝塚のような斜面貝層が存在しないので、概ね100cm未満である。貝層の分布状況は、集落の南西から北東方向にのびる浅い谷状の地形の外側を沿うように点在する。

### 分析対象資料

このように祇園原貝塚の貝層は遺構内に形成されたものが主体で、遺構外のものは貝層の密度が低く形成時期についても明確にし難いため、分析対象資料としては前者を中心としたことにした。

分析対象資料は総数で79あるが（第37表）その内訳は、称名寺式期12（住居内1・土坑内11）・堀之内1・2式期33（住居内8・土坑内17・種別不明遺構内3・包含層中4・不明1）・加曾利B式期17（住居内11・土坑内4・包含層中2）・曾谷、安行1・2式期8（住居内2・土坑内2・包含層中4）・弥生1（包含層中）・時期不明8（住居内1・土坑内5・包含層中1・不明1）である。

### 分析の目的

資料は遺構内のものが中心であるため、供伴遺物から形成時期をとらえやすく、また平地や斜面の貝層よりも形成後の搅乱の度合いが少なく貝層のまとまりが完結しているので、分析資料としては最適である。時期によって資料の総量に差があるものの、縄文時代後期全般にわたる資料が得られているため一遺跡内での貝層内容物の時期差をとらえることを主たる目的とする。

### 調査の方法・サンプル量と分析に要した作業量

調査が4度に分けて行われしかも調査担当者も異なることから、貝層サンプルの採取方法に一貫性がないことが本遺跡の貝層サンプル分析の最大の欠点である。1・2次調査では、遺構内・遺構外の貝層の部分的なサンプル採取が層位・地点別におこなわれ、基本的に現場作業の中で乾フルイされ（使用されたフルイ目の大きさが定かでないが、抽出された遺物のサイズから判断すると1mmよりは大きなフルイ目、おそらく2mm程度が使用されたものとみられる。したがって、微小魚骨や微小貝など微細遺物の回収が不完全であった可能性がある）、フルイ上の遺物のみ現場から持ち帰られ、残留物重量の測定後内容物の選別・分類・同定・集計をおこなった。サンプル採取時点での重量が計測されていないため、混土率は算出できない。3・4次調査では、基本的に遺構内・遺構外の貝層の全てが層位・

地点別にサンプルとして採取されたが、整理作業に入るまでに長期間のブランクがありサンプルの保管状況も必ずしも良好な状態でなかったため、分析に耐えられないサンプルも数多く存在した。採取された貝層サンプルの全てについて重量測定後、10・4・1mmの3種類のフルイ上で水洗し、乾燥重量を測定後分析に耐えうる資料（遺構・層位・サンプル地点などが確かなもの）のみ選び、内容物の選別・分類・同定・集計をおこなった。なお、遺構外、層位・サンプル地点などが不確かなサンプルについても4mmフルイ目までの人工遺物・獸骨・魚骨の抽出をおこなった。

貝層サンプルの総量は、フルイ水洗前の段階でテンバコ2,867(3・4次調査分：27,371kg)、フルイ水洗後の段階でテンバコ1,648(9,938kg)、平均混土率は70%（3・4次調査分）である。分析作業量としては、フルイ水洗に1,409人、フルイ上残留物の選別・分類・同定作業に2,051人、計3,460人を要した（第40表）。

### 貝塚の概要

79の貝層サンプルの概要を第37表に、貝層の内容の基礎データを第38・39表に一覧とした。この中で注意すべき点について以下に述べる。なお各内容物の地点別・時期別の検出量が比較しやすいように第420・421図に示した。

#### <サンプル採取基準・サンプル数>

同一の遺構内・外の貝層について、層位・地点（任意に設定されたグリッド）をサンプル採取基準として分けて採取した。その数をサンプル数の欄に記載しているが、その数は1から多いものでは44におよび、総数で532ある。第38表のNo.欄の小数点以下の数字がこのサンプル最小単位にあたり、それぞれの貝層の平面図・断面図中に○印を付した数字で示しているものと一致する。

#### <種別>

どこから採取された貝層サンプルかを示した。住居・土坑・種別不明遺構・包含層中、住居はさらに覆土、炉・柱穴・出入口土坑の覆土に区別した。

#### <最大厚>

住居覆土中では最大でも45cm・平均28cm、土坑覆土中では最大で150cm・平均48cmである。

#### <総乾重量>

サンプルを水洗する前の土壤を含んだ貝層全体の重量である。本来は全てを乾燥させ、水分を取り除いたうえで計量すべきであるが、時間的な制約上サンプル内に多少の水分が含まれているまま計量した。なお、1・2次調査分の貝層サンプルは整理段階で土壤が取り除かれていたため未計量である。

#### <フルイ水洗後残留物重量>

貝層には純貝層・混土貝層・混貝土層などの呼称で知られるように混土率がそれぞれ異なるため、貝層の面的な広がりと厚さから単純に体積を出して貝層の規模を示す方法は必ずしも適切ではない。したがって、全ての土壤を水洗いによって取り除いた後のフルイ水洗後残留物重量で比較するのが最も客観的に貝層の規模をとらえられるものとみられる。これによると採取された貝層サンプルから割り出した祇園原貝塚の貝層の規模は9,938kg、分析対象サンプルはこのうちの20.1%の2,005kgでその内訳は称名寺404kg、堀之内928kg、加曾利B326kg、曾谷・安行300kg、弥生10kg、時期不明37kgである。したがって、各時期の貝層の内容物を比較するにはこれらの規模の差を前提として考えなければならない。ちなみに、比較資料として既に報告している堀之内1式期の山田橋亥の海道貝塚は4,299kg、

中期末から晩期前葉の能満上小貝塚は1,128kgである（第40表）。

＜土壤重量＞

総乾重量から乾燥後のフルイ水洗後残留物重量を除いた重量である。

＜混土率＞

貝層全体の総重量に対する土壤重量の比率である。これによって、発掘調査時の純貝層・混土貝層・混貝土層など貝層に対する主観的な表現方法を、より客観的な数値として示した。平均混土率は、称名寺59.1%、堀之内56.5%、加曽利B71.4%、安行84.8%である。

＜貝殻破碎率＞

フルイ水洗後の残留物から土器・石器などの人工遺物と獸骨・魚骨などの自然遺物を除いた貝殻の重量に対する、カウント対象貝（二枚貝の場合は殻頂部の残存するもの、巻貝の場合は殻軸の残存するもの）以外の貝の重量の比率を示した。貝層中の貝殻には、貝層の形成過程で人がその上を踏んだりしたために破損したり、貝層の保存状況が悪くて貝殻の一部が溶けだしたり、また別の理由で故意に碎いたためにできたとみられる破碎貝層が形成されることがある。この破損・破碎の度合いを数値として客観的に示そうというものである。発掘調査時やサンプル処理の間にも壊れることが多いが、それをある程度考慮しても何らかの意味をもつ数値であろう。平均破碎率は、称名寺55.2%、堀之内47.0%、加曽利B55.3%、安行49.1%である。

これ以下には貝層中に含まれていた土壤以外の全ての遺物の重量または点数を示した。

＜貝殻＞

フルイ水洗後の残留物から土器・石器などの人工遺物と獸骨・魚骨などの自然遺物を除いた貝殻のみの重量である。貝類の詳細については3節aで述べる。

＜獸骨・魚骨＞

フルイ水洗後の残留物から選別・分類された重量を、10・4・1mmフルイにわけて重量を記載した。詳細については3節cで述べる。

＜フジツボ＞ 全く検出されない所もあるが、地点によってはかなりまとまって検出された所もある。10・4・1mmフルイにわけて点数を記載した。詳細は3節bでのべる。

＜カシパン類・ウニ・カニ＞

わずかであるが検出された所がある。カシパン類は重量を、ウニ・カニは点数を記載した。詳細は3節bで述べる。

＜ヒト＞

ヒトの部位骨が貝層中からわずかに検出されている。本来は埋葬状態にあったものが何らかの理由で散逸し混入したものとみられる。点数を記載した。詳細は3節cで述べる。

＜微小貝＞

かなり集中して検出される所があった。ほとんどが1mmフルイ上からのものである。点数を記載した。詳細は3節aで述べる。

＜炭化物＞

量に差はあるもののほとんどのサンプルから検出され、地点によってはかなりまとめて検出され

た所もある。10・4・1 mm フルイにわけて重量を記載した。炭化物粒という状態のものがほとんどで、これらから種の同定をするのは困難であるが、今回遺構検出の炭化物のサンプルを分析委託している。詳細は第III章2節をみられたい。

<糞石>

わずかに検出されたところがある。ただし細かい破片状の資料が多く、灰の塊との区別が困難である。10・4・1 mm フルイにわけて重量を記載した。

<礫>

ほぼ全てのサンプルから検出されており、かなりまとまってみられる所もある。10・4・1 mm フルイにわけて点数を記載したが、4 mm フルイを通過する微細な資料が主体である。産出先について今後検討する余地がある（貝類採取の際に一緒に混入する物なのか？）。

<土器>

フルイ上水洗・選別を実施したことにより、かなりの細片に至るまで回収できた。点数を記載した。詳細については、2節aで述べる。

<石器>

フルイ上水洗・選別を実施したことにより、石鏃・石製の玉など小型の製品の回収にも成功した。点数を記載した。詳細については、2節bで述べる。

<軽石>

微細な軽石がわずかに検出された。点数を記載した。大型のものについては軽石製品として扱っている。

<フレーク・チップ>

かなりのサンプル中から検出されているが、その多くは発掘調査段階では回収不可能な4 mm フルイを通過するサイズのチップである。本遺跡からは第III章4節・第VI章2節cで述べるように、製品化された剝片石器は少ないもののコア・フレークが発掘段階で大量に出土している。貝層サンプル中から検出された微細なフレーク・チップは剝片石器製作の根拠として重要である。10・4・1 mm フルイにわけて点数を記載した。検出量は、称名寺13点・堀之内37点・加曾利B40点・安行87点である。

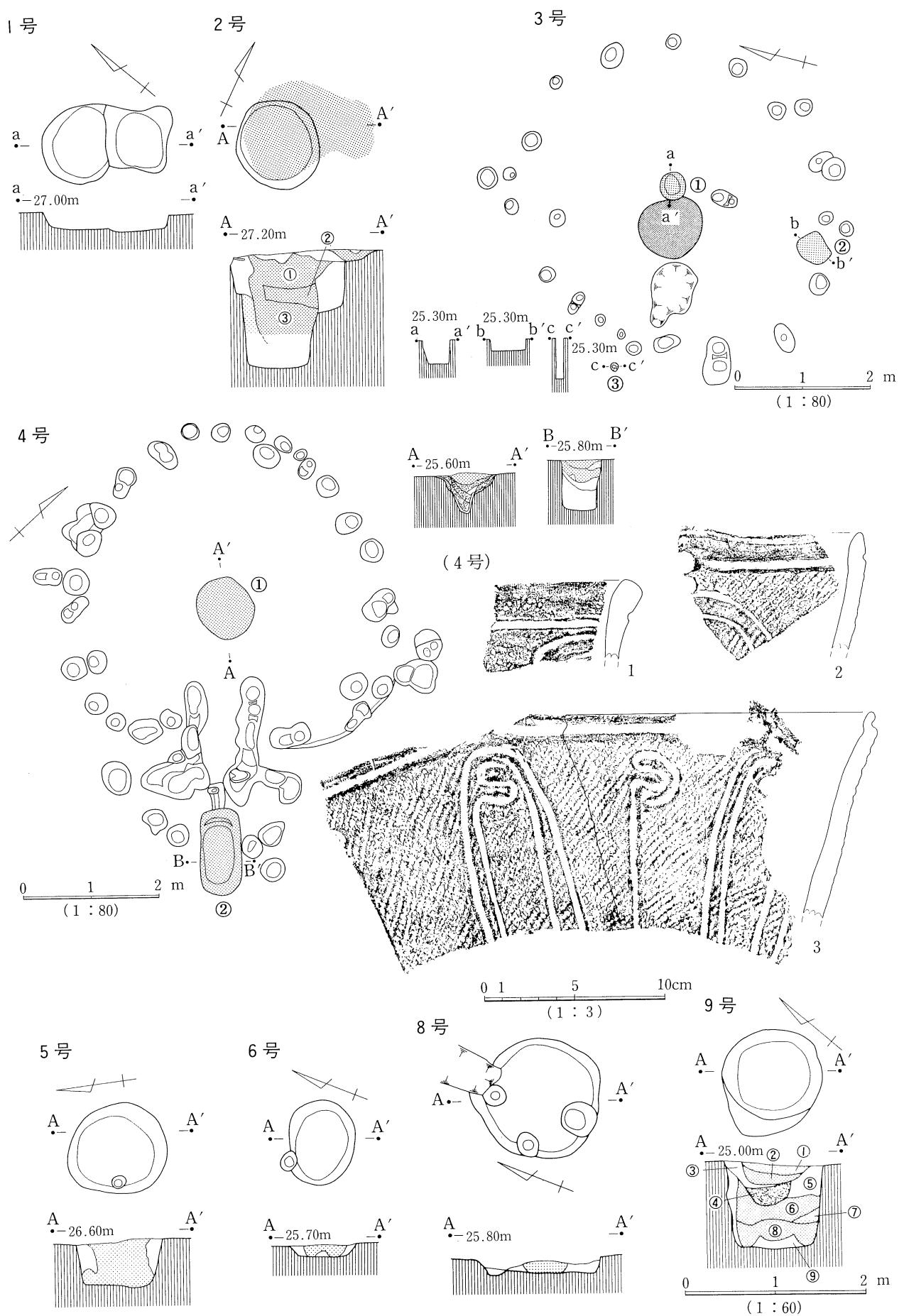
<骨角貝製品>

フルイ上水洗・選別を実施したことにより、貝製の垂飾品（ツノガイ・イモガイ・タカラガイ・ヒロクチカノコガイ・アマオブネガイ）・貝輪・貝刃・赤彩貝などを多量に検出できた。点数を記載した。詳細については、2節cで述べる。

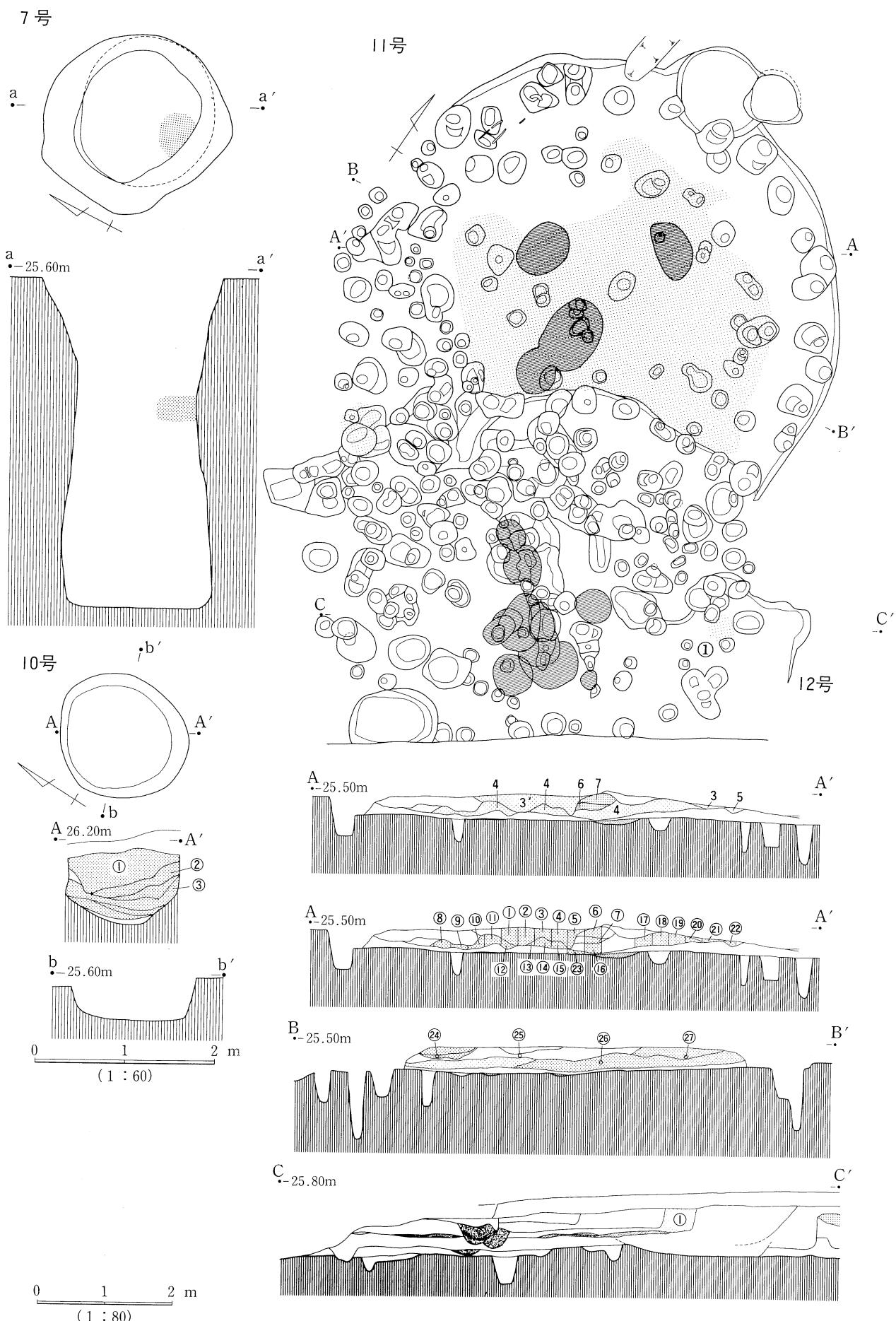
第37表 貝層サンプルリスト

資料No.	調査次	発掘調査時No.	遺構No.	時期	サンプル数	サンプル採取基準	種別	最大厚(cm)	フレイ水洗後残留物重量(g)
1	2	GN916	32号土坑	堀之内2	1	—	土坑覆土	—	1240
2	2	GN912	34号土坑	加曾利B	3	層位	土坑覆土	90	5400
3	2	GN157	1号住居	—	3	地点	住居柱穴	—	9075
4	2	GN616・144	7号住居	堀之内1	2	地点	住居炉・出入口部土坑	25	26542
5	2	GN645	65号土坑	—	1	—	土坑覆土	55	2960
6	2	GN617	72号土坑	堀之内2	1	—	土坑覆土	15	1154
7	2	GN658	77号土坑	堀之内1	1	—	土坑覆土	25	13884
8	2	GN653	80号土坑	堀之内1	1	—	土坑覆土	15	693
9	2	GN906	101号土坑	安行	10	層位	土坑覆土	95	10241
10	2	GN951	103号土坑	堀之内1	4	層位	土坑覆土	80	7681
11	2	GN822・148	19号住居	堀之内1	27	地点・層位	住居覆土	30	32779
12	2	GN149	20号住居	堀之内1	1	—	住居覆土	25	1697
13	2	GN907	107号土坑	堀之内1	3	層位	土坑覆土	40	1765
14	2	GN910	108号土坑	堀之内1	8	層位	土坑覆土	20	3421
15	2	GN821	—	加曾利B	9	地点・層位	包含層中	25	7494
16	2	GN820	—	安行	26	地点・層位	包含層中	15	31089
17	2	GN151	15号住居	堀之内1	1	—	住居覆土	10	3374
18	1	GN418	116号土坑	堀之内1	10	層位	土坑覆土	150	79578
19	1	GN508	178号土坑	堀之内1	1	—	土坑覆土	20	4315
20	1	GN513.514・133	24号住居	称名寺	3	地点・層位	住居出入口土坑	30	131700
21	1	GN804	—	安行	44	地点・層位	包含層中	15	110866
22	1	GN808	—	加曾利B	3	地点	包含層中	—	2373
23	1	GN810・120	46号住居	安行	29	地点	住居覆土	45	131276
24	1	GN806.807・113	50号住居	加曾利B	2	地点	住居覆土・柱穴	40	13918
25	1	GN114	49B号住居	曾谷	1	—	住居覆土?	—	537
26	1	GN802	—	弥生	9	地点・層位	包含層中	15	10631
27	1	GN803・106	—	堀之内1	28	地点	28号貝層?2次堆積	15	72971
28	1	GN801・109B	55号遺構	堀之内1	41	地点・層位	種別不明遺構中	30	33078
29	1・2	GN515	—	称名寺	6	層位	土坑覆土	30	101022
30	1・2	GN517	—	堀之内1	4	層位	土坑覆土	60	59490
31	1・2	GN518	—	称名寺	2	層位	土坑覆土	45	4258
32	1・2	GN519	—	称名寺	2	層位	土坑覆土	70	4188
33	1・2	GN520	—	称名寺	7	層位	土坑覆土	75	32299
34	1・2	GN524	—	—	2	層位	土坑覆土	30	14700
35	1・2	GN525	—	加曾利B	1	—	土坑覆土	20	3860
36	1・2	GN526	—	加曾利B	1	—	土坑覆土	15	2600
37	1・2	GN527	—	—	1	—	土坑覆土	30	4850
38	4	307	—	—	1	—	土坑覆土	—	1695
39	4	308	156号土坑	堀之内1	2	層位	土坑覆土	10	5125
40	4	403	155号土坑	堀之内1	1	—	土坑覆土	25	15500
41	4	404	159号土坑	称名寺	1	—	土坑覆土	—	29205
42	4	330	—	—	1	—	包含層中	—	1200
43	4	301	162号土坑	—	1	—	土坑覆土	25	1980
44	4	402・101	27号住居	堀之内1	15	地点・層位	住居覆土	40	118410
45	4	401	—	堀之内1	2	地点	包含層中	—	25645
46	4	405	—	堀之内1	1	—	包含層中	—	6335
47	4	406	177号土坑	堀之内1	1	—	土坑覆土	—	3525
48	4	407	—	堀之内1	1	—	包含層中	—	6460
49	3	J7	28号住居	加曾利B	1	—	住居炉	25	2330
50	3	J22	29号住居	加曾利B	5	地点・層位	住居覆土	30	58140
51	3	1号小堅穴	195号土坑	称名寺	2	層位	土坑覆土	50	2310
52	3	J24	30号住居	加曾利B	1	—	住居覆土	—	14285
53	3	53号小堅穴	210号土坑	堀之内1	1	—	土坑覆土	30	2170
54	3	54号小堅穴	213号土坑	堀之内1	6	層位	土坑覆土	40	47955
55	3	58号小堅穴	222号土坑	堀之内1	3	層位	土坑覆土	55	12895
56	3	56号小堅穴	221号土坑	加曾利B	1	—	土坑覆土	—	4520
57	3	J21	—	安行	1	—	包含層中	—	1135
58	3	J6	—	安行	9	地点	包含層中	20	14685
59	3	J15	32号住居	加曾利B	2	地点	住居覆土	—	5300
60	3	J13	33号住居	加曾利B	1	—	住居覆土	20	300
61	3	51号小堅穴	235号土坑	称名寺	2	層位	土坑覆土	140	44115
62	3	55号小堅穴	236号土坑	称名寺	2	層位	土坑覆土	50	15570
63	3	J8	34号住居	加曾利B	4	地点	住居覆土	25	31495
64	3	10号小堅穴	253号土坑	堀之内1	1	—	土坑覆土	130	31045
65	3	J19	36号住居	加曾利B	1	—	住居覆土	—	9005
66	3	J12	37号住居	加曾利B	1	—	住居炉	5	1565
67	3	J11	38号住居	堀之内1	13	地点・層位	住居覆土	25	31695
68	3	4号小堅穴	267号土坑	称名寺	1	—	土坑覆土	15	2455
69	3	101号小堅穴	268号土坑	称名寺	1	—	土坑覆土	—	33770
70	3	5号小堅穴	269号土坑	称名寺	1	—	土坑覆土	—	3535
71	3	24号小堅穴	271号土坑	安行	1	—	土坑覆土	10	380
72	3	J3	42号住居	加曾利B	1	—	住居覆土?	—	330
73	3	J10	—	堀之内1	40	地点	包含層中	15	87950
74	3	J9	45号住居	堀之内1	30	地点	住居覆土	40	100810
75	3	J17	53号遺構	堀之内2	40	地点・層位	種別不明遺構中	45	82750
76	3	J1	51号住居	加曾利B	29	地点・層位	住居覆土	25	164010
77	3	J2	54号遺構	堀之内2	3	地点	種別不明遺構中	10	3355
78	3	J27	—	—	1	—	—	—	1350
79	3	59号小堅穴	—	堀之内1	1	—	—	—	3180

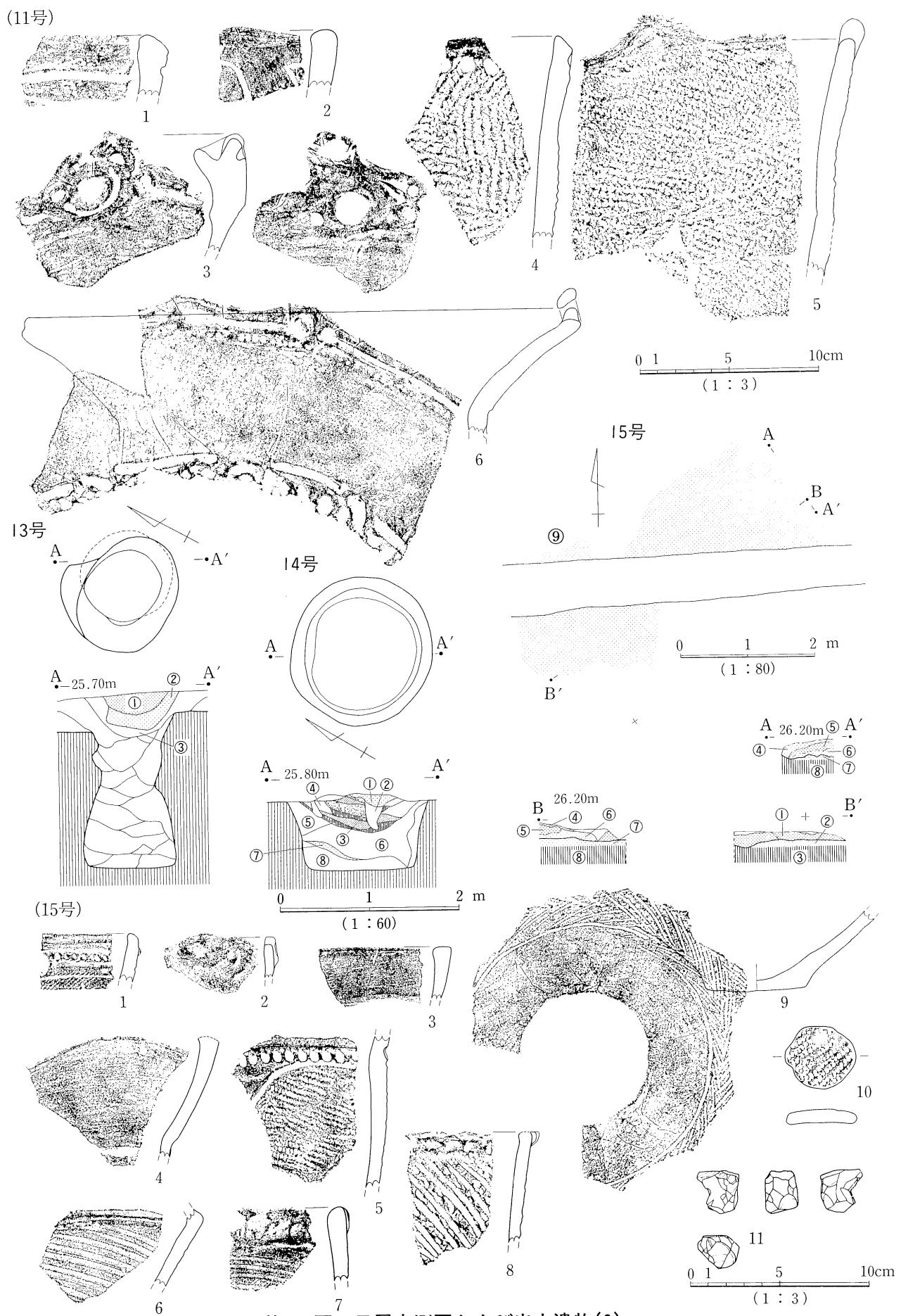




第422図 貝層実測図および出土遺物(1)

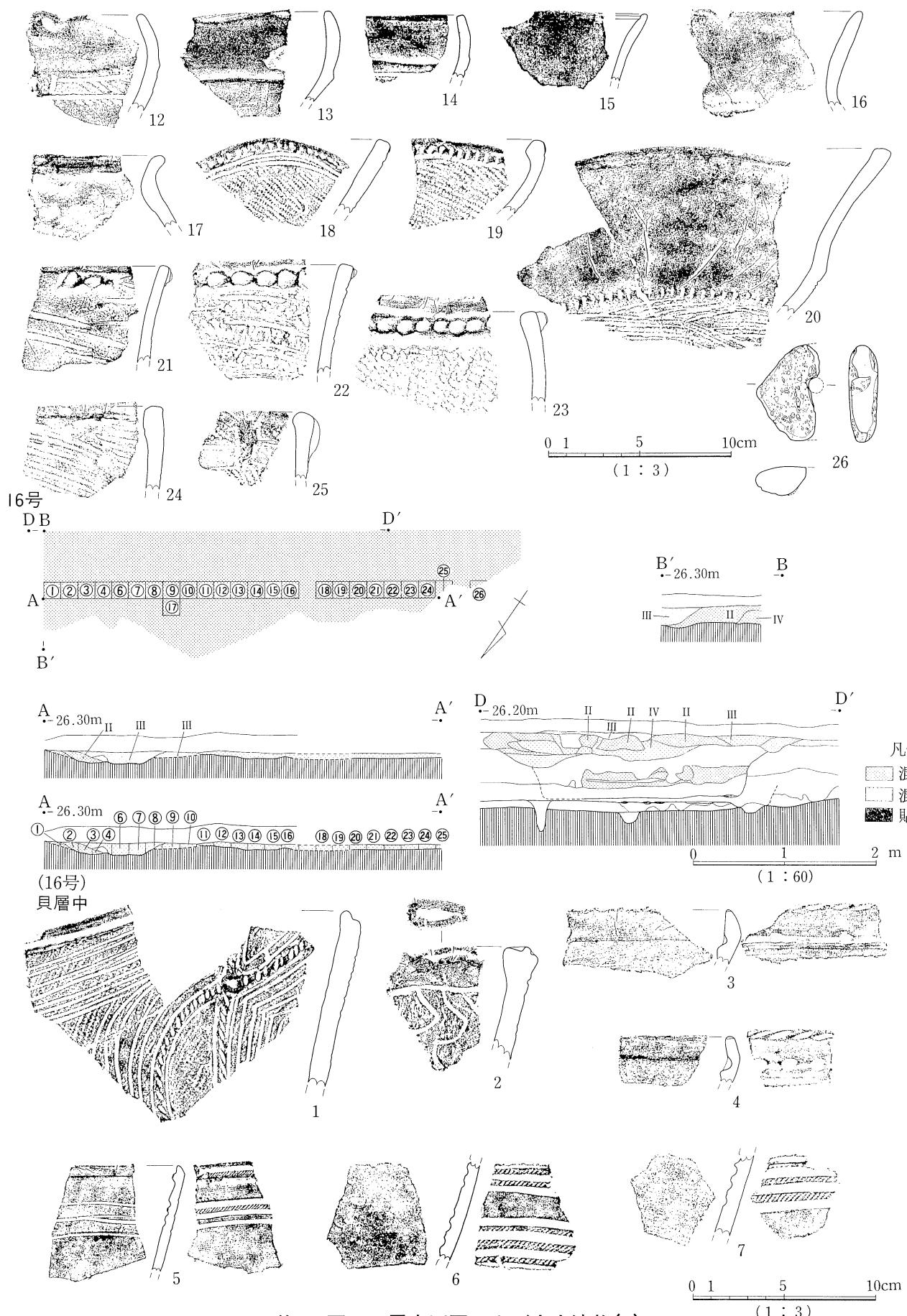


第423図 貝層実測図(2)

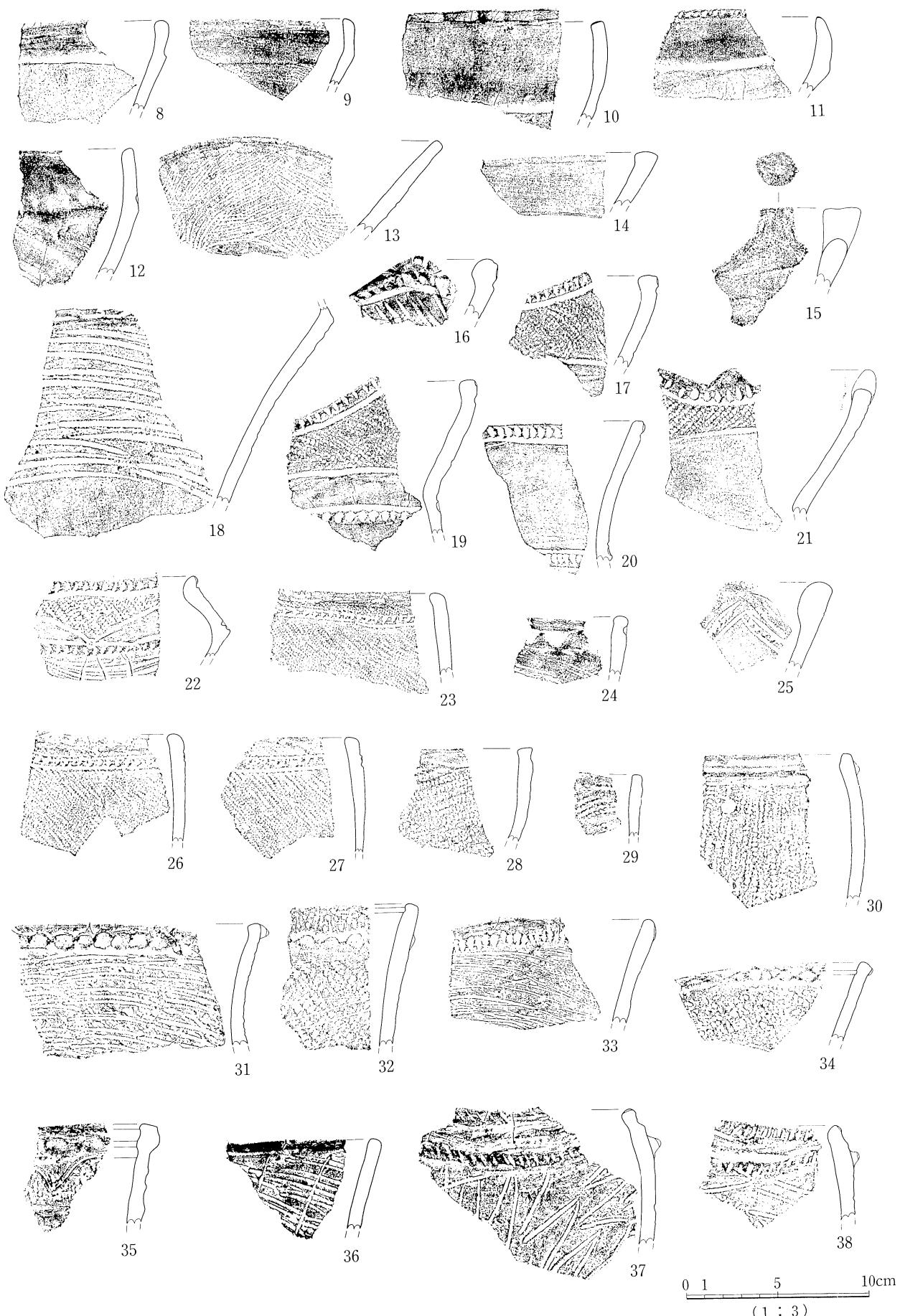


第424図 貝層実測図および出土遺物(3)

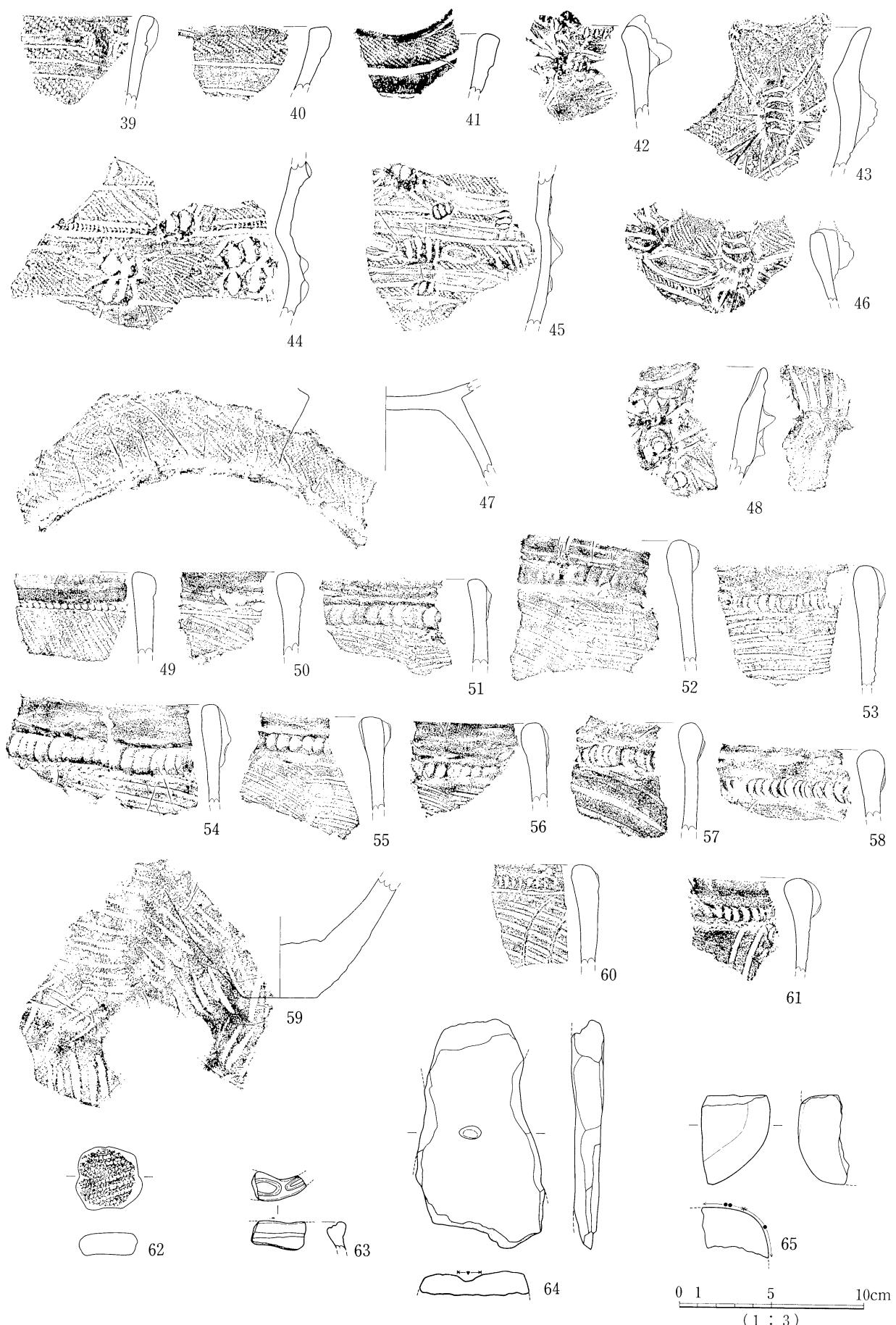
貝層下土層中



第425図 貝層実測図および出土遺物(4)

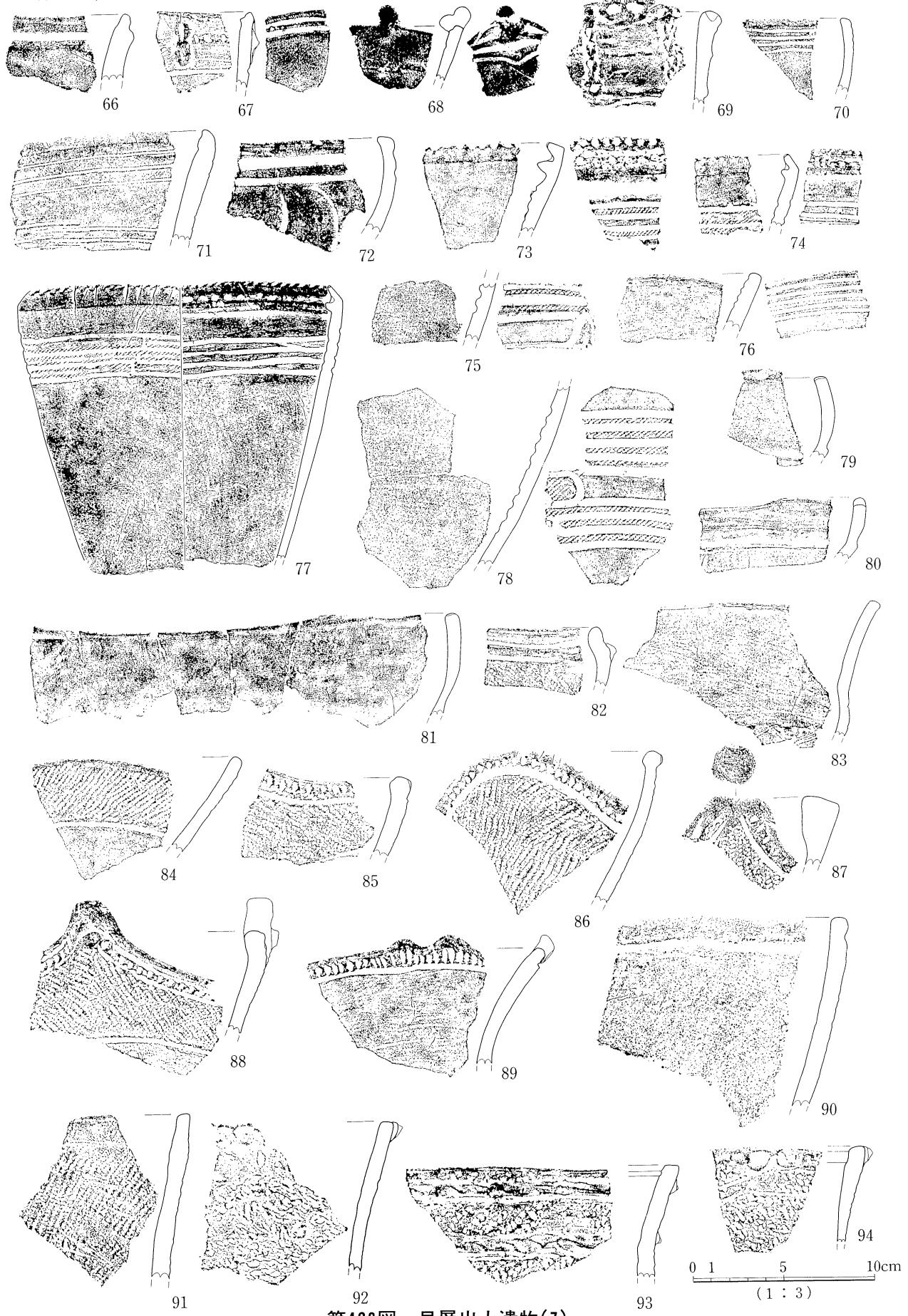


第426図 貝層出土遺物(5)

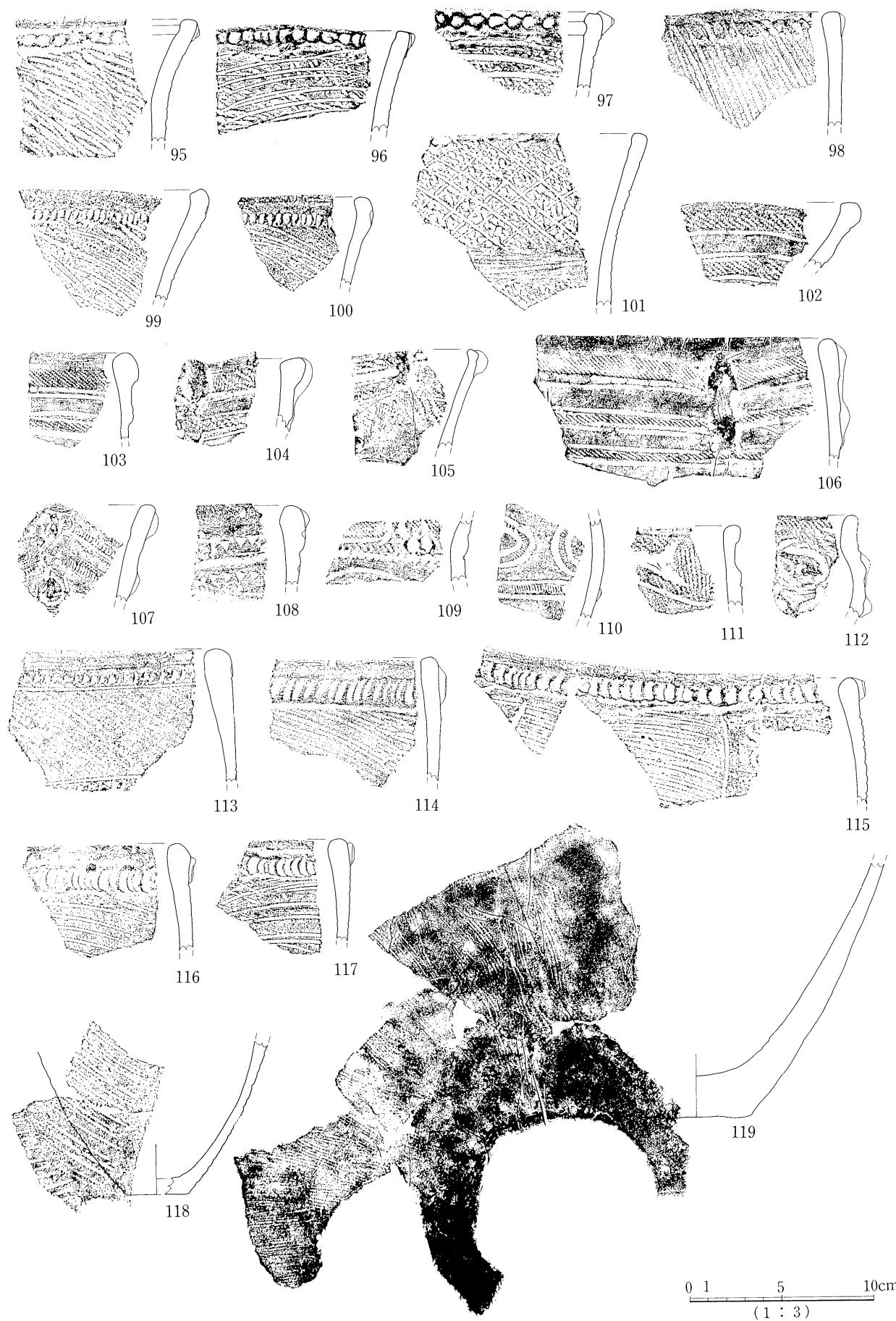


第427図 貝層出土遺物(6)

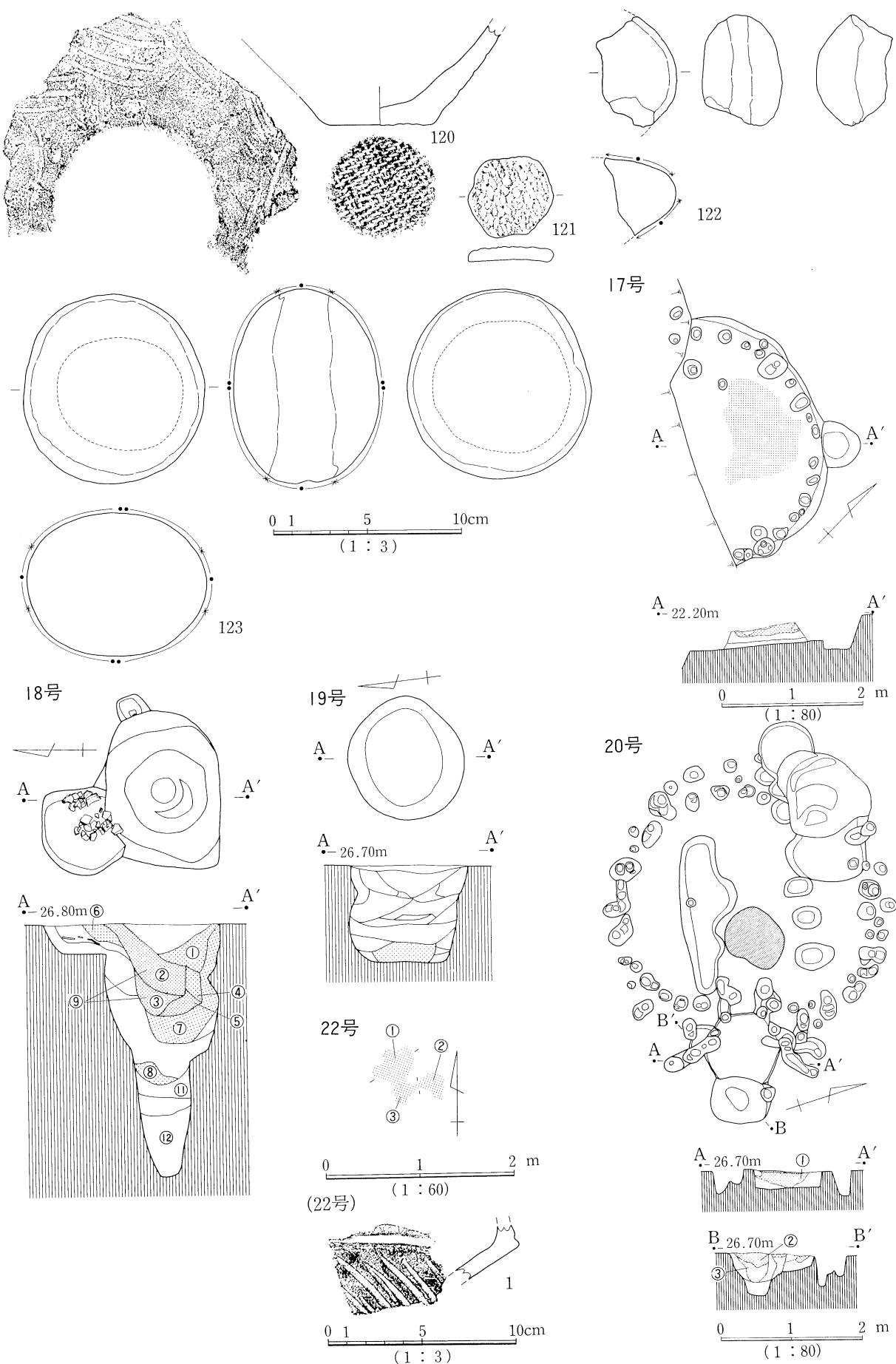
貝層周辺部



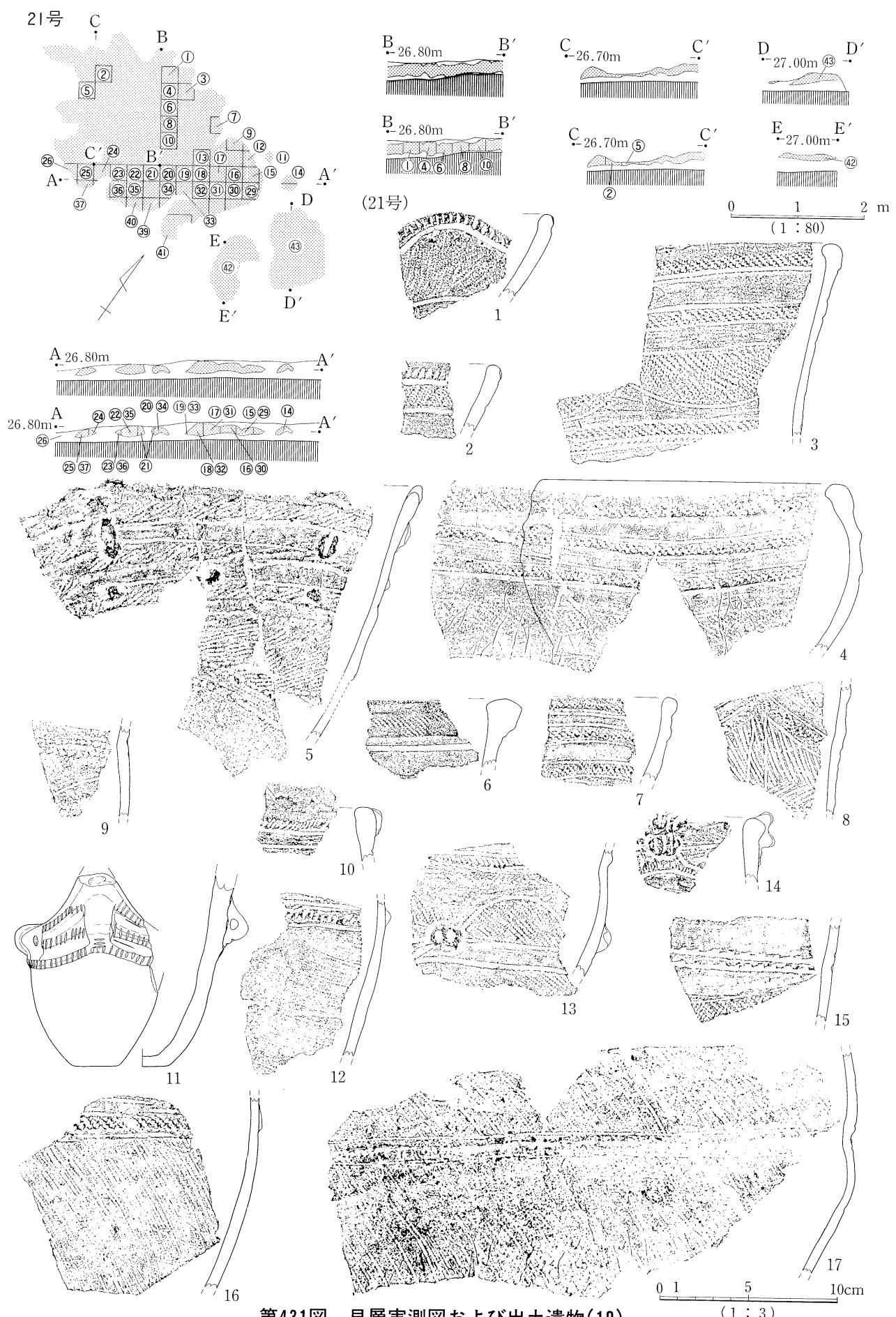
第428図 貝層出土遺物(7)



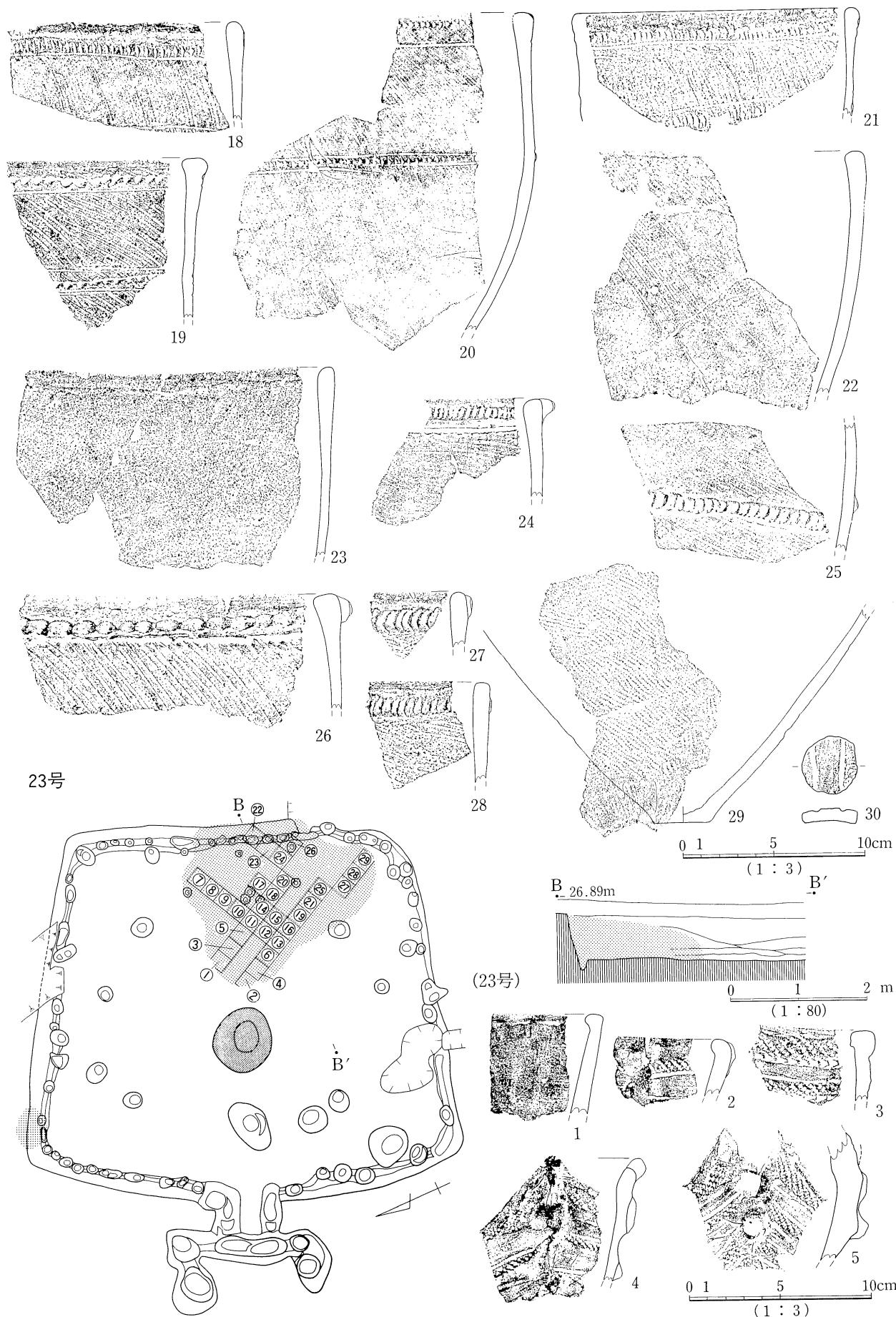
第429図 貝層出土遺物(8)



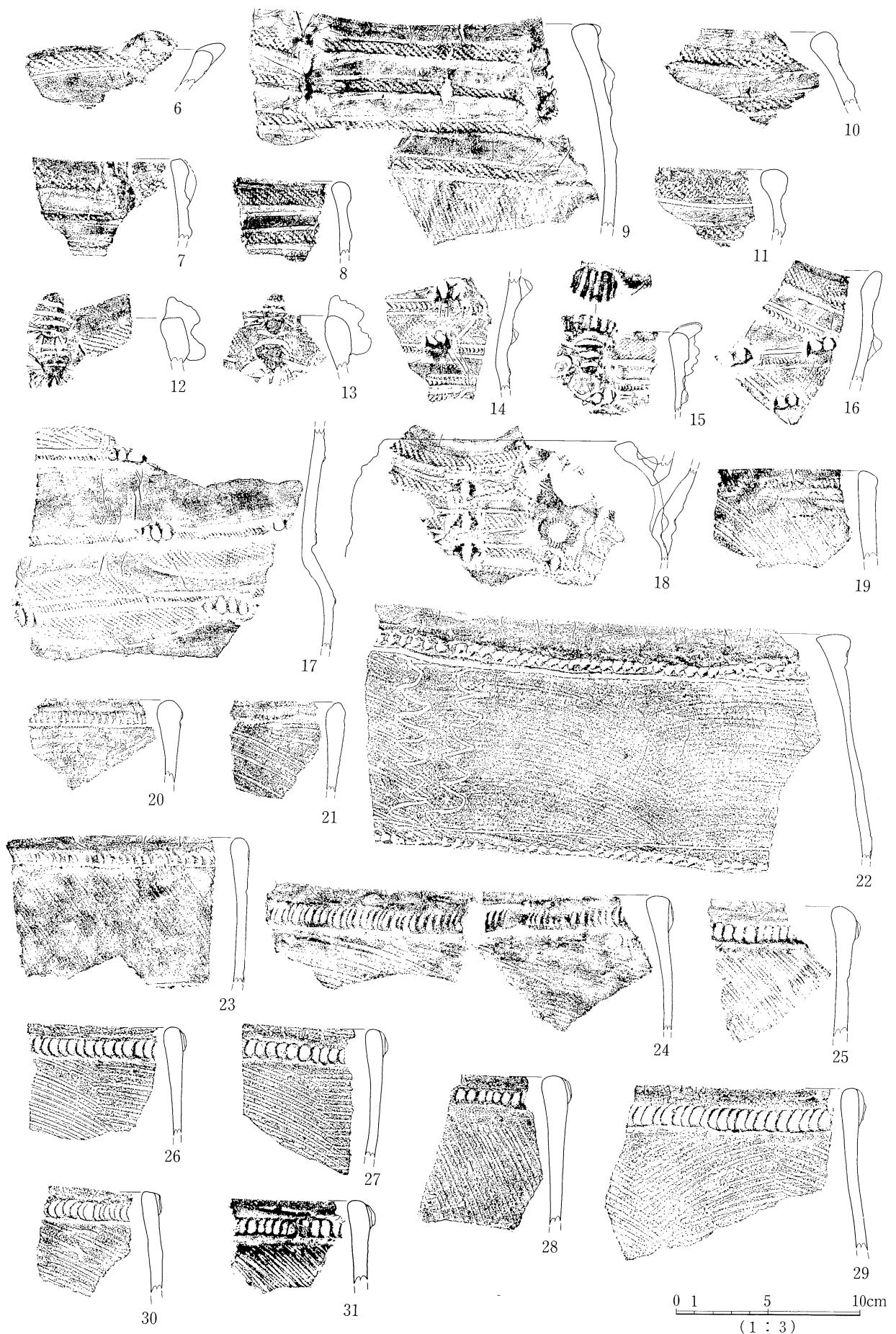
第430図 貝層実測図および出土遺物(9)



第431図 貝層実測図および出土遺物(10)

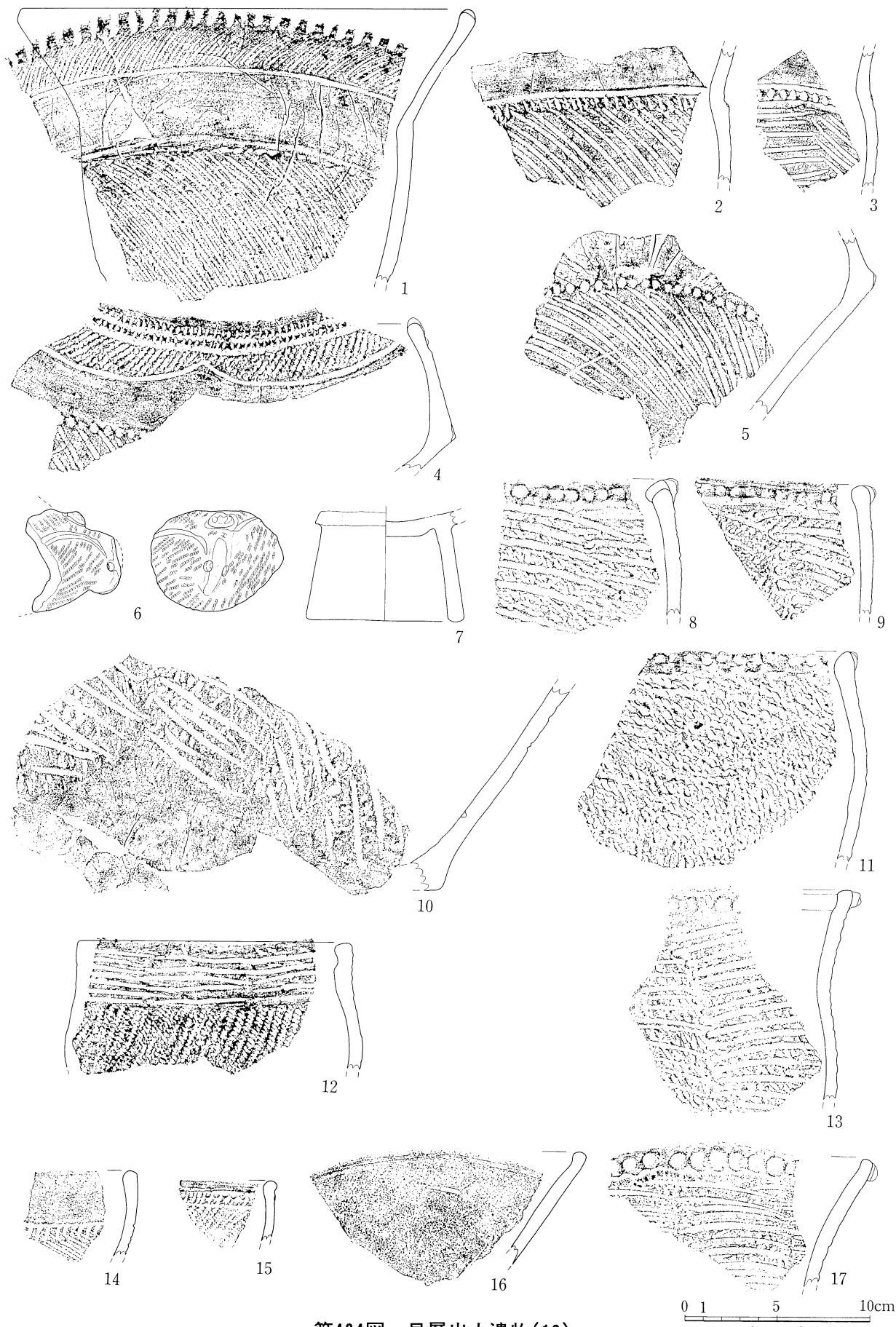


第432図 貝層実測図および出土遺物(11)

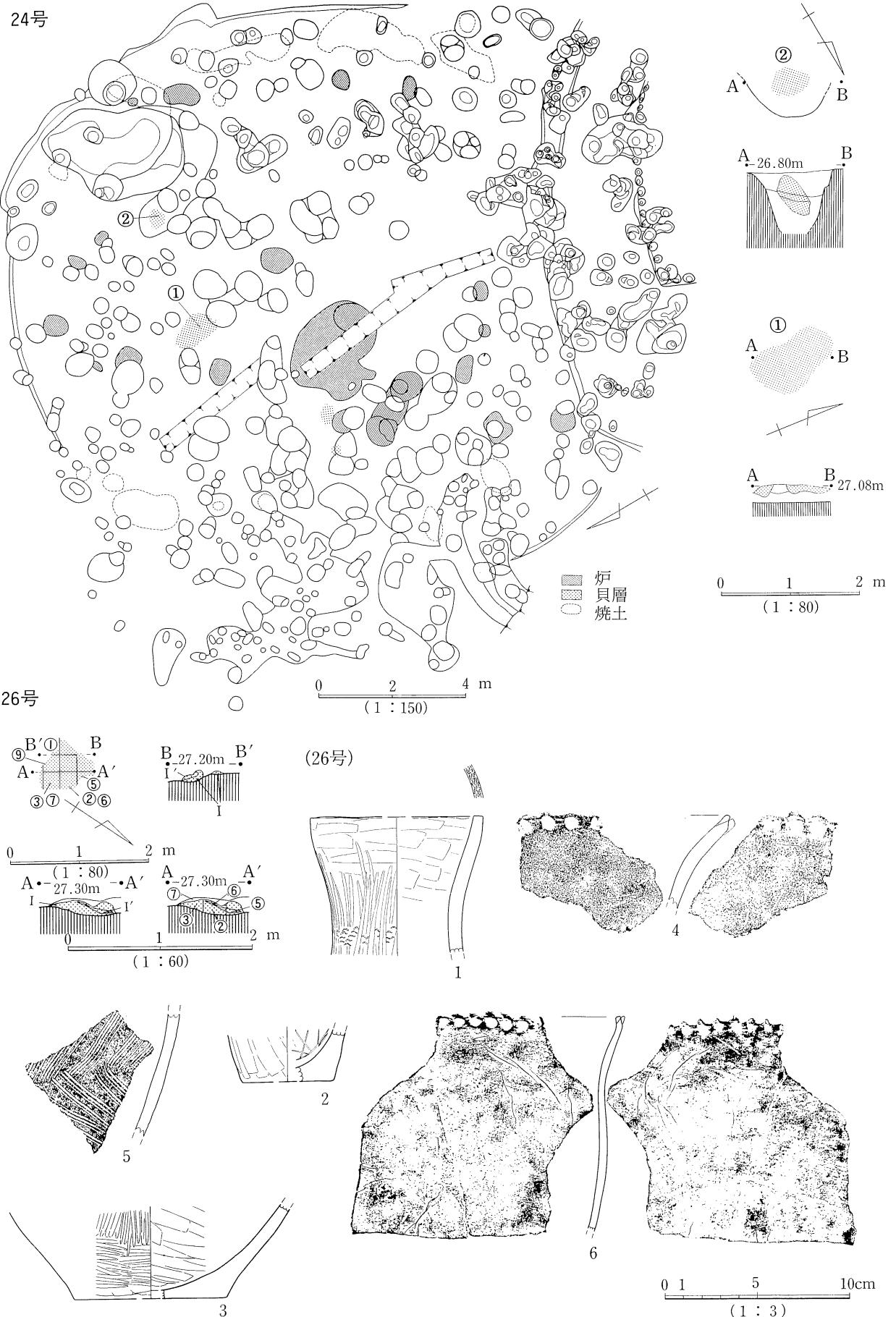


第433図 貝層出土遺物(12)

(24号)



第434図 貝層出土遺物(13)



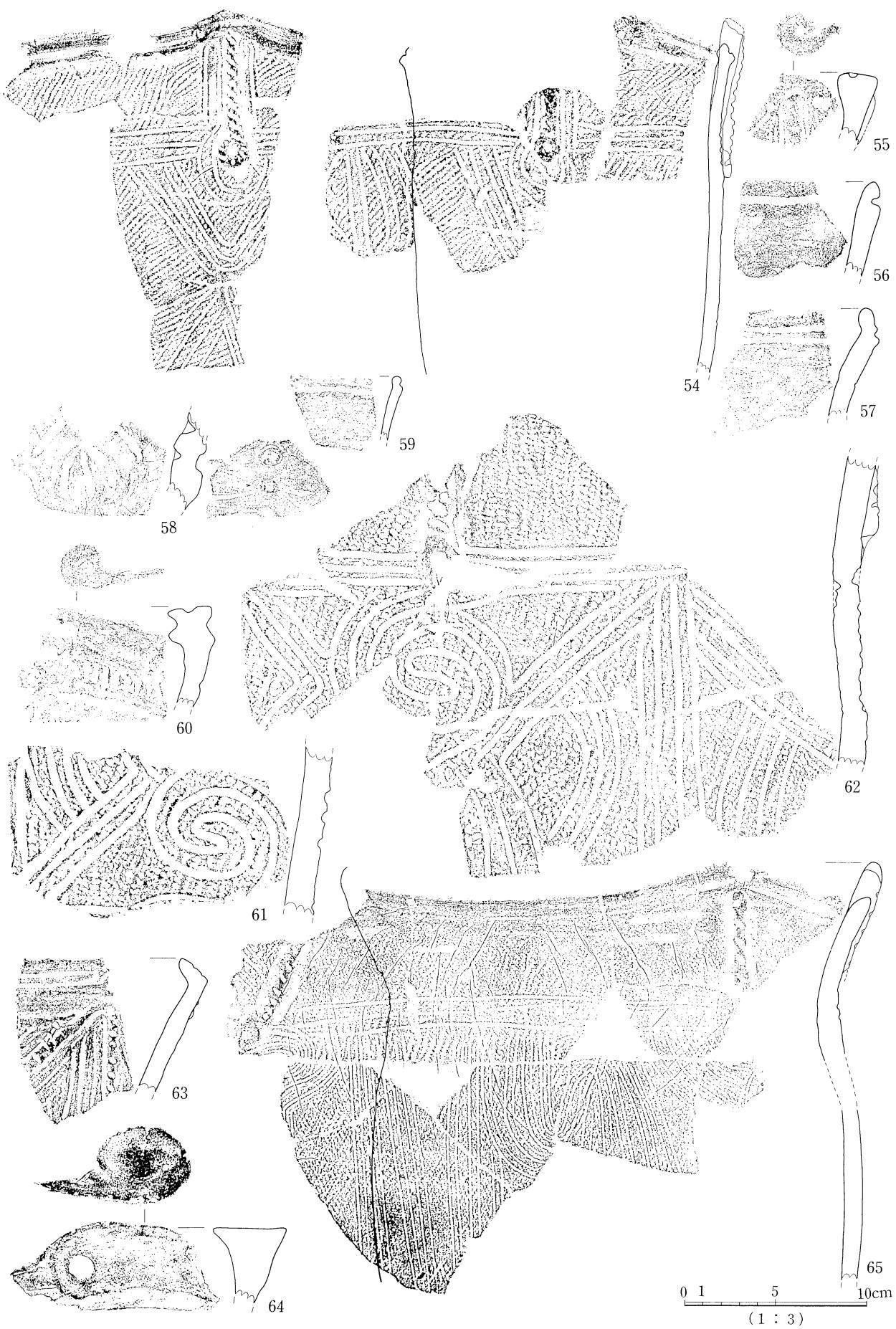
第435図 貝層実測図および出土遺物(14)



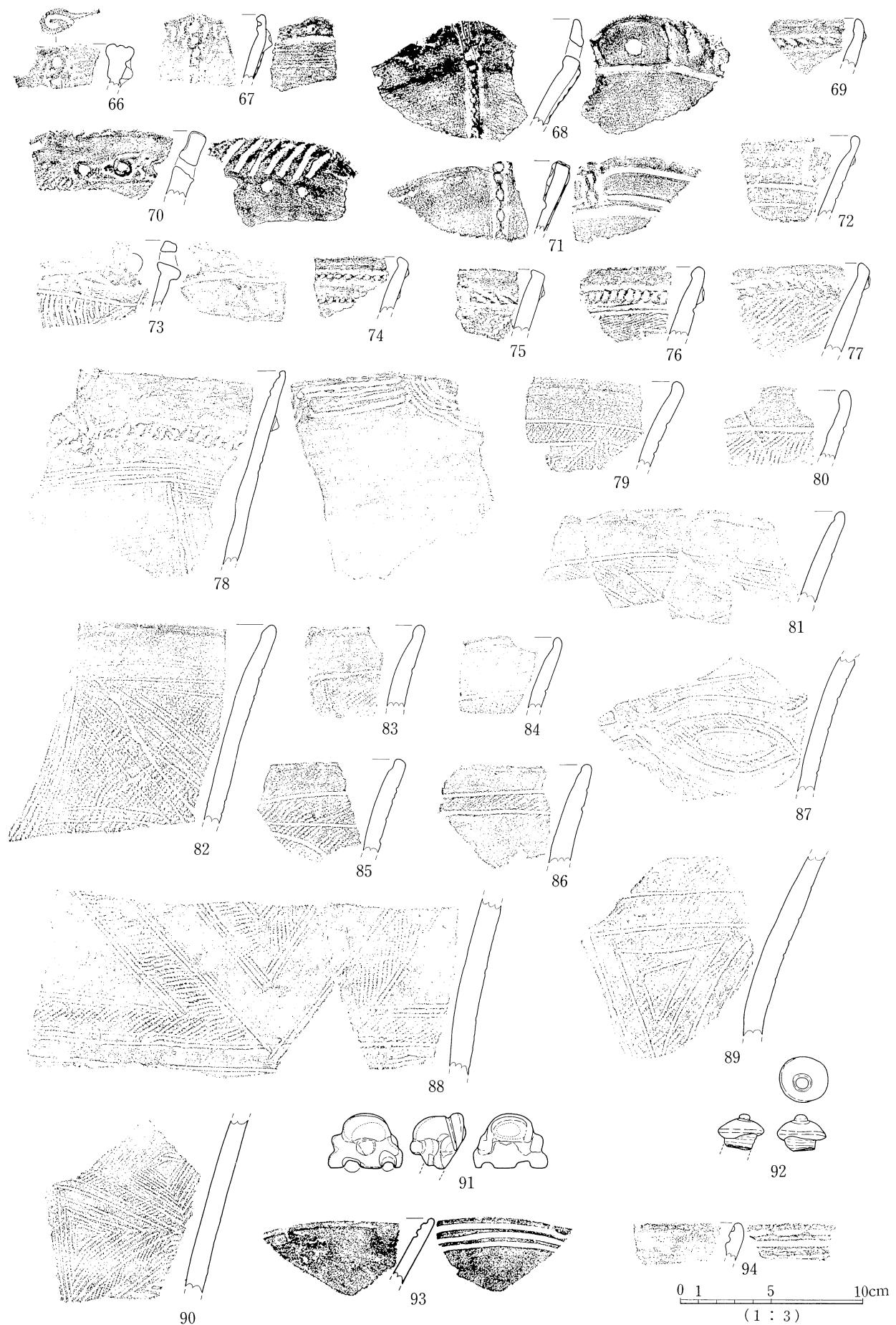
第436図 貝層実測図および出土遺物(15)



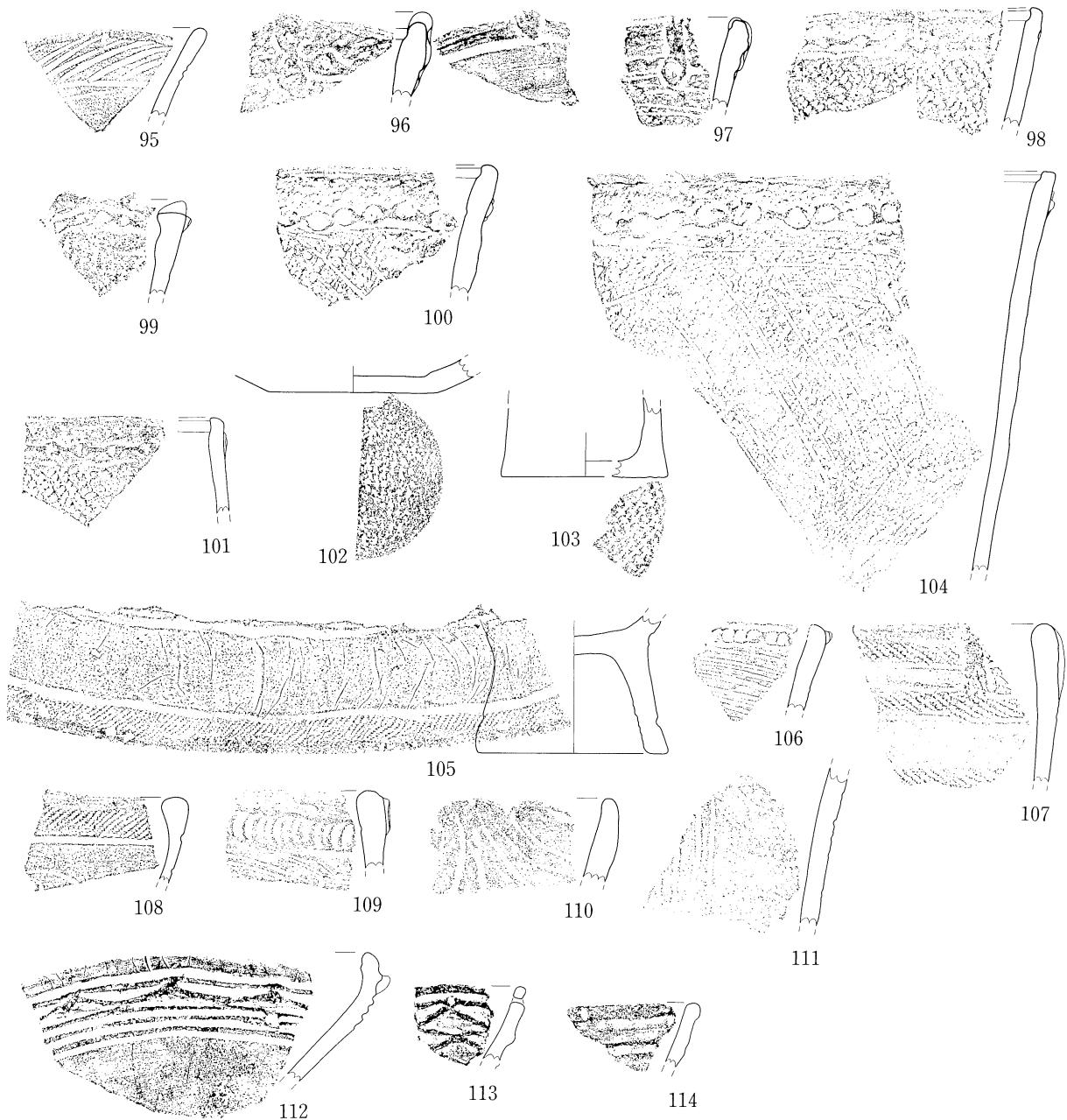
第437図 貝層出土遺物(16)



第438図 貝層出土遺物(17)

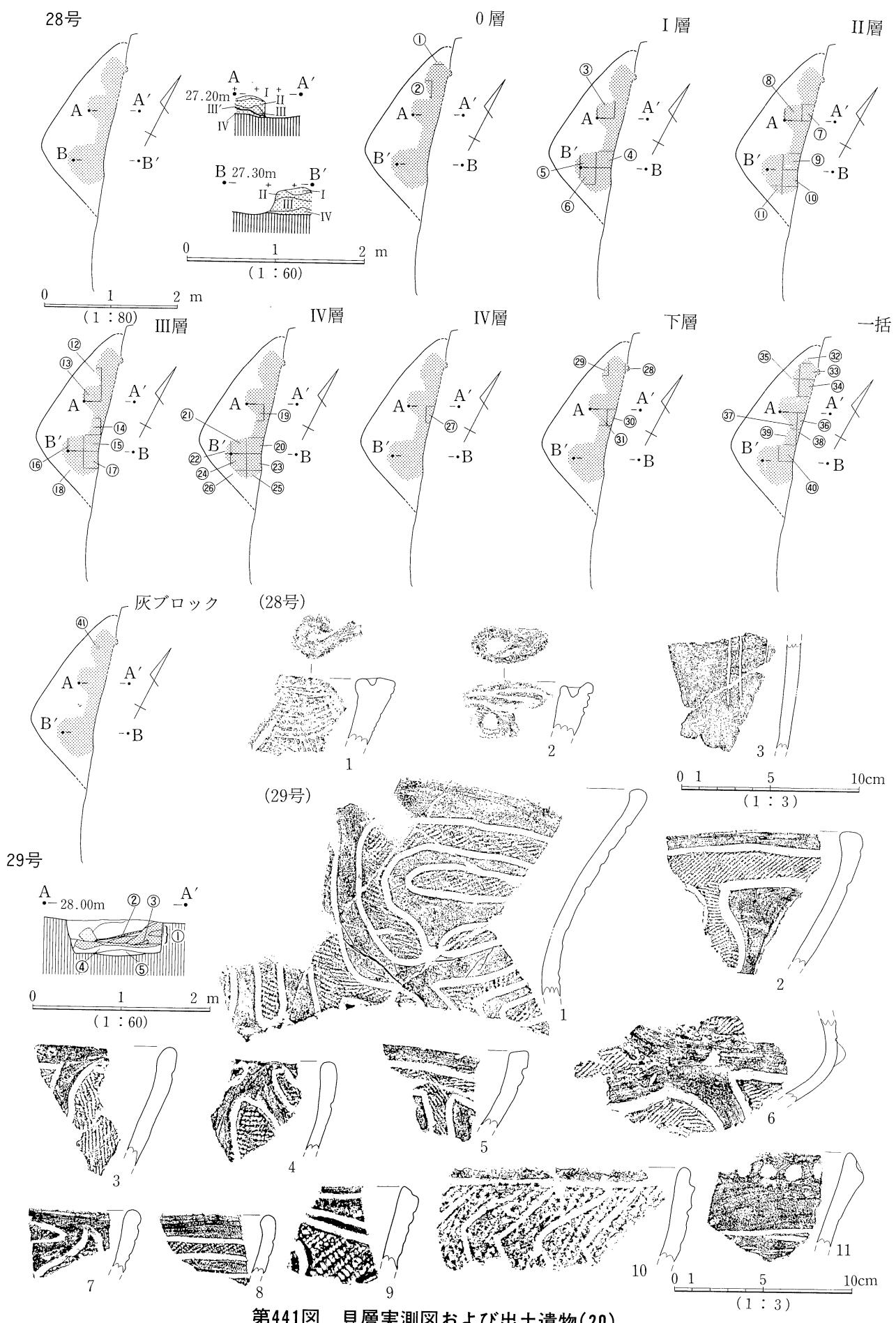


第439図 貝層出土遺物(18)

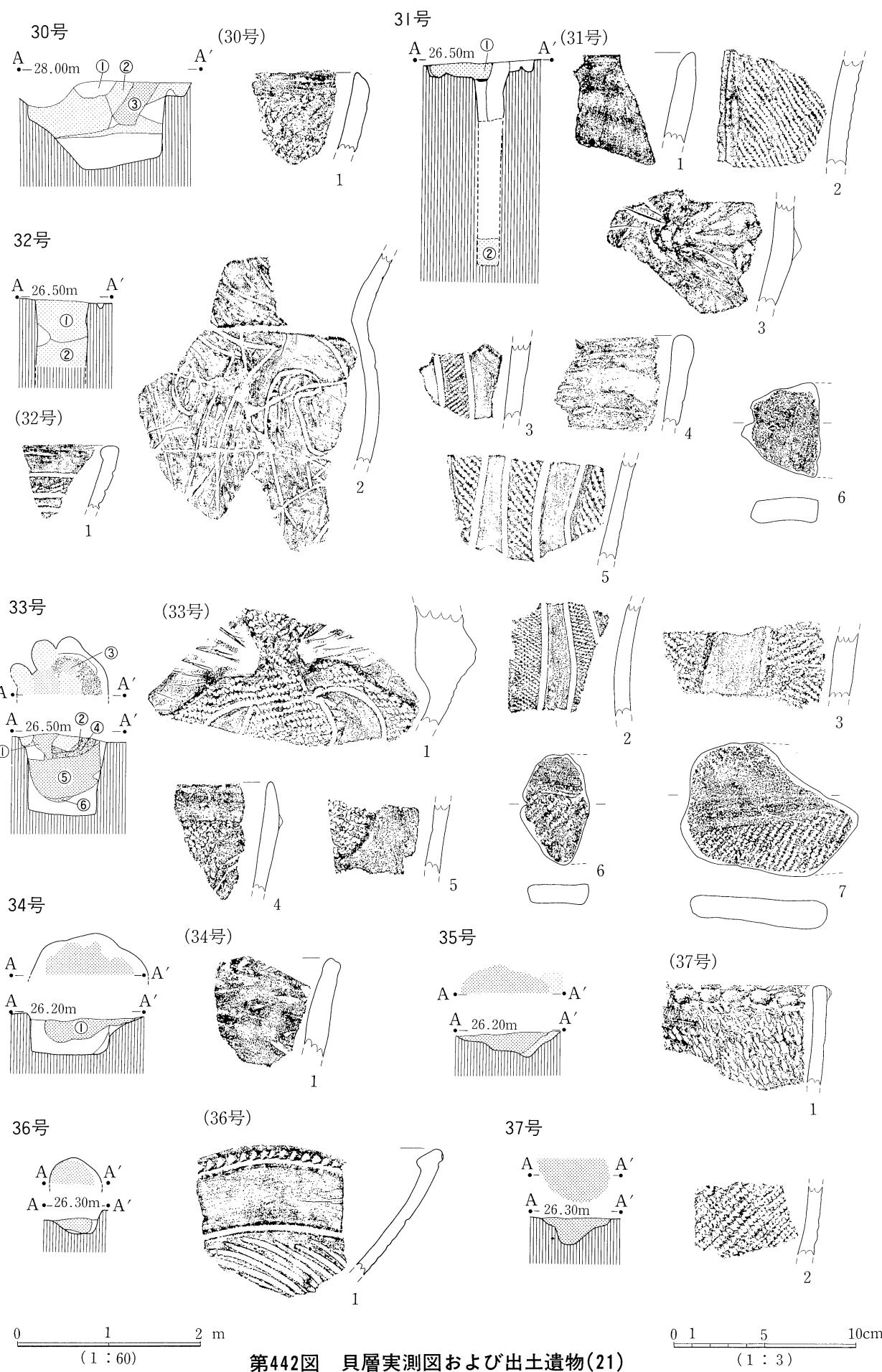


0 1 5 10cm  
(1 : 3)

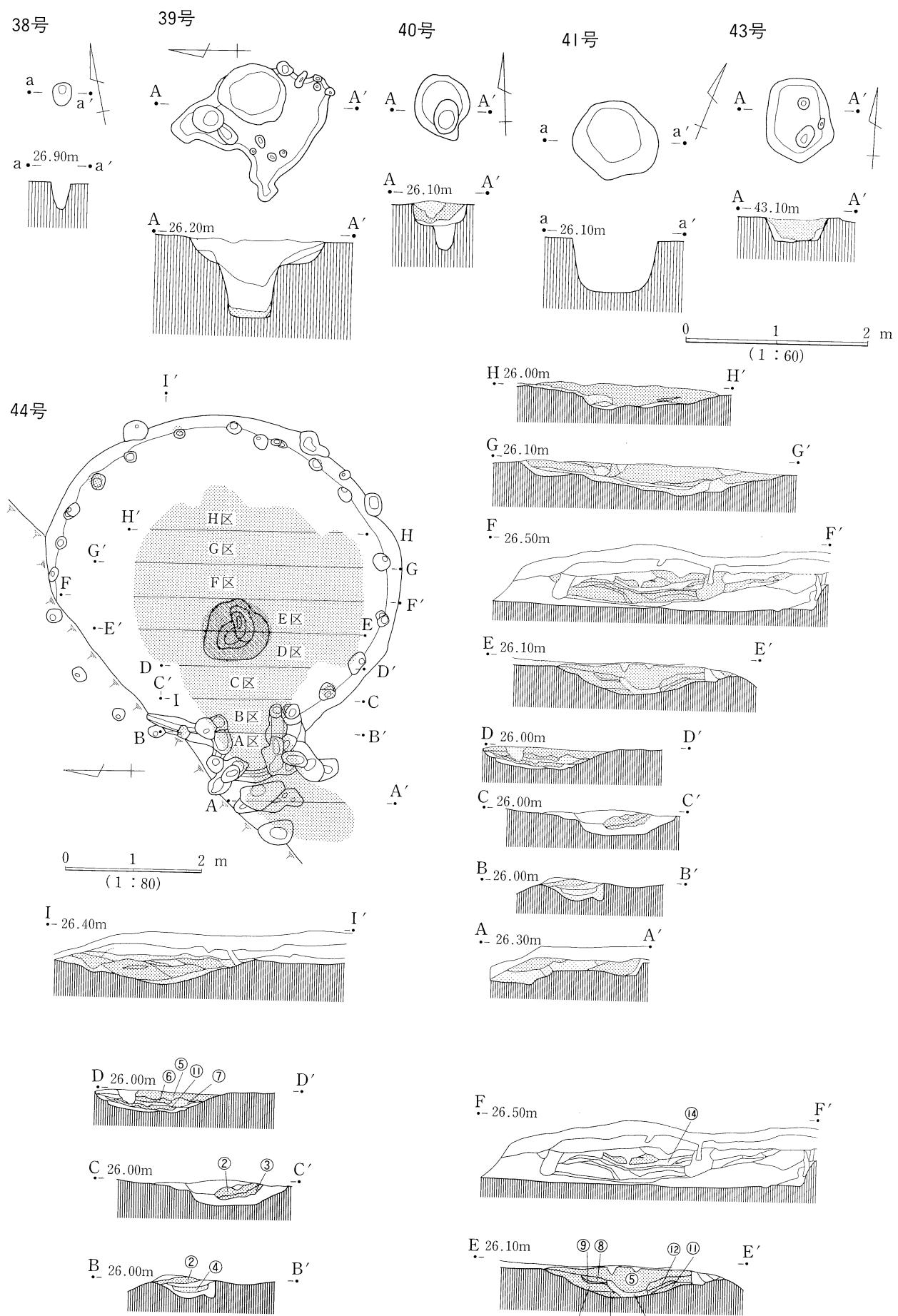
第440図 貝層出土遺物(19)



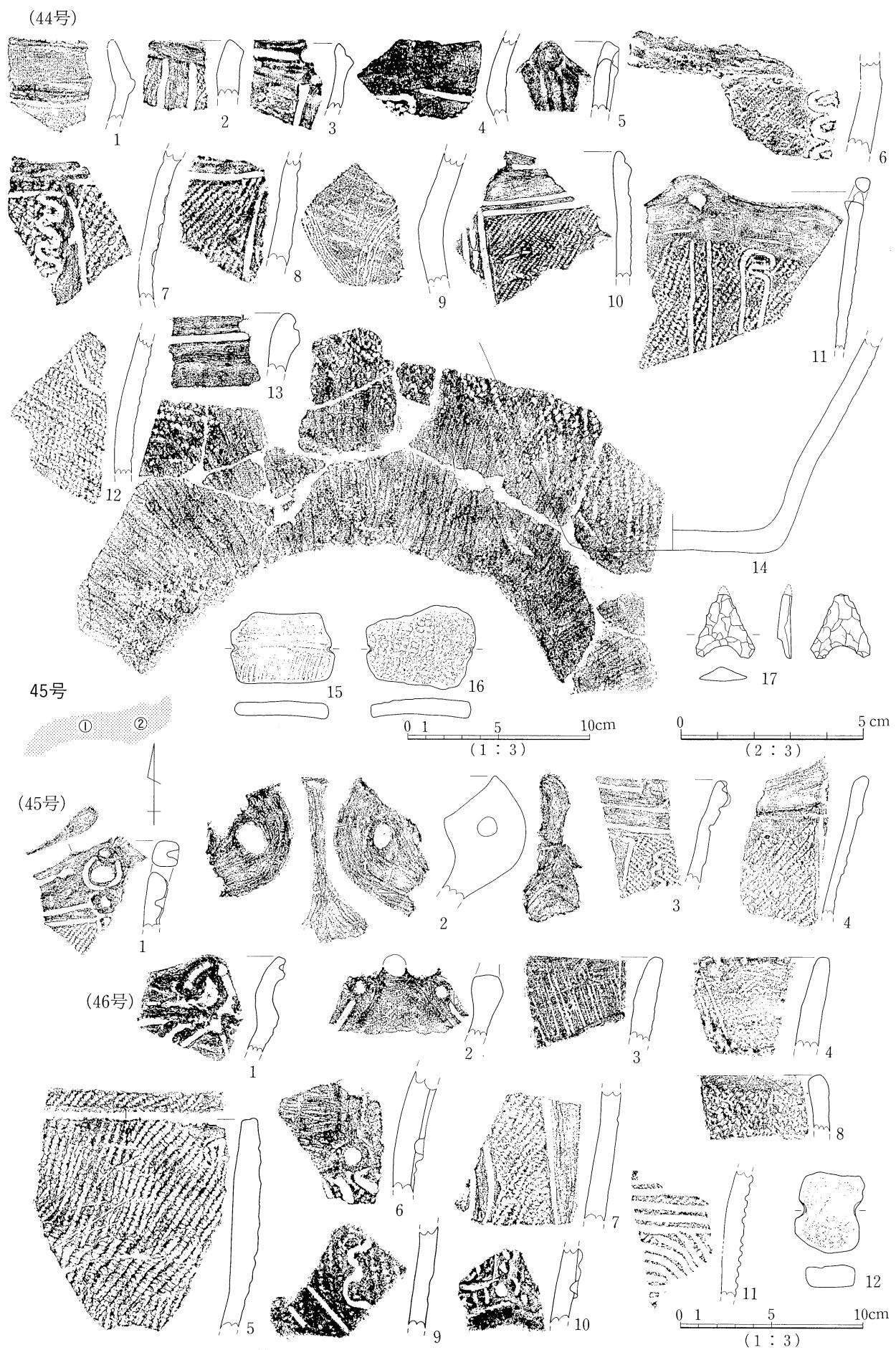
第441図 貝層実測図および出土遺物(20)



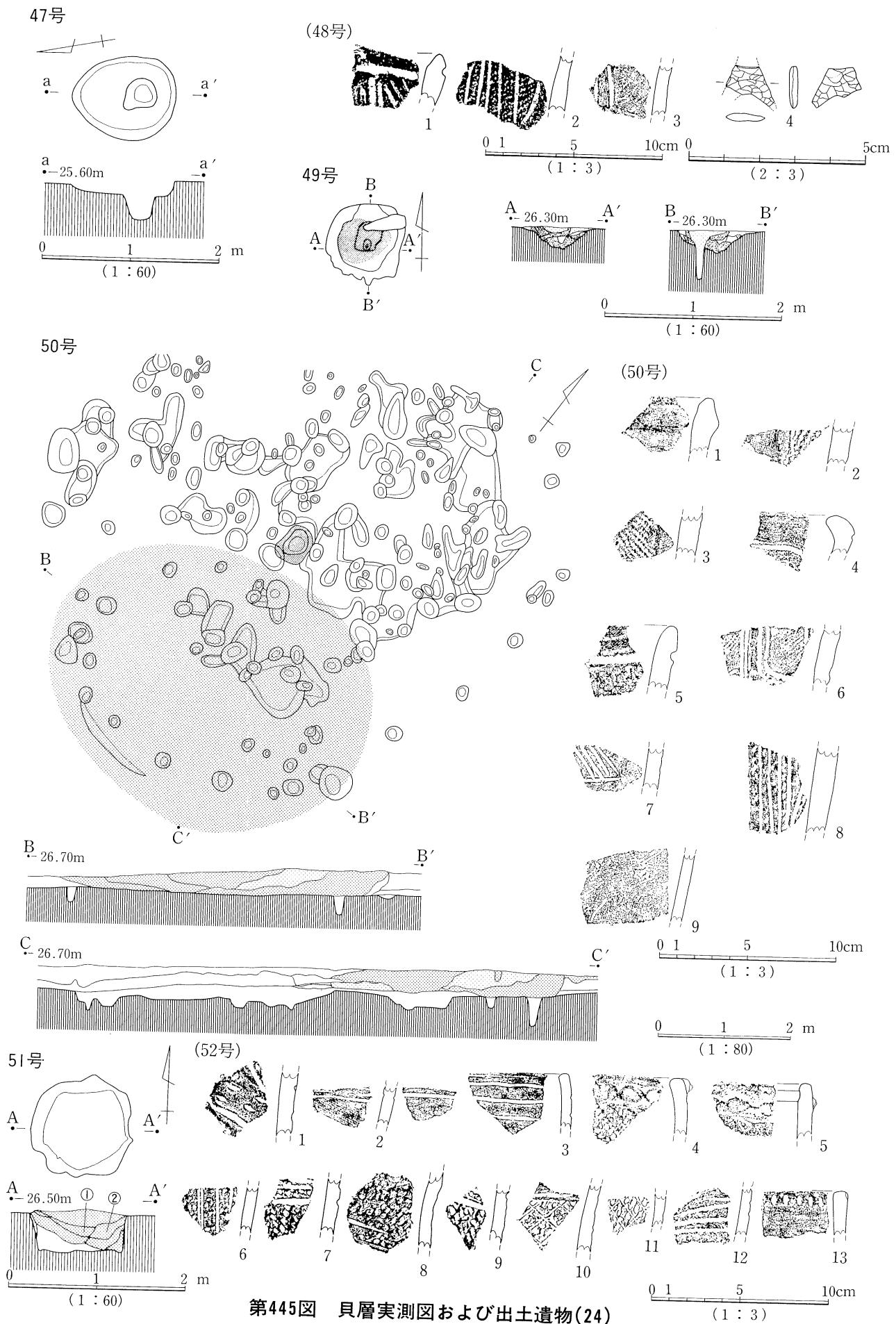
第442図 貝層実測図および出土遺物(21)



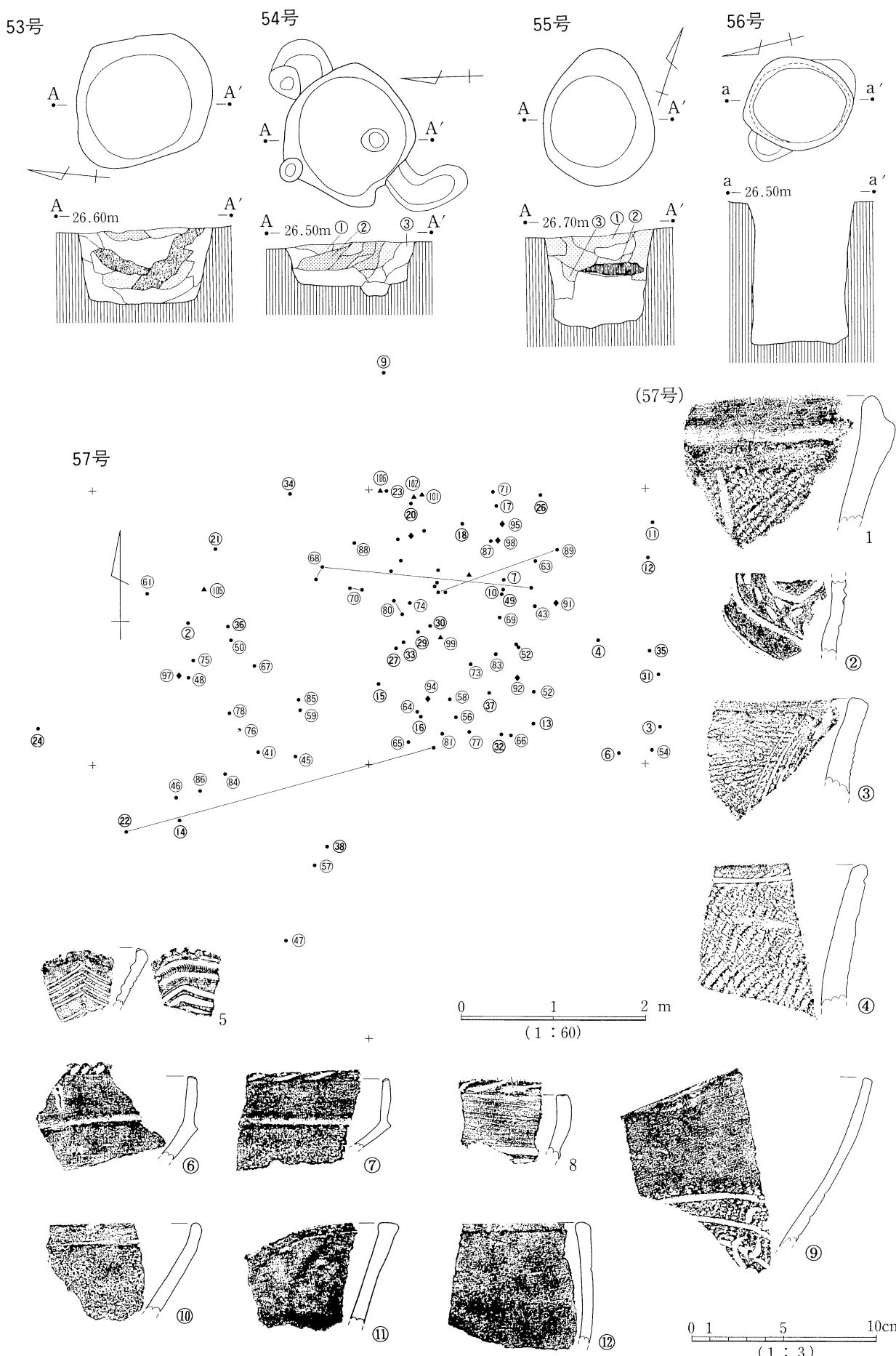
第443図 貝層実測図(22)



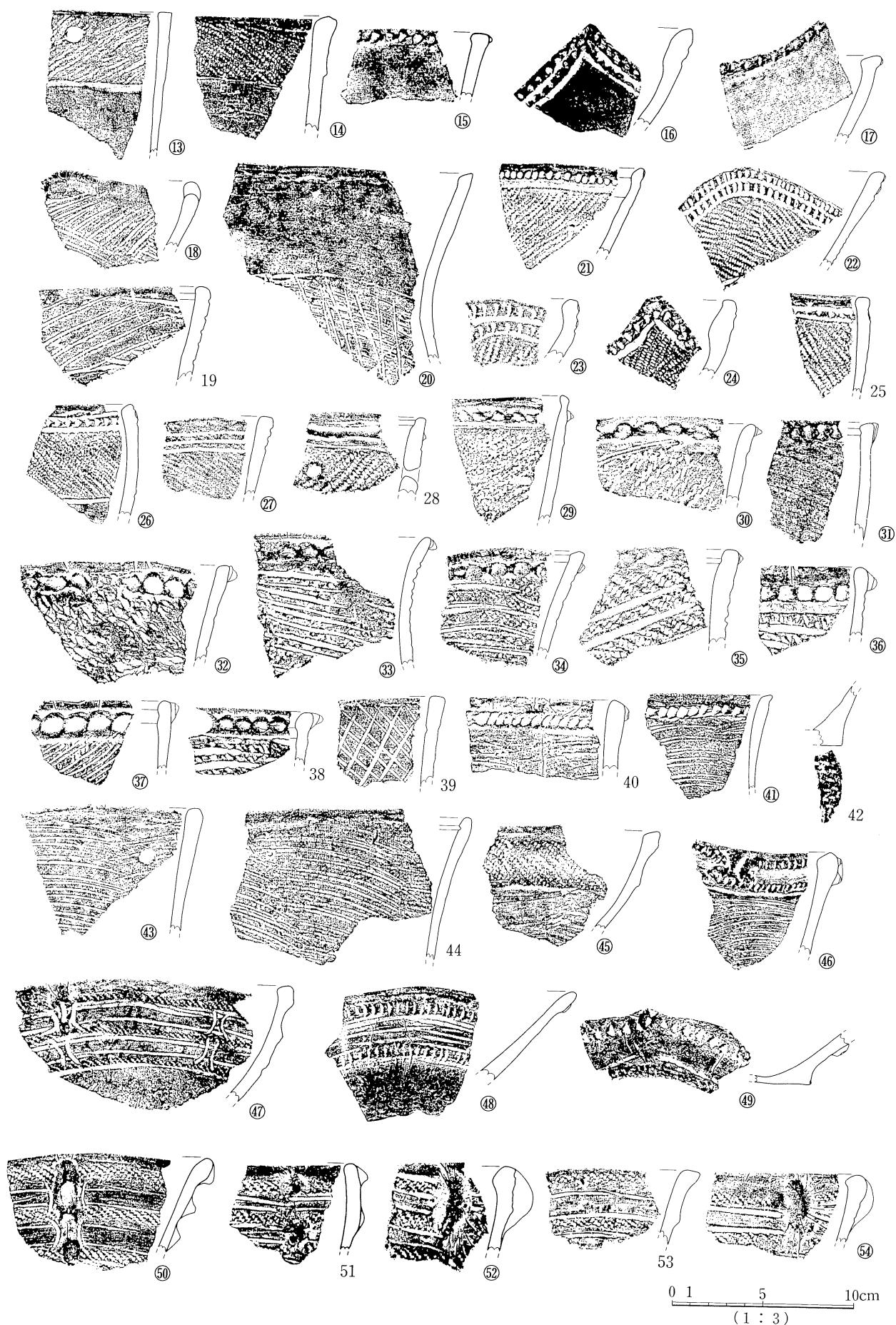
第444図 貝層実測図および出土遺物(23)



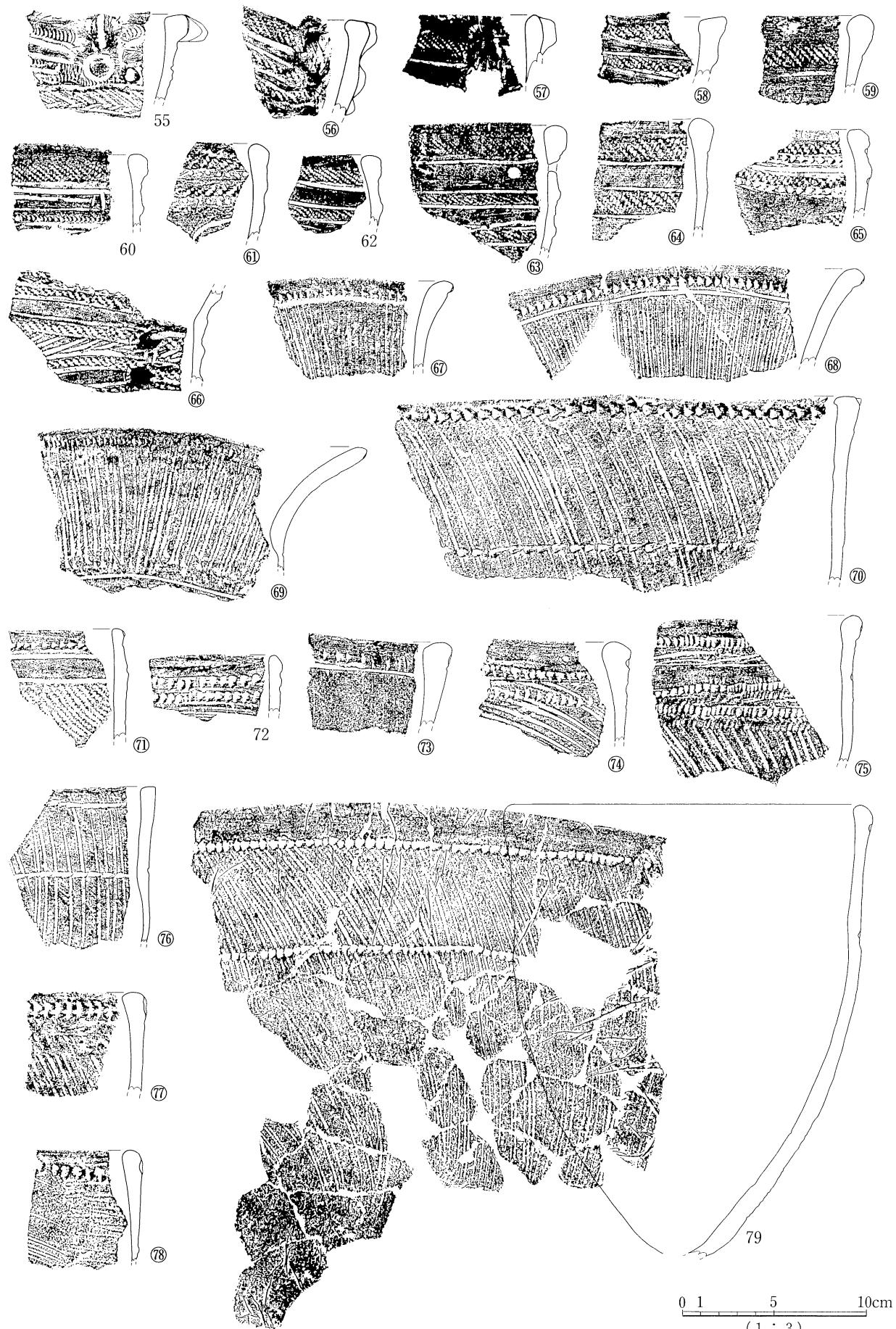
第445図 貝層実測図および出土遺物(24)



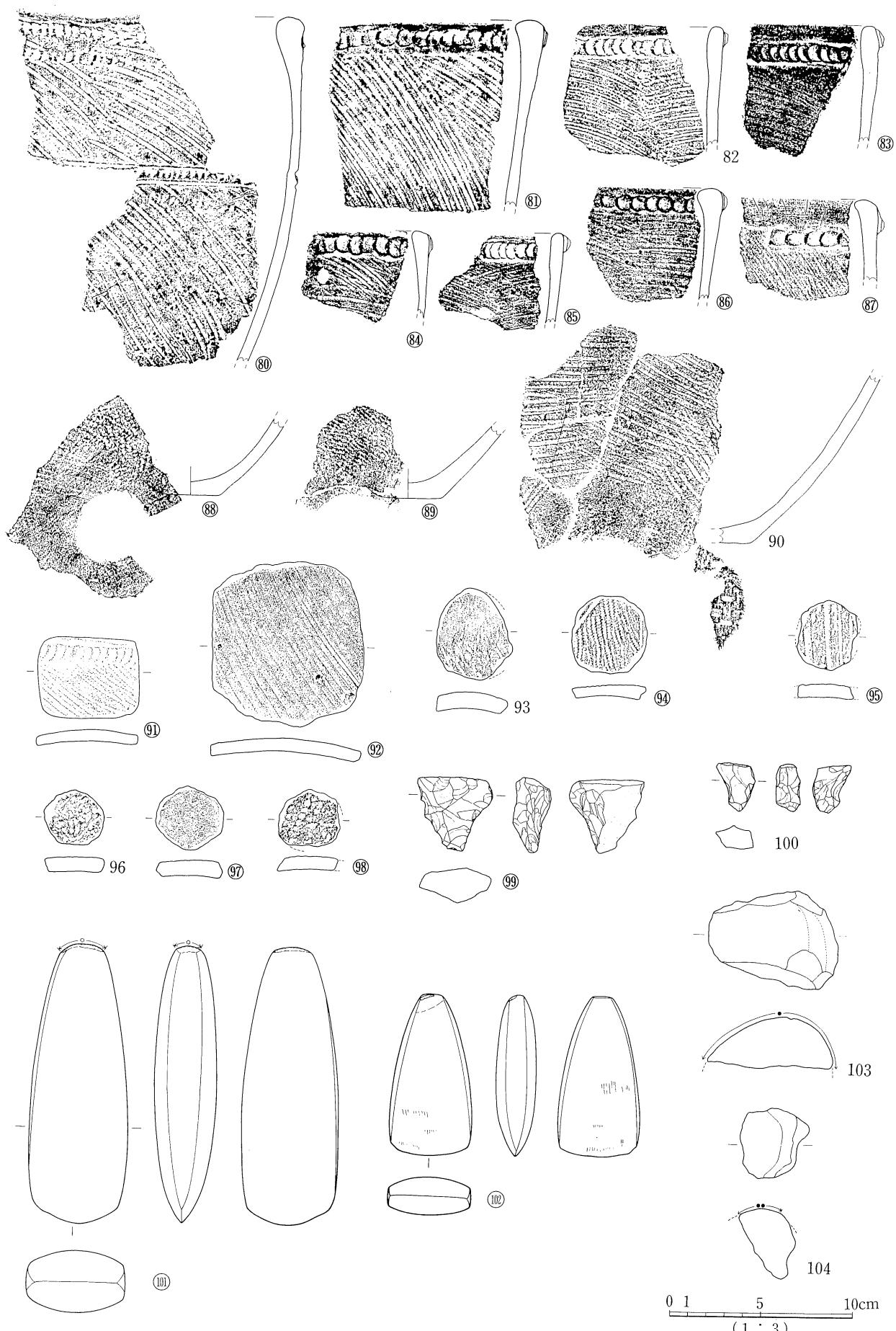
第446図 貝層実測図および出土遺物(25)



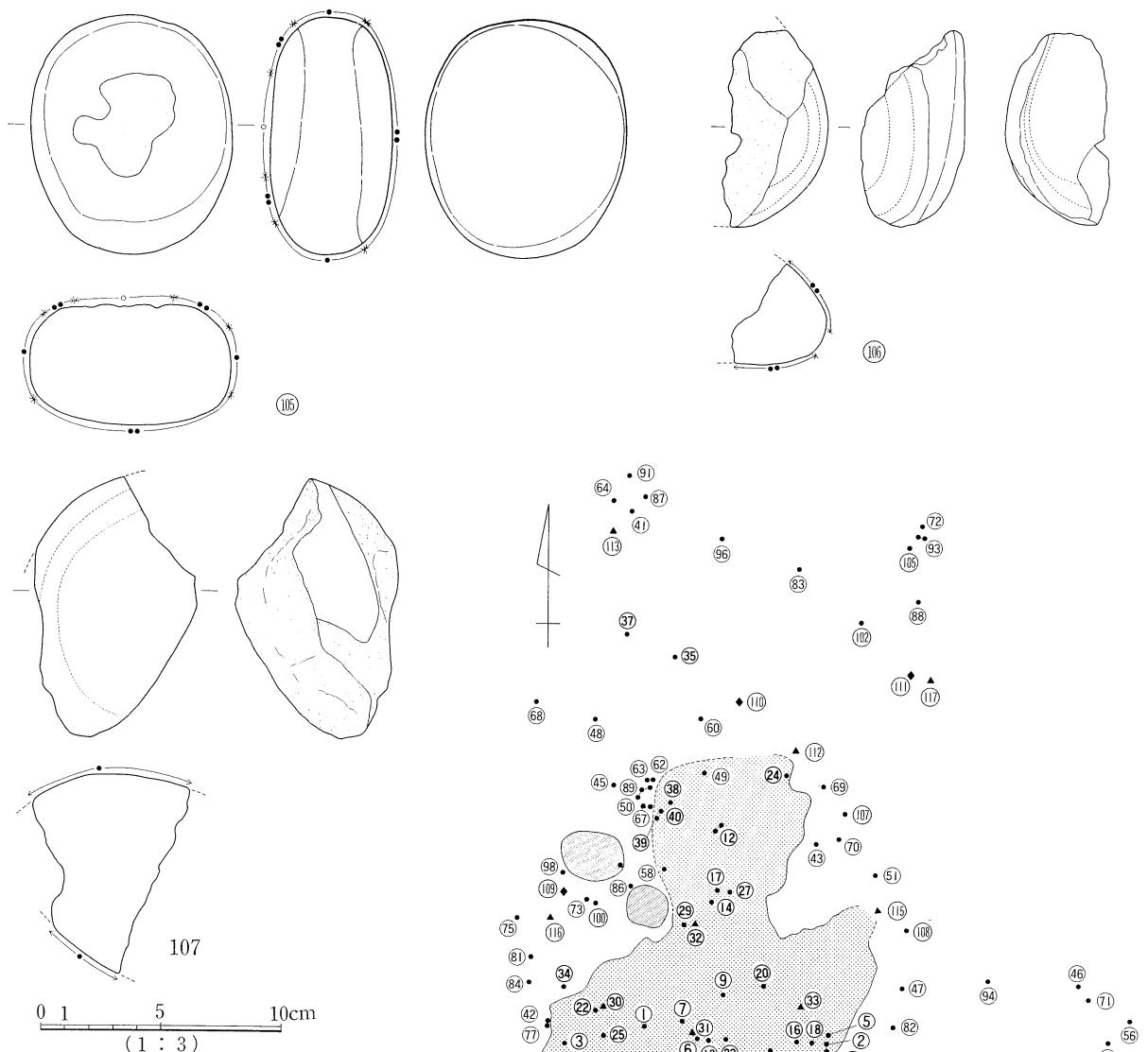
第447図 貝層出土遺物(26)



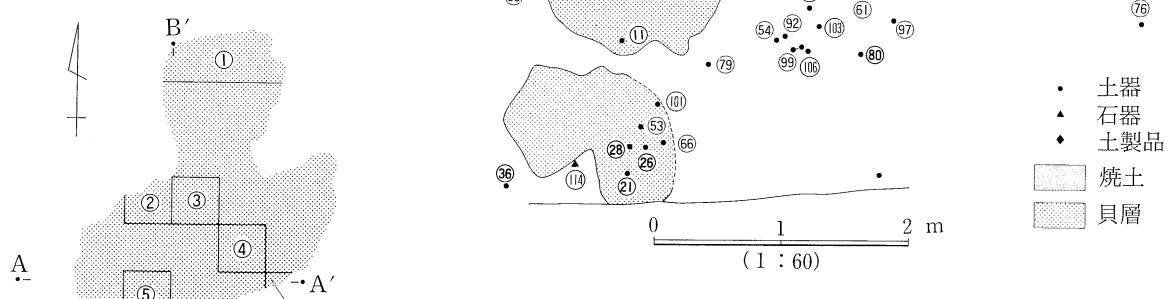
第448図 貝層出土遺物(27)



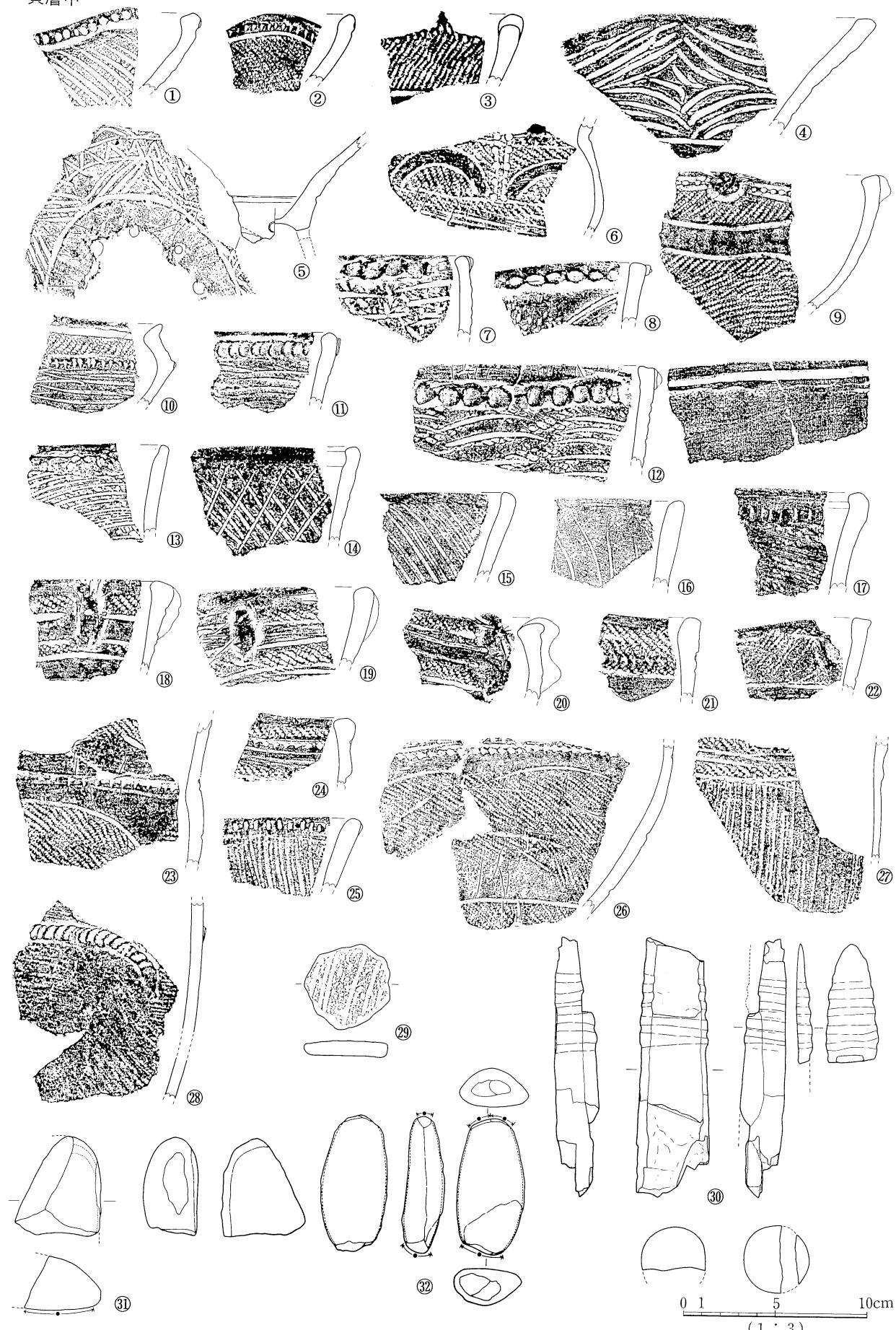
第449図 貝層出土遺物(28)



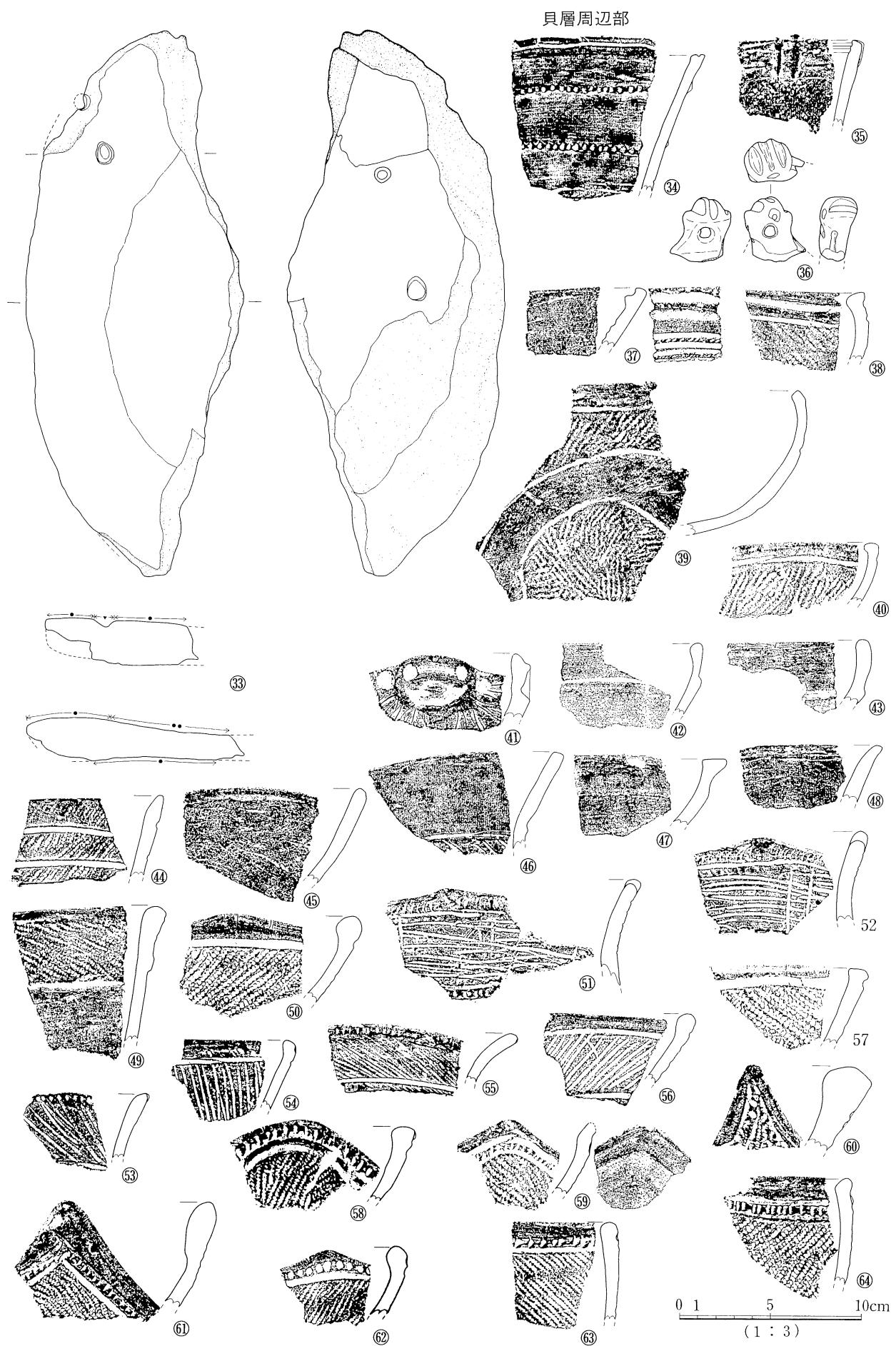
58号



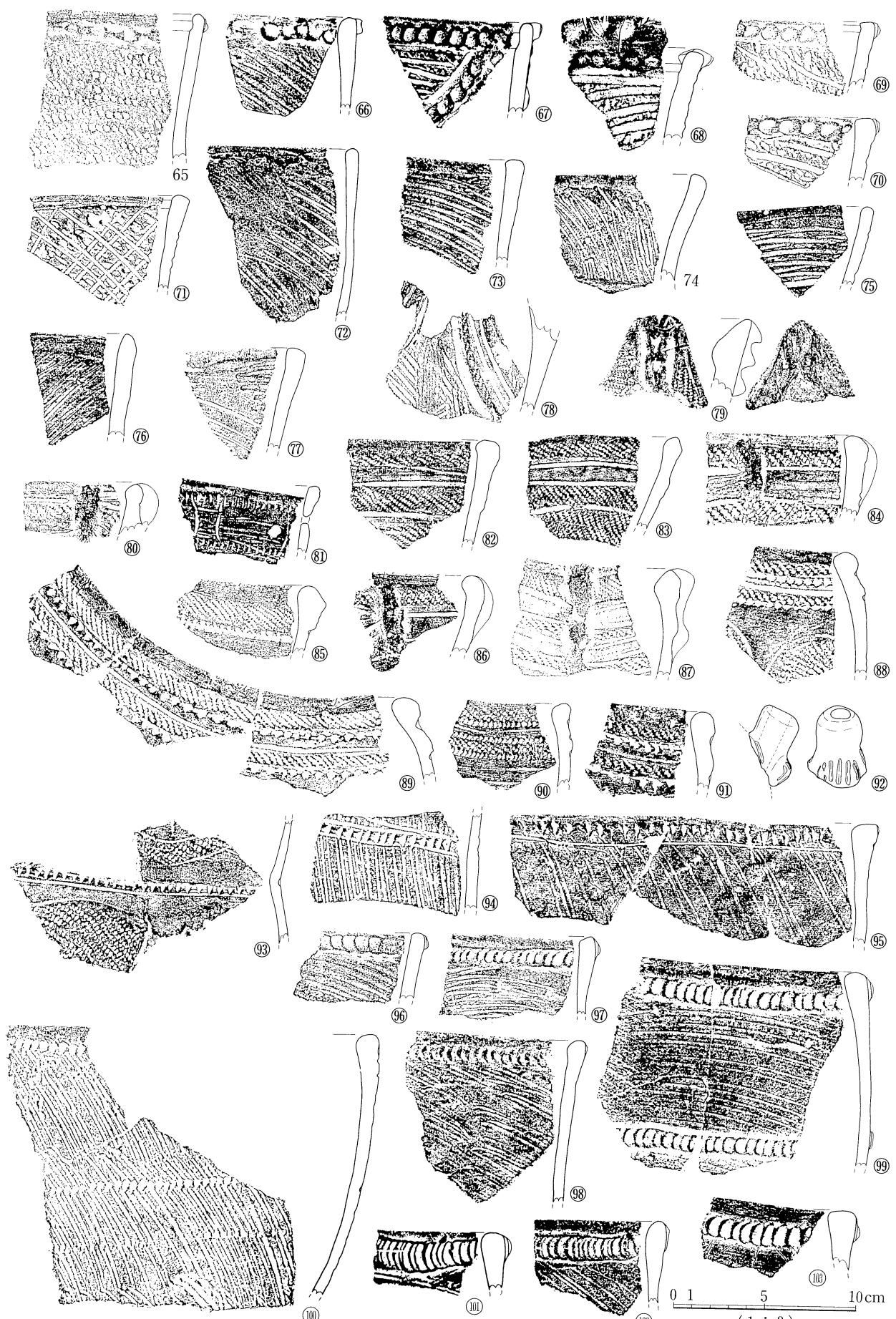
(58号)  
貝層中



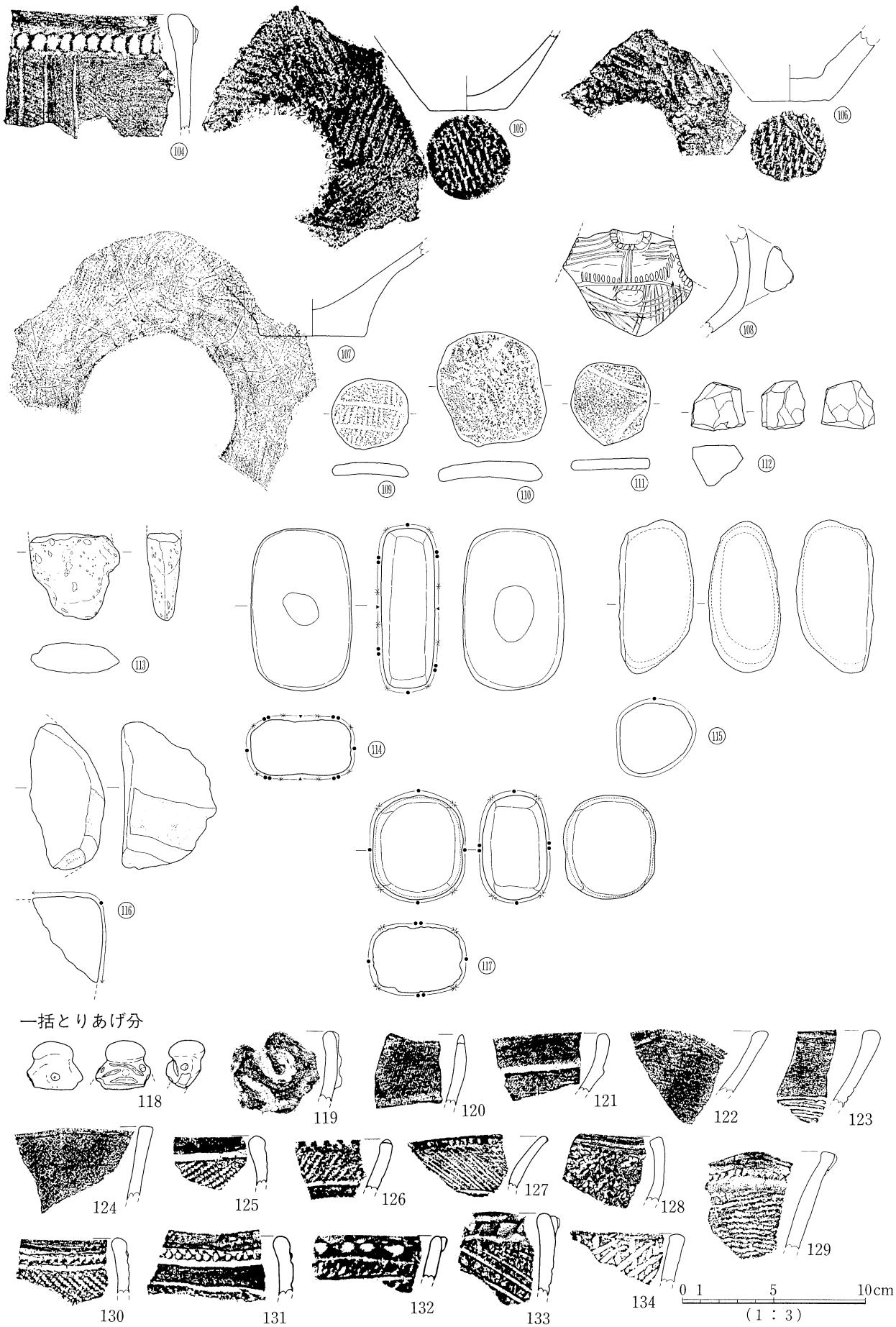
第451図 貝層出土遺物(30)



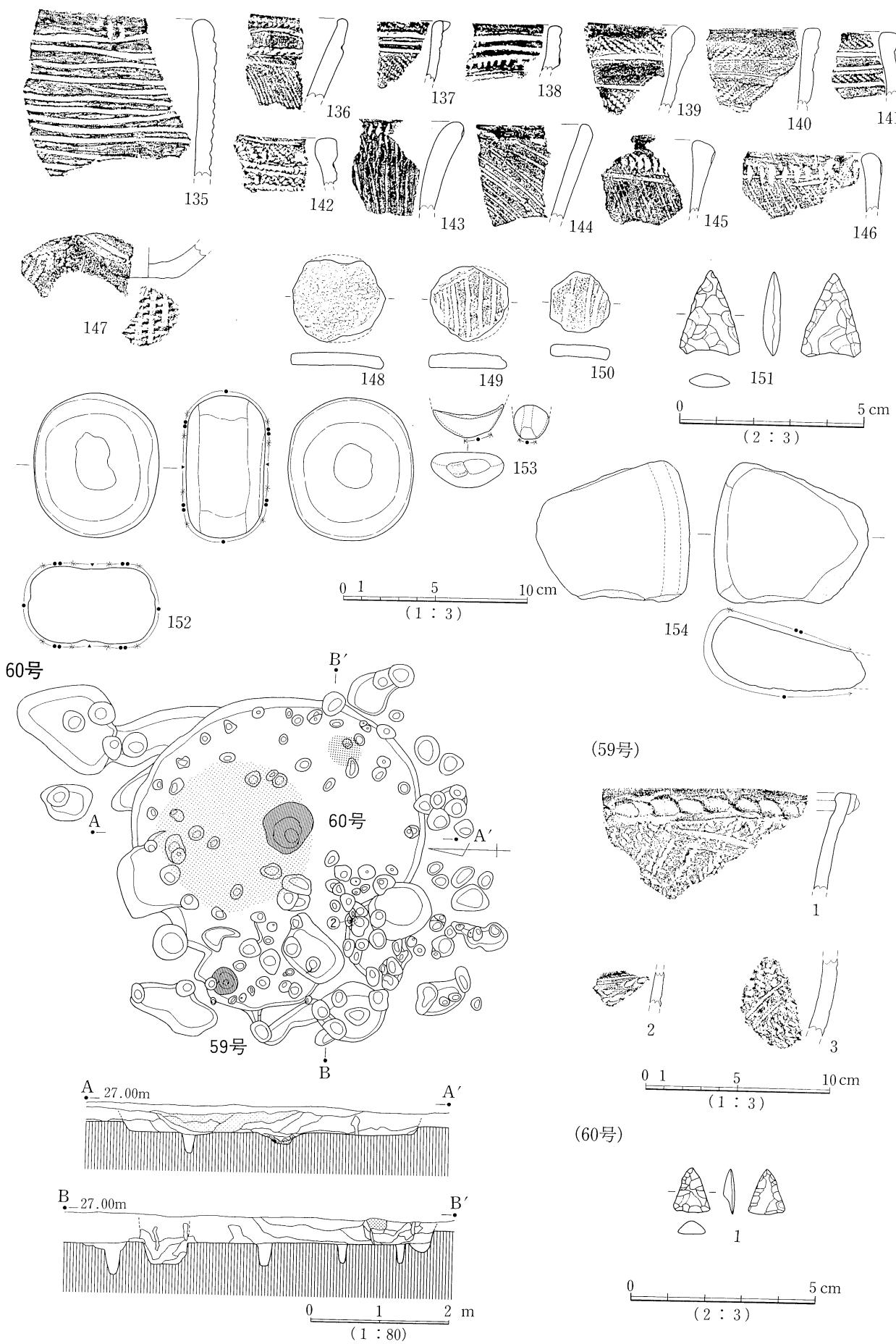
第452図 貝層出土遺物(31)



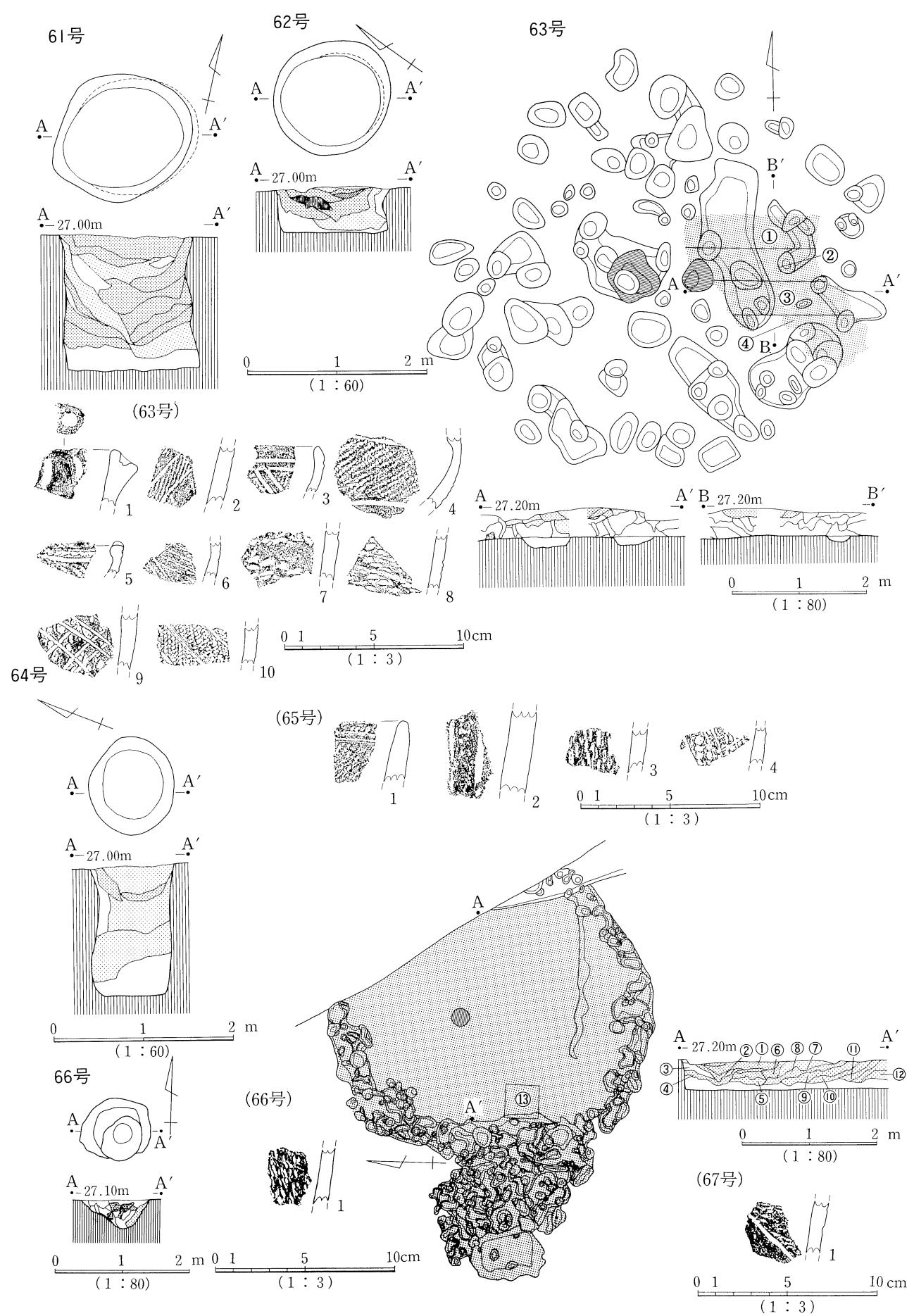
第453図 貝層出土遺物(32)



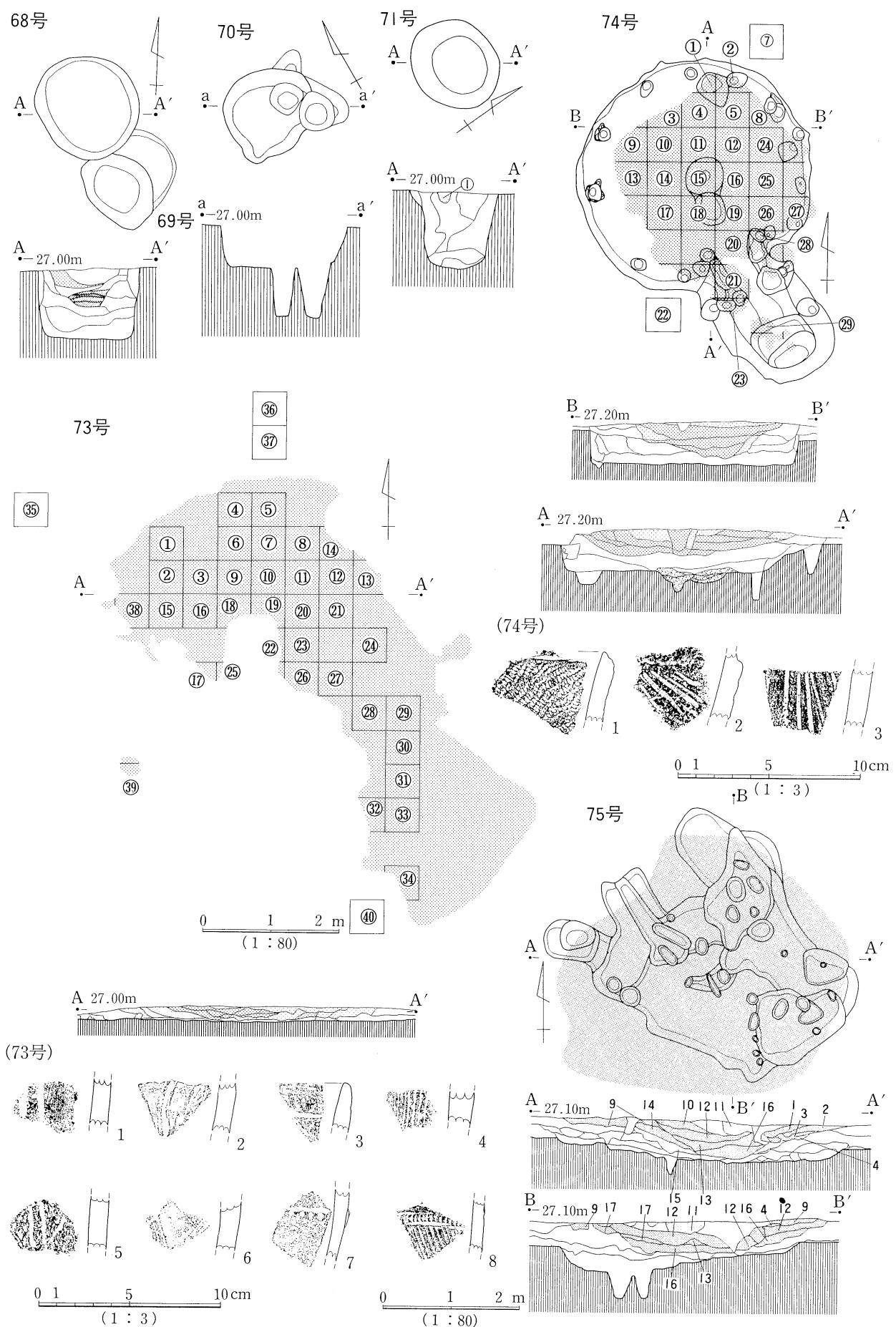
第454図 貝層出土遺物(33)



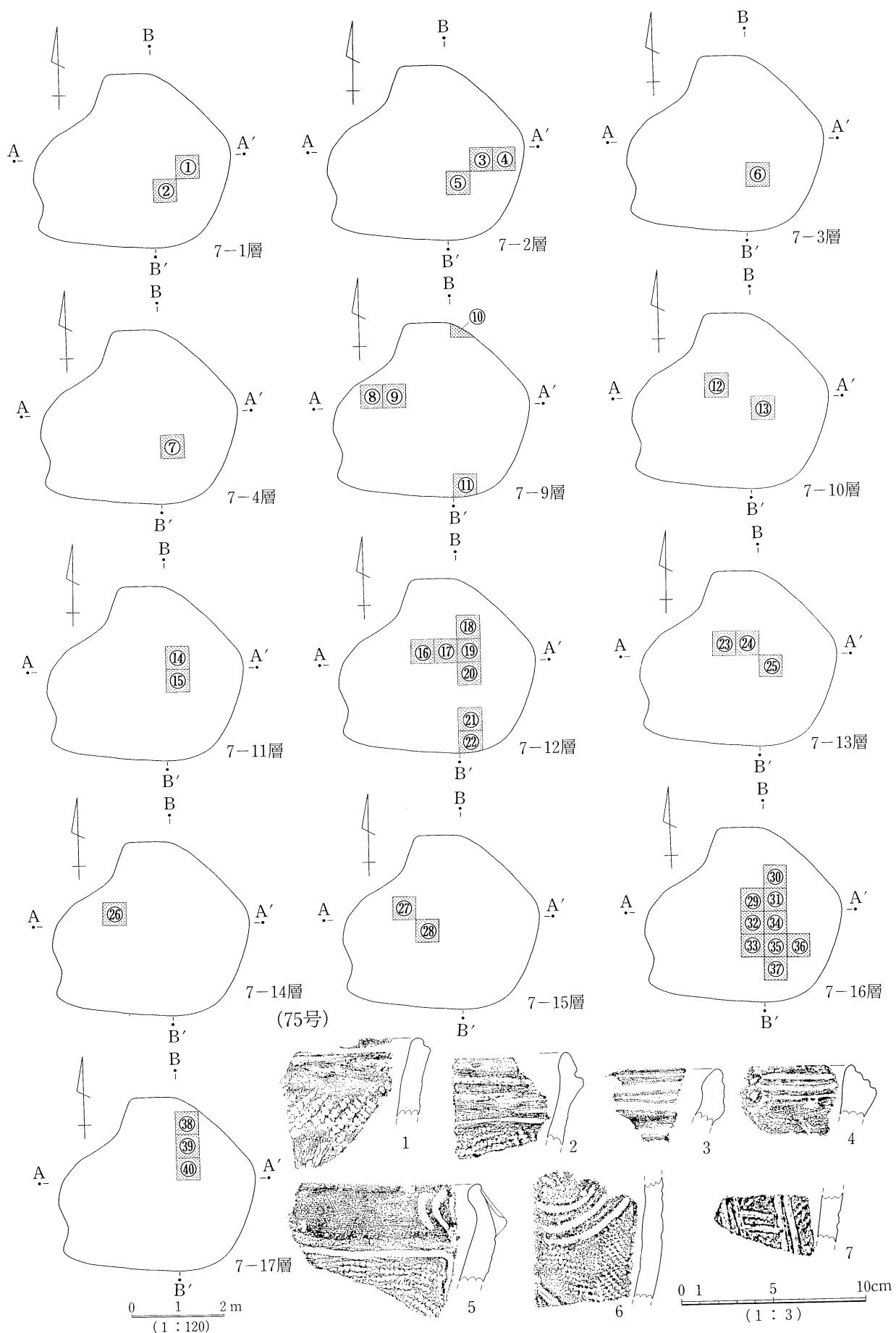
第455図 貝層実測図および出土遺物(34)



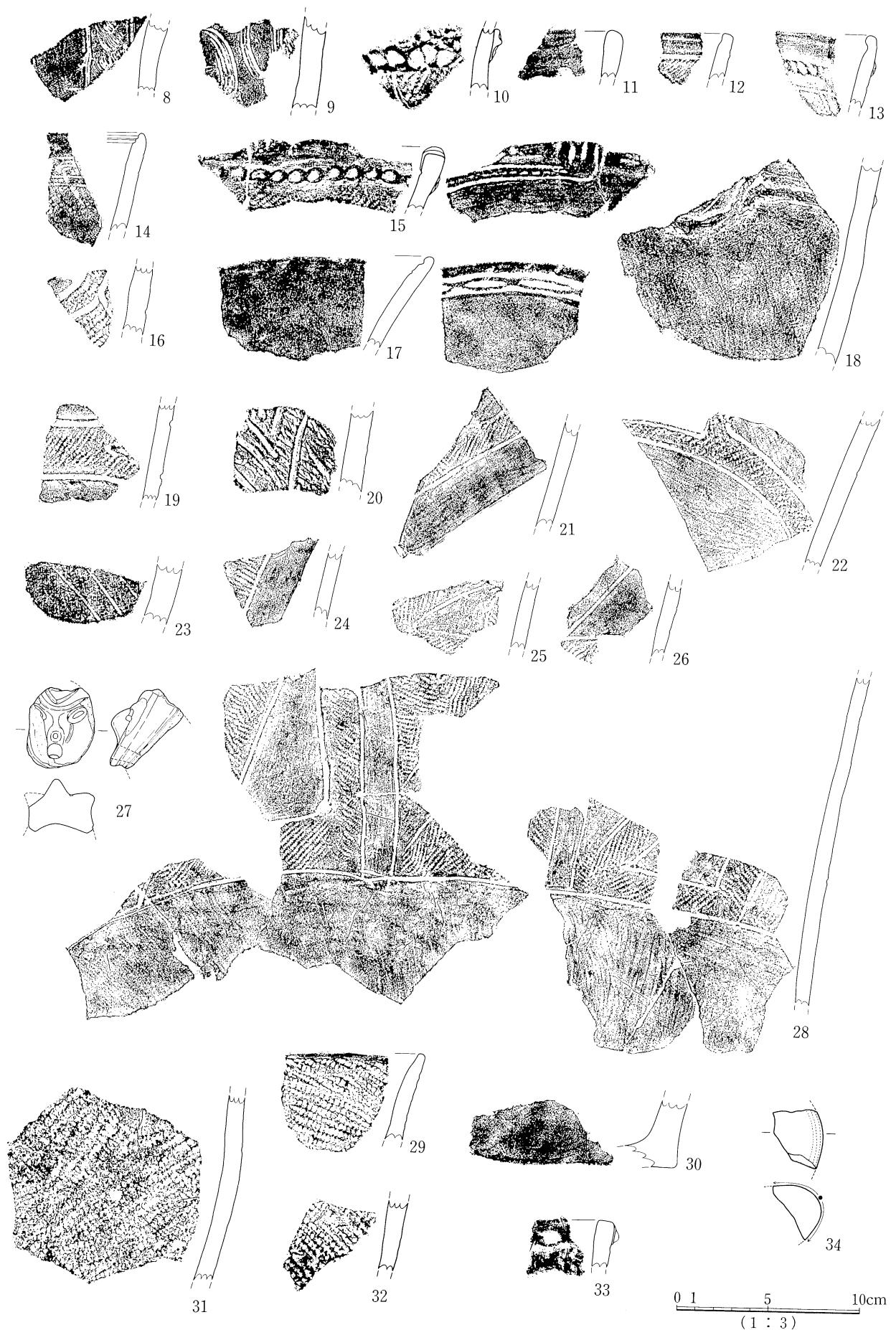
第456図 貝層実測図および出土遺物(35)



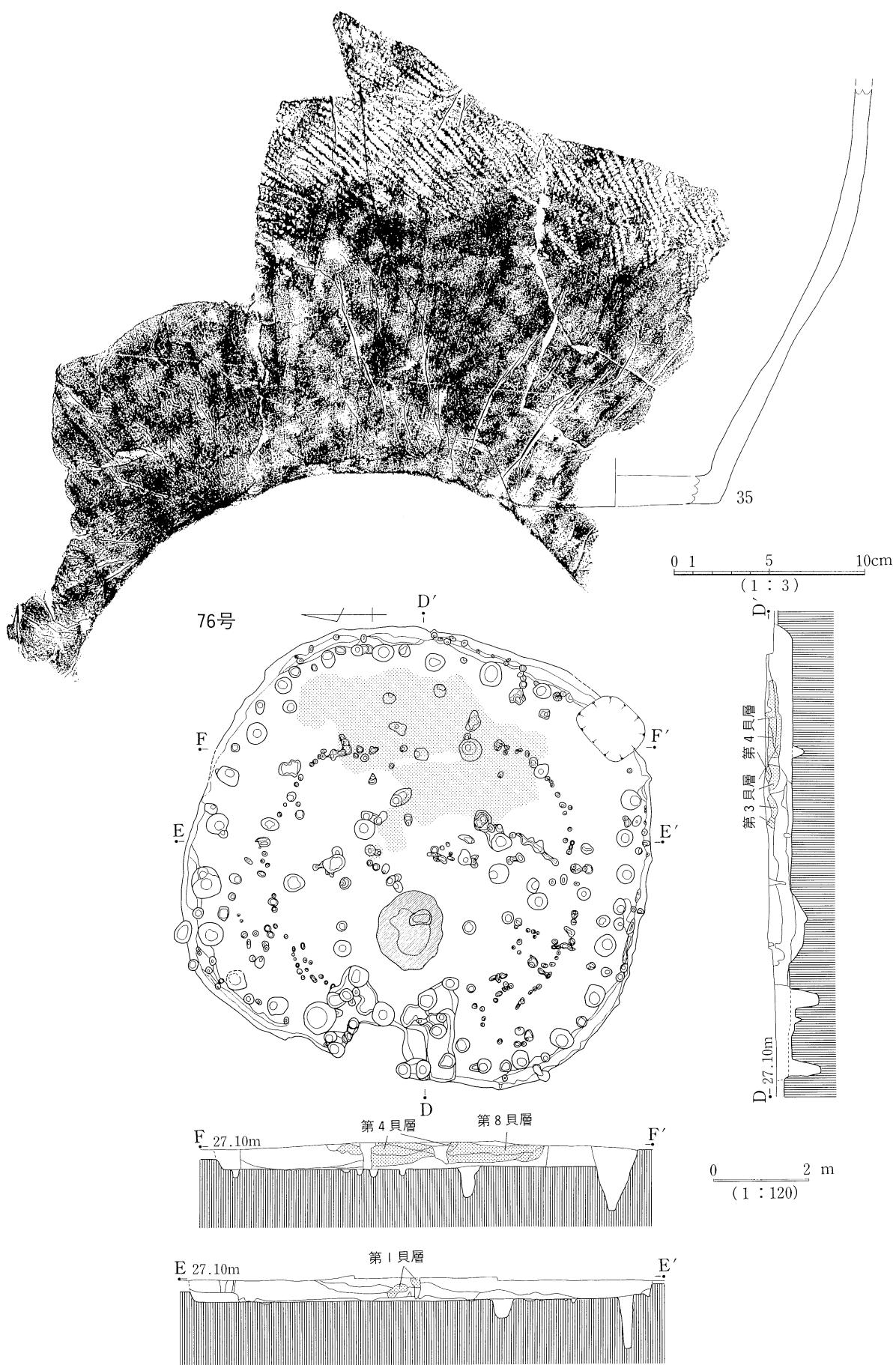
第457図 貝層実測図および出土遺物(36)



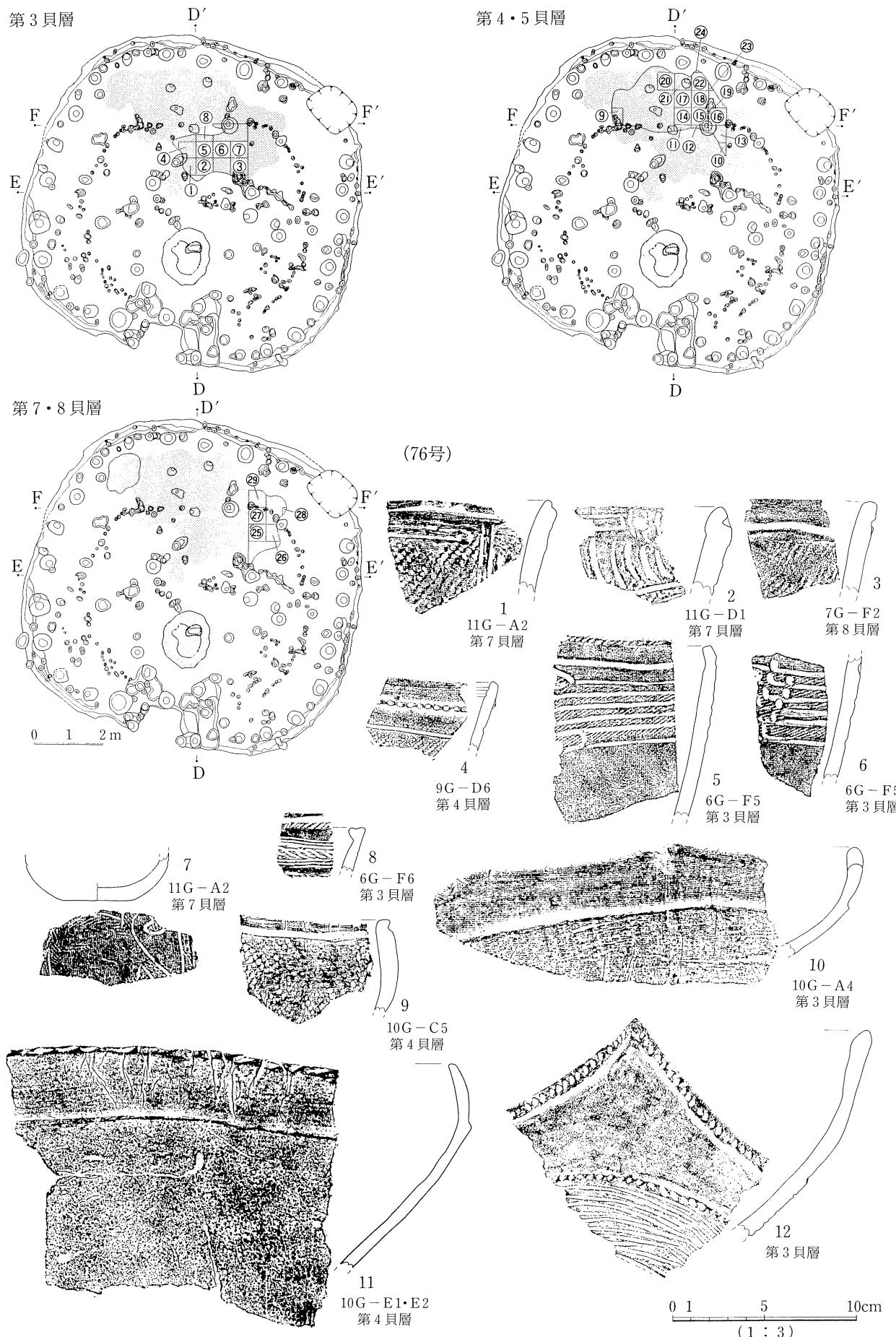
第458図 貝層実測図および出土遺物(37)



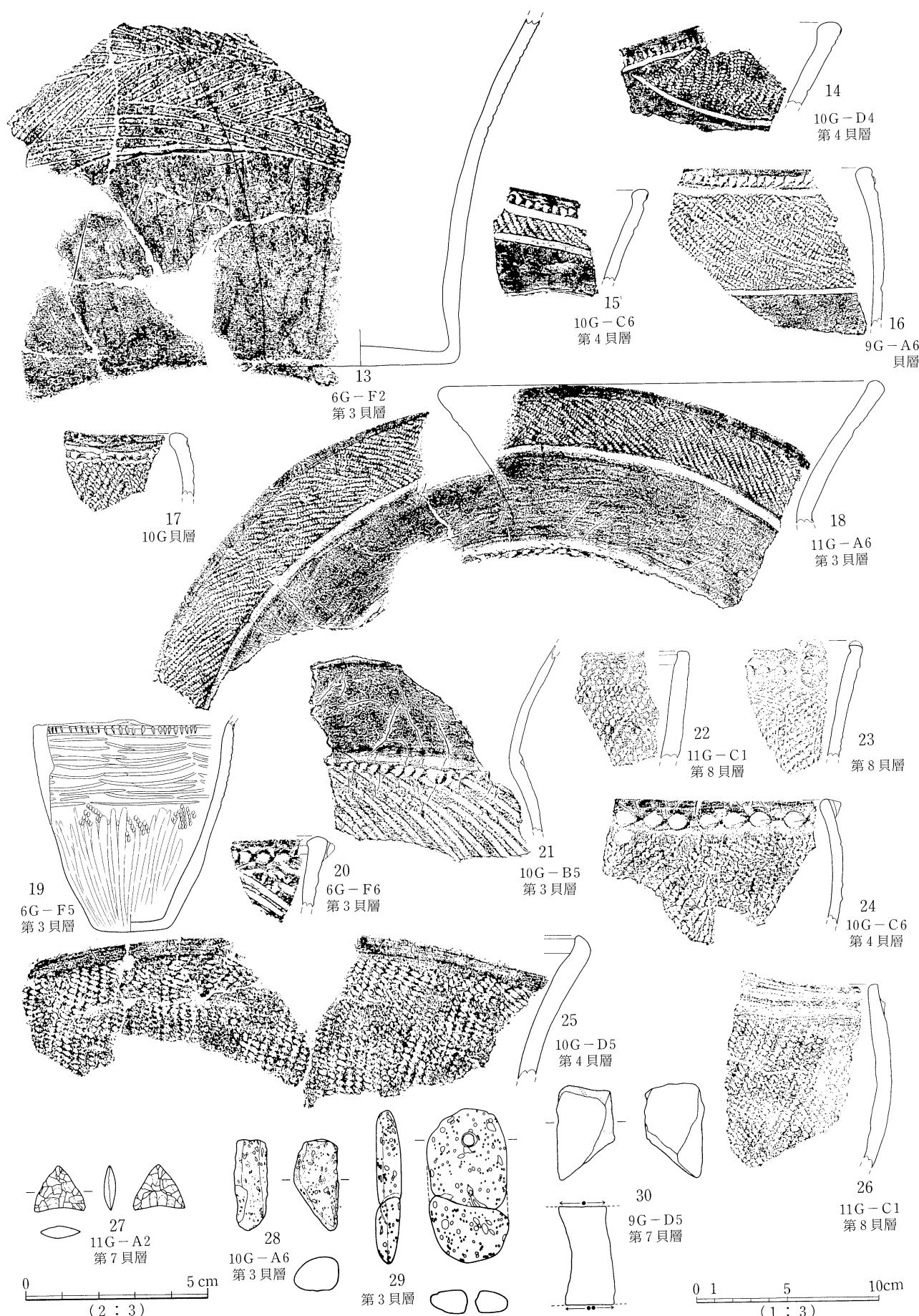
第459図 貝層出土遺物(38)



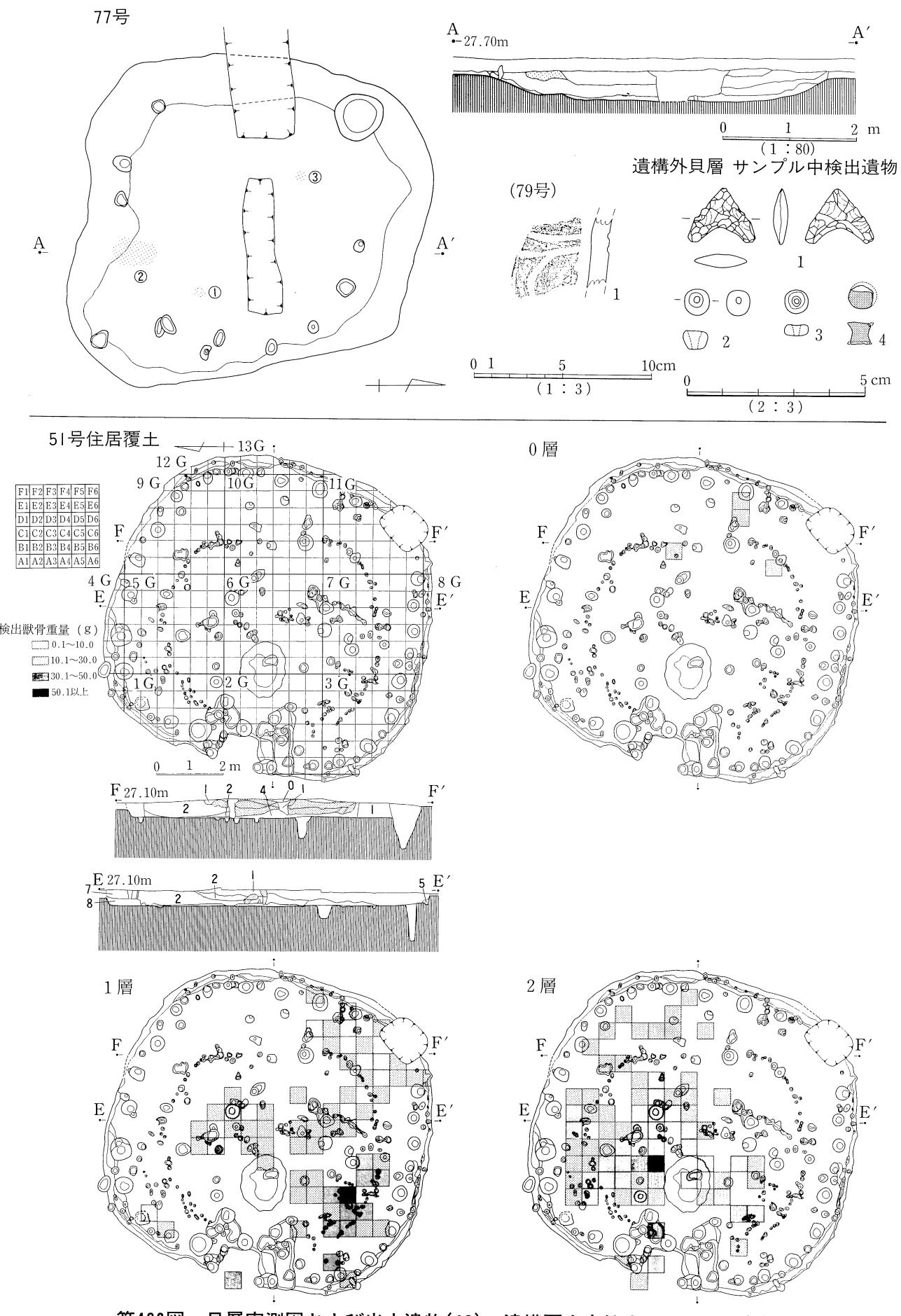
第460図 貝層実測図および出土遺物(39)



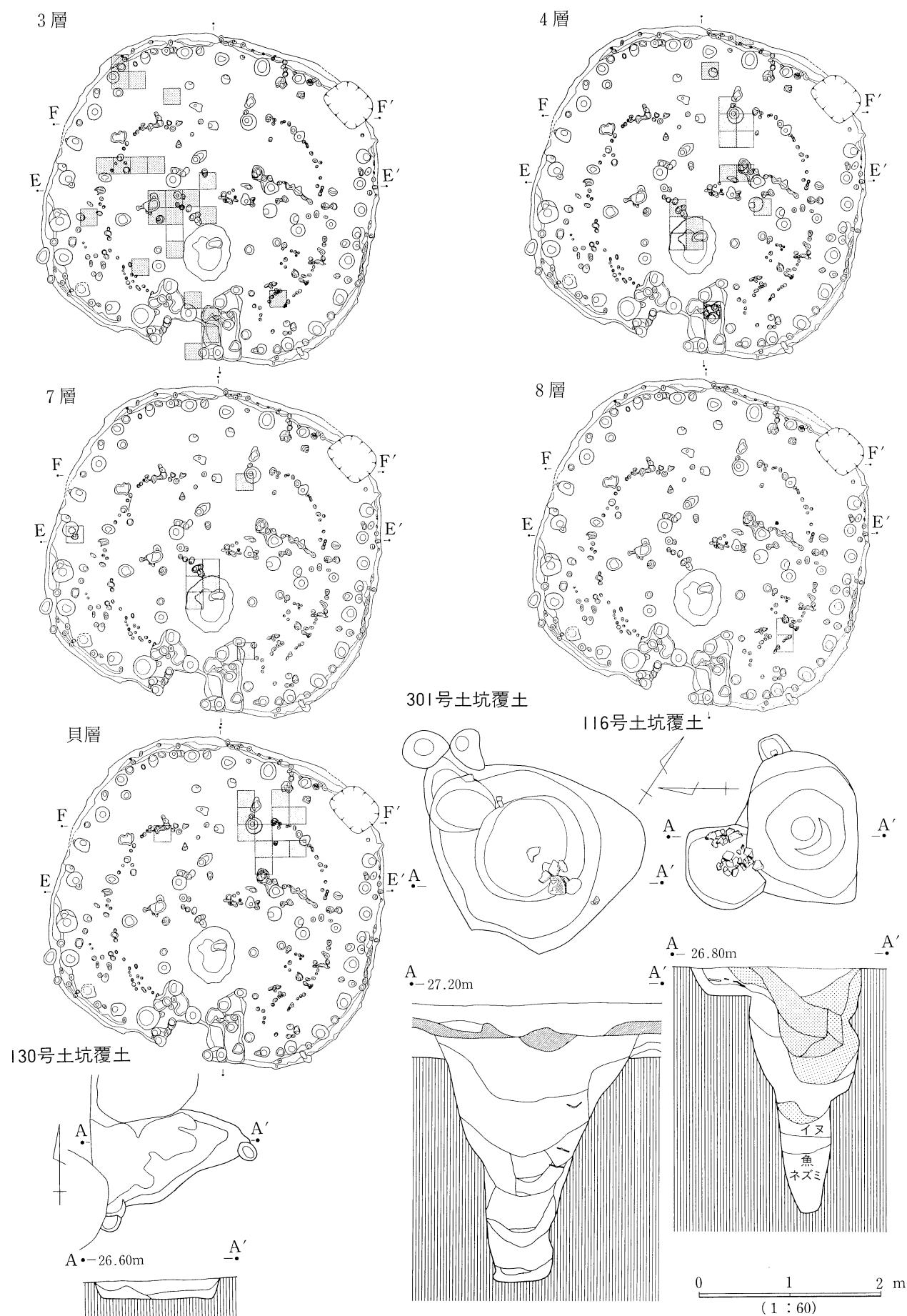
第461図 貝層実測図および出土遺物(40)



第462図 貝層出土遺物(41)



第463図 貝層実測図および出土遺物(42)、遺構覆土中検出の獣骨分布(1)



第464図 遺構覆土中検出の獣骨分布(2)

## 2 貝層出土の人工遺物

### a 土 器

各貝層サンプル出土の土器のうち貝層形成時期をある程度決められる可能性のある資料について、貝層の平面図・断面図とともにそれぞれ図示した（第422～463図）。ただしこれは、発掘調査時点で貝層中の出土資料がそれ以外の覆土中のものと明確に分離された資料および、貝層サンプルに含まれていた資料に限定している。明確に貝層出土のものとして判断できない資料については、その貝層が検出された遺構で出土のものとして取り扱っている。住居内貝層については概ね貝層とこれ以外の覆土出土のものが分離されているが、土坑内貝層についてはほとんどこれができないので、ここには図示していない。第II章2節の各土坑の出土遺物を参考にされたい。

### b 土製品、石器・石製品

主要なものについて各貝層ごとに図示した。土製品としては、土器片錐6・土製円盤19・釣手土器破片1・耳飾2・土偶1、石器・石製品としては、石鏃6・コア・フレーク81・浮子2・軽石製品7・打製石斧1・磨製石斧2・磨石・敲石15・凹石2・小型磨石2・石皿3・垂飾（小玉状）2・石棒・石剣1・結晶片岩系コア・フレーク4である。個々の遺物のデータについては、第IV章2節b・cの包含層出土のものの前に一覧表としてある。

### c 骨角貝製品

骨角貝製品は主として貝層サンプル中から検出されたものであるが、貝層を伴わない住居の覆土中や炉の覆土中からも稀に検出されている。また、人骨に伴つたものも4点ありここで一緒に扱うこととする。第41表に検出された骨角貝製品の器種構成と時期別の内訳を示した。骨角貝製品は総数で294点を数えるが、そのうちわけは、ヤス状刺突具18・鏃18・刺突具8・大型針1・牙斧1・彌形角製品8・貝刃59・スレ貝3・髪針6・管状垂飾61・巻貝製垂飾9・骨角歯牙製垂飾26・貝輪30・赤彩貝8・素材38である。このうち検出された貝層および遺構の時期から所属時期をおよそ推定できる資料は全体の約42%にあたる124点であり、称名寺20・堀之内26・加曾利B49・安行28・後～晩期1点となっている。本遺跡における各時期の貝層規模からすれば、加曾利Bから安行期の資料がやや多く検出されたことになる。検出された資料の半数以上が所属時期を明らかにできないため、器種ごとの時期差についてはあまり触れることができない。検出された資料の全てを第465～480図に、各資料のデータについては第42～56表に示した。つぎに器種ごとに特徴と留意すべき点について述べる。

#### ヤス状刺突具（第465図-1～18）

18点のうち12点までが鹿角製であり、通常多くみられるシカの中手・中足骨を素材としたものは3点のみである（13～15）。全体的に細身の形態のものが多いが、11・12はやや太型でとくに12は器体中央に溝を巡らせており、注意を要する。16はコウノトリの脛骨を、17はエイの尾棘を、18は魚の鰓棘を素材としている。

#### 鏃（第466図-19～36）

無茎鏃3点、有茎鏃15点である。無茎鏃（19～21）はイノシシ下顎犬歯を素材としており、20・21

は有孔である。有茎簇のうち10点が鹿角製、4点がシカ中手・中足骨製、1点がシカ脛骨製(31)である。33～36はかなり大型の部類に属する。36で全長7.8cmを測る。

#### 刺突具（第467図-37～44）

イノシシ下顎犬歯を素材としたいわゆる牙錐が3点(42～44)、シカ尺骨製1点(38)、鹿角製2点(39・40)、シカ脛骨製1点(37)、サルボウガイ製1点(41)である。このうち40は破片資料で、全体の形状は不明であるが、ヤス状刺突具とはできないのでこの部類に入れた。38・39がやや幅広になる他は、先端の細い錐状の形態となる。43の基部には孔がある。携行用の加工であろうか。

#### 大型針（第467図-45）

シカの中手・中足骨を素材とした半欠品が1点出土している。

#### 牙斧（第467図-46）

イノシシ下顎切歯の先端をノミ状に研ぎだした製品が1点出土している。

#### 彌形角製品（第468図-47～54）

上端部の短いタイプのもの3点(47～49)と、長いタイプのもの3点(50～52)、上面観が円形ではなく橢円形になるタイプ1点(53)、いわゆる靴型を呈するもの1点(54)と少ないながらもバラエティーに富んでいる。このうち特に注目すべき資料は54で、実測図の下に参考資料として並べた宮城県田柄貝塚のものと同類とみられる。線刻と赤彩による装飾的加工が施されている。53もあり類例を知らないが、上面観の形態には54と共通する意図がみられる。田柄貝塚の報告では、彌形角製品の形態の主体は後期後葉から晩期初頭を通じて上端部の短いもので、後期末葉以降に上端部の長いものが装飾的加工を施すものにとって変わる傾向にあり、また靴形を呈するもの3点は後期後葉にみられるという（田柄貝塚III 宮城県文化財調査報告書第111集 1986）。本遺跡の資料は、時期不明の48・53の2点以外は5点が加曾利B、1点が安行期のものであり、田柄貝塚よりも古い段階の様相を知ることができた。靴型を呈するものが加曾利B期にみられることが明らかにできたことは特筆に値する。

#### 貝刃（第469～472図）

総数で59点検出されているが、このうちの66%にあたる39点が貝層サンプル分析中に検出されたものであり、この種の製品を発掘調査中にみつけることの困難さがうかがえる数字である。9点がカガミガイ製のほかは、全てハマグリ製である。ハマグリ製のものの殻長の平均は7.4cmで、かなり大型の個体が素材として選ばれていることがわかる。付刃箇所は、腹縁部外面の後縁部を中心に腹縁全体の3/4程度の範囲に施したものが多く、3点のみ腹縁部の内側に付刃したものがある(84～86)。内面付刃の類例は、東京都伊皿子貝塚・延命院貝塚などで知られるがまだ検出例は少ない（伊皿子貝塚遺跡 港区教育委員会 1981・日暮里延命院貝塚 東京都荒川区教育委員会 1990）。存在の認識が広まれば今後類例は増えるものと思われる。

#### スレ貝（第472図-114～116）

3点検出された。ハマグリの腹縁部外面に擦痕が認められるものである。

#### 髪針（第275図-48、第473図-117～121）

6点検出されているが、それぞれ形態が異なる。48・118・121はいわゆる針状を呈しかなり細身である。48は62号人骨に供伴して検出された。121には頂部に線刻による装飾が施される。119はやや偏平な器体で、末端付近の破片とみられるが全面に斜め方向の彫刻的装飾がみられる。120は幅広偏平な

器体で、頂部付近に彫刻的な装飾がある。117は大型の製品で、頂部の破片とみられるが段状に彫刻されている。

#### 管状垂飾（第473図-122～182）

総数61点と本遺跡の骨角貝製品中最も多い。このうちの83%にあたる51点が貝層サンプル分析中に検出されたものであり、この種の製品を発掘調査中にみつけることの困難さがうかがえる数字である。本来管状を呈する素材を適当な長さに切断するだけのいたってシンプルな製品である。8点以外は貝製であり、ツノガイ類を素材とする。53点のうち30点がツノガイを、22点がヤカドツノガイを、1点のみマルツノガイを使用している。このうち124のマルツノガイ製のものは、29号住居の炉覆土中から検出されたもので、ツノガイ類中最大のこの種を素材とした珍しいもので、直径は1.3cmを測る。骨角製のもの8点のうちわけは、鹿角製1点(127)、ウミガメ指骨製2点(125・126)、カモやアホウドリなど鳥骨製4点(122・128～130)、オオカミ中足骨製1点(123)である。このうち128には骨の切断加工の他に彫刻的装飾が施される。

#### 巻貝製垂飾（第474図-183～188、第475図-189～191）

いわゆる巻貝を素材に穿孔や切断加工を施し垂飾に供したとみられる製品である。アマオブネガイの頂部を磨り減らして穿孔したもの(183・184)、ヒロクチカノコガイの頂部を磨り減らして穿孔したもの(185・186)、タカラガイの体層背面を切断除去し腹面部だけにしたもの(187)、イモガイの殻頂部を横方向に切断し円形の器体をつくりその中央部に穿孔したもの(188～191)がある。このうちアマオブネガイ・ヒロクチカノコガイ製の垂飾は類例が少なく注目に値する。

#### 骨角歯牙製垂飾（第273図-13、第274図-33、第275図-47、第475図-192～205、第476図-206～214）

動物の骨歯牙に穿孔を施すなどして垂飾に供したとみられる製品をここにまとめた。素材としては、鹿角製6点(33、47、211～214)、雌イノシシ下顎犬歯製3点(203～205)、雄イノシシ下顎犬歯製2点(13、210)、イノシシ下顎切歯製1点(206)、サメ椎骨製8点(195～202)、イヌ犬歯製2点(207・208)、タヌキ犬歯製1点(209)、イノシシ中節骨製1点(194)、シカ中手・中足骨製1点(192)、材質不明1点(193)である。このうち、鹿角製の2点(33・47)とイノシシ下顎犬歯製1点(13)は、それぞれ50号・62号・23号人骨に伴って検出された。穿孔以外の加工としては、193・194に赤彩が、13・47・193・211・213・214に線刻あるいは彫刻がみられる。

#### 貝輪（第476図-215～224、第477図-225～244）

総数30点検出された。貝種のうちわけは、サルボウガイ17点、ベンケイガイ10点、オオツタノハガイ2点、アカニシ1点である。加工方法としては、未製品を思わせるように貝殻中央部に穿孔した後とくに切断面を研磨して整形した痕跡のないもの(216・227・239など)や、切断面のみ研磨するもの(228・229など)、切断面はそのままだが殻表面が研磨されるもの(220・226など)、切断面・殻表面ともに入念に研磨されるもの(219・230・234など)など様々である。またこれに伴い貝輪の幅についても幅広のもの(233が最も幅広で4.0cm)から細身のもの(223が最も細身で0.4cm)まで色々ある。貝輪素材として検出例の少ないオオツタノハガイのうち1点には補修孔があり、当製品の貴重さが偲ばれる。

#### 赤彩貝（第477図-245・246、第478図-247～252）

8点検出されているが、このうち6点がオオノガイ、1点がムラサキガイ(246)、1点がハマグリ

第41表 骨角貝製品集計表

器種	ヤス状刺突具	縫	刺突具	太型針	牙斧	彎形角製品	貝刃	スレ貝	髪針	管状垂飾	巻貝製垂飾	青角齒牙製垂飾	貝輪	赤彩貝	素材	小計
称名寺	1	1	0	0	0	0	9	1	0	3	3	2	0	0	0	20
堀之内1・2	1	1	0	0	0	0	10	0	0	5	1	3	2	0	3	26
加曾利B	5	1	1	0	0	5	7	1	3	7	2	3	7	1	6	49
曾谷・安行1・2	2	3	2	0	0	1	3	0	0	5	0	2	1	1	8	28
安行1~3b	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
不明	9	12	4	1	1	2	30	1	3	41	3	16	20	6	21	170
総計	18	18	8	1	1	8	59	3	6	61	9	26	30	8	38	294

第42表 ヤス状刺突具計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	2		16	安行	シカ中手・中足骨	破片	4.5	0.7	0.8	1.9	第465図-13	
2	1		23	安行	鹿角	半欠	(3.9)	0.7	0.7	1.0	第465図-1	
3	1・2		29-2	称名寺	鹿角	破片	(2.0)	0.4	0.4	0.2	被熱・フレイより抽出	第465図-2
4	3		52	加曾利B	鹿角	破片	(2.1)	0.6	0.6	0.9	4mmフレイより抽出	第465図-3
5	3		60	加曾利B	エイ尾棘	一部欠	(4.9)	0.5	0.3	0.5	第465図-17	
6	3		60	加曾利B	鹿角	一部欠	(9.3)	0.7	1.4	7.2	第465図-12	
7	3		75-35	堀之内2	鹿角	破片	(4.6)	0.8	0.9	2.5	第465図-4	
8	3		76-1	加曾利B	鹿角	破片	(3.2)	0.6	0.5	1.1	被熱・10mmフレイより抽出	第465図-5
9	3	33号住居	加曾利B	シカ中手・中足骨	一部欠	(6.4)	0.5	0.5	1.3	炉中	第465図-14	
10	2	B2-49		不明	シカ中手・中足骨	半欠	(5.0)	0.8	0.6	1.7	第465図-15	
11	2	B2-68		不明	コウノトリ脛骨	半欠	(6.4)	1.0	0.6	1.8	第465図-16	
12	3	SH-62		不明	鹿角	一部欠	(7.0)	0.6	0.6	2.8	第465図-6	
13	3	SH-62		不明	鹿角	半欠	(3.8)	0.5	0.5	0.8	第465図-7	
14	3	SI-05		不明	鹿角	破片	(3.0)	0.4	0.4	0.7	第465図-8	
15	3	SI-23		不明	鹿角	破片	(4.1)	0.7	0.7	1.4	第465図-9	
16	3	SI-35		不明	鹿角	破片	(3.7)	1.8	1.6	7.9	被熱	第465図-11
17	3	TJ-37		不明	鹿角	半欠	(5.5)	1.1	1.0	2.9	第465図-10	
18	3	不明		不明	魚鱗棘	半欠	(3.7)	0.5	0.3	0.6	第465図-18	

第43表 錐計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	2		13-1	堀之内1	イノシシ下顎犬歯	完形	1.8	1.4	0.4	0.5	フレイより抽出	第466図-19
2	1		23	安行	鹿角	一部欠	(3.9)	1.0	0.5	0.6	第466図-32	
3	1		23	安行	シカ中手・中足骨	一部欠	(7.3)	1.1	0.9	3.7	第466図-33	
4	1・2		29-2	称名寺	鹿角	半欠	(3.6)	0.8	0.4	0.7	被熱	第466図-22
5	1・2		37	不明	シカ中手・中足骨	完形	6.7	1.3	0.7	3.0	第466図-34	
6	3		58	安行	鹿角	破片	(2.6)	0.9	0.7	1.5	被熱	第466図-23
7	3	51b号住居	加曾利B	鹿角	一部欠	(3.2)	0.6	0.7	0.9	覆土	第466図-24	
8	2	B2-58		不明	鹿角	一部欠	(4.7)	0.9	0.5	1.3	第466図-25	
9	2	B2-66		不明	鹿角	一部欠	(5.8)	1.4	0.6	2.3	第466図-35	
10	2	B3-11		不明	鹿角	完形	3.6	0.8	0.5	0.6	第466図-26	
11	3	SH-63		不明	イノシシ下顎犬歯	破片	(1.8)	(1.3)	0.3	0.7	10mmフレイより抽出	第466図-20
12	3	SH-94		不明	イノシシ下顎犬歯	破片	(2.7)	(1.6)	0.5	1.4	第466図-21	
13	3	SH-83		不明	シカ中手・中足骨	完形	2.8	0.8	0.7	0.8	第466図-29	
14	3	SI-13		不明	鹿角	完形	4.3	0.9	0.8	—	* 遺物なし	第466図-27
15	3	SI-60		不明	シカ脛骨	一部欠	(3.4)	1.3	0.5	1.2	10mmフレイより抽出	第466図-31
16	3	TI-63		不明	シカ中手・中足骨	一部欠	(2.1)	0.9	0.5	0.7	第466図-30	
17	3	不明		不明	鹿角	一部欠	(2.3)	0.7	0.6	0.6	第466図-28	
18	3	不明		不明	鹿角	完形	7.8	1.6	0.5	4.5	第466図-36	

第44表 刺突具計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	時期コード	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	2		16-8	安行	4	鹿角	破片	(1.3)	1.0	0.5	0.7	フレイより抽出	第467図-40
2	2		16	安行	4	シカ脛骨L後面	完形	9.5	2.0	0.7	8.0	第467図-37	
3	3		76-5	加曾利B	3	サルボウガイ	完形	3.5	0.6	0.3	0.4	1mmフレイより抽出	第467図-41
4	3	40号住居		安行2~3a	5	イノシシ下顎犬歯	半欠	(5.4)	2.8	0.8	5.5	覆土	第467図-42
5	2	B2-59		不明	6	シカ尺骨R	完形	15.1	4.8	2.5	29.7	第467図-38	
6	3	SI-13		不明	6	イノシシ下顎犬歯	完形	7.2	2.1	0.5	2.8	第467図-43	
7	3	SI		不明	6	鹿角	完形	4.8	1.2	0.8	2.2	第467図-39	
8	3	TI-51		不明	6	イノシシ下顎犬歯	完形	8.7	2.7	0.7	3.9	第467図-44	

第45表 大型針計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	3	不明		不明	シカ中手・中足骨	半欠	(6.0)	1.3	0.8	3.7	第467図-45	

第46表 牙斧計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	3	TI-84		不明	イノシシ下顎切歯	一部欠	(6.5)	1.2	0.7	4.0	第467図-46	

第47表 弓形角製品計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	2		15	加曾利B	鹿角	半欠	(1.9)	(1.5)	(1.7)	0.9	赤彩あり	第468図-54
2	2		16-7	安行	鹿角	一部欠	2.8	2.2	2.2	4.1		第468図-49
3	3		60	加曾利B	鹿角	破片	1.3	(0.8)	(0.4)	0.3		第468図-47
4	3		63-1	加曾利B	鹿角	一部欠	2.8	1.8	1.8	3.0		第468図-51
5	3		66	加曾利B	鹿角	一部欠	3.6	2.1	2.1	5.9		第468図-50
6	3	51号住居		加曾利B	鹿角	一部欠	3.4	1.5	1.5	3.5	被熱・覆土	第468図-52
7	2	B2-65		不明	鹿角	一部欠	1.4	2.0	1.6	2.1		第468図-53
8	2	B2-58		不明	鹿角	半欠	1.3	2.1	(1.0)	1.1		第468図-48

第48表 貝刀計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時 期	材 質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 量(g)	備 考	挿図No.
1	2		5	不明	ハマグリR	完形	8.6	6.7	2.2	20.5	フレイより抽出	第469図— 55
2	2		5	不明	ハマグリR	完形	7.8	6.3	2.0	18.8	フレイより抽出	第469図— 56
3	1		20-1	称名寺	ハマグリL	一部欠	(8.3)	6.8	2.3	37.2	フレイより抽出	第469図— 57
4	1		20-1	称名寺	ハマグリR	半欠	7.2	(4.4)	(1.7)	4.2	フレイより抽出	第469図— 58
5	1		23-11	安行	ハマグリR	完形	(6.0)	5.2	1.7	13.5	フレイより抽出	第469図— 59
6	1		23-18	安行	ハマグリL	完形	6.5	5.3	1.9	14.6	フレイより抽出	第469図— 60
7	1		23	安行	ハマグリR	完形	7.7	6.2	1.8	26.0		第469図— 61
8	1-2		29-2	称名寺	ハマグリL	一部欠	(9.6)	7.7	2.6	43.5	フレイより抽出	第469図— 62
9	4		43	不明	ハマグリ	破片	(2.5)	(1.7)	(0.2)	1.2	10mmフレイより抽出	第469図— 63
10	4		44-2	堀之内1	ハマグリL	完形	6.8	5.6	1.9	19.7	10mmフレイより抽出	第469図— 64
11	4		44-13	堀之内1	カガミガイL	完形	7.1	6.4	1.1	28.1	10mmフレイより抽出	第471図— 87
12	4		44-15	堀之内1	ハマグリR	一部欠	6.6	5.3	1.8	16.0	10mmフレイより抽出	第469図— 65
13	4		44	堀之内1	ハマグリR	一部欠	(6.8)	5.5	1.8	9.9		第469図— 66
14	4		44	堀之内1	ハマグリR	完形	5.9	4.7	1.7	10.7		第469図— 67
15	3		50-2	加曾利B	ハマグリR	一部欠	6.5	5.1	1.8	13.1	10mmフレイより抽出	第470図— 68
16	3		50-5	加曾利B	ハマグリR	完形	7.0	5.6	1.7	12.9	10mmフレイより抽出	第470図— 69
17	3		51	称名寺	ハマグリR	一部欠	(5.9)	4.8	1.7	8.3		第470図— 70
18	3		51	称名寺	ハマグリR	一部欠	(5.8)	6.1	2.0	17.6	覆土	第470図— 71
19	3		51	称名寺	ハマグリL	完形	8.1	6.6	1.9	26.6	覆土	第470図— 72
20	3		51	称名寺	ハマグリR	完形	7.0	5.6	2.0	17.6		第470図— 73
21	3		52	加曾利B	ハマグリR	一部欠	7.7	6.0	2.0	16.1	10mmフレイより抽出	第470図— 74
22	3		52	加曾利B	ハマグリR	一部欠	7.3	5.6	2.0	18.8	10mmフレイより抽出	第470図— 77
23	3		52	加曾利B	ハマグリR	破片	(4.4)	(2.1)	(0.6)	3.3	10mmフレイより抽出	第470図— 75
24	3		54-5	堀之内1	ハマグリL	破片	(5.0)	(2.3)	(1.3)	6.0	10mmフレイより抽出	第470図— 76
25	3		60	加曾利B	ハマグリL	完形	(8.9)	(6.5)	2.0	14.9		第470図— 78
26	3		61-1	称名寺	ハマグリL	完形	9.2	7.1	2.4	38.0		第470図— 79
27	3		61	称名寺	ハマグリR	一部欠	8.3	6.2	2.0	19.4		第470図— 80
28	3		63	加曾利B	ハマグリR	完形	8.7	6.8	2.3	36.1		第470図— 82
29	3		67-2	堀之内1	ハマグリR	一部欠	7.6	6.0	1.6	21.2	刃部内側 10mmフレイより抽出	第471図— 84
30	3		67-12	堀之内1	ハマグリR	一部欠	8.0	6.3	2.0	29.1	刃部内側 10mmフレイより抽出	第471図— 85
31	3		75-10	堀之内2	ハマグリR	完形	8.0	6.4	2.1	25.8	10mmフレイより抽出	第470図— 83
32	3		75-28	堀之内2	ハマグリL	完形	6.5	5.1	1.7	12.0	10mmフレイより抽出	第470図— 81
33	4	QH-80	不明	カガミガイR		完形	6.8	6.9	2.0	35.4		第471図— 88
34	3	SH-72	不明	ハマグリR		一部欠	9.0	7.0	2.3	31.0	10mmフレイより抽出	第471図— 96
35	3	SH-83	不明	ハマグリR		完形	6.4	4.8	1.7	13.3	10mmフレイより抽出	第471図— 97
36	3	SH-94	不明	ハマグリR		一部欠	(7.0)	7.0	2.0	33.9		第471図— 99
37	3	SH-94	不明	ハマグリ		破片	(2.6)	(2.2)	(0.5)	2.0	10mmフレイより抽出	第471図— 98
38	3	SH-95	不明	カガミガイR		一部欠	6.3	5.7	1.8	27.3	10mmフレイより抽出	第471図— 89
39	3	SI-01	不明	ハマグリR		完形	6.7	5.0	1.6	13.7	10mmフレイより抽出	第471図— 100
40	3	SI-02	不明	ハマグリL		完形	8.9	6.6	2.3	25.0	10mmフレイより抽出	第471図— 101
41	3	SI-03	不明	カガミガイL		完形	7.2	6.6	1.8	22.4	10mmフレイより抽出	第471図— 90
42	3	SI-03	不明	ハマグリR		一部欠	(6.1)	5.1	1.6	10.9	10mmフレイより抽出	第472図— 102
43	3	SI-03	不明	ハマグリR		半欠	(6.3)	5.7	1.8	15.4	10mmフレイより抽出	第472図— 103
44	3	SI-2?	不明	カガミガイR		完形	7.0	6.4	2.1	33.3		第471図— 91
45	3	SI-70	不明	ハマグリL		一部欠	(7.0)	6.3	2.2	13.7		第472図— 104
46	3	SI-70	不明	ハマグリR		完形	6.7	5.2	1.8	12.0		第472図— 105
47	3	TI-52	不明	ハマグリL		破片	(4.8)	(3.1)	(0.5)	3.6		第472図— 106
48	3	TI-52	不明	ハマグリL		一部欠	7.6	5.7	2.0	14.9		第472図— 107
49	3	TI-52	不明	ハマグリL		一部欠	8.1	6.2	1.9	20.4	10mmフレイより抽出	第472図— 108
50	3	TI-63	不明	ハマグリL		完形	6.2	4.8	1.6	11.5	10mmフレイより抽出	第472図— 112
51	3	TI-63	不明	カガミガイR		完形	7.7	7.2	2.0	46.8	10mmフレイより抽出	第471図— 92
52	3	TI-63	不明	ハマグリR		一部欠	6.6	5.2	1.8	14.0	10mmフレイより抽出	第472図— 110
53	3	TI-72	不明	カガミガイL		一部欠	6.1	5.6	1.4	17.4	10mmフレイより抽出	第471図— 93
54	3	TI-73	不明	カガミガイL		完形	6.5	5.9	1.9	25.5		第471図— 94
55	3	TI-81	不明	ハマグリR		一部欠	7.8	6.1	2.1	25.8	刃部内面 10mmフレイより抽出	第471図— 86
56	3	TI-82	不明	ハマグリR		破片	(3.7)	(5.6)	(0.8)	9.8		第472図— 111
57	3	SH-72	不明	ハマグリL		完形	6.2	5.9	1.5	10.5	10mmフレイより抽出	第472図— 109
58	3	SH-72	不明	ハマグリR		一部欠	(6.1)	5.1	1.5	9.1	10mmフレイより抽出	第472図— 113
59	3	SH-72	不明	カガミガイR		完形	6.7	5.8	1.6	23.6	10mmフレイより抽出	第471図— 95

第49表 スレ貝計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時 期	材 質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 量(g)	備 考	挿図No.
1	3		61	称名寺	ハマグリR	一部欠	(8.7)	6.6	2.4	25.4		第472図— 114
2	3		65	加曾利B	ハマグリR	一部欠	(4.3)	3.8	1.4	8.3	10mmフレイより抽出	第472図— 116
3	3			不明	ハマグリL	完形	5.2	4.5	1.5	9.7	10mmフレイより抽出	第472図— 115

第50表 髮針計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	3		76-3	加曾利B	鹿角	破片	(1.9)	0.3	0.3	0.2	被熱 4mmフルイより抽出	第473図-118
2	3	51b号住居		加曾利B	鹿角枝	破片	(1.8)	1.8	1.5	1.9	覆土・被熱	第473図-117
3	3	62号人骨		加曾利B	シカ中手・中足骨	破片	(5.2)	0.6	0.4	1.4		第275図-48
4	2	B3-22		不明	鹿角	半欠	(5.0)	0.7	0.5	1.5		第473図-119
5	3	SI-25		不明	シカ中手・中足骨	半欠	(5.1)	1.6	0.6	3.6		第473図-120
6	3	TI-62		不明	鹿角	一部欠	(6.3)	0.4	0.4	1.3		第473図-121

第51表 管状垂飾計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.	
1	2		11	堀之内1	ツノガイ	完形	1.0	0.3	0.3	0.1		第473図-131	
2	2		14-3	堀之内1	ヤカドツノガイ	一部欠	(2.9)	0.4	0.4	0.4	フルイより抽出	第474図-161	
3	2		16-9	安行	カモド類橈骨	完形	2.8	0.3	0.3	0.3	フルイより抽出	第473図-122	
4	1		18-5	堀之内1	ツノガイ	完形	1.9	0.3	0.3	0.2	フルイより抽出	第473図-132	
5	1		20-3	称名寺	ツノガイ	一部欠	(0.9)	0.4	0.4	+	フルイより抽出	第473図-133	
6	1		20-3	称名寺	ツノガイ	一部欠	(0.8)	0.5	0.5	0.1	フルイより抽出	第473図-134	
7	1		23-4	安行	ヤカドツノガイ	完形	4.1	0.5	0.5	0.7	フルイより抽出	第474図-162	
8	1		23-8	安行	ヤカドツノガイ	一部欠	(1.8)	0.5	0.5	0.2	フルイより抽出	第474図-163	
9	1		23-12	安行	ヤカドツノガイ	一部欠	(0.5)	0.3	0.3	+	フルイより抽出	第474図-164	
10	1		23-25	安行	ヤカドツノガイ	一部欠	(1.9)	0.4	0.4	0.2	フルイより抽出	第474図-165	
11	1-2		29-2	称名寺	オオカミ中足骨	完形	1.2	0.7	0.8	0.5	被熱 フルイより抽出	第473図-123	
12	4		44-5	堀之内1	ヤカドツノガイ	完形	1.7	0.4	0.4	0.2	4mmフルイより抽出	第474図-166	
13	3		50-2	加曾利B	ヤカドツノガイ	一部欠	(0.8)	0.2	0.2	+	1mmフルイより抽出	第474図-167	
14	3		55-1	堀之内1	ツノガイ	一部欠	(0.6)	0.4	0.4	0.1	4mmフルイより抽出	第473図-135	
15	3		63-1	加曾利B	ヤカドツノガイ	一部欠	(1.0)	0.4	0.4	0.1	4mmフルイより抽出	第474図-168	
16	3		63-1	加曾利B	ツノガイ	一部欠	(0.3)	0.2	0.2	+	1mmフルイより抽出	第473図-136	
17	3		63-1	加曾利B	ヤカドツノガイ	一部欠	(0.5)	0.4	0.4	0.1	1mmフルイより抽出	第474図-169	
18	3		76-4	加曾利B	ツノガイ	一部欠	(1.6)	0.4	0.4	0.2	4mmフルイより抽出	第473図-137	
19	3		76-27	加曾利B	ヤカドツノガイ	完形	0.7	0.2	0.2	+	1mmフルイより抽出	第474図-170	
20	3	29号住居	加曾利B		マルツノガイ	一部欠	(2.2)	1.3	1.2	1.4	炉覆土	第473図-124	
21	2	B2-20		不明	ウミガメ指骨	完形	1.2	1.1	0.9	0.7		第473図-125	
22	2	B2-60		不明	ウミガメ指骨	完形	1.2	1.1	0.9	0.7		第473図-126	
23	2	B2-62		不明	鹿角	完形	3.8	1.9	1.7	10.7		第473図-127	
24	2	B2-66		不明	トリ橈骨(アホウドリ?)	完形	2.4	0.6	0.5	2.1		第473図-128	
25	4	QI-34		不明	ツノガイ	完形	3.7	0.5	0.5	0.7		第473図-138	
26	4	QI-34		不明	ツノガイ	完形	3.0	0.6	0.6	0.9	4mmフルイより抽出	第473図-139	
27	3	SH-62		不明	ツノガイ	完形	3.0	0.5	0.5	0.8		第473図-140	
28	3	SH-81		不明	ツノガイ	完形	3.1	0.6	0.6	1.0		第473図-141	
29	3	SI-08		不明	ヤカドツノガイ	一部欠	1.8	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-171	
30	3	SI-11		不明	ツノガイ	完形	1.7	0.4	0.4	0.2	4mmフルイより抽出	第473図-142	
31	3	SI-12		不明	ツノガイ	完形	1.5	0.5	0.5	0.1	4mmフルイより抽出	第473図-143	
32	3	SI-12		不明	ツノガイ	完形	2.0	0.4	0.4	0.1	4mmフルイより抽出	第473図-144	
33	3	SI-12		不明	ヤカドツノガイ	完形	0.5	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-172	
34	3	SI-13		不明	ツノガイ	一部欠	2.3	0.5	0.5	+	4mmフルイより抽出	第473図-145	
35	3	SI-14		不明	ツノガイ	一部欠	1.4	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第473図-146	
36	3	SI-60		不明	ツノガイ	完形	2.4	0.6	0.6	0.9	4mmフルイより抽出	第473図-149	
37	3	SI-70		不明	ツノガイ	完形	0.3	0.5	0.5	0.5	+	4mmフルイより抽出	第473図-147
38	3	SI-70		不明	ツノガイ	完形	1.9	0.4	0.4	0.1	4mmフルイより抽出	第473図-150	
39	3	SI-70		不明	ヤカドツノガイ	一部欠	1.6	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-173	
40	3	SI-70-80		不明	ツノガイ	完形	1.8	0.6	0.6	0.2	4mmフルイより抽出	第473図-151	
41	3	TI-51		不明	ヤカドツノガイ	完形	1.0	0.3	0.3	0.3	+	4mmフルイより抽出	第474図-174
42	3	TI-52		不明	ヤカドツノガイ	完形	1.7	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-175	
43	3	TI-52		不明	ヤカドツノガイ	一部欠	1.1	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-176	
44	3	TI-52		不明	ヤカドツノガイ	一部欠	1.1	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-177	
45	3	TI-62		不明	ツノガイ	完形	0.5	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第473図-148	
46	3	TI-63		不明	トリ橈骨(アホウドリ?)	完形	2.1	0.5	0.5	0.4	4mmフルイより抽出	第473図-129	
47	3	TI-63		不明	ツノガイ	完形	0.9	0.2	0.2	+	4mmフルイより抽出	第474図-152	
48	3	TI-71		不明	ツノガイ	完形	1.7	0.4	0.4	0.1	4mmフルイより抽出	第474図-153	
49	3	TI-71		不明	ツノガイ	完形	2.4	0.5	0.5	0.4	4mmフルイより抽出	第474図-154	
50	3	TI-72		不明	トリ上腕骨(カモ?)	完形	0.5	0.7	0.5	+	4mmフルイより抽出	第473図-130	
51	3	TI-72		不明	ツノガイ	一部欠	1.3	0.6	0.6	0.3	4mmフルイより抽出	第474図-155	
52	3	TI-82		不明	ツノガイ	完形	2.5	0.5	0.5	0.5	4mmフルイより抽出	第474図-156	
53	3	TI-82		不明	ヤカドツノガイ	完形	2.2	0.4	0.4	0.2	4mmフルイより抽出	第474図-178	
54	3	TI-92		不明	ヤカドツノガイ	完形	3.2	0.5	0.5	0.4	4mmフルイより抽出	第474図-179	
55	3	不明		不明	ツノガイ	一部欠	(2.3)	0.4	0.5	0.4		第474図-157	
56	3	不明		不明	ツノガイ	完形	2.5	0.5	0.5	0.4	4mmフルイより抽出	第474図-158	
57	3	不明		不明	ツノガイ	完形	2.7	0.5	0.5	0.4	4mmフルイより抽出	第474図-159	
58	3	不明		不明	ツノガイ	完形	1.1	0.5	0.5	+	4mmフルイより抽出	第474図-160	
59	3	不明		不明	ヤカドツノガイ	一部欠	1.1	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-180	
60	3	不明		不明	ヤカドツノガイ	一部欠	1.0	0.4	0.4	+	4mmフルイより抽出	第474図-181	
61	3	不明		不明	ヤカドツノガイ	一部欠	1.0	0.4	0.4	0.2	4mmフルイより抽出	第474図-182	

第52表 卷貝製垂飾計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	4		40	堀之内1	タカラガイ	完形	1.7	1.1	0.5	0.5	10mmフルイより抽出	第474図-187
2	4		41	称名寺	ヒロクチカノコガイ	完形	1.2	0.8	0.6	0.1	4mmフルイより抽出	第474図-186
3	4		41	称名寺	ヒロクチカノコガイ	完形	1.3	0.9	0.7	0.3	4mmフルイより抽出	第474図-185
4	3		50-2	加曾利B	イモガイ	完形	2.2	2.4	1.1	4.4	10mmフルイより抽出	第475図-189
5	3		50-2	加曾利B	イモガイ	完形	1.3	1.4	1.0	1.1	10mmフルイより抽出	第475図-190
6	3		61-2	称名寺	アマオブネガイ	完形	2.7	2.0	1.4	3.3	10mmフルイより抽出	第474図-183
7	3	SH-33		不明	イモガイ	一部欠	(2.5)	(2.3)	1.1	4.1		第475図-191
8	3	SH-63		不明	イモガイ	完形	1.0	1.0	0.2	0.2	4mmフルイより抽出	第474図-188
9	3	不明		不明	アマオブネガイ	完形	2.2	1.6	1.2	1.5	10mmフルイより抽出	第474図-184

第53表 骨角歯牙製垂飾計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	2		11	堀之内1	サメ椎骨	一部欠	2.4	2.4	1.3	2.4		第475図-195
2	2		11	堀之内1	♀イノシシ下顎大歯R	完形	6.5	1.6	1.1	9.3		第475図-203
3	2		11	堀之内1	鹿角	一部欠	(7.6)	2.6	2.6	13.2		第476図-212
4	2		16	安行	鹿角	半欠	(4.1)	2.2	1.4	3.7		第476図-211
5	1		20-1	称名寺	シカ中手・中足骨	完形	6.9	1.2	0.6	3.3		第475図-192
6	3		58	安行	—	破片	(2.0)	(2.4)	0.4	1.6	赤彩	第475図-193
7	3	31号住居	加曾利B	♀イノシシ下顎大歯R	一部欠	(2.4)	1.2	0.7	1.6	覆土		第475図-205
8	3	51b号住居	加曾利B	鹿角	破片	1.2	0.9	0.6	0.5	覆土・被熱		第476図-213
9	1	130号土坑	不明	♀イノシシ下顎大歯R	完形	5.7	2.9	0.8	5.7	覆土・孔未貫通		第475図-204
10	1-2	23号人骨	称名寺	イノシシ下顎大歯	一部欠	(10.4)	(1.7)	0.6	8.2	副葬品		第273図-13
11	3	50号人骨	不明	鹿角	破片	(5.0)	1.6	1.2	3.8			第274図-33
12	3	62号人骨	加曾利B	鹿角	一部欠	1.6	(1.5)	1.5	0.9			第275図-47
13	1	D3-96	不明	鹿角	半欠	(3.3)	0.8	(0.7)	1.4	被熱		第476図-214
14	1-2	不明	不明	イノシシ下顎大歯	完形	4.5	0.7	0.6	2.6			第476図-210
15	4	QI-34	不明	サメ椎骨	完形	2.7	2.7	1.3	3.3			第475図-196
16	3	RH-10	不明	イノシシ下顎切歯	一部欠	(5.3)	0.9	0.7	3.0			第476図-206
17	3	SH-45	不明	サメ椎骨	一部欠	0.7	0.7	0.4	+	10mmフルイより抽出		第475図-197
18	3	SH-62	不明	イヌ下顎大歯R	完形	3.2	1.0	0.5	0.9			第476図-207
19	3	SH-73	不明	イヌ上顎大歯L	一部欠	(2.9)	1.0	0.5	1.0			第476図-208
20	3	SI-03	不明	サメ椎骨	完形	1.1	1.0	0.8	0.1			第475図-198
21	3	SI-24	不明	イノシシ中節骨(若年)	完形	1.8	1.0	1.1	0.5	赤彩		第475図-194
22	3	SI-24	不明	サメ椎骨	完形	1.3	1.2	0.8	0.4			第475図-199
23	3	TJ-39	不明	タヌキ下顎大歯L	完形	1.9	1.0	0.5	0.1	4mmフルイより抽出		第476図-209
24	3	不明	不明	サメ椎骨	完形	1.4	1.3	1.1	0.5			第475図-200
25	3	不明	不明	サメ椎骨	完形	2.0	2.0	0.9	1.2			第475図-201
26	3	不明	不明	サメ椎骨	完形	3.2	3.3	1.4	6.0	10mmフルイより抽出		第475図-202

第54表 貝輪計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	2		11-27	堀之内1	サルボウガイ	破片	(4.5)	(4.2)	0.5	2.3		第477図-225
2	2		11	堀之内1	ベンケイガイ	半欠	(5.7)	(4.5)	0.7	3.0		第476図-215
3	2		15	加曾利B	ベンケイガイ	半欠	(6.9)	(4.4)	1.5	10.8		第476図-216
4	2		15	加曾利B	ベンケイガイ	一部欠	(6.7)	(5.7)	1.1	7.5		第476図-217
5	1		21	安行	サルボウガイ	一部欠	9.1	(6.4)	1.8	30.7		第477図-226
6	3		50-2	加曾利B	サルボウガイ	破片	(6.0)	(3.8)	2.3	18.2	被熱	第477図-227
7	3		50	加曾利B	サルボウガイ	破片	(7.1)	(2.2)	1.9	10.7		第477図-228
8	3		65	加曾利B	サルボウガイ	破片	(5.8)	(3.3)	0.9	5.2		第477図-229
9	3		65	加曾利B	ベンケイガイ	半欠	7.3	(3.7)	0.7	4.5		第476図-218
10	3		66	加曾利B	ベンケイガイ	破片	(5.5)	(1.7)	0.7	3.0		第476図-219
11	2	B2-48		不明	ベンケイガイ	半欠	(7.2)	(4.7)	1.3	9.2		第476図-220
12	2	B2-57		不明	ベンケイガイ	半欠	6.8	(3.4)	0.6	3.9		第476図-221
13	2	B2-60		不明	サルボウガイ	半欠	(6.0)	(3.2)	0.7	5.5		第477図-230
14	2	B2-66		不明	ベンケイガイ	半欠	(6.2)	(2.6)	0.6	2.6		第476図-222
15	1	B3		不明	サルボウガイ	半欠	8.4	(4.5)	1.2	11.7		第477図-231
16	3	SH-62		不明	ベンケイガイ	破片	(3.7)	(1.7)	0.4	0.8	4mmフルイより抽出	第476図-223
17	3	SH-83		不明	アカニシ	破片	(3.9)	(2.9)	(0.9)	8.0	10mmフルイより抽出	第477図-242
18	3	SH-94		不明	サルボウガイ	破片	(3.9)	(1.9)	0.7	2.3		第477図-232
19	3	SI-37		不明	オオツツノハガイ	一部欠	(4.5)	(1.9)	1.3	3.1	10mmフルイより抽出。補修孔あり	第477図-243
20	3	TI-52		不明	サルボウガイ	破片	(6.0)	(3.7)	4.0	10.1	10mmフルイより抽出	第477図-233
21	3	TI-53		不明	サルボウガイ	半欠	(5.6)	(3.7)	1.1	4.5	10mmフルイより抽出	第477図-234
22	3	TI-62		不明	サルボウガイ	破片	(4.7)	(2.0)	1.2	2.8	10mmフルイより抽出	第477図-235
23	3	TI-63		不明	サルボウガイ	半欠	(6.1)	(4.2)	1.3	6.8	10mmフルイより抽出	第477図-236
24	3	TI-73		不明	サルボウガイ	破片	(3.0)	2.3	2.1	3.1	10mmフルイより抽出	第477図-237
25	3	TI-92		不明	サルボウガイ	破片	(2.5)	(1.1)	1.0	0.8	10mmフルイより抽出	第477図-238
26	3	不明		不明	サルボウガイ	一部欠	7.1	5.9	1.5	20.5		第477図-239
27	3	不明		不明	オオツツノハガイ	一部欠	(7.1)	(5.3)	0.6	4.4		第477図-244
28	3	不明		不明	ベンケイガイ	破片	(3.1)	(1.5)	0.6	1.0		第476図-224
29	3	不明		不明	サルボウガイ	半欠	(6.7)	(3.2)	1.4	8.6	10mmフルイより抽出	第477図-240
30	3	不明		不明	サルボウガイ	破片	2.1	1.2	0.6	0.8	4mmフルイより抽出	第477図-241

第55表 赤彩貝計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時期	材質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	挿図No.
1	1		23-29	安行	オオノガイR	完形	8.5	5.2	1.8	16.8		第477図-245
2	3		50-2	加曾利B	ムラサキガイR	半欠	(5.9)	(2.8)	1.0	3.9	10mmフルイより抽出	第477図-246
3	4	不明		不明	オオノガイL	一部欠	(9.0)	5.4	2.8	19.5	10mmフルイより抽出	第478図-247
4	4	不明		不明	オオノガイL	半欠	(7.4)	(3.5)	1.8	6.1	10mmフルイより抽出	第478図-248
5	3	不明		不明	オオノガイL	一部欠	(7.9)	4.8	2.1	13.2	10mmフルイより抽出	第478図-249
6	3	不明		不明	オオノガイR	一部欠	(8.5)	5.2	2.0	18.1	10mmフルイより抽出	第478図-250
7	3	不明		不明	オオノガイL	完形	9.9	5.8	2.5	23.6	10mmフルイより抽出	第478図-251
8	3	不明		不明	ハマグリL	破片	(6.1)	(5.0)	1.9	12.8	10mmフルイより抽出	第478図-252

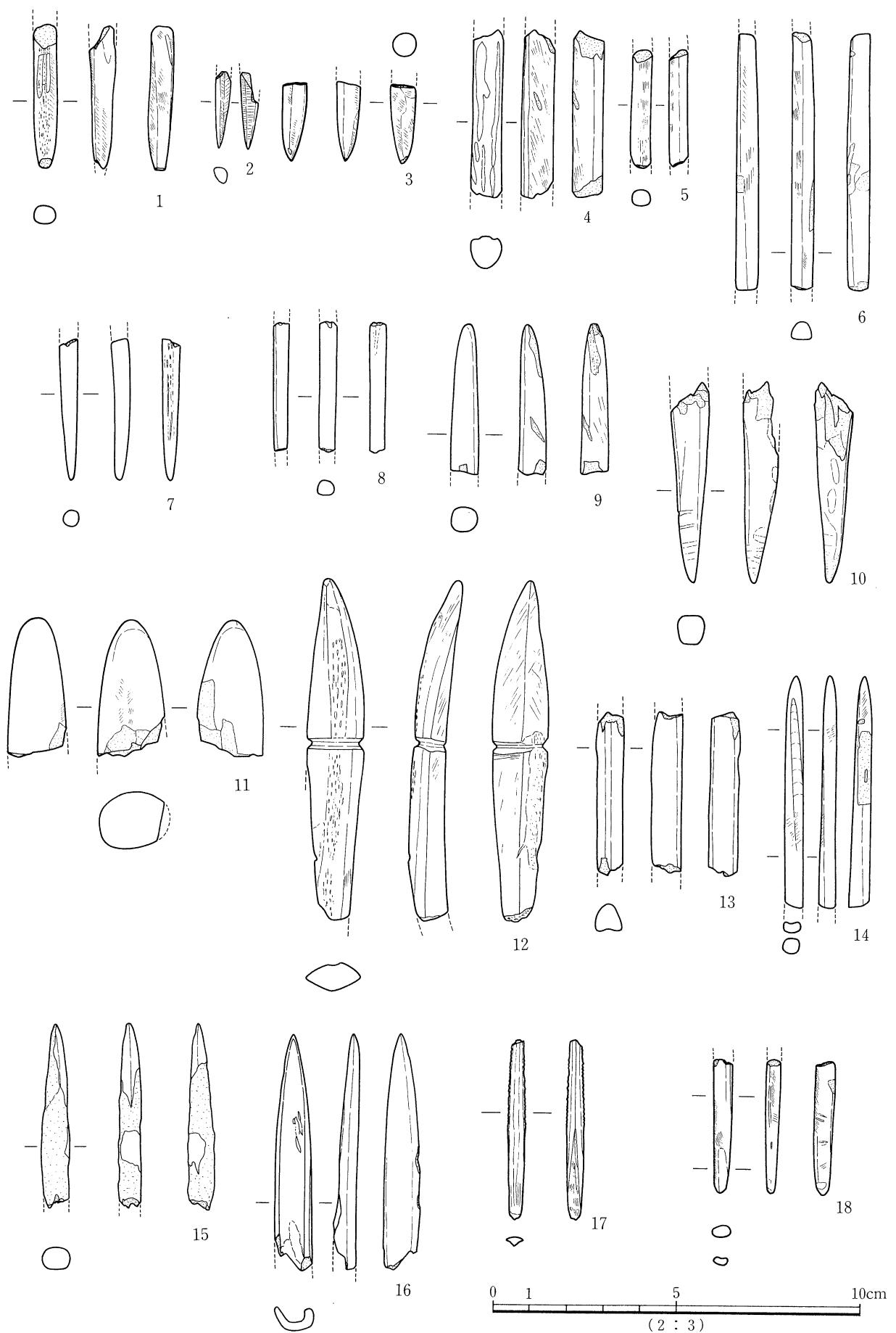
第56表 素材計測表

No.	調査次	遺構・グリッド	貝層サンプルNo.	時 期	材 質	残存状況	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重 量(g)	備 考	掲 No.
1	2		2	加曾利B	鹿角		3.5	1.1	0.8	1.1		第478図-254
2	2		2	加曾利B	鹿角		8.3	1.5	1.0	8.2		第478図-253
3	2		9	安行	鹿角		17.2	5.4	7.1	114.0		第478図-256
4	1		21	安行	イノシシ下顎犬歯		2.9	1.6	0.7	1.4		第478図-257
5	1		21	安行	鹿角		3.0	2.4	1.2	4.4	被熱	第478図-258
6	1		23	安行	鹿角		5.6	2.4	1.7	10.8		第480図-283
7	3		52	加曾利B	イノシシ下顎犬歯		8.1	2.5	1.1	8.0		第478図-255
8	3		52	加曾利B	鹿角		7.8	6.7	2.8	23.8		第480図-290
9	3		58	安行	シカ下顎骨L		4.2	1.9	1.4	4.4		第478図-259
10	3		58	安行	鹿角		9.5	2.4	2.0	15.0	被熱	第478図-260
11	3		58	安行	鹿角		3.9	2.0	1.2	5.2	被熱	第478図-262
12	3		58	安行	鹿角		11.8	5.4	2.0	28.1		第480図-288
13	3		75	堀之内2	シカ脛骨		6.9	1.9	0.5	4.3		第478図-261
14	3		75	堀之内2	鹿角		6.0	2.8	2.8	21.0		第480図-289
15	3		76	加曾利B	マッコウクジラ歯		5.6	2.9	1.3	7.9		第478図-263
16	3		76-5	加曾利B	鹿角		4.3	1.8	0.7	3.7	被熱 10mmフレイより抽出	第479図-264
17	2	67号土坑	堀之内1		鹿角		4.2	1.1	1.3	3.3	覆土	第479図-265
18	1	130号土坑		不明	鹿角		3.0	4.1	1.1	5.0	覆土	第479図-266
19	2	B2-40		不明	鹿角		4.8	3.0	1.5	9.7		第479図-267
20	2	B2-47		不明	鹿角		6.4	1.8	1.2	7.9	被熱	第479図-269
21	2	B2-47		不明	鹿角L		14.9	9.7	4.9	69.5		第479図-268
22	2	B2-48		不明	鹿角		6.3	3.0	1.5	13.1		第479図-270
23	2	B2-58		不明	鹿角		9.0	2.2	1.9	20.9		第479図-271
24	2	B2-63		不明	シカ角坐骨		7.0	4.1	4.1	33.3		第480図-287
25	2	B2-68		不明	シカ中足骨R		14.4	1.5	1.0	11.6		第479図-272
26	2	B2-71		不明	鹿角R		10.3	5.5	4.2	56.5		第480図-285
27	2	B2		不明	オイノシシ下顎犬歯	(4.1)	(1.8)	0.5	2.6			第479図-274
28	1	B3-11		不明	鹿角		4.5	2.9	1.1	5.2	被熱	第479図-275
29	1	B3-12		不明	鹿角		4.5	3.0	2.1	13.2	被熱	第479図-276
30	1	B3-22		不明	鹿角		15.5	2.8	2.1	33.2		第479図-273
31	1	B3-31		不明	鹿角		5.3	7.6	4.6	45.2	落角	第480図-277
32	1	B4-61		不明	鹿角		8.1	5.8	2.6	35.5		第480図-286
33	1-2		不明	オイノシシ下顎犬歯	(6.7)	(2.3)	(1.0)	6.4				第480図-278
34	3	SI-15		不明	鹿角		3.6	3.4	2.7	9.3		第480図-279
35	3	SI-15		不明	鹿角		11.1	3.1	2.0	20.7		第480図-280
36	3	SI-25		不明	鹿角		7.6	1.9	1.3	8.3		第480図-281
37	3	T1-52		不明	鹿角		9.7	2.4	1.9	23.1		第480図-282
38	3	TI不明		不明	鹿角		10.3	5.4	1.9	32.6		

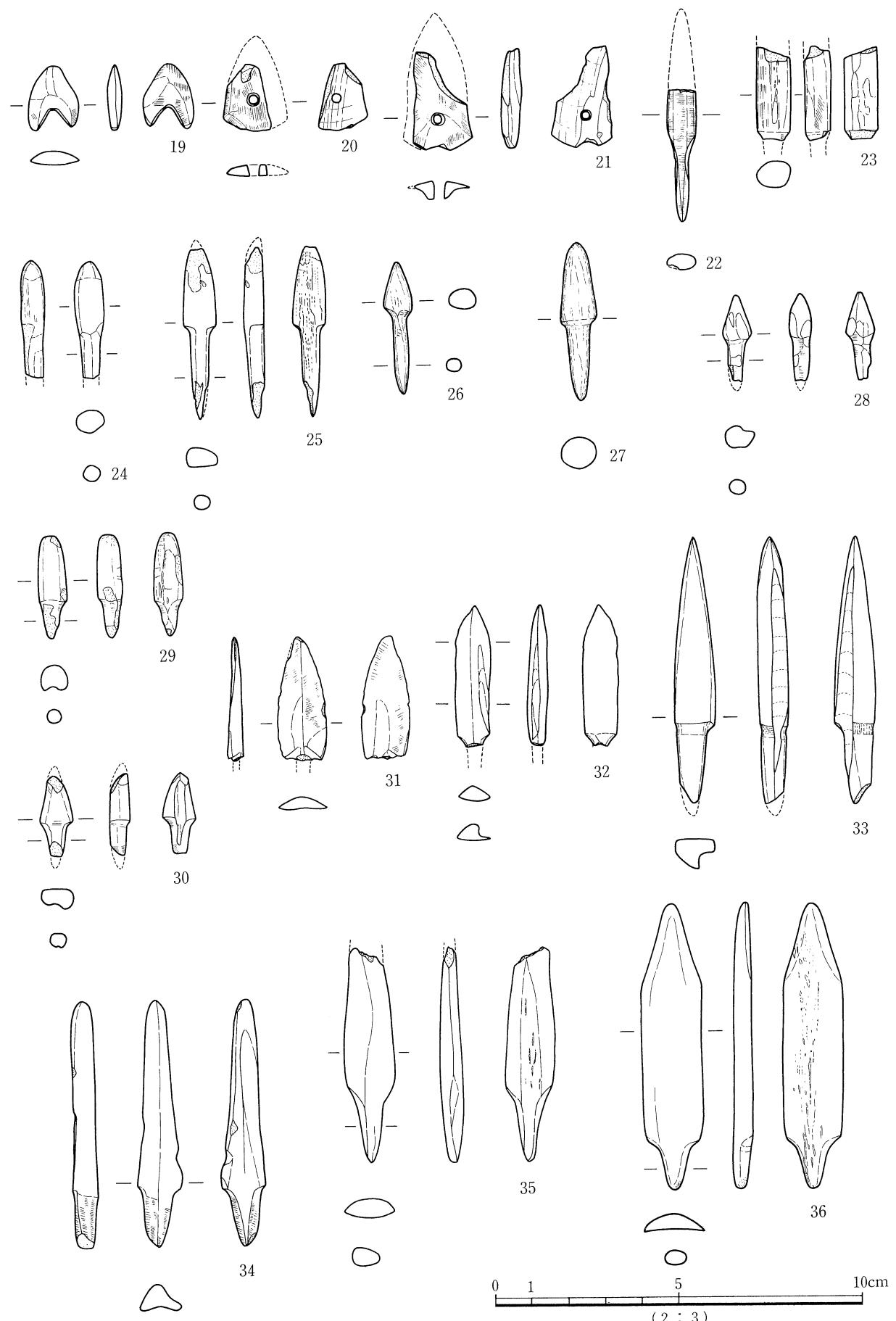
(252) を素材としている。赤彩されているのは、オオノガイでは全て外面のみ、ムラサキガイ・ハマグリでは内外両面である。赤彩が内面のみであれば、一種のパレット状の容器を想定できるが、本遺跡の資料はすべて外面にも赤彩が認められるので容器説は否定される。貝を赤く塗ること自体に意味のあったものなのであろう。今回多く検出されたオオノガイ製のものはとくに注意すべき資料であり、今後の類例の増加を待ちたい(ただし、赤彩といつても褐色に近い淡い色が多いので検出にはかなりの注意を要する)。ちなみに、この種の製品を多数検出した西広貝塚では、総数24点のうちオオノガイ2点・ハマグリ10点・シオフキガイ6点・バカガイ3点・アワビ1点・貝種不明2点という内訳であった(忍澤成視 繩文時代後・晚期の装飾観念ー市原市西広貝塚出土の骨角貝製装身具を中心としてー 市原市文化財センター研究紀要II 1993)。

#### 素 材 (第478図-253~262、第479図-263~276、第480図-277~290)

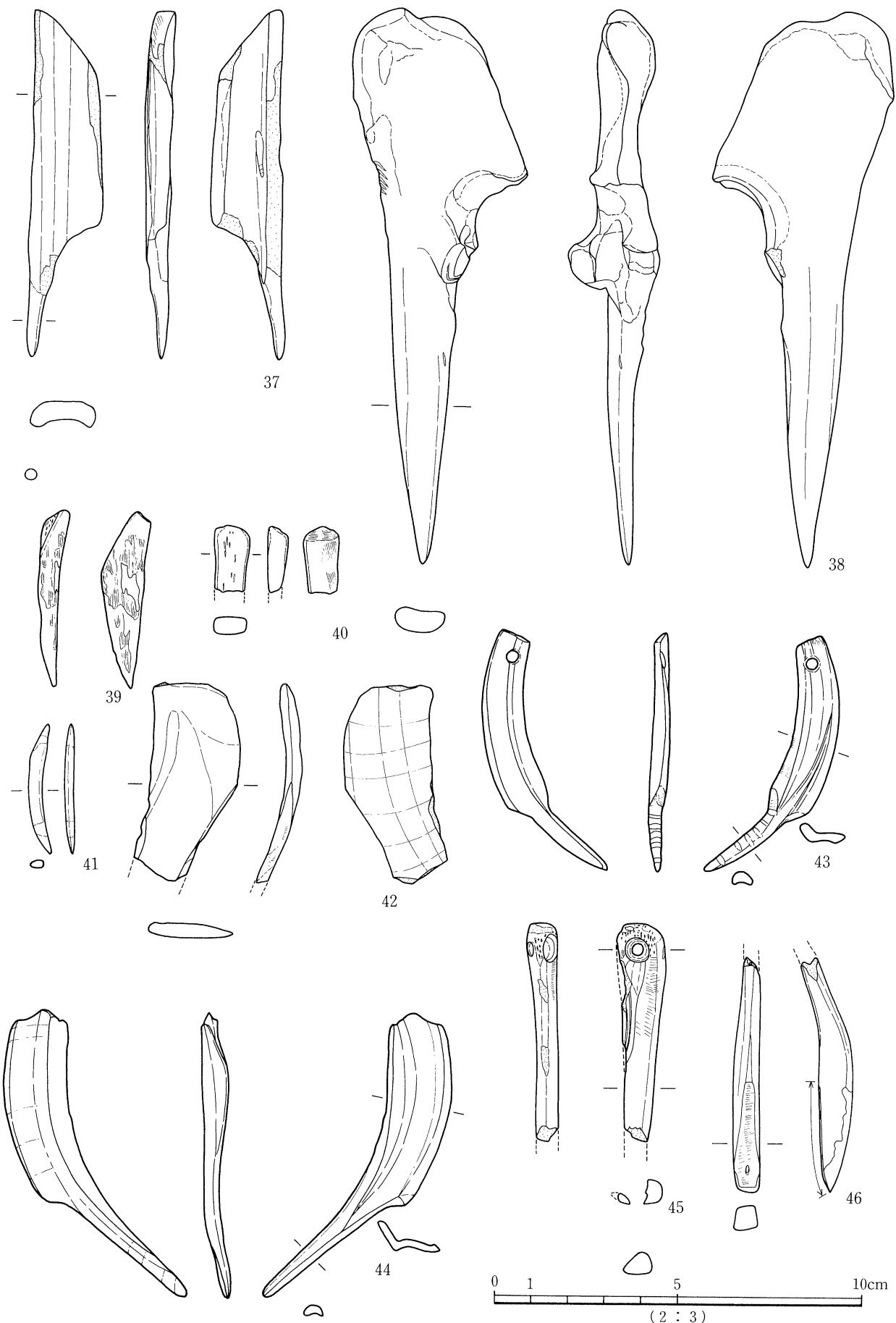
骨角歯牙に切断加工の認められる資料をまとめた。総数で38点検出されたが、素材別に内訳をみると、鹿角が最も多く30点、イノシシ下顎犬歯が4点、シカ下顎骨1点、シカ中足骨1点、シカ脛骨1点、マッコウクジラの歯1点となっている。



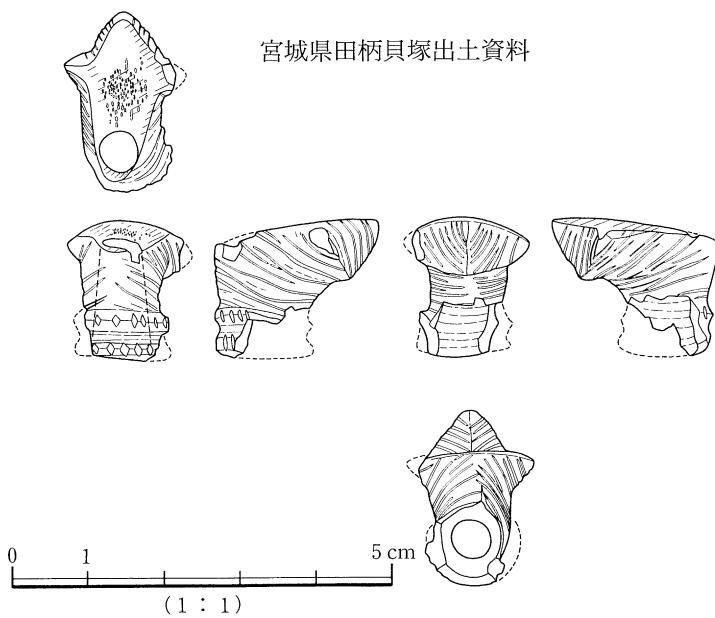
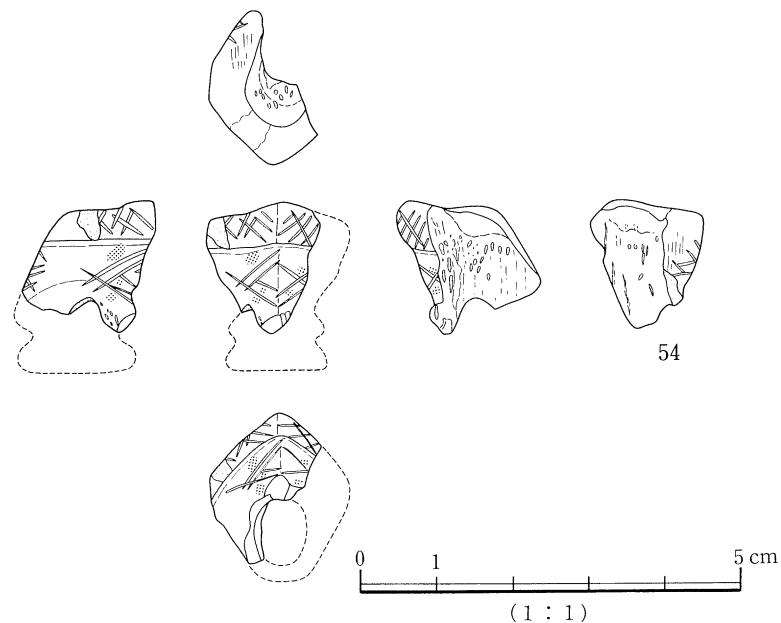
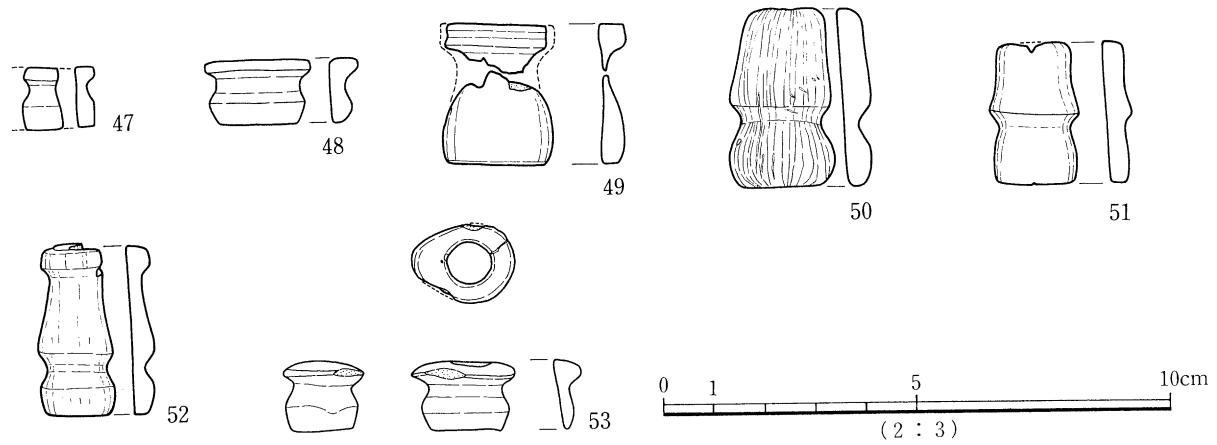
第465図 貝層出土骨角貝製品(1)



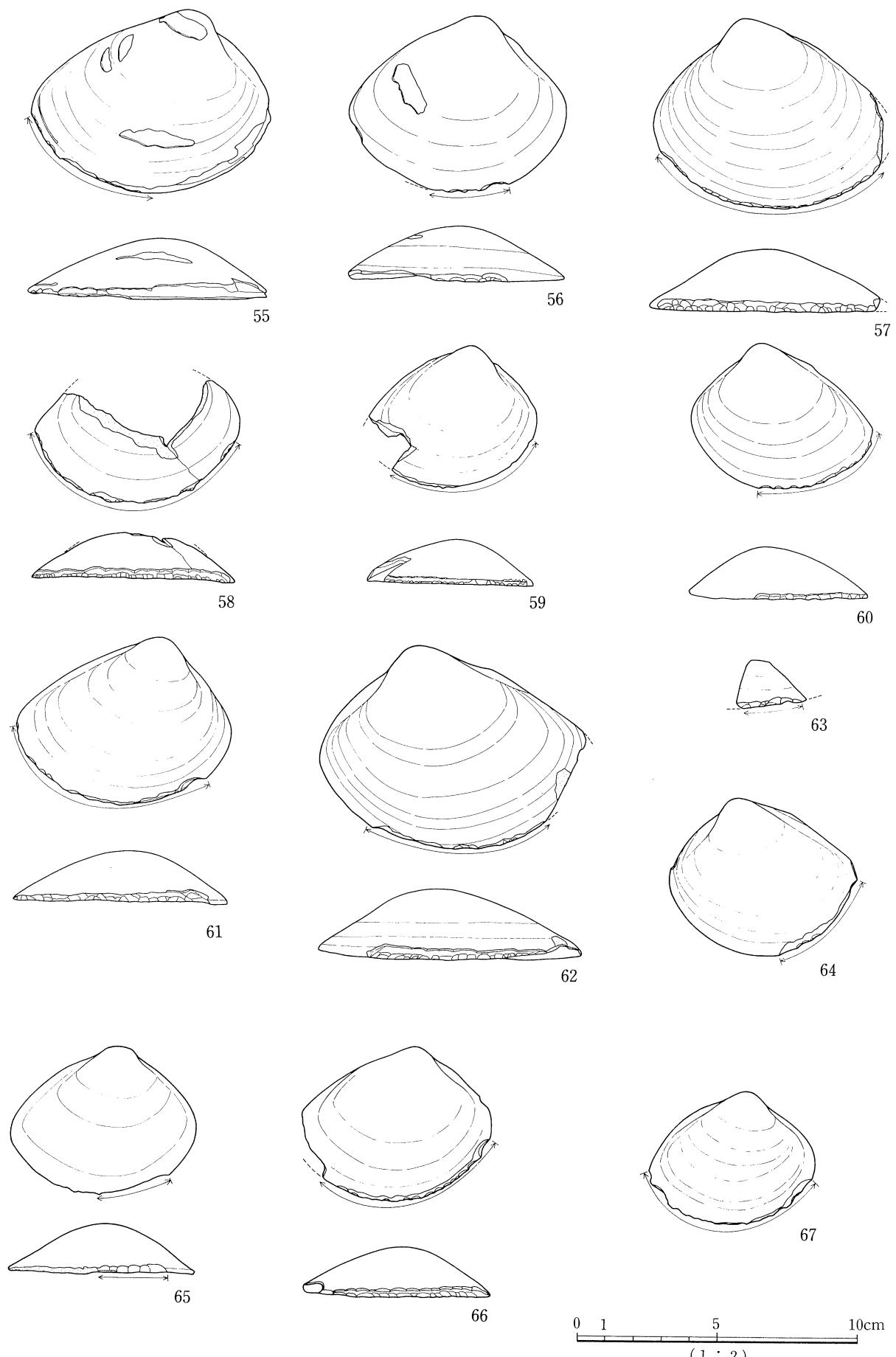
第466図 貝層出土骨角貝製品(2)



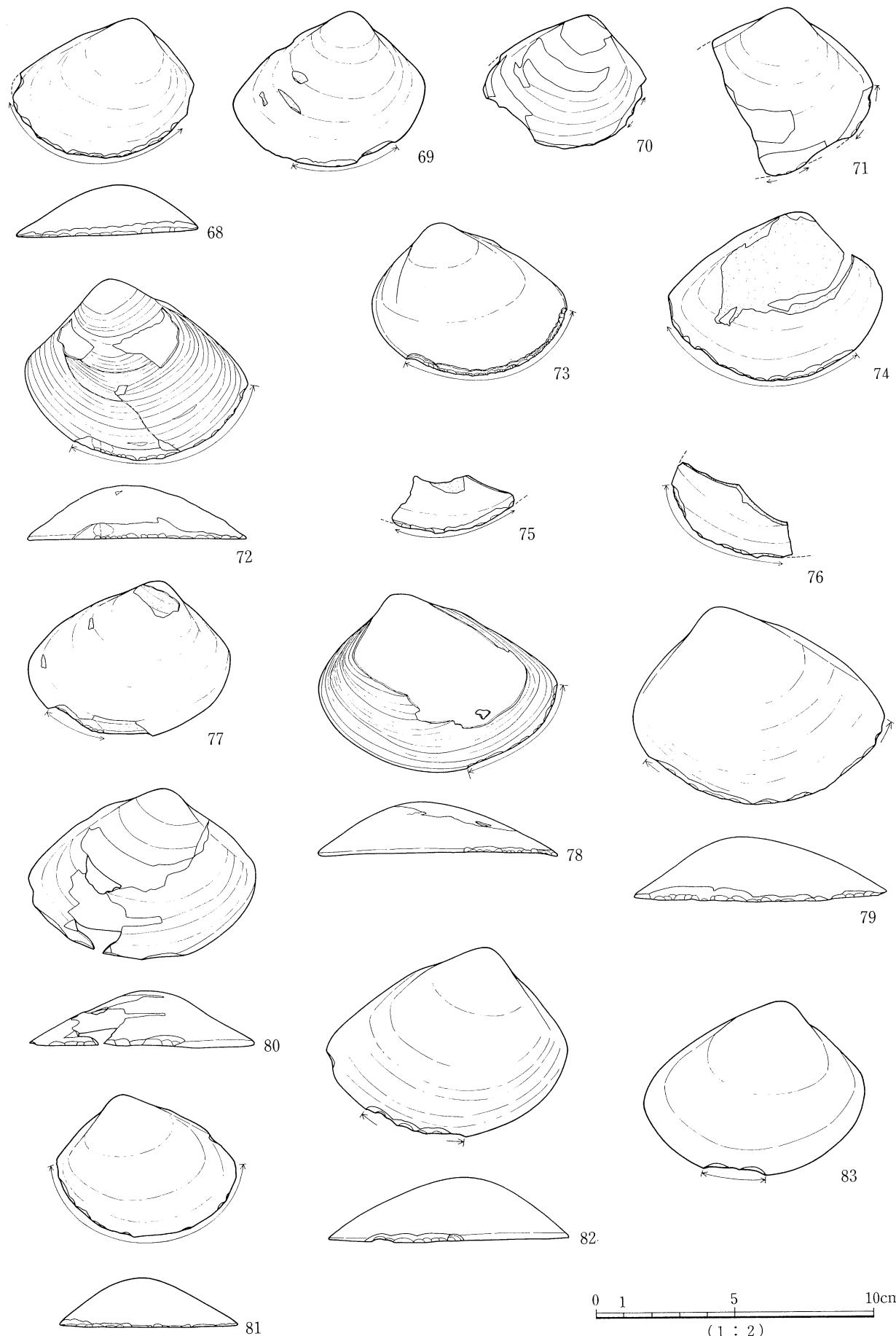
第467図 貝層出土骨角貝製品(3)



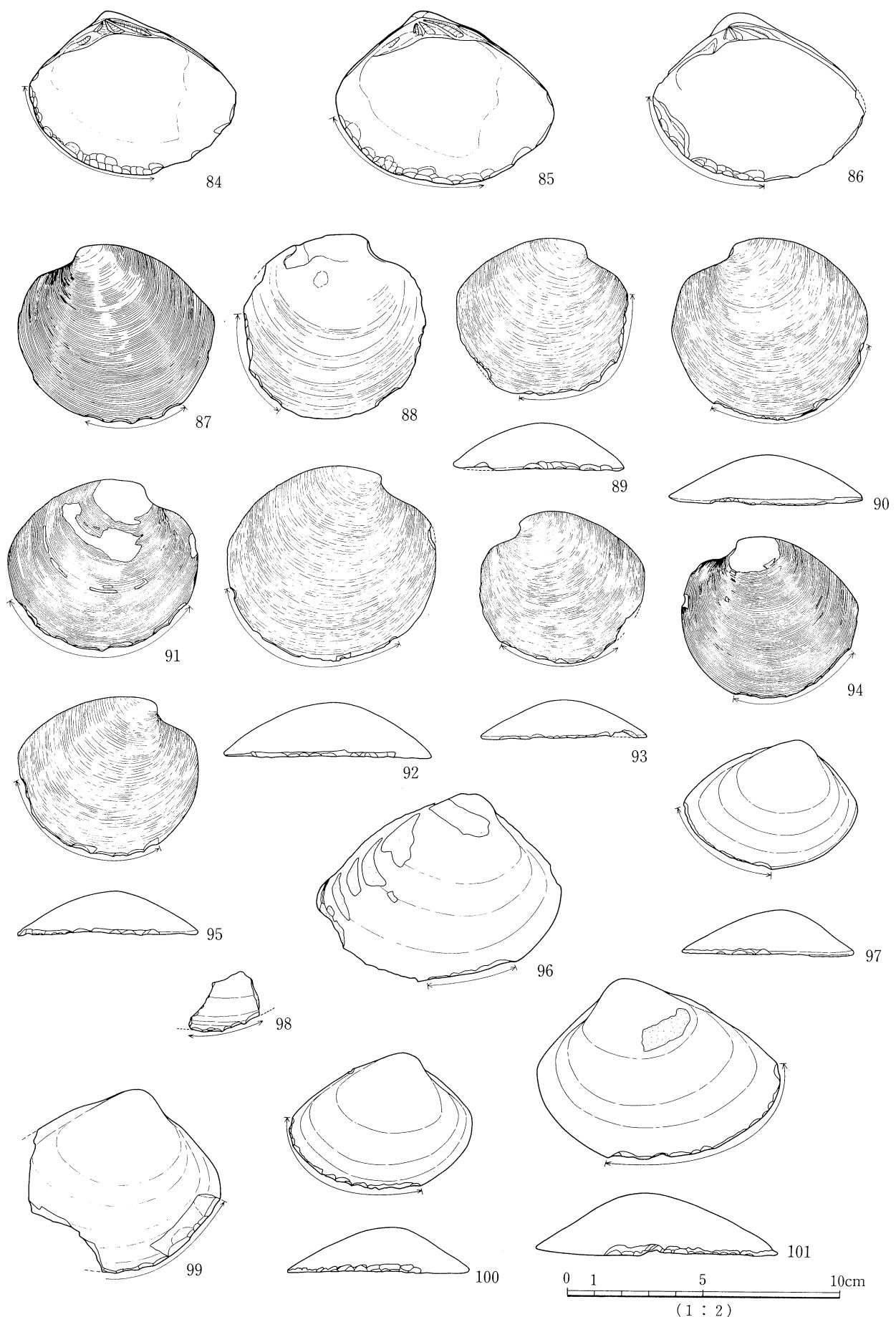
第468図 貝層出土骨角貝製品(4)



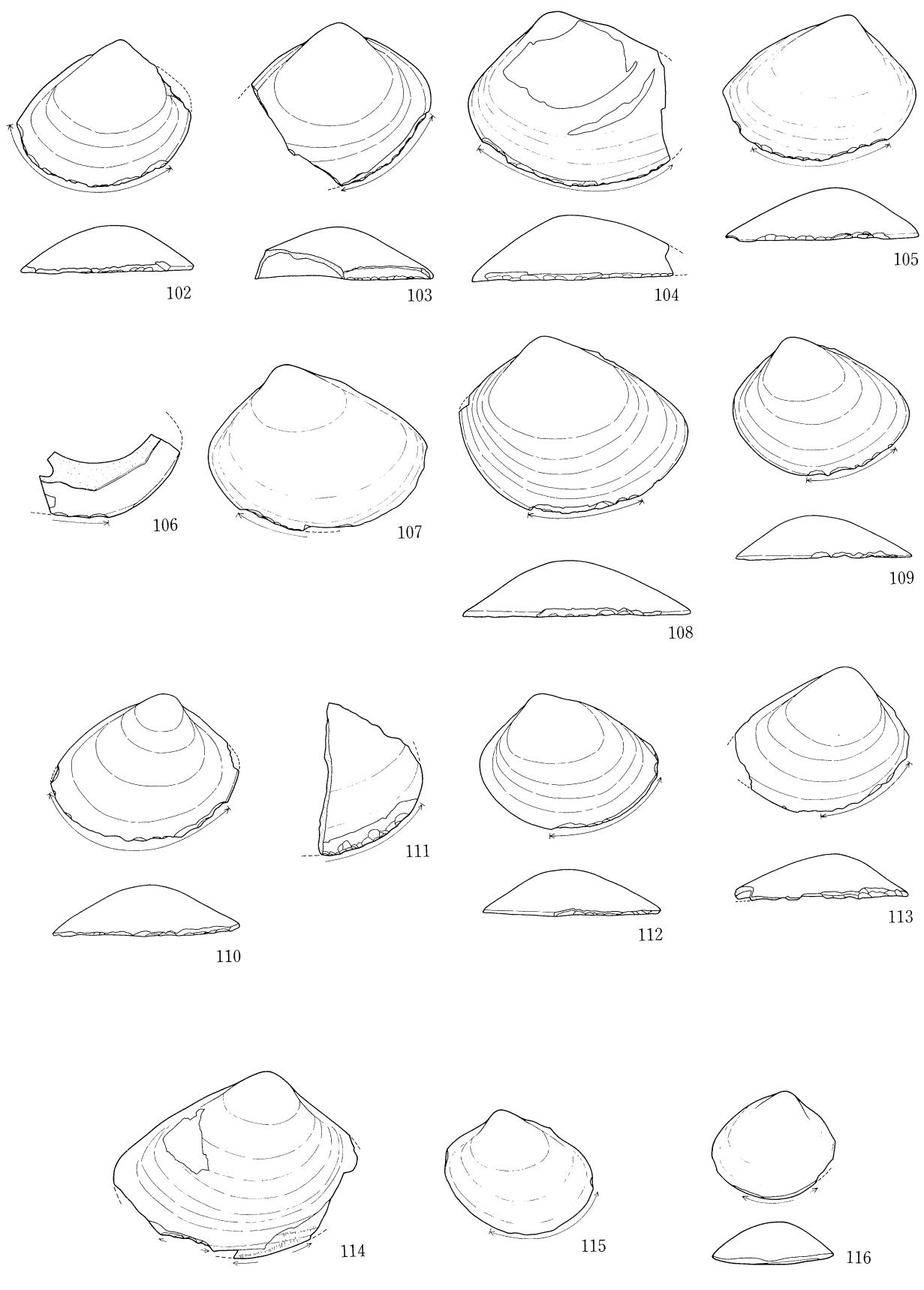
第469図 貝層出土骨角貝製品(5)



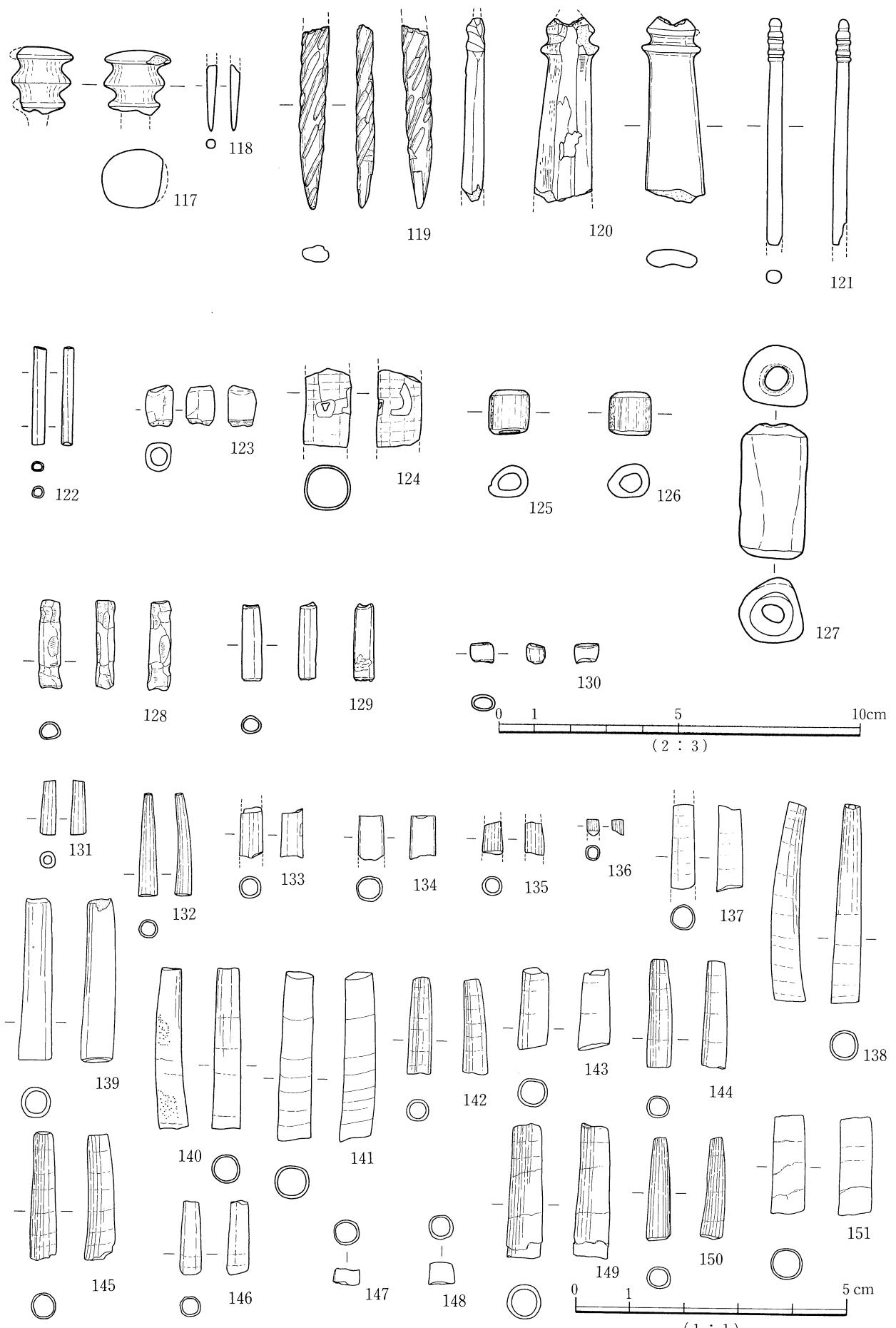
第470図 貝層出土骨角貝製品(6)



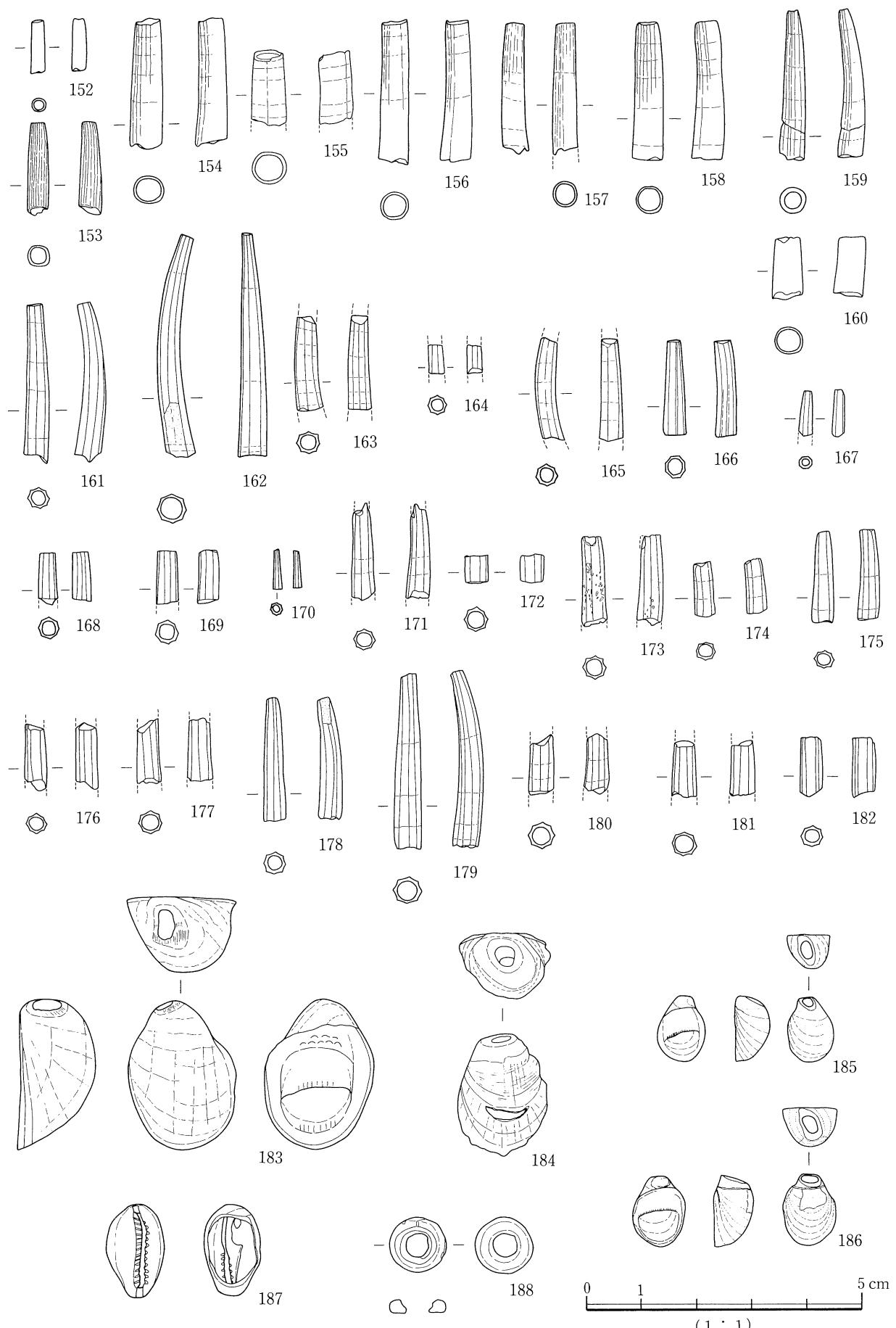
第471図 貝層出土骨角貝製品(7)



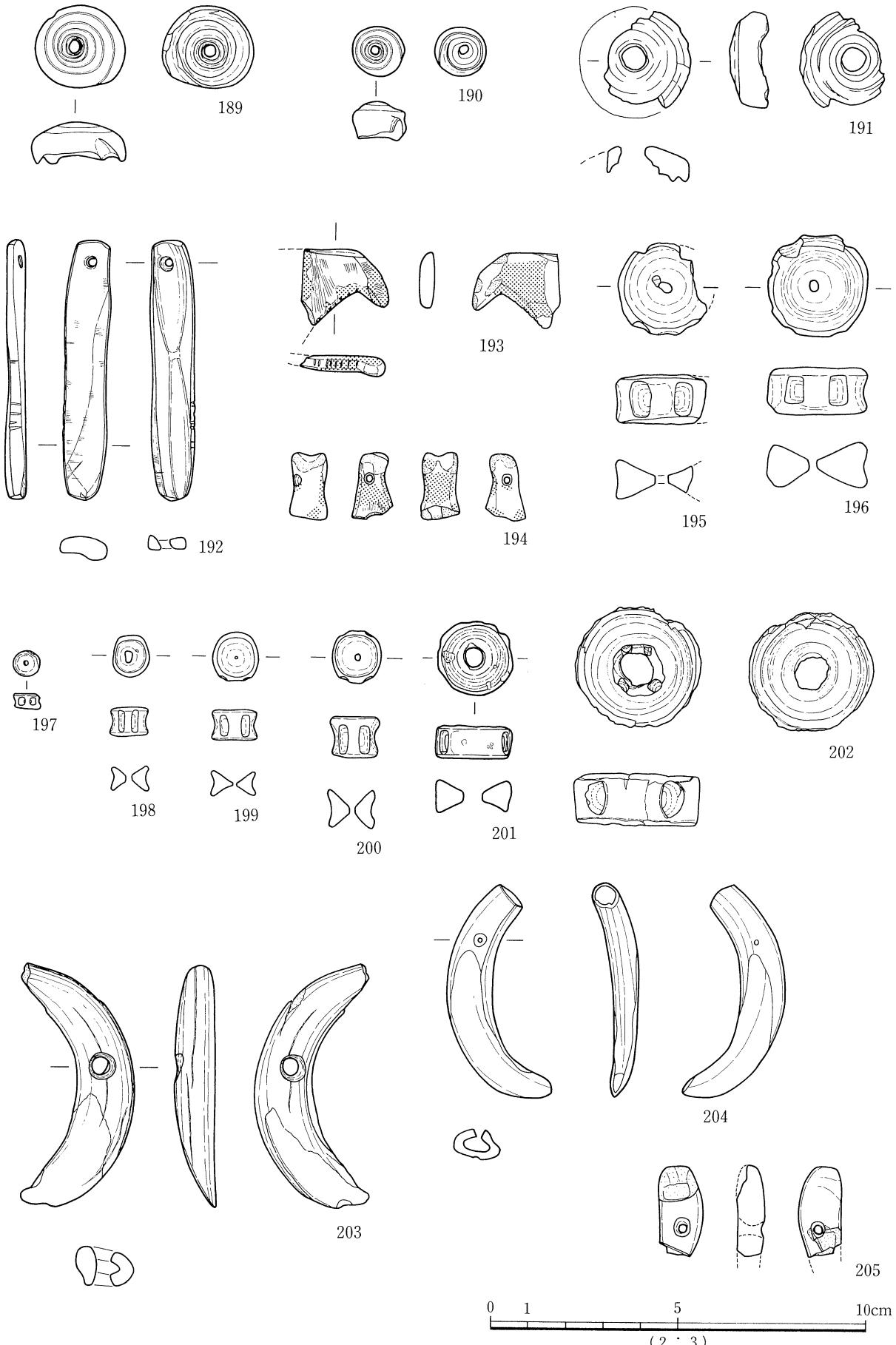
第472図 貝層出土骨角貝製品(8)



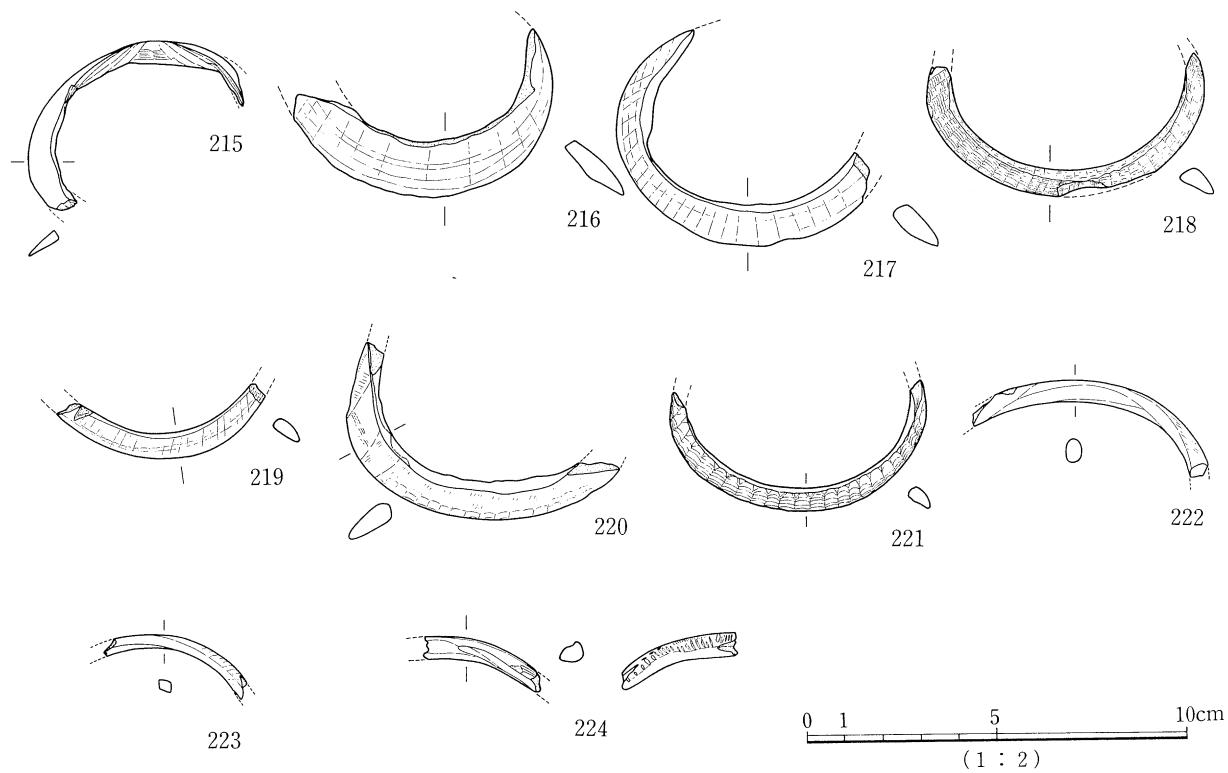
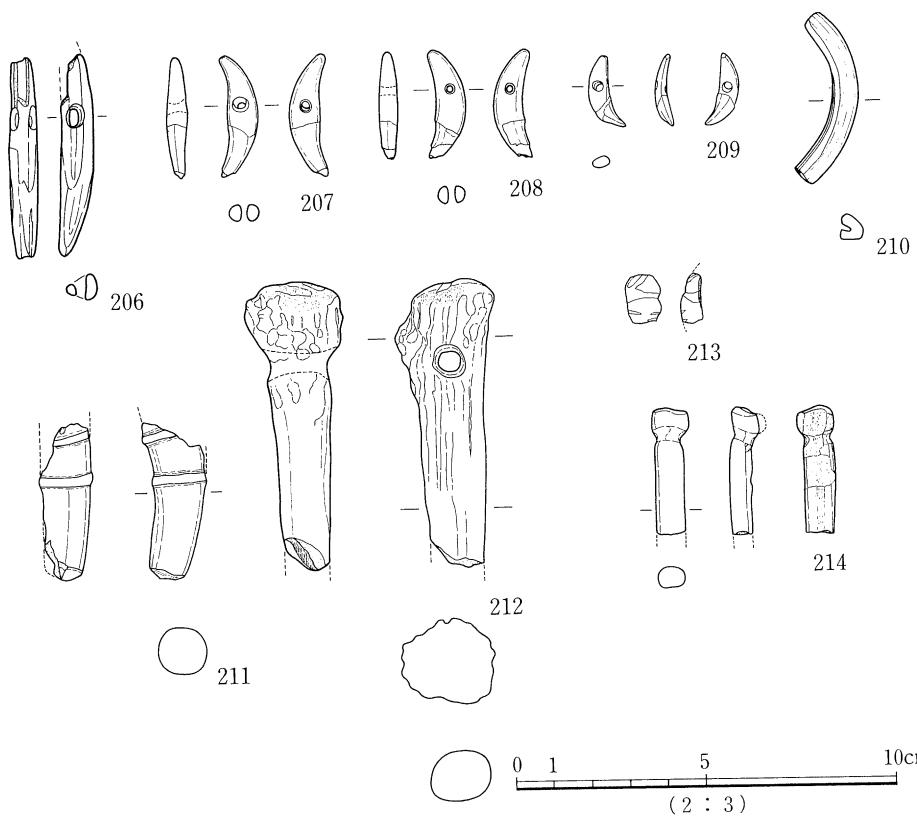
第473図 貝層出土骨角貝製品(9)



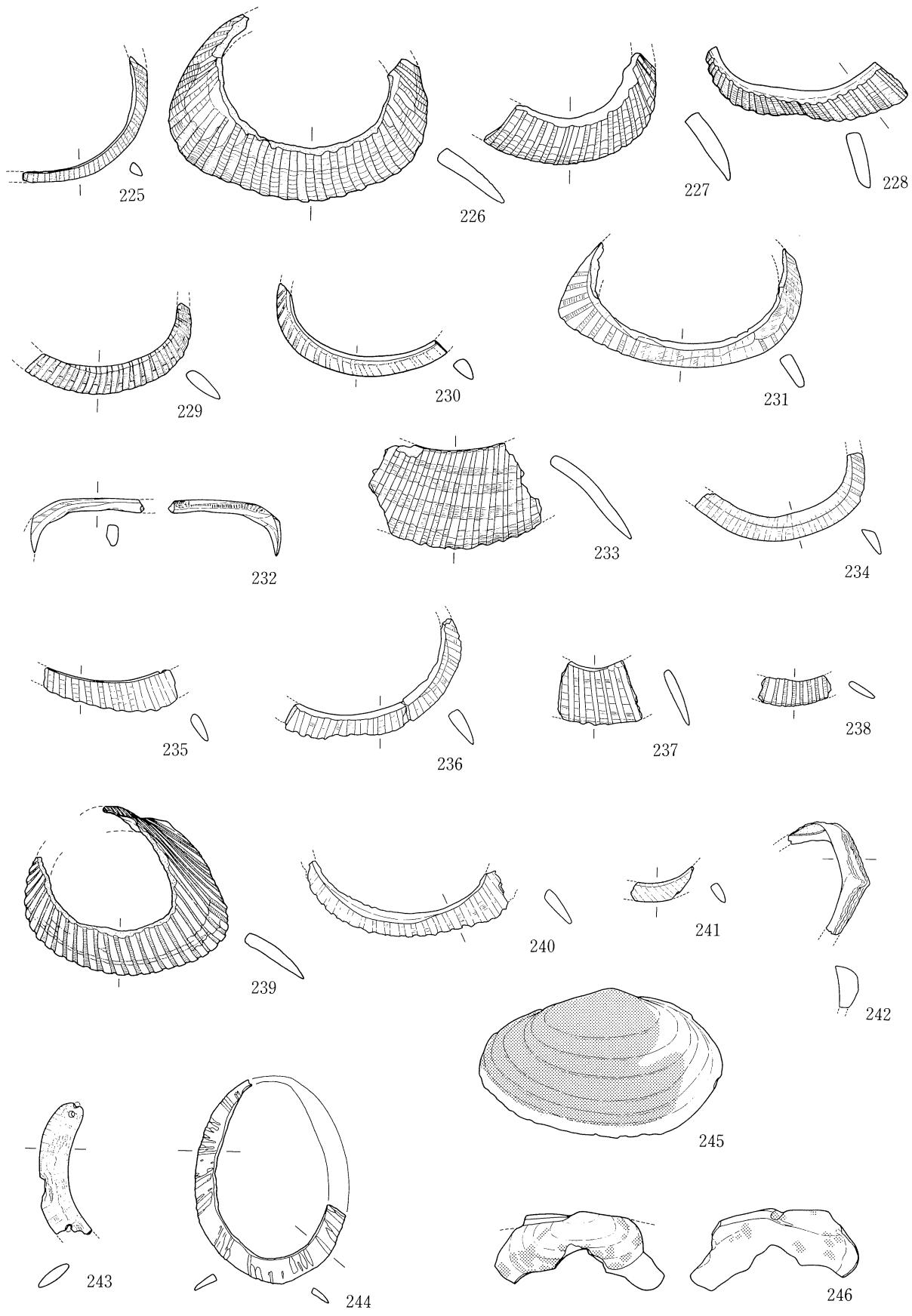
第474図 貝層出土骨角貝製品(10)



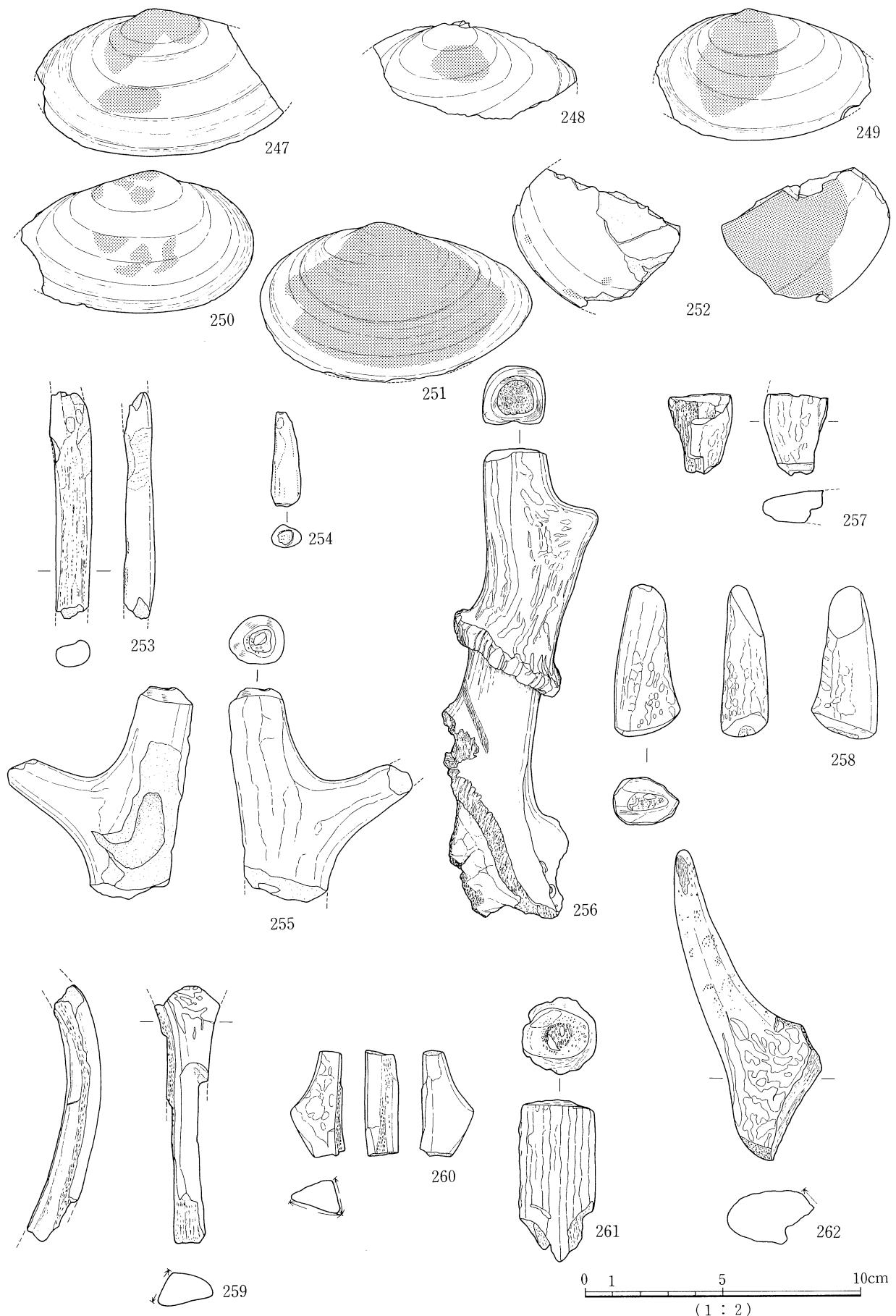
第475図 貝層出土骨角貝製品(11)



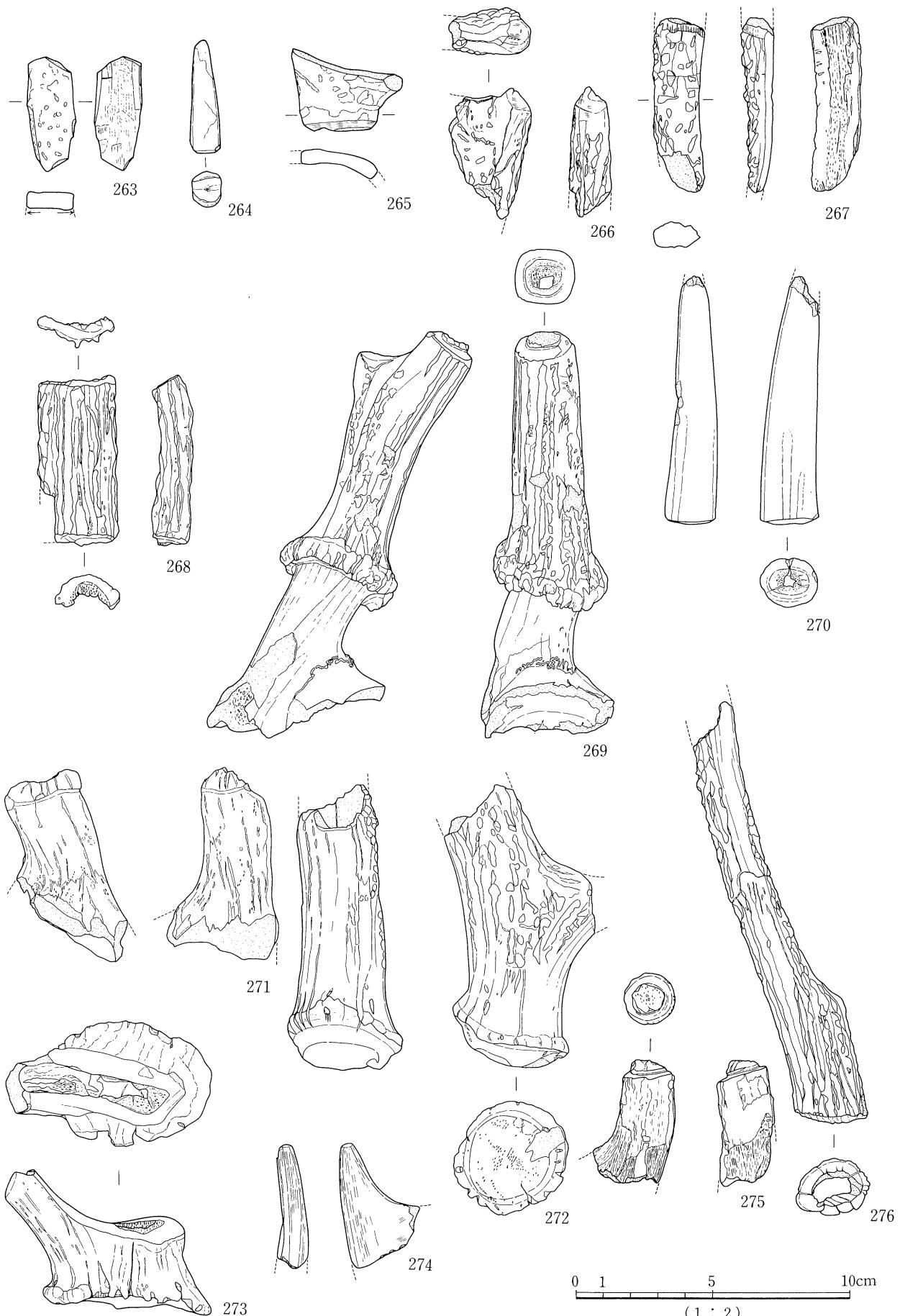
第476図 貝層出土骨角貝製品(12)



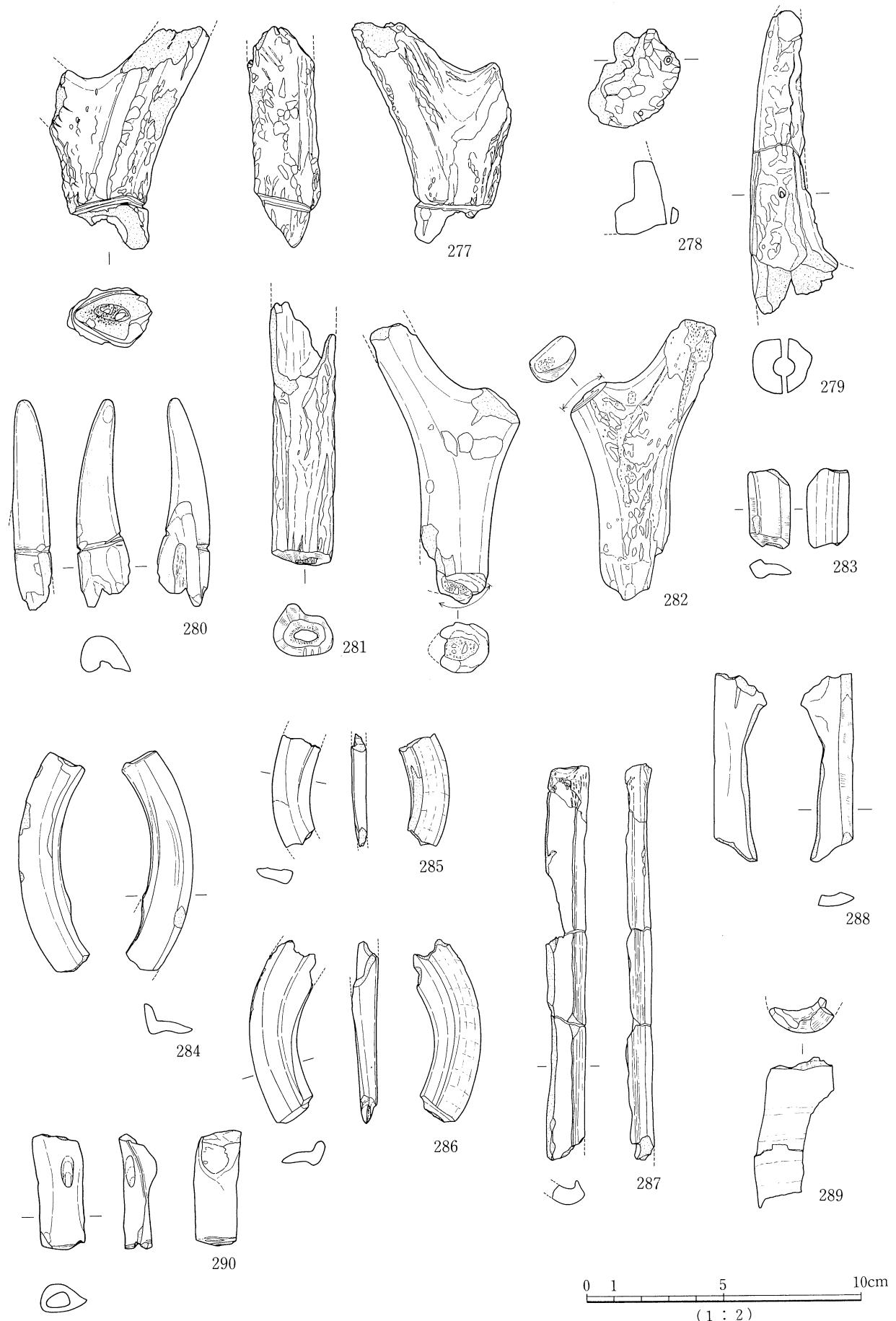
第477図 貝層出土骨角貝製品(13)



第478図 貝層出土骨角貝製品(14)



第479図 貝層出土骨角貝製品(15)



第480図 貝層出土骨角貝製品(16)

### 3 貝層出土の動物遺存体

#### a 節足動物門（甲殻綱）・棘皮動物門

##### 節足動物門（甲殻綱）

甲殻綱としては、フジツボ・カニ類が検出されている。

##### <検出量>

第419図に時期別・地点別のそれぞれの検出量を示した。これによると、1地点からフジツボを多量に検出したサンプルは、称名寺期の20号(283点)、堀之内期の4号(496点)・30号(721点)・44号(605点)・54号(379点)・55号(292点)・64号(629点)・67号(265点)・73号(1,267点)・74号(3,458点)・75号(2,373点)、加曽利B期の50号(421点)・63号(1,274点)である。フジツボはマガキなどに付着して集落内に持ち込まれた可能性があるが、実際にマガキに付着した状態での検出例はなかった。そこで両者の検出量からその関係を確かめると(第481図)、上記13地点のうち10地点ではマガキが多く検出されており何らかの相関関係を認めることができる。

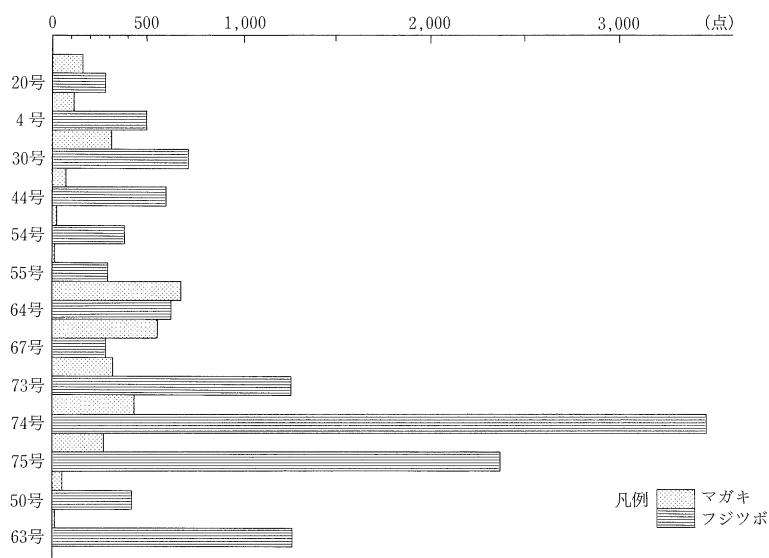
カニ類は、鉄の部分とみられる破片が堀之内期の44号貝層から3点・54号貝層から2点、安行期の23号貝層から1点検出されているが、このうちの4点に被熱して灰色に変色した状況が認められる。

##### 棘皮動物門

棘皮動物としてはウニ類・カシパン類が検出されている。

ウニ類には、ムラサキウニとみられる殻板の破片が称名寺期の62号貝層から3点、堀之内期の44号貝層から1点、加曽利B期の50号貝層から1点検出された。いずれの資料にも被熱して褐色もしくは灰色に変色した状況が認められる。

カシパン類は、称名寺期に3地点(20・29・69号)、堀之内期に5地点(11・39・44・73・75号)、加曽利B期3地点(2・50・56)、安行期2地点(23・25)、弥生期1地点(26号)で検出されている。いずれも破片の状態の検出例であるが、このうち20号貝層と26号貝層のものはかなりまとまって検出された。個体数の算定基準がないので重量で表記している。



第481図 マガキとフジツボ検出量の比較

## b 軟体動物門（腹足綱・二枚貝綱・微小貝）

### 腹足綱・二枚貝綱

#### <同定方法>

腹足綱では殻軸、二枚貝綱では殻頂部の残存するものについて現生貝類標本との比較をもとに同定をおこない、腹足綱では殻軸数をもって、二枚貝綱では左右の殻頂数のうち数の多いほうを個体数とした。

#### <計測>

二枚貝綱の主体種であるハマグリについて、各サンプルで計測可能な個体全ての殻高を計測した。

#### <同定記載>

同定作業の結果確認された軟体動物の種名一覧を第57表に、検出数一覧を第58・59表に示した。腹足綱20種、二枚貝綱27種が確認された。このうちアワビ・ヤツシロガイ・イモガイ類・イタヤガイ・イタボガキ・ミルクイ・オオトリガイは、貝層サンプル以外の箇所から採取された資料で、イモガイ類の2点のほかはいずれも1点のみ検出された。貝層サンプル中から検出された稀少種としては、サザエ・カノコガイ・ネコガイ・ヒメムシロ・ナガニシ・コロモガイ・アズマニシキ・アリソガイが各1点、タマキガイ・イガイが各2点ある。数点あるいはある程度の数は検出されているが検出された地点に偏りのある準稀少種としては、マルタニシ（2地点・6点）、マツカサガイ（6地点・27点）、ウネナシトマヤガイ（7地点・26点）、オキアサリ（4地点・5点）、サビシラトリガイ（3地点・4点）、イチョウシラトリガイ（3地点・3点）がある。マルタニシのうち4点は弥生時代の小規模な地点貝層（26号）からの検出例である。市内では、弥生時代以降の貝塚の貝層サンプル中よりしばしばマルタニシの検出例があり（田中清美 千草山遺跡・東千草山遺跡 財団法人市原市文化財センター調査報告書第29集 1989・大村直 市原市姉崎宮山遺跡・小田部向原遺跡・雲ノ境遺跡 財団法人市原市文化財センター調査書第40集 1991・小出紳夫 菊間手永遺跡 平成8年度市原市内遺跡発掘調査報告書 1997）注目に値する。マツカサガイは、総数27点の内18点が安行1・2期の23号貝層から、5点が加曾利B期の50号貝層から検出され数は少ないもののある時期ある地点の限られた検出状況に興味がもたれる。ウネナシトマヤガイは、総数26点のうち23点が堀之内期の検出例であり、1地点からの点数は少ないものの時期限定の貝種として注目される。

#### <貝種組成>

貝種組成の相違を時期別・地点別に検討する。貝種組成は貝種ごとの個体数をもとに作成した。ただし個体数で算定した場合、イボキサゴの数が他より圧倒的に多く、同時に表示するとイボキサゴ以外の貝のあり方がよくわからないため、図の左側にイボキサゴとこれ以外の貝の比率を、右側にイボキサゴ以外の貝の比率を示した（第482～484図）。

#### 称名寺期

12地点のサンプルの集計では、イボキサゴが88%に対しそれ以外の貝種が12%、イボキサゴ以外の貝種ではハマグリ60%・シオフキガイ10%・アサリ5%・アラムシロガイ9%・ウミニナ5%である。地点別にみると、イボキサゴの比率が70%以上を占めるサンプルが半数の6地点、残り6地点は逆にイボキサゴ以外の貝種の比率が70%以上を占める状況である。イボキサゴ以外の貝種では、69号貝層を除けばハマグリが優位なことに変わりはない。69号貝層では、ハマグリ30%に対し、アラムシロガ

イ44%・ウミニナ24%と小型巻貝主体となっている。ハマグリに次ぐのは概ねシオフキガイ・アラムシロガイ・ウミニナであるが、41号貝層ではアサリが26%とシオフキガイをおさえてハマグリに次いでいる。また70号貝層ではオオノガイが19%とハマグリに次いでいる。

### 堀之内期

33地点のサンプルの集計では、イボキサゴが72%に対しそれ以外の貝種が28%、イボキサゴ以外の貝種ではハマグリ68%・シオフキガイ11%・アサリ4%・アラムシロガイ4%・ウミニナ3%である。地点別にみると、イボキサゴの比率が70%以上を占めるサンプルが半数の17地点、逆にイボキサゴ以外の貝種の比率が50%以上を占めるのが9地点という状況である。イボキサゴ以外の貝種では、ハマグリが優位なことに変わりはない。ハマグリに次ぐのは概ねシオフキガイ・アラムシロガイ・ウミニナであるが、18号・28号貝層ではアサリが19%・22%とシオフキガイをおさえてハマグリに次いでいる。また、64号・67号貝層ではマガキが20%・15%とシオフキガイをおさえてハマグリに次いでいる。

### 加曾利B期

17地点のサンプルの集計では、イボキサゴが81%に対しそれ以外の貝種が19%、イボキサゴ以外の貝種ではハマグリ72%・シオフキガイ10%・アサリ3%・アラムシロガイ4%・ウミニナ4%である。地点別にみると、イボキサゴの比率が70%以上を占めるサンプルが3地点以外の14地点という状況である。イボキサゴ以外の貝種では、ハマグリが優位なことに変わりはない。ハマグリに次ぐのは概ねシオフキガイ・アラムシロガイ・ウミニナである。

### 曾谷・安行期

8地点のサンプルの集計では、イボキサゴが61%に対しそれ以外の貝種が39%、イボキサゴ以外の貝種ではハマグリ64%・マテガイ18%・シオフキガイ8%・アサリ3%である。地点別にみると、イボキサゴの比率が60%以上を占めるサンプルが2地点のみで、これ以外は全てハマグリ以外の貝種のほうが多い状況である。イボキサゴ以外の貝種では、ハマグリが優位なことに変わりはない。ハマグリに次ぐのは概ねシオフキガイ・アサリであるが、23号貝層ではマテガイが27%とシオフキガイをおさえてハマグリに次いでいる。また、9号貝層ではマガキが10%とシオフキガイに次いでいる。

この時期、これまで貝種の主体を占めていたイボキサゴの比率が低下し、逆にハマグリの比率が上昇することは特筆に値する。

### 弥生

貝層サンプルは1地点のみであるが、これによるとイボキサゴが70%に対しそれ以外の貝種が30%、イボキサゴ以外の貝種ではハマグリ38%・マテガイ20%・ウミニナ14%・シオフキガイ10%・アラムシロガイ5%・ツメタガイ5%である。

### <主要二枚貝（ハマグリ）の殻高変化>

貝層を構成している二枚貝の主体種であるハマグリの殻高分布を、時期別・地点別にグラフに示したのが第485～490図である。計測総数は、称名寺期3,467点・堀之内1期10,085点・堀之内2期1,002点・加曾利B期1,917点・安行1・2期8,795点、弥生期90点である。

### 称名寺期

10地点のサンプルから計測した結果、2.8～3.6cmの間に顕著なピークがみられるが、そのうちわけは、2.8～3.0cm 2地点 (62・68)・3.0～3.2cm 3地点 (41・61・70)・3.2～3.4cm 1地点 (33)・3.4～3.6

cm 4 地点 (20・29・51・69) である。

#### 堀之内 1 期

23地点のサンプルから計測した結果、2.0～3.6cmの間に顕著なピークがみられるが、そのうちわけは、2.0～2.2cm 1 地点 (73) • 2.2～2.4cm 1 地点 (47) • 2.4～2.6cm 2 地点 (67・74) • 2.6～2.8cm 2 地点 (14・27) • 2.8～3.0cm 7 地点 (10・11・28・40・44・45・55) • 3.0～3.2cm 2 地点 (64・65) • 3.4～3.6cm 2 地点 (7・18) で、同率のピークを 2 箇所もつものとして 1.2～1.4cm と 2.4～2.6cm 1 地点 (30) • 2.4～2.6cm と 2.8～3.0cm 1 地点 (4) • 2.6～2.8cm と 3.0～3.2cm 1 地点 (53) • 2.8～3.0cm と 3.0～3.2cm 2 地点 (17・54) • 3.0～3.2cm と 3.2～3.4cm 1 地点 (79) がある。

#### 堀之内 2 期

計測したサンプルは 2 地点 (1・75) のみであるが、これによると 2.8～3.0cm に顕著なピークが認められる。

#### 加曾利 B 期

9 地点のサンプルから計測した結果、2.8～3.8cm の間に顕著なピークがみられるが、そのうちわけは、2.8～3.0cm 3 地点 (50・52・63) • 3.2～3.4cm 1 地点 (22) • 3.4～3.6cm 3 地点 (15・24・76) • 3.6～3.8cm 1 地点 (2) で、同率のピークを 4 箇所もつものとして 2.8～3.6cm 1 地点 (59) がある。

#### 安行期

5 地点のサンプルから計測した結果、2.8～4.0cm の間に顕著なピークがみられるが、そのうちわけは、3.0～3.2cm 1 地点 (9) • 3.4～3.6cm 1 地点 (23) • 3.8～4.0cm 2 地点 (21・58) で、同率のピークを 2 箇所もつものとして 2.8～3.0cm と 3.4～3.6cm 1 地点 (16) がある。

#### 弥生期

計測したサンプルは 1 地点 (26) のみであるが、これによると 2.4～2.6cm にやや顕著なピークが認められるが、分布は 1.0～7.8cm まで散在的にみられる。

以上のデータからすると、称名寺期 3.4～3.6cm • 堀之内 1・2 期 2.8～3.0cm • 加曾利 B 期 3.4～3.6cm • 安行期 3.8～4.0cm が各時期のハマグリ殻高の平均的な大きさで、堀之内 1・2 期が最も小さく、安行期に最も大きくなり、両者の差は 1.0cm にもおよぶ。称名寺・加曾利 B 期は両者のちょうど中間ほどの大きさである。

#### 微小貝

上述の腹足綱 20 種・二枚貝綱 27 種以外の貝種で、4 mm フルイを通過する程度の大きさの貝をここで微小貝として扱う。

#### <検出量>

第 420 図に時期別地点別の微小貝の検出量を示した。これによると、1 地点から 100 点以上検出されているのは、称名寺期 2 地点 (20 号・33 号) • 堀之内期 7 地点 (4 号・18 号・30 号・44 号・67 号・74 号・75 号) • 加曾利 B 期 2 地点 (50 号・76 号) • 安行期 1 地点 (23 号) である。また、同一地点での層位による検出量の違いを第 60 表からみてみると、他より多く検出されている層は 33 号貝層では ⑤、18 号貝層では ③ と ⑤、30 号貝層では ③、67 号貝層では ④ と ⑧ と ⑪、76 号貝層では ⑯ と ⑰ と ⑲ で中層から下層に多く検出される傾向がある。

#### <同定記載>

同定作業の結果確認された微小貝の種名一覧を第57表に、検出数一覧を第60・61表に示した。海産15種、陸産13種が確認された。このうち海産のシラギクガイ・モツボ・シロイトカケギリ・キヌカツギハマシイノミガイ・ムラクモキジビキガイ・コメツブガイ・ハナグモリガイ、陸産のウメムラシタラガイは各1点のみの稀少種である。海産のヨコイトカケギリ・ユキヤナギガイも各2点のみの稀少種である。数点あるいはある程度の数は検出されているが検出された地点に偏りのある準稀少種としては、海産のシマハマツボ・カゴメイトカケギリ・クチキレモドキ・オオシノミガイ、陸産のウラジロベッコウ・オオケマイマイ・マイマイ属・ヒダリマキマイマイがある。

#### <貝種組成>

海産微小貝の主体はツボミガイとカワザンショウガイ、陸産微小貝の主体はヒダリマキゴマガイ・ゴマガイ・キセルガイ・オカチョウジガイ・ホソオカチョウジガイ・ヒメコハクガイ・キビガイ・ヒメベッコウガイである。これらを時期別にみるとツボミガイは総数88点のうち堀之内期が最も多く66点(75.0%)、次いで称名寺期18点(20.4%)、加曾利B期3点(3.4%)、安行期1点(1.1%)となる(第491図上)。ツボミガイはウミニナに付着することが知られるが(加納哲哉 貝塚から出土する微小貝類の基礎的研究—縄文時代における海洋植物利用検討のために— 松戸市立博物館紀要 第5号 1998)、実際にこのような検出例がなかったので数の上で確かめてみると、ウミニナ6,442点のうち堀之内期が最も多く3,796点(58.9%)、次いで称名寺期1,281点(19.8%)、加曾利B期1,066点(16.5%)、安行期299点(4.6%)となり何らかの相関関係を認めることができる(第491図中)。カワザンショウガイは、堀之内期に最も多く99点、次いで称名寺期に67点、加曾利B期に27点、安行期に16点を検出しているが、このうち堀之内期55点・称名寺期50点・加曾利B期18点と大半のものが被熱して灰色に変色していることを記し注意しておきたい(第491図上)。陸産微小貝の組成を時期別にみると(第491図下)、称名寺期はオカチョウジガイ(55.7%)・キセルガイ(13.3%)・ヒメコハクガイ(11.3%)・ホソオカチョウジガイ(7.7%)・ヒメベッコウガイ(7.1%)、堀之内期はオカチョウジガイ(45.3%)・キセルガイ(16.7%)・ヒダリマキゴマガイ(14.1%)・ホソオカチョウジガイ(10.0%)・ヒメベッコウガイ(7.1%)、加曾利B期はオカチョウジガイ(38.0%)・キセルガイ(28.7%)・ゴマガイ(9.5%)・ホソオカチョウジガイ(7.1%)・ヒメベッコウガイ(7.1%)・ヒメコハクガイ(5.1%)、安行期はキセルガイ(58.5%)・オカチョウジガイ(21.9%)・ゴマガイ(4.9%)となる。

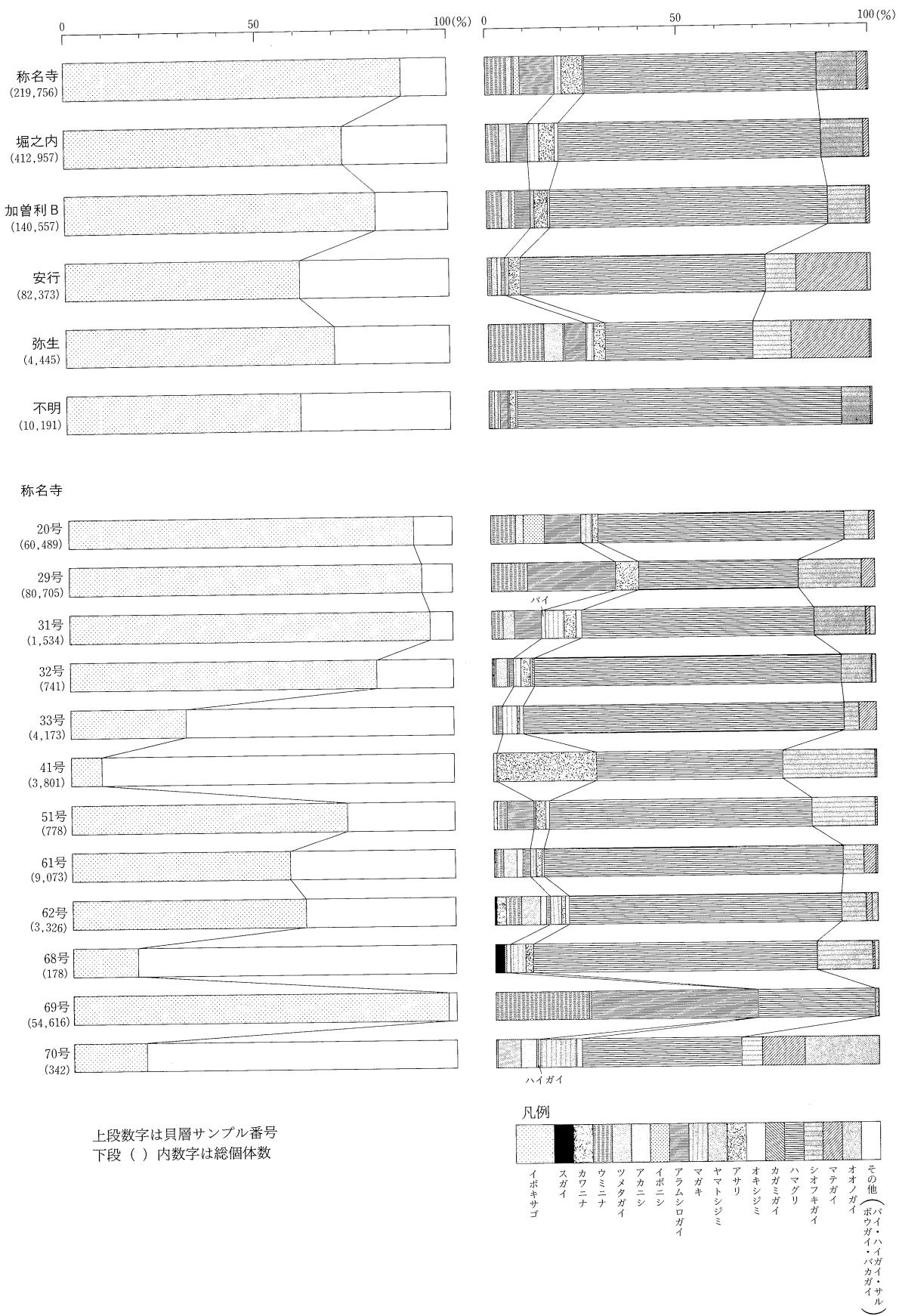
#### 幼貝・穿孔貝

上述の腹足綱20種・二枚貝綱27種のうち、大きさが10mmに満たないものおよび別の貝の捕食によるとみられる穿孔のある個体について第62・63表に一覧とした。これらは食用に供するために集落内にもちこまれた貝類とともに混獲された可能性が強く、貝類の採集方法等を検討するうえで意味のあるデータとみなし表示することとした。

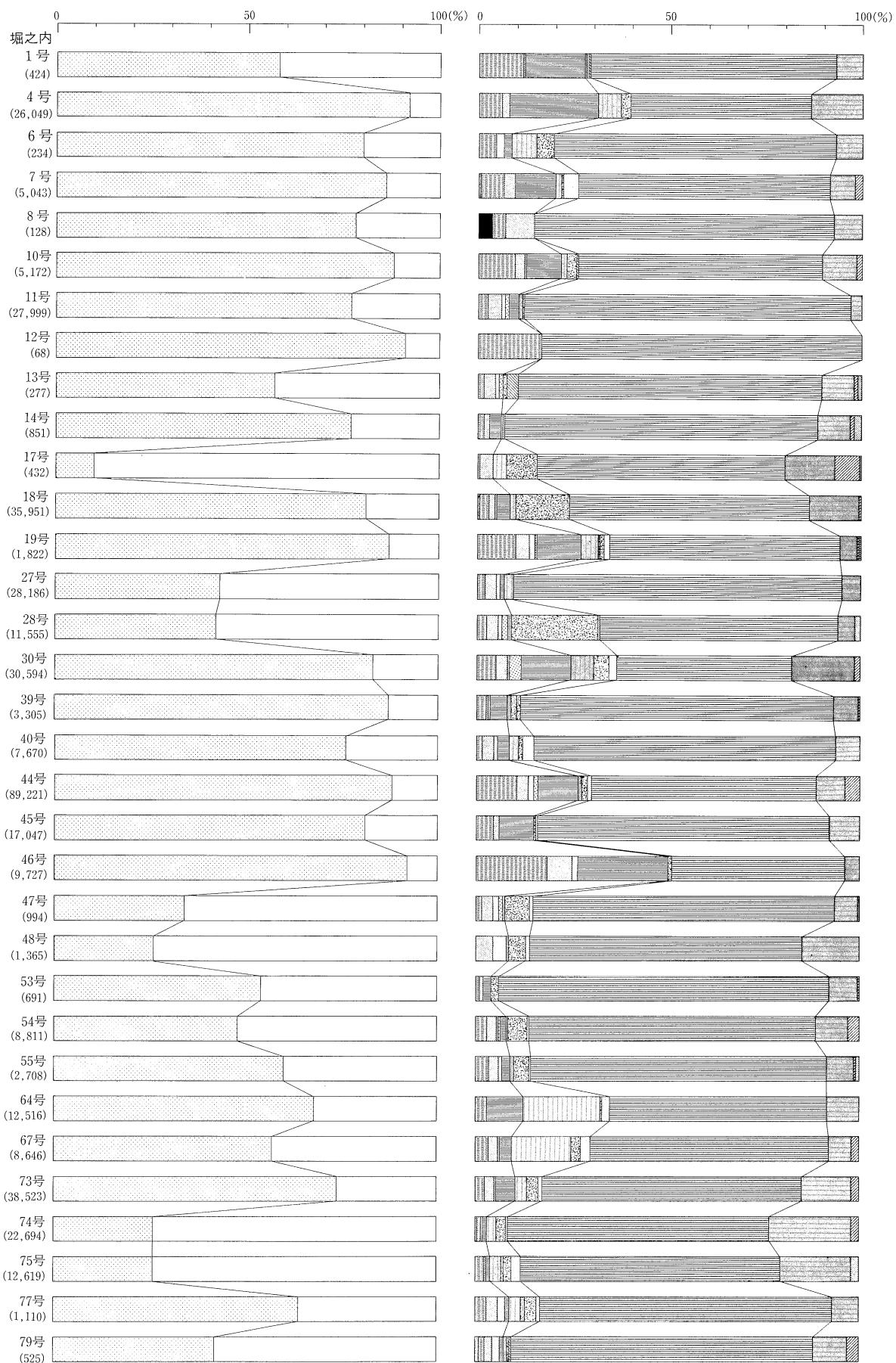
第57表 出土節足動物・棘皮動物・軟體動物種名一覧

陸生動物門	Phylum COELENTERATA	Class Gastropoda	體足綱 原始腹足目 ユキコガサ科 ヒメコガサカイ(ツボミガイ)
花虫綱	Class Anthozoa	Order Archaeogastropoda	
大故サンゴ亞綱	Subclass Hexacorallia	Family Acanthidae	
イシサンゴ目	Order Scleractini	Pectinidae	
キクメンソウ科	Family Faviidae	Ascidia	
キクメンソウ科	Favia speciosa	Sophacidae	
筋足動物門	Phylum ARTHROPODA	Family Glycymeridae	
甲殻綱	Class Crustacea	Glymers vestita	
裏脚亞綱	Subclass Cirripedia	Family Mytilidae	
完脚目	Order Thoracida	Metus consucum	
シロズシフジシボ	Subclass Malacostraca	Family Pectinidae	
軟甲亞綱	Order Decapoda	Pecten (Nicolova) albicans	
十脚目	Family Leucosidae	Charynus farri nipponensis	
コブシガニ科	Leucosidae gen. et sp. indet.	Family Ostreidae	
コブシガニ科	Family Grapsidae	Ostrea denselamellosa	
イモガニ科	Epocher japonicus	Croassidae	
モズクガニ	Chasmagnathus conexus / Helice tridentis	Order Heterodontidae	
ハガニアガニ	Asterocidus crassispina?	Family Corbiculidae	
ナガウニ科	Phylum ECHINODERATA	Corbicula japonica	
ムラサキウニ?	Class Echinodermata	Family Unionidae	
スカシカシバンウニ?	Family Astericidae	Ruditapes philippinarum	
棘皮動物門	Asteripodus marmi?	Ocina strens	
ウニ綱	Phylum MOLLUSCA	Dosinia japonicus	
原生腹足目	Class Gastropoda	Gomphina (Macriscus) veneniformis	
ミミカイ科	Order Archaeogastropoda	Menirix luscoria	
アワビの一種	Family Halitidae	Macra veneniformis	
ニシキウニ科	Haliotis sp.	Tresus keenae	
イボキサコ	Family Trochidae	Macra chirensis	
リュウテン科	Umbonium moniliferum	Ceolostoma antirrhina	
サザエ	Family Turbinidae	Lutraria maxima	
スガイ	Turbo (Bafius) cornutus	Family Pannopiliidae	
カノガイ	Lunella cornuta comensis	Soleimena obsoleta	
エコノマギビ科	Ocenebrus sowerbiius	Family Tellinidae	
タマキビ	Family Littorinidae	Macoma contrabulata	
中腹足目	Littorina brevicornis	Arcopteryx (Mersea) diaphana	
カワニナ科	Order Mesogastropoda	Family Solenidae	
タニン科	Family Pleuroceridae	Solen striatus	
マルタニ	Semisulcospira bensonii	Family Muridae	
ウニナ科	Family Viviparidae	Mya arenaria concolor	
タマガイ科	Changepsaura chirensis	Solidicorbula erythrodon	
スガイ	malleata		
ツタガイ	Order Nematoda		
新腹足目	Family Tomidae		
ヤツシロガイ科	Tonna lateostoma		
ヤツシロガイ	Family Muricidae		
アラシガイ科	Rapana thomasi		
アラシガイ	Thais clavifera		
イボニシ	Family Nassariidae		
ムシロガイ科	Retusa nassa aciculifera		
ムシロガイ	Family Buccinidae		
ヒムロガイ	Babylonia japonica		
エリハニシ	Family Fissidentalidae		
エラムシロガイ	Fusinus perakensis		
エラムシロガイ	Family Cancillariidae		
コロモガイ	Sypharopora sprengerianna		
イモガイ科	Family Conidae		

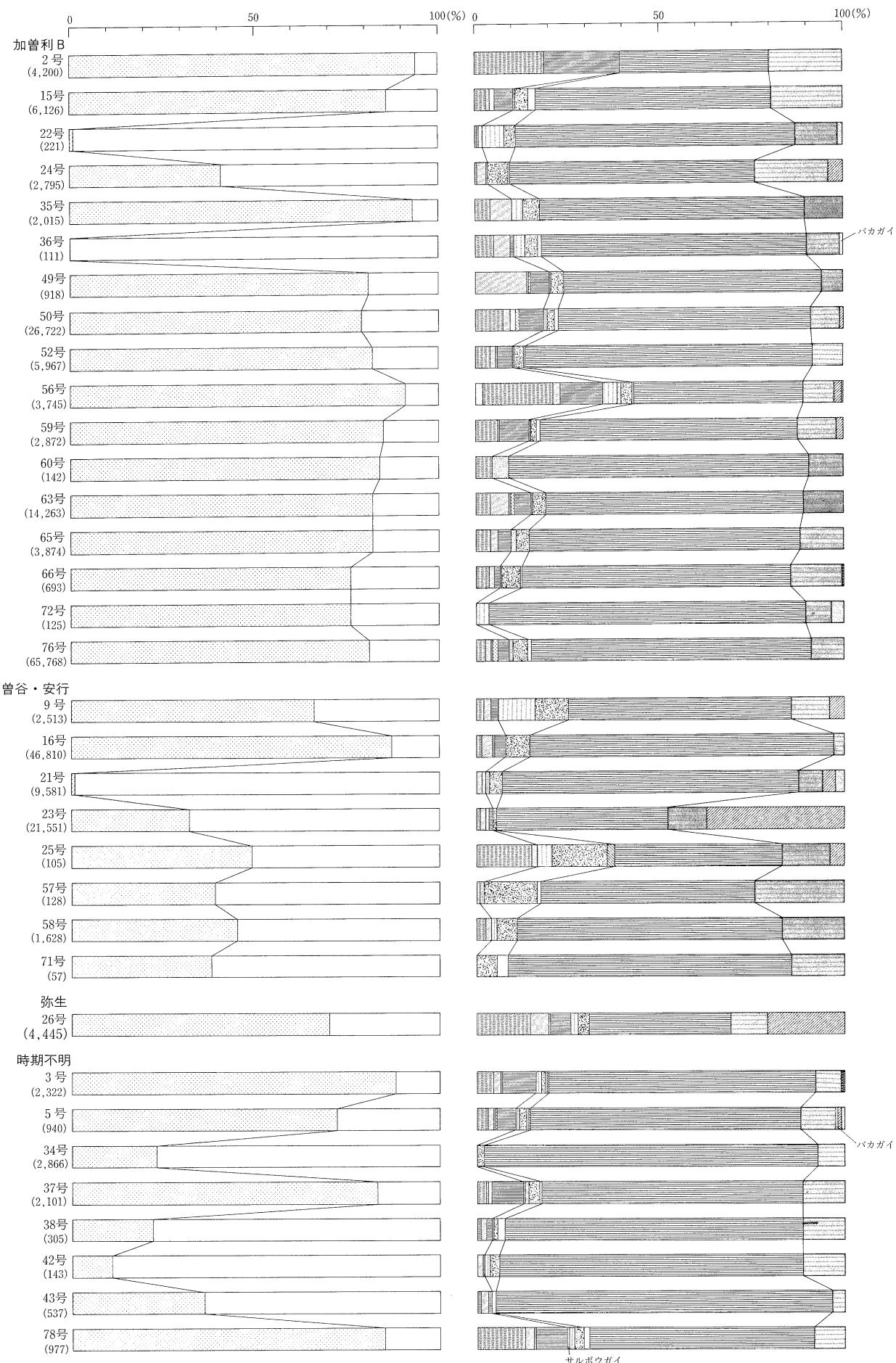




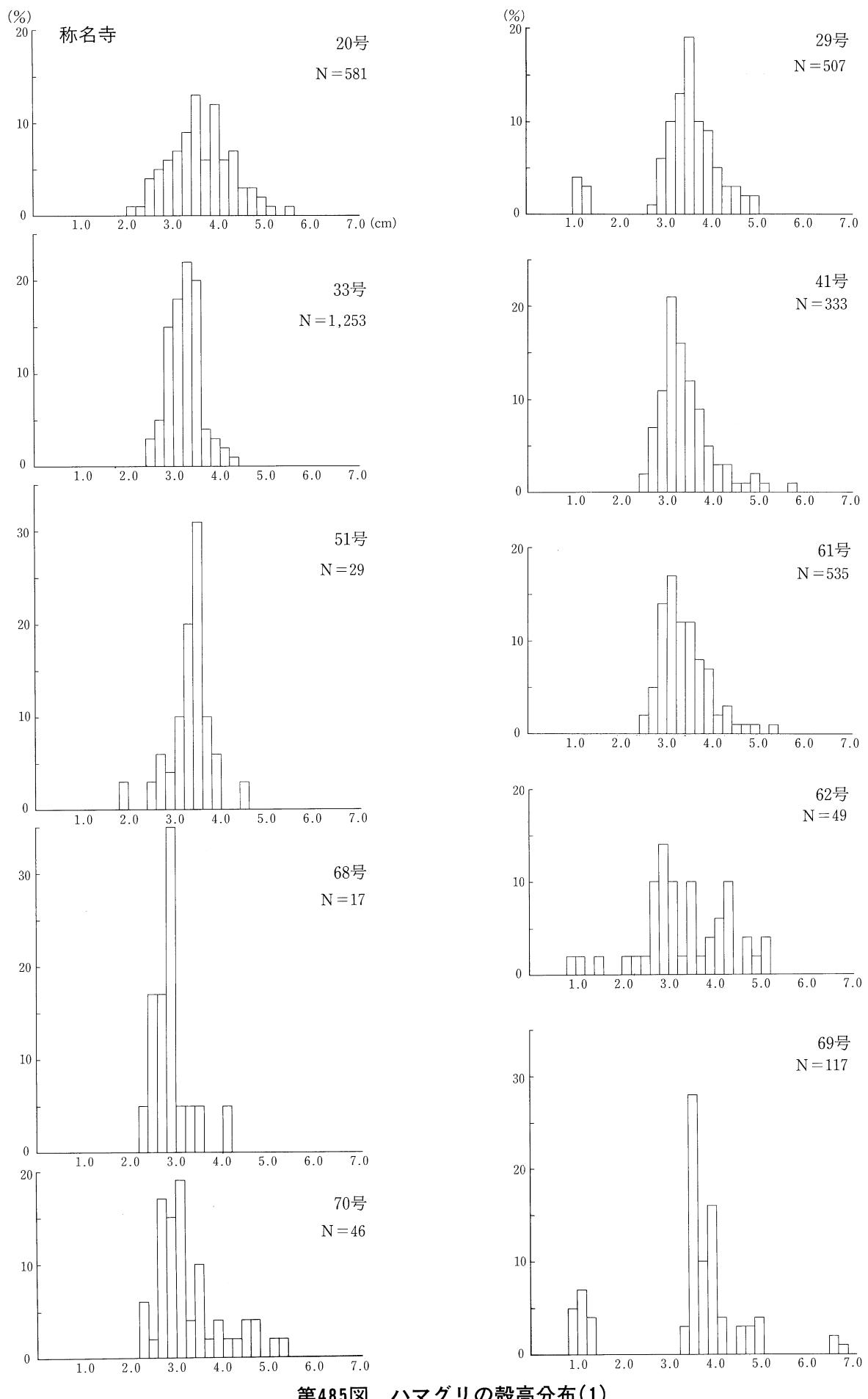
第482図 時期別・地点別貝種組成(1)



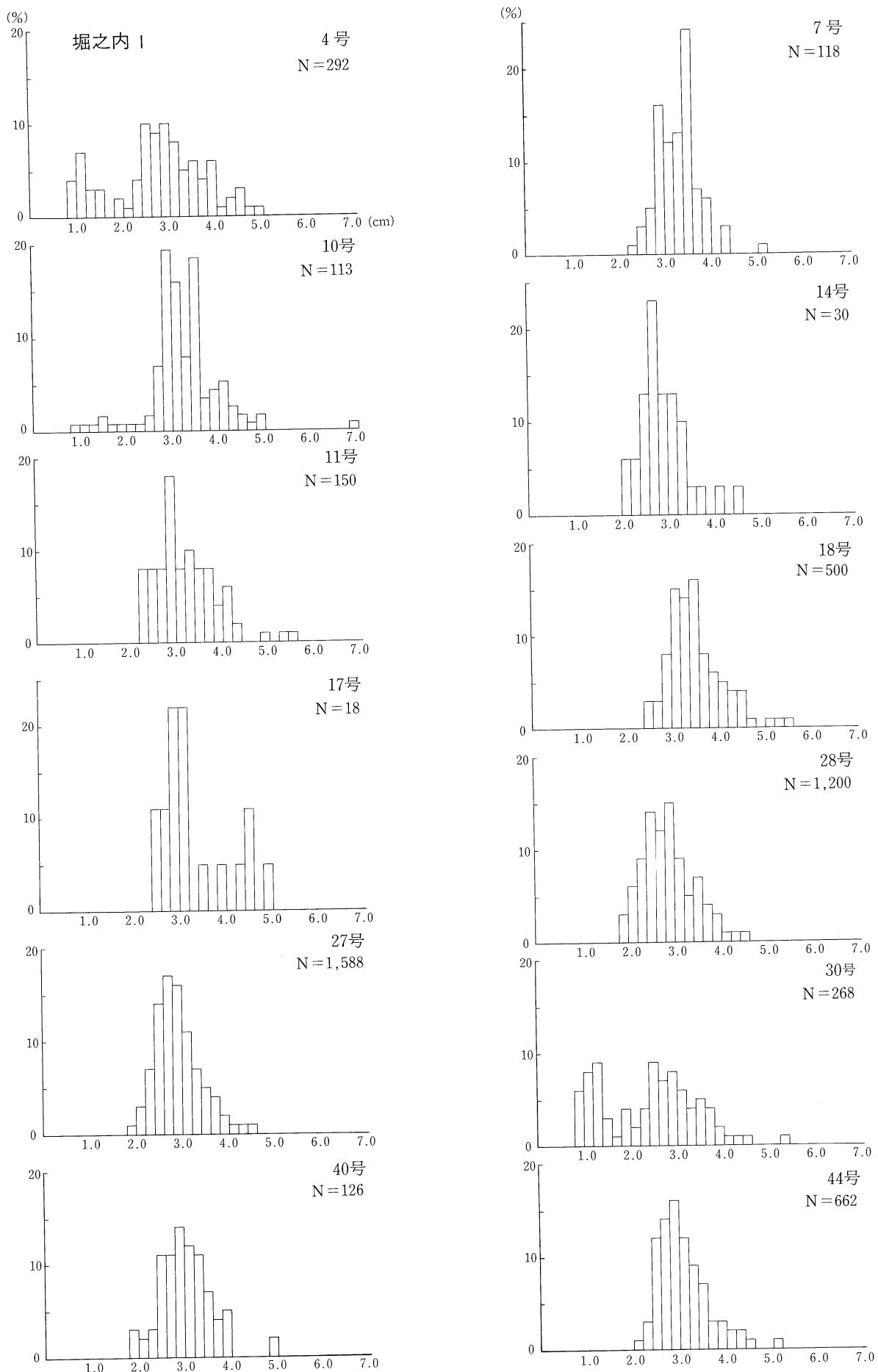
第483図 時期別・地点別貝種組成(2)



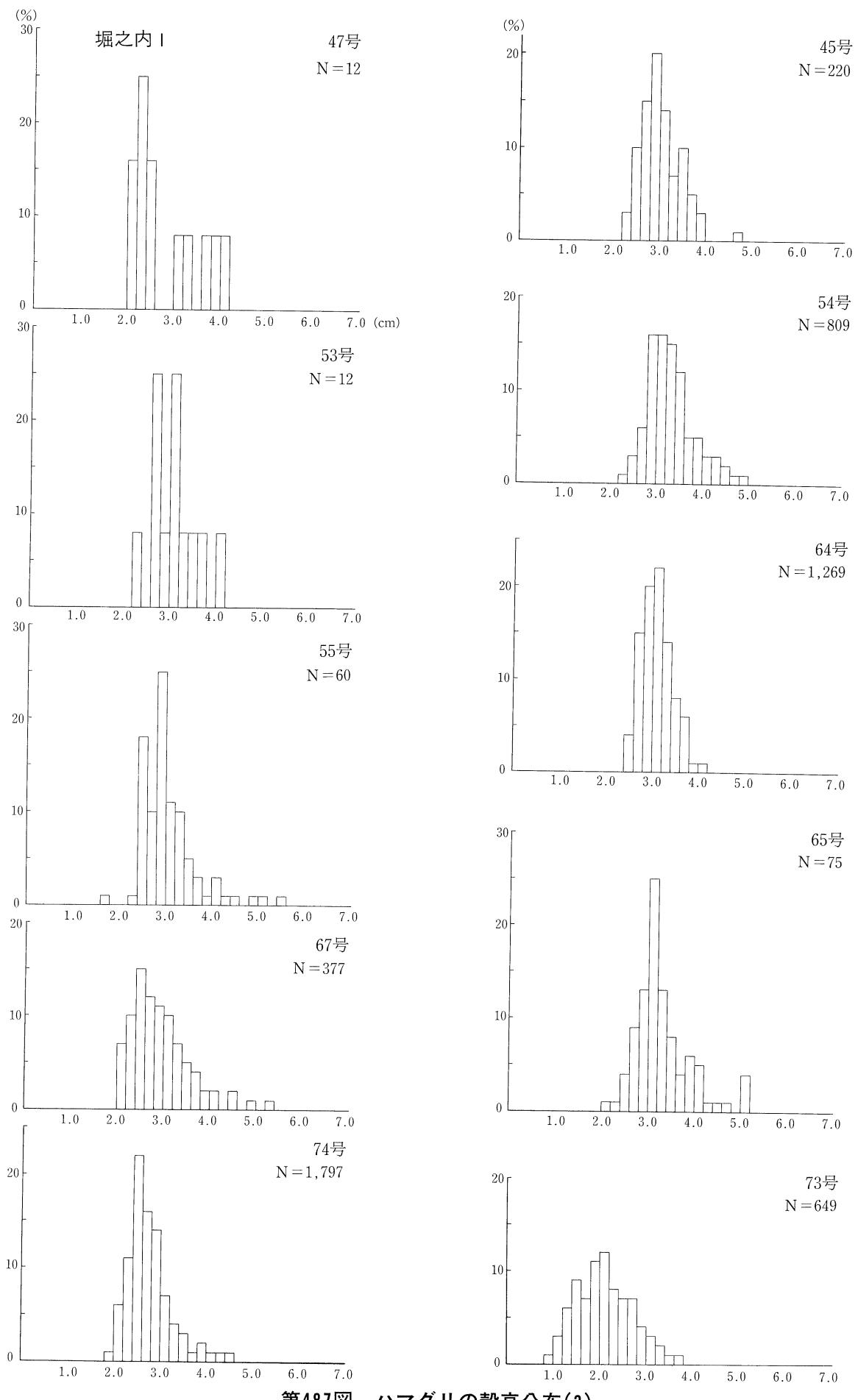
第484図 時期別・地点別貝種組成(3)



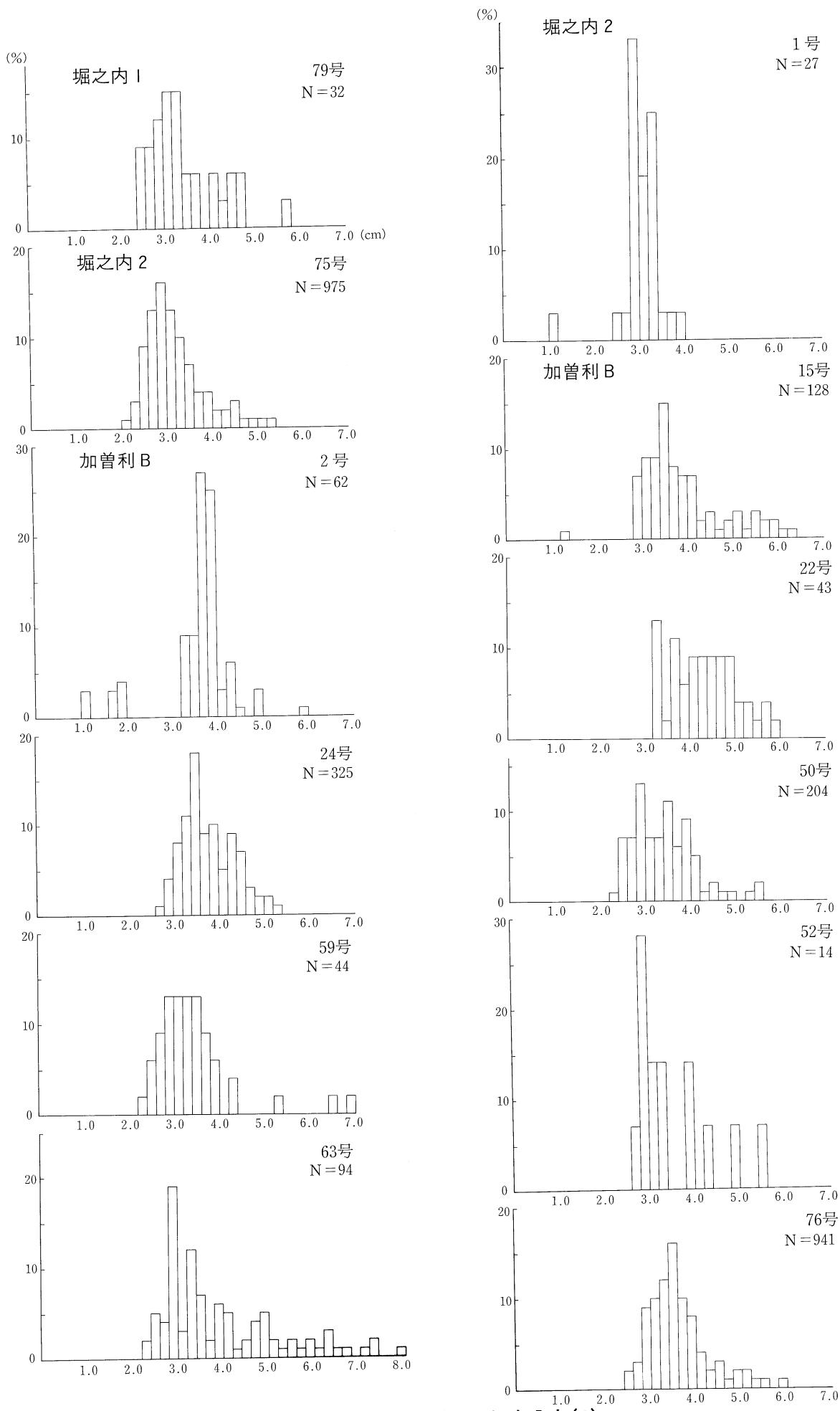
第485図 ハマグリの殻高分布(1)



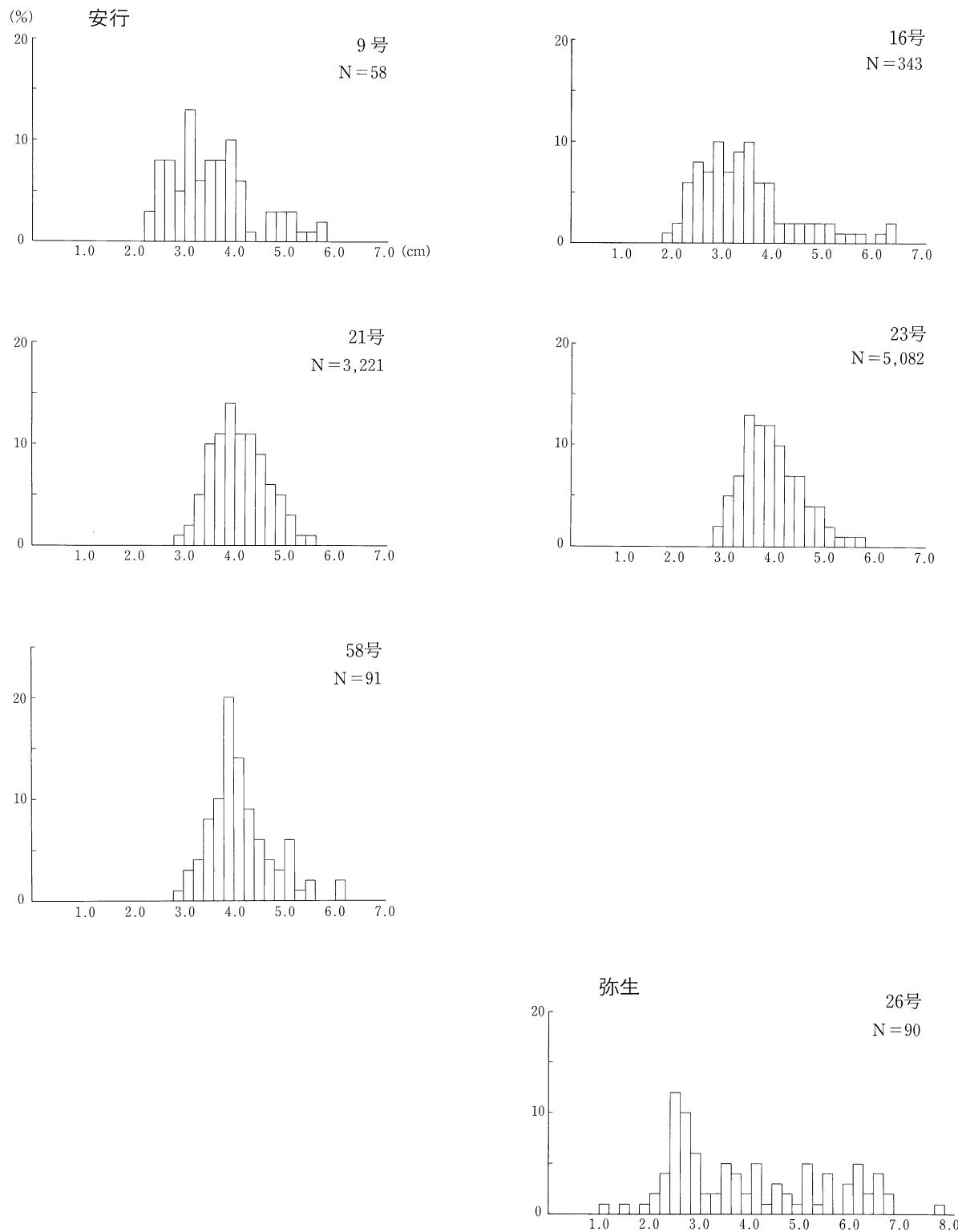
第486図 ハマグリの殻高分布(2)



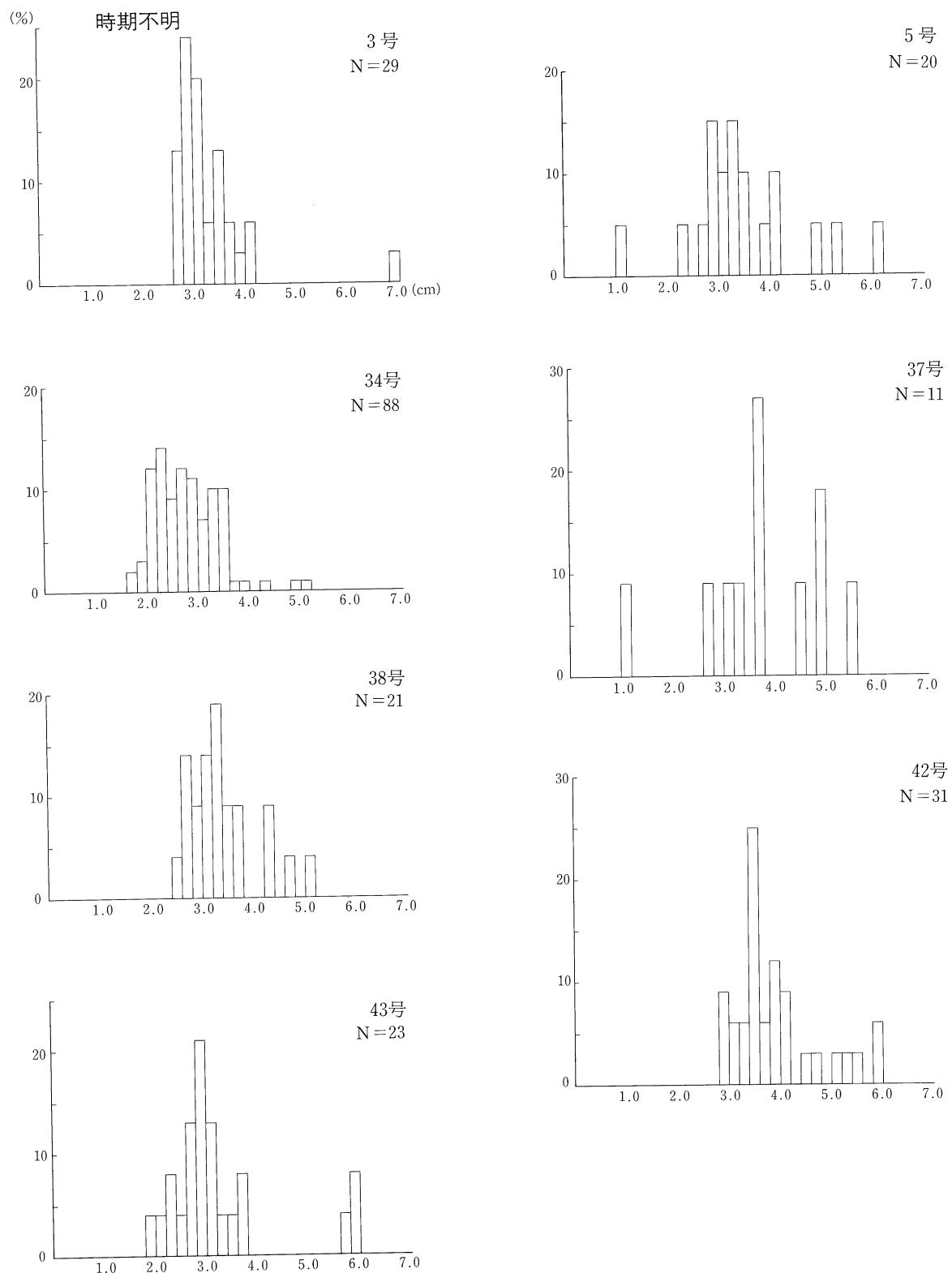
第487図 ハマグリの殻高分布(3)



第488図 ハマグリの殻高分布(4)



第489図 ハマグリの殻高分布(5)



第490図 ハマグリの殻高分布(6)

第60表 微小貝検出数一覧

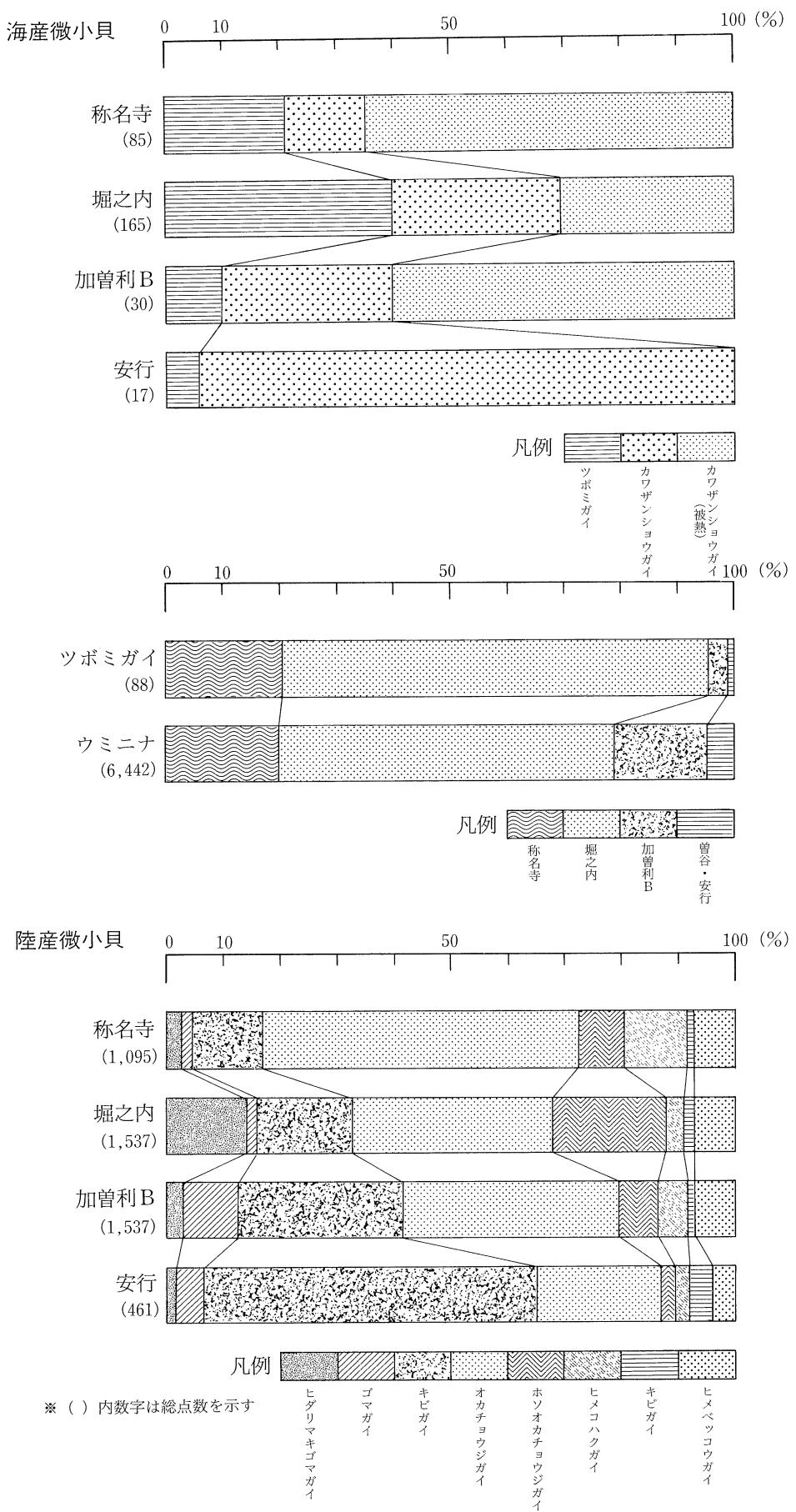








### 第61表 微小貝集計表



第491図 海産・陸産微小貝の時期別組成

第62表 幼貝検出数一覧

資料No.	遺構No.	時期	貝種																		
			カワニナ	ウミナ	ツメタガイ	アカニシ	アラムシロ	サルボウガイ	マガキ	マガキ	ウネナシトマヤガイ	アサリ	アサリ	オキシジミ	カガミガイ	カガミガイ	ハマグリ	ハマグリ	シオフキガイ		
20.1	24号住居	新名寺	3		1					2	1	1	1	2	4	1	2				
20.2	24号住居	新名寺	2	1	1										1	5					
20.3	24号住居	新名寺	1													1					
29.1	—	新名寺													3	3	1				
29.2	—	新名寺													3		1	1			
31	—	新名寺		2										1		1					
33.2	—	新名寺												1							
33.7	—	新名寺	1											2			1				
41	159号土坑	新名寺														1					
51.1	195号土坑	新名寺												1							
51.2	195号土坑	新名寺																			
61.1	235号土坑	新名寺	5	1	2									1		2	3				
61.2	235号土坑	新名寺	1																		
62.1	236号土坑	新名寺	3	2	1									1		2					
62.2	236号土坑	新名寺			4																
69	268号土坑	新名寺	1											1	2	1	3	7	13	11	
4.1	7号住居	堀之内1															1	1			
4.2	7号住居	堀之内1	1	1										4	1		22	30	2	2	
7	77号土坑	堀之内1												3	1		1				
11.9	19号住居	堀之内1			1																
18.3	116号土坑	堀之内1												1							
18.5	116号土坑	堀之内1	2															1			
18.6	116号土坑	堀之内1	1														1				
19	178号土坑	堀之内1															2				
27.28	—	堀之内1														2					
28.21	55号遺構	堀之内1												1				1			
28.39	55号遺構	堀之内1																			
30.3	—	堀之内1			4									2		11	15	2	1		
30.4	—	堀之内1															1				
44.02	27号住居	堀之内1	1	2	1									4		2	2	2			
44.03	27号住居	堀之内1	2		1									8	2			3			
44.04	27号住居	堀之内1																1			
44.05	27号住居	堀之内1	1																		
44.07	27号住居	堀之内1												2	5			1	1		
44.08	27号住居	堀之内1												1							
44.10	27号住居	堀之内1														1					
44.11	27号住居	堀之内1	1	1										7	5		3				
44.12	27号住居	堀之内1												2	4			1			
46	—	堀之内1												1	1			1			
54.3	213号土坑	堀之内1		1																	
54.4	213号土坑	堀之内1	1		1									1	1		1	5			
54.5	213号土坑	堀之内1	1		2											2					
54.6	213号土坑	堀之内1	3											1		2	1				
55.1	222号土坑	堀之内1												1		5	1	2			
55.2	222号土坑	堀之内1														1					
64	253号土坑	堀之内1	2	2										1	5	5	1	19	21	5	4
67.07	38号住居	堀之内1			1																
67.09	38号住居	堀之内1	1											1							
67.10	38号住居	堀之内1																	1		
67.13	38号住居	堀之内1			1																
73.03	—	堀之内1												1			1				
73.06	—	堀之内1															1				
73.08	—	堀之内1			1													3			
73.09	—	堀之内1	1																		
73.11	—	堀之内1																1			
73.18	—	堀之内1												1			1				
73.20	—	堀之内1	1															1			
73.35	—	堀之内1																1			
73.37	—	堀之内1																3			
73.39	—	堀之内1	2																		
73.40	—	堀之内1															1				
74.18	45号住居	堀之内1																1			
75.04	53号遺構	堀之内2																1			
75.12	53号遺構	堀之内2																			
75.16	53号遺構	堀之内2																1			
75.18	53号遺構	堀之内2												1							
75.19	53号遺構	堀之内2												1			1				
75.29	53号遺構	堀之内2															1				
79	—	堀之内1																			
2	34号土坑	加曾利B																2	1	2	
50.2	29号住居	加曾利B	1	1														1	1		
50.3	29号住居	加曾利B																1			
52	30号住居	加曾利B	3											1	1		1				
56	221号土坑	加曾利B	2											1	1	1		2	1		
66	37号住居	加曾利B	2																		
76.09	51号住居	加曾利B																1			
76.18	51号住居	加曾利B																1			
9.6	101号土坑	安行												1	4			1	5		
9.7	101号土坑	安行												1	1			1			
23.04	46号住居	安行												1	1						
23.05	46号住居	安行												1							
23.06	46号住居	安行												2							
23.10	46号住居	安行																1			
58	—	安行												1							
71	270号土坑	安行																1			
26.5	—	弥生													1						
26.8	—	弥生																1			
43	162号土坑	不明																1			

第63表 穿孔貝検出数一覧

資料No.	遺構No.	時期	貝種		マガキ	マガキ	アサリ	アサリ	ハマグリ	ハマグリ	シオフキガイ	シオフキガイ	オオノガイ	オオノガイ
			L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R
20.1	24号住居	称名寺							4	3	2	1		
20.3	24号住居	称名寺							1					
29.1	—	称名寺					4	1	11	10				
29.2	—	称名寺					2		2	2	1			
33.7	—	称名寺					1	1						
41	159号土坑	称名寺							1					
61.2	235号土坑	称名寺					1							
62.1	236号土坑	称名寺							1					
62.2	236号土坑	称名寺				1								
69	268号土坑	称名寺							4	4				
4.1	7号住居	堀之内1										1		
4.2	7号住居	堀之内1							5	5	1		1	
8	80号土坑	堀之内1							1					
18.6	116号土坑	堀之内1									1			
19	178号土坑	堀之内1			1						2			
27.28	—	堀之内1									1			
28.07	55号遺構	堀之内1				2		1						
28.15	55号遺構	堀之内1									1			
28.16	55号遺構	堀之内1									1			
28.20	55号遺構	堀之内1							1	1				
28.21	55号遺構	堀之内1			1									
30.1	—	堀之内1							1					
30.2	—	堀之内1							1					
30.3	—	堀之内1							11	7	1	1		
44.01	27号住居	堀之内1							1					
44.02	27号住居	堀之内1								2				
44.11	27号住居	堀之内1				1					1			
44.13	27号住居	堀之内1							1					
44.15	27号住居	堀之内1				2								
45.2	—	堀之内1			1				1	1	2			
46	—	堀之内1							4	1				
54.2	213号土坑	堀之内1							1					
54.5	213号土坑	堀之内1							1					
54.6	213号土坑	堀之内1							1					
64	253号土坑	堀之内1					1	2	9	15	2	3		
67.06	38号住居	堀之内1							1					
67.07	38号住居	堀之内1							1					
67.08	38号住居	堀之内1				1								
67.10	38号住居	堀之内1						1						
67.13	38号住居	堀之内1				1								
73.01	—	堀之内1								1				
73.03	—	堀之内1							1					
73.05	—	堀之内1								1				
73.07	—	堀之内1				1								
73.08	—	堀之内1							1					
73.12	—	堀之内1				1								
73.18	—	堀之内1							1					
73.19	—	堀之内1								1				
73.37	—	堀之内1						2	1					
75.20	53号遺構	堀之内2				1								
75.23	53号遺構	堀之内2						1						
79	—	堀之内1						1						
2	34号土坑	加曾利B									1	1		
50.2	29号住居	加曾利B							1	1				
56.2	221号土坑	加曾利B					1	1						
76.06	51号住居	加曾利B								1				
76.14	51号住居	加曾利B								1				
76.20	51号住居	加曾利B										1		
23.04	46号住居	安行				1								
23.05	46号住居	安行								1				
23.10	46号住居	安行						1						
23.18	46号住居	安行							2					
78	—	不明								1				

## c 脊椎動物門

### 軟骨魚綱・硬骨魚綱

#### <検出量の傾向>

第420図に時期別・地点別のそれぞれの魚骨検出量を示した。3地点を除く全ての貝層サンプル中から検出されている。1地点から魚骨を多量に検出したサンプルは称名寺期1地点(20号)、堀之内期3地点(11・44・74号)、加曾利B期2地点(50・76号)、安行期3地点(21・23・58号)である。

#### <同定方法>

軟骨魚綱・硬骨魚綱ともに残存する骨の中からそれぞれの種ごとに特徴的な部位骨(頭蓋骨・耳石骨・内臓骨・椎骨・鱗棘・鱗など)を選び、これらについて現生魚類標本との比較をもとに同定をおこなった。各魚種ごとに部位別の集計表を作成した。

#### <同定記載>

同定作業の結果確認された脊椎動物の種名一覧を第64表に、魚種別の集計結果を第66~102表に示した。軟骨魚綱4種、硬骨魚綱31種が確認された。なお、集計の基になる最小サンプル単位での検出数一覧は、データが膨大なため本編中に収録するのが不可能と判断し、付録のCD-ROMに第230表として納めてあるので参照頂きたい。

#### <魚種組成の特徴>

魚種ごとに検出部位骨を集計して算出した最小個体数を時期別・地点別に表示したのが第65表であり、それをグラフで示したのが第492・493図である。以下、時期別の魚種組成の特徴を述べる。

#### 称名寺期

12地点のサンプルの集計では、アカエイ・ウグイ・コイ・ドジョウ・ギバチ・ダツ・メナダ・イシモチ・ブリ・マダイ・アイナメ類・カワハギ類を除く23魚種が検出されているが、その主体はクロダイ16%・キス11%・マイワシ9%・カレイ類9%・コチ類7%である。地点別にみると69号貝層でキスの比率が32%で最も高くなっている。

#### 堀之内期

35地点のサンプルの集計では、35魚種全てが検出されているが、その主体はマイワシ19%・マアジ16%・カタクチイワシ12%・クロダイ8%・キス7%である。地点別にみると11号貝層のクロダイが45%・コチ類16%と高い比率を示している。18号貝層ではマアジが46%と高い比率を示している。39号貝層ではフナ類が30%と高い比率を示している。

#### 加曾利B期

17地点のサンプルの集計では、ドジョウ・アイナメ類・カワハギ類を除く32魚種が検出されているが、その主体はクロダイ22%・マアジ8%・マイワシ8%・キス6%・スズキ5%である。地点別にみると76号貝層でクロダイが40%と高い比率を示している。

#### 曾谷・安行期

8地点のサンプルの集計では、カスザメ・ダツ・メナダ・ハゼ類・アイナメ類・カワハギ類を除く29魚種が検出されているが、その主体はクロダイ45%・コチ類9%・カレイ類6%・スズキ5%である。

#### <主要魚種の体長>

クロダイ・マダイ・スズキ・マアジ・ブリ・フグ類・コチ類のうち残存状況のよかつた前上顎骨長・歯骨高を計測し、その数値を第103表に示した。クロダイの前上顎骨長・歯骨高平均は、称名寺期25.0・8.6cm、堀之内期26.7・8.9cm、加曽利B期28.9・9.9cm、安行期27.3・9.0cmである。

#### 両生綱・爬虫綱・鳥綱・哺乳綱

##### <検出量の傾向>

第420図に時期別・地点別のそれぞれの獣骨検出量を示した。1地点を除く全ての貝層サンプル中から検出されている。1地点から獣骨を多量に検出したサンプルは称名寺期2地点(33・61号)、堀之内期6地点(4・18・27・54・64・75号)、加曽利B期4地点(2・50・63・76号)、安行期5地点(9・16・21・23・58号)である。

##### <同定方法>

両生綱・爬虫綱・鳥綱・哺乳綱とともに残存する部位骨について、現生獣類標本との比較をもとに同定をおこなった。種ごとに部位別・残存箇所別の集計表を作成した。

##### <同定記載>

同定作業の結果確認された脊椎動物の種名一覧を第64表に、検出数一覧を第104～154表に示した。両生綱2種、爬虫綱2種、鳥綱22種、哺乳綱21種が確認された。

##### <計測>

イノシシとニホンジカの主要部位骨の計測値を第161・162表に示した。

##### <組成の特徴>

種ごとに検出部位骨を集計して算出した最小個体数を時期別・地点別に表示したのが第155～157表であり、これを時期別に表示したのが第494図である。以下、時期別の組成の概要を述べる。

#### 称名寺期

カエル類・ヘビ類7.5%、マガン・カモ類・中型のスズメ目などの鳥7.5%、ネズミ類26%、イヌ・タヌキ・イタチ13%、イノシシ19%、ニホンジカ22.5%である。

#### 堀之内期

カエル類・ヘビ類8.5%、ウミガメ類0.5%、ヒシクイ・カモ類・キジ類・ウ類・シギ類・ヒヨドリ・中型のスズメ目・小型のスズメ目・カケスなどの鳥11.5%、モグラ類・ノウサギ5%、ネズミ類37%、クジラ類・イルカ類1.5%、イヌ・タヌキ・テン12%、イノシシ14%、ニホンジカ9.5%である。

#### 加曽利B期

カエル類・ヘビ類6%、ウミガメ類1%、マガン・カモ類・キジ類・ハイイロミズナキドリ・ウ類・クイナ・ハト類・シギ類・ヒヨドリ・中型のスズメ目・小型のスズメ目・ワシタカ類などの鳥16%、モグラ類・ヒミズ類・ニホンザル・ノウサギ・ムササビ10.5%、ネズミ類13.5%、クジラ類・イルカ類3.5%、イヌ・タヌキ・イタチ・テン・カワウソ13.5%、イノシシ14.5%、ニホンジカ21.5%である。

#### 曾谷・安行期

カエル類・ヘビ類9.5%、オオハクチョウ・ヒシクイ・カモ類・キジ類・カツブリ類・ウミウ・クイナ・カモメ類・シギ類・中型のスズメ目・小型のスズメ目・フクロウ・アオサギ・コウノトリなどの鳥25.5%、モグラ類・ニホンザル・ノウサギ・ムササビ7.5%、ネズミ類10.5%、クジラ類・イルカ類・ニホンアシカ8.5%、イヌ・タヌキ・イタチ・テン・アナグマ・カワウソ15%、イノシシ8.5%、

ニホンジカ15%である。

#### 貝層サンプルおよび土坑覆土内検出の人骨

第134表に示したように、貝層サンプル中および貝層を伴わない遺構の覆土中から埋葬とは異なるかたちで散在的にヒトの部位骨が検出された。本遺跡には100体を超える数の埋葬人骨が検出されており、時期的にも縄文後期全般におよんでいるとみられるため何らかの原因でこれらが無意識のうちに壊され、貝層や遺構覆土中に混入したものとみられる。検出部位としては、頭蓋骨・下顎骨・歯・椎骨・鎖骨・肩甲骨・胸骨・上腕骨・手根骨・中手骨・手の指骨・仙骨・大腿骨・膝蓋骨・脛骨・腓骨・足根骨・距骨・中足骨・足の指骨などほぼ全身の部位骨にわたり、年齢的には成人・未成人両者のものがみられる。

#### 遺構覆土中検出の獸骨

貝層を伴わない住居や土坑など遺構の覆土中からも獸骨が検出されている。第158表に一覧とした。時期別のうちわけは、称名寺期3例・堀之内期4例・加曾利B期3例・曾谷・安行期13例である。土壤中で骨が残存できた理由については断言はできないが、何らかの理由から熱を受けたことが大きく影響しているとみられる。ただし、肉眼では全くその痕跡がみとめられないのに保存された事例もあった（2号住居出入口前土坑検出のイノシシの左右の下顎骨例など）。第158表に検出された獸骨総量に対する焼獸骨の比率を示してある。これによると称名寺期のものは焼獸骨含有率0%であるが、堀之内期は51.2%、加曾利B期71.1%、曾谷・安行期100%と時期が下るにつれて比率が上がる傾向が認められる。比較資料として、貝層サンプル中から検出された獸骨についても同様の表示をした結果、焼獸骨含有率は称名寺期19.8%、堀之内期35.7%、加曾利B期25.1%、曾谷・安行期14.6%と貝層を伴わない覆土中のものよりかなり低い比率となった（第159表）。

貝層を伴う住居であるが貝層以外の覆土（土壤）中からも多量の獸骨を検出できた事例があるので、ここに記す。この事例は、加曾利B期の51号住居である。第463・464図に示すように、この住居の覆土は層位ごとに50cmの任意グリッド単位で遺物の採取をおこなったため、土壤中に包含された獸骨の分布状況を細かくとらえることができた。検出された獸骨の密度は図中トーンで区別してある。第160表に層位別・グリッド別に獸骨検出量と焼獸骨の比率を示した。これによると、柱穴や出入口部を含めた覆土全体では、焼獸骨含有率46.4%、炉覆土では100%、貝層中では28.2%と同一遺構内においても貝層中とそれ以外の土壤中とでは焼獸骨含有率に明らかな差が認められる。

51号住居は焼獸骨を多量に出土しているが、遺構内では炉以外には獸骨を直接焼いたとみられる痕跡はなかった。同様に焼獸骨を多量に出土している遺構としては加曾利B期の50号住居があげられるが、本遺構の場合は住居の壁際に頗著な焼土の堆積がありその周辺の柱穴覆土中から検出されたものである（第288図）。さらに本遺構からは、かなりの高温で2次的に焼成を加えられたために生じたとみられる発泡土器が多量に検出されており、これら焼土・焼獸骨・発泡土器の検出状況が注目される。なお、検出された発泡土器については第III章1節で自然科学分析をおこなっているので参照頂きたい。

また、貝層を伴う土坑であるが貝層以外の覆土（土壤）中からも多量の獸骨を検出できた事例があるのでさきに記す。この事例は、堀之内期の116号土坑である。第464図に示すように、この土坑の覆土は上部には貝層が形成されており、この貝層直下の土壤中より複数のイヌの部位骨が検出され、さらに最下層の土壤中より複数のネズミ類の骨および多量の魚骨が検出された。いずれの層も貝層以外

の土壤中にも関わらず、骨類の保存状況は良好であった。上部に位置する貝層の影響が少なからずあったことも考えられるが、土坑のかなり深い部分に位置するため水分などの影響もかかわっているものとみられる。

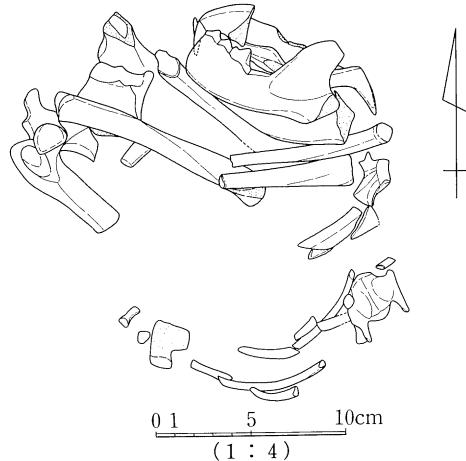
#### 116号土坑検出の犬骨

前述のように116号土坑の貝層直下の土壤中より複数のイヌの部位骨が検出された。発掘調査時点では別段注意されることもなく一括して取り上げられたため、各骨の出土状況は明らかでない。第163表に示すように、最小個体数5体のイヌの部位骨の全てが揃っていないのは、発掘調査時点で取り上げられなかつた部位があった可能性も否定できないが、それを考慮したとしても足りない部位骨が多くある。したがって、本土坑内にイヌが納められる段階ですでに5体の全身が全て揃わない状態であった可能性がある。通常の埋葬とは区別すべきかもしれない。

#### 4次調査QH-90検出の1号埋葬犬

4次調査区のほぼ中央、埋葬人骨の集中する地点から検出された。31号人骨の東、28号人骨の南、37号人骨の西に隣接する。右に検出状態の実測図を示した。

頭骨、四肢骨のいずれも一部を残すのみであるために、埋葬姿勢を具体的に知ることができない。しかし頭部と四肢骨が近接して出土している状態から、頭を体側に強く曲げた姿勢であったことは推測される。頭部の後に肋骨が湾曲して並ぶ。また大腿骨が接近してあるのも、足を屈めた状態にあったからであろう。北西に頭を向け、側臥して屈葬であったのが当初の埋葬の姿勢であったと推定される。



4次調査Q H - 90 検出 1号埋葬犬

## 4 祇園原貝塚出土の動物遺体の特徴

金子 浩昌

祇園原貝塚出土の動物遺体についての分析は既に詳細が述べられた。本遺跡における称名寺期、堀之内期、加曾利B期、安行期の縄文主要期における出土の状況を把握し得る興味ある資料であった。これまでにも筆者等は機会ある毎にこうした時期的な変遷について述べてきたが、今回はより多くの採取標本に基付いた分析結果が得られている。以下にその特徴となるべき点について記しておきたいと思う。

腔腸動物

キクメイシ

東京湾内の貝塚からの出土例は時折みることができる。おそらく特異なものとして搬入されたり、採集されたのであろう。本遺跡では一例があったのみである（写真図版112右下）。

節足動物

シロスジフジツボ

フジツボ類が称名寺期、堀之内期、加曾利B期の遺構でまとめて出土していることが既述されている。マガキに付着した状態で持ち込まれた可能性のあることが指摘されているが、フジツボ類はカキ殻から簡単に外れるので、付着の確認が難しい。松戸市中峠貝塚のフラスコ状ピット中の堆積貝層で、マガキとフジツボ類が主体となって出土している例を筆者は調査しているが、フジツボ類がマガキに付着していたことは明かである。これらが食用に供された可能性はあるが、焼いたような痕跡はない。焼いて食べるとエビのような味がする。

#### カニ類

標本の数はごく少量であるが、これまでの調査例からすれば数種のものが含まれていた。いずれも河口あるいは内湾の砂、泥底に棲む種類であり、当時の海浜の様相も示す資料であった。他の遺跡から知られる標本と同様にこれらはすべて被熱していた。おそらく焼けた状態のもののみが残ったのであろう。こうした標本からみると実際にはさらに多くの採取があったのではないかと思われる。今回検出されている標本は分離した「はさみ脚」—指節（可動）、前節（不動）—とあるいはその一部であって、同定を困難にした。

大型の標本ではモクズガニと思われるやや大きな顆粒をもつ破片（54号貝層）、エンコウガニのような大型種のはさみ脚片（23号貝層・写真図版112左下）、アシハラガニ、ハマガニにみる小さく細型、湾曲のやや強いはさみ脚（54号貝層）、コブシガニ類にみる小さなはさみ脚（44号貝層）とその他微小片がある。

#### 棘皮動物

##### ムラサキウニ？

東京湾内貝塚の多くの例にみる内湾系貝塚からのウニ類の出土は少ないが、これについてはさらに資料の収集に努力が必要であろう。実際には利用される機会はあったと思われるからである。

##### スカシカシパン？

小さく割れたカシパンウニ類の破片がかなり出土している。貝層のなかに混在していたものである。風化して原形を残す標本はない。

#### 脊椎動物

##### 魚類

##### 軟骨魚類

#### サメ類

メジロザメ目と思われる。細い三角錐状の歯と椎体が出土している。歯の出土は少なく、椎体はやや多い。椎骨には径22.5に達する比較的大型の標本もあったが、多くはさらに小型である。この大型椎骨と小型の椎骨は形態からみて別種である。小型のサメ類椎体は分散する状態での出土が多いが、幾つかの地点でまとまった数が出土していた。称名寺期の20号・69号貝層、堀之内期の11号・18号・74号貝層、加曾利B期の50号貝層、安行期23号貝層などにおいてである。安行期で出現率の高い傾向を示しているが、この時期の漁法を考えさせる注目点である。

#### カスザメ

この種のサメ類の椎体は上下にややつぶれた形をする。椎体横径10.0、同上下径7.0。骨質の脆いのも特徴である。本遺跡でも少数の標本が知られたのみであるが、堀之内期の74号貝層などでまとまつ

た数が知られている。カスザメの出土は福島県いわき地方の貝塚で多い。

#### アカエイ

小さい歯板を採集している。特に多数を一括して検出するような状態はなかった。微小標本であるため、採取が難しいこともある。堀之内期74号・75号貝層ではやや多く検出されている。

#### トビエイ

歯と椎骨が知られている。歯は咬面の平らな板状のもので横長の菱形である。歯の左右径18.0というものがある。この歯は一個体のものが多数に分離した状態で出土するが、中央位置に並ぶ歯で個体差をみることは可能である。椎体径は7.0になるものがある。

堀之内期では54貝層でやや多く、加曾利B期では50号貝層で少なかったが他の地点と比べてややまとまっていた。安行期の23号貝層ではとくに多く検出され、この時期に集中している。砂泥底の発達した海岸域の貝塚にトビエイの遺骸の多い例は他にも知られている。環境と時期的な特徴をよく示す在り方の一つといえよう。

#### 硬骨魚類

##### カタクチイワシ

堀之内期と加曾利B期にまとまった量が検出されているが、特に堀之内期に多い例がみられる。39号・74号・75号貝層の出土がその例である。加曾利B期では50号貝層での出土が多い。一方、称名寺期には極めて少なく、安行期ではほとんど検出されない。

##### マイワシ

小型魚種の主体種であって後期の各時期に知られている。称名寺期の20号貝層、69号貝層に多く、堀之内期に18号・73号貝層に多く、74号貝層で最多数の出土、他にも多い遺構がある。加曾利B期では50号貝層の一例が多い。安行期では最小個体数では少ないが、遺構内での検出率の高いことが指摘される。

##### ウナギ

主上顎骨14.0。東京湾内の貝塚としてはウナギの検出が少なかったのではないかと思う。本種もまた他の小魚種と同様に顎骨が少なく、椎骨の検出が多かった。従って個体数を期待できないが、個体の大きさを考えれば、資源としての重要さを推測することは可能であろう。堀之内期74号貝層が8個体でもっとも多く、他の例は標本数も少ない。

##### ウグイ

本遺跡ではごく少ない種類であったが、大小の個体があった。咽頭骨の一例は左右幅が19.0に達した。

##### フナ類

貝塚産のフナ類としては小型の標本である。しかしこれまでに知られた関東地方での検出例が少ないので貴重な標本である。歯骨長10.0になるものが大きい標本であるが、それよりも小さい標本が多い。堀之内期39号貝層で咽頭歯がまとまって出土している。貝塚立地点とは別の淡水域での漁獲ではなかったかと思われる。

##### コイ

歯骨全長27.5、体長30cmになる個体であったろう。コイは汽水系の貝塚でないと産出することは稀

である。本遺跡のコイもフナなどと一緒に搬入されたものであろう。

#### ドジョウ

内湾系貝塚での出土例として注目される。堀之内期の39号・54号貝層で歯骨の検出があった。また、54号貝層では咽頭骨も多くみられた。ドジョウは淡水域で比較的まとまって出土することが知られている。本遺跡での出土はきわめて少なく、これも搬入品ではないかと思われる。

#### ギバチ

堀之内期18号貝層で6個体、74号貝層で2個体、加曾利B期の52号・63号・76号貝層で各1個体というような出土である。本遺跡での淡水種の魚としてはやや多い標本が残されていた。最近関東地方の内湾系貝塚からの検出例も知られている（市内能満上小貝塚では、安行期の44号土坑内貝層中より最小個体数22におよぶ部位骨が検出されている）。淡水域には当時この魚の棲息の多かったことが推測される。

#### ダツ

堀之内期の19号貝層にのみ1個体が知られる。

#### ボラ

出土している主鰓蓋骨には大型の標本があり、体長45cmを越える個体であるが、眼前骨、椎骨標本には全長12.0、体長35cm前後の個体がある。称名寺期の出土例はわずかで、堀之内期では18号貝層で3・19号貝層で3、74号貝層で24個体と高い出現率を示す。加曾利B期では50号貝層で3個体が多い例であり、安行期では23号貝層で4個体というありかたを示す。水域環境の内湾化との関係が考えられる。

#### メナダ

眼前骨全長21.0。45cmを越える個体があったと思われる。堀之内期74号・75号貝層で各2個体、加曾利B期50号貝層で2個体が残されている。メナダはボラよりも外海的な性格が強いのではないかと思われる。従って内湾的な貝塚では少なくなる。しかし、外洋水の影響の様子によっては少数が漁獲できる機会もあったのであろう。

#### サヨリ

堀之内期74号貝層で34個体例があり、多くの椎骨が検出されている。他に18号・39号・54号貝層などでやや多い椎骨が残されている。本遺跡はサヨリの多い例ではないかと思われる。加曾利B期でも椎骨の出土例はあり、6地点から検出、安行期4地点から検出されている。数は1個体と少ないが、検出例として注意される。

#### スズキ

多くの遺骸が検出され、主体種の時期的な変化を知ることができる。計測可能の標本は少ないが、大型の標本が多い。主鰓蓋骨には全長80.0の標本があり、貝塚産のスズキとしても大型の標本で、体長は70cmに近いであろう。しかし、一方体長20cm未満の小さい個体の標本もみられなかった。推定される最小個体数を列記していくと次のようになる。

称名寺期32号貝層：4、堀之内期11号貝層：4・18号貝層：6・74号貝層：13、加曾利B期24号貝層：3・50号貝層：4、安行期21号貝層：7・23号貝層：5の各個体である。全体の貝層規模を考慮した場合、安行期での出現率の高いことに注目されよう。

### **カマス類**

いずれの時期の資料も少なく、稀にしか漁獲されなかつた魚種である。

### **イシモチ**

貝塚検出の標本としては類例は少ないが、今回は顎骨・耳石・椎骨が知られている。小さい個体である。堀之内期18号貝層3・74号貝層4個体が多い例である。

### **キス類**

小型魚種としては多くの漁獲があった。内臓骨・耳石・椎骨などの保存の良好な標本がある。前上顎骨長6.0～8.0、主上顎骨長6.0～9.0、歯骨長7.0～9.0、角骨長7.0、耳石長5.0。称名寺期69号貝層16、堀之内期18号貝層11、74号貝層68個体と多い。堀之内期にはこの二地点の他にも椎骨の比較的多い出土例があって、捕獲率の高い魚種であったことがわかる。加曾利B期50号貝層10、安行期にも少量ずつであるが椎骨が出土していて、キス類漁獲の続いていることがわかる。

### **マアジ**

多くの標本が一括して出土することが知られ、標本の保存も良好である。尾鰭前棘が外れないで出土する例は稀にあるが、廃棄後に貝ブロックの動かなかった証拠であろう。完存する標本で、前上顎骨長20.0、主上顎骨長19.0、歯骨長16.0、椎骨長は7.0前後を普通にみる。耳石長5.0前後である。大型の標本で体長18cm、やや小さい標本で16cm前後の個体が捕られ、小さい個体の方が多い。縄文期貝塚ではあまり大きな個体の骨格をみることはない。称名寺期20号貝層9、69号貝層5個体の出土であるが、堀之内期では18号貝層84、74号貝層114といった多数の遺骸を含む遺構が知られており、他にも少量づつ検出されている。加曾利B期50号貝層でのみ9個体が知られ、他の地点では全般に少量が知られるのみである。安行期クロダイの漁獲の多いのに対して、マアジその他の小型の魚の少なくなっているのは考えさせるところである。

### **ブリ**

角舌骨1点は大きかったが、歯骨・椎骨（尾骨椎体18.0）は小さく、前上顎骨長は10.0、15.0と小さい。この大きさだと稚魚の段階である。そしてやや大きいのは体長30cmの一歳魚である。貝塚資料ではこうした小さい標本は稀である。堀之内期、加曾利B期、安行期の貝層から検出されているものの数点以上になることはなかった。

### **ヘダイ**

称名寺期、堀之内期、加曾利B期、安行期から検出されるが少ない。一般にもこの程度の出土である。棲息が少なかったのである。前上顎骨長38.0に達し、歯骨にも同様の大きさの標本があった。堀之内期11号貝層でヘダイ特有の大型の臼歯が4点出土しているが、顎骨と同一個体の可能性もある。

### **マダイ**

全般的にはごく少ない出土であるが、大型標本がある。前上顎骨長39.8、歯骨長50.0はマダイでも大型にはいる。前頭骨・上後頭骨・口蓋骨にもこれと同じ大きさの標本がある。称名寺期にはみられず、堀之内期、加曾利B期での出土は最小個体は1で、ほぼ同じ出現率といえよう。しかし安行期にはいって23号貝層例のようにこれまでになく多い9個体という検出例がある。当時この辺りの水域にマダイの大型の個体が進入していた可能性も考えられる。

### **クロダイ**

前上顎骨・歯骨の標本には大型の標本が多いが、前上顎骨長36.0以上になる標本の少ない点、また31.0～35.0の標本数もそれ以下の標本数に比べると少ない。これはかつて筆者の調査した市原市西広貝塚の後期のクロダイと比べての違いである。やや小さい個体のクロダイが多いということになる。祇園原貝塚の立地が西広貝塚に比べて枝谷の奥まった位置にあることと無関係ではあるまい。称名寺期、堀之内期、加曽利B期そして安行期に至る間遺骸は少なからず出土している。しかも一遺構内での検出量も多く、主体種であることをよく示す。安行期では23号貝層例のように94個体というように一遺構での出土量がもっとも多い例があり、この時期におけるクロダイの入手には特に関心があったようである。内湾貝塚でクロダイが重要種になることは類例が多いが、幾つもの遺構との関わりを通してみることができたことは、本遺跡での特徴といえよう。

#### サバ類

尾椎骨長6.0～7.0。中小型の魚のなかでの重要種である。マアジに比べると一般に少ないが、本遺跡においても同じであった。各時期の資料があるが、堀之内期を主体としてはいるが18号貝層17、74号貝層34個体がもっとも多い二例で、他の例は個体数になると1乃至2になってしまう量である。加曽利B期では50号、63号の貝層でまとまった椎骨があるが、個体数としてみると1乃至2個体である。安行期は23号貝層での5個体分というのが目立った出土であった。安行期にはマアジがかなり減少しているが、サバ類はそれほどには減少していない。

#### ハゼ類

全般を通じて目立った魚種ではない。堀之内期74号貝層で15個体分がまとまっていたのは稀なことと言わねばなるまい。加曽利B期、安行期では遺骸の出土すらほとんどみることがなかった。

#### コチ類

大小の個体が捕られている。歯骨の近心部高6.0、角骨全長37.0、40.0という標本が大型の個体で、体長40cm、主鰓蓋骨全長15.0、24.0はかなり小さくなる個体で、体長25cm前後である。骨格は各遺構で出土し、まとまった量が出土する貝層もあった。当時この水域に多く生息していたことが考えられる。称名寺期20号・32号・61号・62号貝層で検出されているが2乃至3個体である。堀之内期11号貝層13、18号貝層5、74号貝層4個体というように増加している。加曽利B期では50号貝層4個体が唯一多い例である。安行期になると21号貝層5、23号貝層21という多くの遺骸が検出されている。この時期になってクロダイなどの漁獲も増えている。コチも大型の個体が捕れるので、特に積極的に狙つたのであろう。

#### メゴチ

コチよりも多棲していたかと思われるが、遺跡からの検出は稀である。個体が小さいので狙うこととなかったのであろう。歯骨全長6.0、前鰓蓋骨全長8.0。本遺跡で称名寺期69号貝層、堀之内期74号貝層で各1個体分の標本があった。

#### アイナメ類

この地域でアイナメ類の検出されることは稀であるが、本遺跡において堀之内期74号貝層で主上顎骨1点があった。

#### カレイ類

骨格の出土量は多い。前上顎骨長7.0～8.0、14.0、これと同程度の大きさの個体のものと思われる

角骨・方骨がある。マガレイ・イシガレイ類の体長22~23cm位の小さな個体である。さらに方骨にはこれよりもはるかに大型の標本があり、別の種類ではないかと思われる。称名寺期には20号貝層3、69号貝層5個体、堀之内期18号貝層21、74号貝層19個体というように多数個体の検出される例が知られるようになる。加曾利B期にやや検出量が減少する傾向にあるが、安行期に9号貝層6、23号貝層11個体となり、やや減少するものの検出率は高くなっている。既述したコチ類のような底棲魚類の多くなっているのと共通する。

#### ヒラメ

大小の個体がある。小さい前上顎骨は全長10.0、大きい前上顎骨は全長45.0位になり、体長30cmを越えたであろう。カレイ類と比べて少なく、漁獲量全体が少ない。西広貝塚でも体長20cm足らずの個体が捕られている。この水域で稚魚の成育する場所があったのであろうが、個体数は少なかったのであろう。前上顎骨が複数個出土しているのは安行期であって、この時期に多くなっている。称名寺期にやや多いが、堀之内期、加曾利B期を通じてほとんど変わらない在り方を示していた。安行期において再びやや多い出土がみられる。

#### シタビラメ類

漁獲が特に多いわけではないが、各期を通じてみるとことのできた魚種であった。称名寺期には1個体より多く出土する貝層はなかったが、堀之内期の74号貝層で4個体というまとまった出土があり、安行期にも23号貝層の3個体といった多い出土があり、検出率も高くなっている。底棲魚類に共通している在り方のようである。

#### カワハギ類

この地域の貝塚では稀であるが、カワハギ類特有の歯が検出された。特徴的な鋸歯をもつ背鰭などは検出できなかった。堀之内期74・75号貝層で各1個体が知られたのみであった。

#### フグ類

フグ類は骨格の保存もよく、多くの標本が残されている。また大型の個体もあり、前上顎骨長45.0、歯骨長38.0になる標本がある。小さい標本で前上顎骨長13.0、20.0、歯骨長15.0を計測する。称名寺期20号貝層1・32号貝層1・61号貝層1、堀之内期11号貝層6・30号貝層3・74号貝層7、加曾利B期50号貝層3・63号貝層2個体にとどまっている。安行期は二地点で各1個体が知られたのみで減少している。加曾利B期頃にフグ類を多く捕っている遺跡が現利根川下流域の貝塚で多く知られている。東京湾沿岸域でも同じようにフグ類を捕っているが、漁獲は、はるかに少ない。興味ある対称性である。

#### 両生類

##### ヒキガエル

堀之内期と安行期にあり、単一の骨格を得たのみの出土もあったが、四肢骨が3乃至5点まとまるような出土は、あるいは一個体もしくはその一部が埋存していた可能性がある。

##### その他にみられたカエル類

中小のカエル類遺体である。ここでも堀之内期18号貝層出土の標本は、一個体分のものである。これらが捕食された可能性はあるのであろうが、しかしそう積極的に行われたとは思われない総量であろう。

## 爬虫類

### ウミガメ類

特にまとまった遺骸を得ることはできていない。しかし断片的な遺骸は検出しているので、一部が搬入されているのであろう。

B3-67グリッド包含層中貝層検出の口蓋骨口蓋突起は断片的な小片であるが、復元されると全長27.5cmほどの頭蓋になる（第495図）。ウミガメ類の遺骸でもっとも多く検出されるのは、肋骨板、四肢骨片であるのは当然であるが、破損した頭蓋の一部の検出は難しい問題でもある。本遺跡でも大型の個体を捕獲する機会があった可能性がある。

### ヘビ類

多くが椎骨の検出である。肋骨などは別にまとめられている可能性がある。

堀之内期、加曾利B期、安行期に遺骸が残される。堀之内期39.2号貝層で椎骨49、加曾利B期76.3・76.12号貝層で椎骨26・38がそれぞれ検出されている。やや多い椎骨の出土の場合出土状況が問題になるが、今回も原状は確認されていない。

### 鳥類

（同遺構で複数の標本単位が表記されているので、それぞれを標本数として記していく）

### カツツブリ類

安行期、23号貝層からの1点のみである。

### ハイイロミズナギドリ

加曾利B期15号貝層で橈骨遠位骨端標本1点のみである。

### ウミウ

安行期23号貝層、基節骨1点のみである。

### ウ類

堀之内期11号貝層、18号貝層各1点、加曾利B期63号貝層に2点の標本がある。ウ属各種の特徴を充分確認できなかった。ウミウに近い大きさである。脛骨遠位骨端幅13.0。

### アオサギ

安行期23号貝層に尺骨近位骨端1点をみる。

### コウノトリ

安行期23号貝層に近位骨端を欠く脛骨標本が1点ある。

### ガン類

大型のカモ類である。称名寺期29号貝層、加曾利B期2号貝層で各1点の標本が残されていた。

### ヒシクイ

堀之内期11号貝層、安行期23号貝層で標本が検出されている。脛骨、中手骨である。脛骨近位骨端最大幅30.1、近位骨端幅24.4。

### オオハクチョウ

安行期23号貝層で検出された大型脛骨片である。

### カモ類

称名寺期に20号貝層2標本、堀之内期で11号・73号・74号貝層19標本、加曾利B期2号・15号・24

号・50号・60号・63号・76号貝層で49標本、安行期21号・23号貝層で17標本の遺骸の検出がある。四肢骨中、鳥口骨・上腕骨・橈骨・尺骨などが主要な標本として残されている。

上腕骨骨体最小幅6.9、遠位端幅14.3。橈骨全長81.8。中手骨全長57.6。脛骨骨体には側縫が発達し最大幅6.6。ウミガモ類とみてよいであろう。

#### ワシタカ類

加曾利B期50号貝層で基節骨1をみる。全長35.7、近位骨端幅14.3、遠位骨端幅8.4。近位骨端に横方向の切痕がみられる。

#### キジ類

堀之内期11号貝層2標本、加曾利B期24号・76号貝層で四肢骨の標本を比較的多くを得ている。安行期は21号・23号貝層に標本各1点のみ。

#### タンチョウ

時期が特定されていないが35号土坑中に上腕骨体片がある。上腕骨体最狭幅21.7、前後径19.9(第495図)。

#### クイナ類

加曾利B期24号・76号貝層で各1標本、安行期23号貝層で3標本がある。やや出現率の高いことが注意される。

#### シギ類

堀之内期18号貝層、安行期23号貝層での2標本である。

#### カモメ類

安行期58号貝層に前肢の中手骨より指端部が検出されている。中手骨全長55.4、指骨26.6・14.6。

#### ハト類

小型のアオバトなどに近い種類かと思われるが、詳細は明かでない。加曾利B期24号貝層。

#### フクロウ

安行期23号貝層から大型の脛骨・腓骨を得ている(第495図)。

#### スズメ目

##### 中型種

称名寺期20号貝層1・62号貝層1、堀之内1期11号・14号・54号・73号貝層から各1・18号貝層9・44号貝層2・74号貝層11、堀之内2期75号貝層1、加曾利B期22号貝層1・24号貝層2・63号貝層2・76号貝層6、安行期9号貝層4・16号貝層1・23号貝層5標本。

堀之内期にもっとも多く、加曾利B期がそれに次ぐ。この時期に特に目立つことが確認されている。鳥口骨全長25.9。

##### 小型種

堀之内1期18号貝層1、44号貝層2、67号貝層1、74号貝層5、堀之内2期75号貝層2、加曾利B期50号・63号・65号各貝層でそれぞれ1、76号貝層4、安行期9号貝層6標本があった。

小型鳥種の検出も堀之内期に目立っている。こうした標本はこれまでにもわずかずつあったが、本遺跡での出土は注意すべきである。上腕骨全長14.7。

#### 哺乳類

### **ヒミズ類**

加曾利B期76号貝層2標本、多分同一個体のもの一部であろう。

### **モグラ類**

称名寺期31号貝層1、堀之内1期7号貝層2・18号貝層1・27号貝層1、堀之内2期77号貝層1、加曾利B期50号貝層3・63号貝層1・66号貝層3・76号貝層4標本がある。分離した歯牙、四肢骨である。ネズミ類の生息も多いことから、モグラ類の多かったことも推測される。

### **ニホンザル**

加曾利B期2号・63号貝層の2標本と安行期21号貝層1標本が検出されているのみである。標本を確認できたものの資料的には大変に少ない。サルと人々との間に直接の触れあいは稀であったということなのである。寛骨標本はおそらく成獣で雌個体である(第495図)。

### **ノウサギ**

称名寺期61号貝層1、堀之内1期11号貝層1・13号貝層2・44号貝層2、堀之内2期75号貝層3。加曾利B期50号貝層3・76号貝層12標本。安行期9号貝層2・16号貝層6。堀之内期での出現率が高いのである。

### **ハタネズミ**

歯牙・顎骨のみからの分類であるが、称名寺期3標本、堀之内1期25、堀之内2期5、加曾利B期6、安行期3標本で、おそらく個体数も堀之内期に多かったのである。アカネズミに比べて少ないので、平地・河川敷的な環境がまだ少なかったことに起因するかもしれない。

### **アカネズミ**

歯牙・顎骨などからみると、称名寺期に11、堀之内1期58、堀之内2期2、加曾利B期14、安行期2標本である。出土量の多かった堀之内期で、土坑中の検出の多いことが注意される。遺跡の周辺にもっとも多かったネズミ類である。本種の棲息し易い低山性の地形が残されていたからであろう。

堀之内期18号貝層(116号土坑)でのまとまったネズミ類の遺骸の出土は、縄文期の貝塚遺跡に時々みられる状況である。四肢骨もまとまって出土していることから、20個体位があったことになる。埋存の状態の詳細は明らかではないが、集積するような状態であったことも考えられ、これには人為的というよりも別の動物によって集められた可能性もある。

### **イルカ類**

加曾利B期、安行期のみに検出されている。加曾利B期に6、安行期に7標本である。遺骸は頭骨と椎骨である。この時期では出土例の多い、マイルカなどが推定される。

### **バンドウイルカ**

堀之内期の11号・30号貝層その他から歯が検出されている。別に出土しているイルカ類の遺骸中には、この種のものに一致する大きさの遺骸は残されていなかった。歯のみが搬入されていることも考えられる。歯に穿孔して垂飾品とする例があるからである(西広貝塚4次調査 上総国分寺台発掘調査概報 1983)。バンドウイルカ、小型のゴンドウクジラ類の遺骸を得る機会は稀にあったであろう。歯の全高28.8、歯冠径5.4×6.2。

### **ゴンドウクジラ類**

安行期に2標本がある。椎体の関節板である。台のようなものに利用されていたことも考えられる。

## クジラ類

堀之内期で骨片1、加曾利B期で肋骨片4、安行期の椎骨はやや大きい。骨は骨器の素材として運ばれたものの一部であったかとも思われる。椎体関節板推定横径180.0。

## イヌ

イヌの遺骸は埋葬された例と単体で出土する骨格にわけられる。単体で出土する骨格は称名寺期2地点、堀之内1・2期9地点、加曾利B期7地点、安行期3地点の貝層で出土している。貝層あるいは埋土中に断片的にあったもので、顎骨片、遊離歯牙、椎骨それに指骨などに限られる。顎骨片や遊離歯牙が検出されるのは、これらの部位が遺骸から外されて人の手に触れられているためであろう。例えれば犬歯を抜き取る目的などである。本遺跡ではイヌ犬歯製の垂飾が2点出土している（第476図-207・208）。

### 埋葬骨格

18号貝層（116号土坑）における5個体である。第163表に各個体の検出部位を示した。

No.1：成獣雄、ほぼ一個体があった。

No.2：若獣雄、不完全な残存の状況である。歯牙は下顎犬歯左右があったのみである。主要四肢骨のみ残る。骨端部が骨化しているのは左右上腕骨のみである。

No.3：幼体。左上顎骨のみがのこる。歯牙については不明。

No.4：幼体。四肢骨があるのみ。

No.5：幼体。左右下顎骨があるのみで、dm<sub>3</sub>を残す。

5体もの遺骸がありながら、満足に骨格を残すのは成獣一体があったのみである。幼犬については骨格の弱いことから不完全な状態でしか残らなかったことも考えられる。幼体の埋葬例として重要であろう。

第164表に各イヌの主要計測部位の計測値を示した。この標本は縄文犬としては、これまでにあまり報告例のなかった小さい個体であり、縄文犬の形質を考える上で重要である。しかし、こうしたごく小さいイヌも千葉市加曾利貝塚から出土しており、今後さらに知られることも予想される。なお、標本は保存が良好でなく、頭骨・四肢骨ともに計測に耐える部分が少ないので、形質を知るのに充分でないが、頭骨の形態・鼻骨凹陷深など縄文犬的な特徴をもっている。ただ、四肢骨はやや華奢のようだ、これは個体が小さいことによるのかもしれない。

## タヌキ

中型獣の中ではもっと多くの遺骸を残していた。称名寺期には4地点、堀之内期8地点、加曾利B期6地点、安行期4地点にみた。遺骸の検出率をみると安行期に多くなっている様子がみられる。頭骨の一部と下顎骨、四肢骨があるが、四肢骨中主要骨は破損していて少なく、数の多い手・足の骨格が目立っていた。

## テン

やや多くの遺骸を残す。堀之内期に4地点5、加曾利B期3地点4、安行期2地点4標本があつて、ここでも安行期に遺骸を多く出土している。

## アナグマ

安行期にのみあり、3地点7標本の出土であることは特徴的である。アナグマの遺骸は石器時代の

中型獣のなかでは検出件数のもっとも少ない獣種である。本遺跡での出土をみているとこの獣の特殊な在り方を示している。穴居性が強く捕獲の難しいことが考えられる。これが捕獲を少なくしているのではなかろうか。また安行期のみの検出であるということも関係があると思われる。 $M_1$ 歯冠長×歯冠幅 $13.5 \times 6.1$ 。下顎骨体高 $6.3$ 、 $10.4$  ( $M_1$ 位置) (第495図)。

#### カワウソ

本種も検出の少ない獣である。加曾利B期2地点2、安行期2地点2標本がある。おそらく後期から晩期にかけての時期にみられるようになるであろう。

#### ニホンアシカ

安行期に肋骨片、切歯一点がある。肋骨片は小片であるが、イルカ類のそれよりも緻密質部分が多く硬質である。

#### イノシシ

大型獣類の主要種になっている。検出される部位もまた多い。遺構内での埋存個体数の割合は称名寺期と堀之内期とはほぼ似ているが、加曾利B期になって増加し、捕獲数の増大が予測されるが、後期後半期の安行期にやや減少する傾向を示し、狩猟活動面での変化のあったことを予測させる。

胴骨：環椎はもっと多く称名寺期2、堀之内期3、加曾利B期3、安行期2標本であった。軸椎は半数に減少し、胸椎、腰椎なども少ない。椎骨の少ないことは一般にみられることであったが、本遺跡において一層明瞭に認められることであった。解体と同時に骨自体がかなり壊されたからであろう。それだけ利用価値の有った部分なのであろう。

頭骨：壊され、原形もしくはそれに近い形をとどめるような標本はなかった。唯一後頭骨から左右側頭基部の残されている標本があった(図版129-1)。称名寺期の235号土坑内の61号貝層から検出されたものである。図版には保存のよい後頭部が示されているが、頭頂部をわずかに残すのみである。頭頂骨には黒く焦げた痕があり、壊れているのは頭蓋の上面が焼かれているためであろう。この頭骨の最大幅 $167.0$ 、 $M^3$  (歯冠長×歯冠幅 $35.5 \times 20.6$ 、 $M^1 \sim M^3 78.0$ )。前頭骨が左右に分断されている標本が別に3点あった。顎骨は加曾利B期の50号貝層で最小個数上顎骨4、下顎骨6のあったのがまとまった出土である。称名寺期2号住居の入口前の浅い土坑中に、イノシシの下顎骨2点が重なって置かれていた(第7図・図版4)。下顎骨は雄の左右同一個体のものと思われ、 $M_1 \sim 遠心部$ のみを残す。2点はほぼ上下に重なるが、上側に左下顎骨、下側に右下顎骨があり、下にある左側下顎骨は反転された状態であった。 $M_3$ の咬耗は遠心端咬頭のみ未咬耗 ( $M_3$ 歯冠長×歯冠幅 $39.7 \times 17.4$ 、 $M_1 \sim M_3 \cdot 76.7$ )。右側下顎枝の中央には径 $18.9$ の円形の穿孔がある。加工は内側からである。左側の方には穿孔はない(図版129-6 b・6 c)。この二つの下顎骨の出土状態については興味がもたれる。イノシシの歯牙にみる咬耗状況から捕獲時の年齢のおおよそをみると、堀之内期では6例中全て $M_1$ もしくは $M_2$ の萌出時、つまり生後半年から2才位までであり、加曾利B期では7例中2例が $M_3$ の完全萌出、1例がその直前、3例が $M_3$ 未萌出、1例が $M_1$ 萌出段階となって、年齢幅がひろがり、安行期では2例の標本しかなかったが、 $M_3$ 萌出状況でみると萌出の直前・直後位の段階であった。加曾利B期以後成獣個体へのかたよりがあるかも知れない。歯牙では雄上顎犬歯3、下顎犬歯では雄のものは無く、雌犬歯2があったのみである。雌犬歯穿孔加工品とされているのが別に3点あった(第475図-203~205)。四肢骨では肩甲骨・上腕骨・橈骨・脛骨・距骨・踵骨が残されていたが、顎骨にみるほどではなかつ

た。

四肢骨計測：出土骨格で計測可能の標本は限られたが、第161表に結果を示した。関東地方山地帯の標本（群馬県新保田中村前遺跡－弥生後期－）と比較すると、新保田中村前遺跡の最大級になる個体をみることができ、全体にほぼ変わらない大きさの個体があったようである。新保田中村前遺跡標本の方が標本数が多く、大小の個体が含まれるが成獣個体の大きさの範囲は変わらなかつたと思われる（新保田中村前遺跡IV（群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第176集 1994）。

## ニホンジカ

イノシシと共に大型獣の主要種である。ややイノシシより多い傾向はみられはするが大差はないのではないかと思われる。遺構での埋存個体数の割合は、称名寺期、堀之内期には少なく、イノシシと比べても捕獲は少なかつたらしい。しかし加曽利B期において増大し、イノシシを越える。こうした傾向は安行期にもみられ、この時期にやや減少するものの、イノシシと比べてシカの方が多くなっている。この時期シカ遺骸の多い例は少なくない。

胴骨：環椎5で数は少ない。シカの環椎の方が破損し易いのではないかと思われる。軸椎はさらに少なく僅かに2点を残すのみであった。

頭骨：シカでも原形を推測できる標本はない。前頭骨は角座骨部分が称名寺期33号貝層で左右各4、前頭骨（雌雄？）が加曽利B期50号貝層で左右各2、安行期16号貝層で左2がある。下顎骨は加曽利B期50号貝層で最小個体数11・31号住居で3、安行期58号貝層で4がある。左右の角坐骨と前頭骨を残す標本は、前頭骨幅91.0（眼窩後部の最狭部）、前頭部と頭蓋底部に丁寧に打ちかいた痕跡がみられる。残存する鹿角の先は風化して保存状況は不明。一尖のみ角をつける角坐骨部分があるが、角坐骨の横径は23.0。

四肢骨：肩甲骨・上腕骨・橈骨・尺骨・大腿骨・脛骨・距骨・踵骨がよく残される。称名寺期33号貝層4、堀之内期11号貝層3、加曽利B期50号貝層11、51号住居覆土で12個体と最多数があり、安行期16号貝層3・58号貝層4のほか同期貝層から7個体があつてこの時期での埋存率も高い。

四肢骨計測：第162表に結果を示した。上述の新保田中村前遺跡資料との比較について述べる。全体的には大きくは変わらないのではないかと思われる。上腕骨では新保田中村前遺跡例にみる最大級の標本はみられない。Bd43, 44台と37, 38台があった。橈骨も新保田中村前遺跡例と重なる。Bp39～42台と35～37台、Bd38と32～34台があった。脛骨は大型のBd38台のみである。距骨はGL40以上で、45前後と40前後の幅があるようで、新保田中村前遺跡でも同様であった。

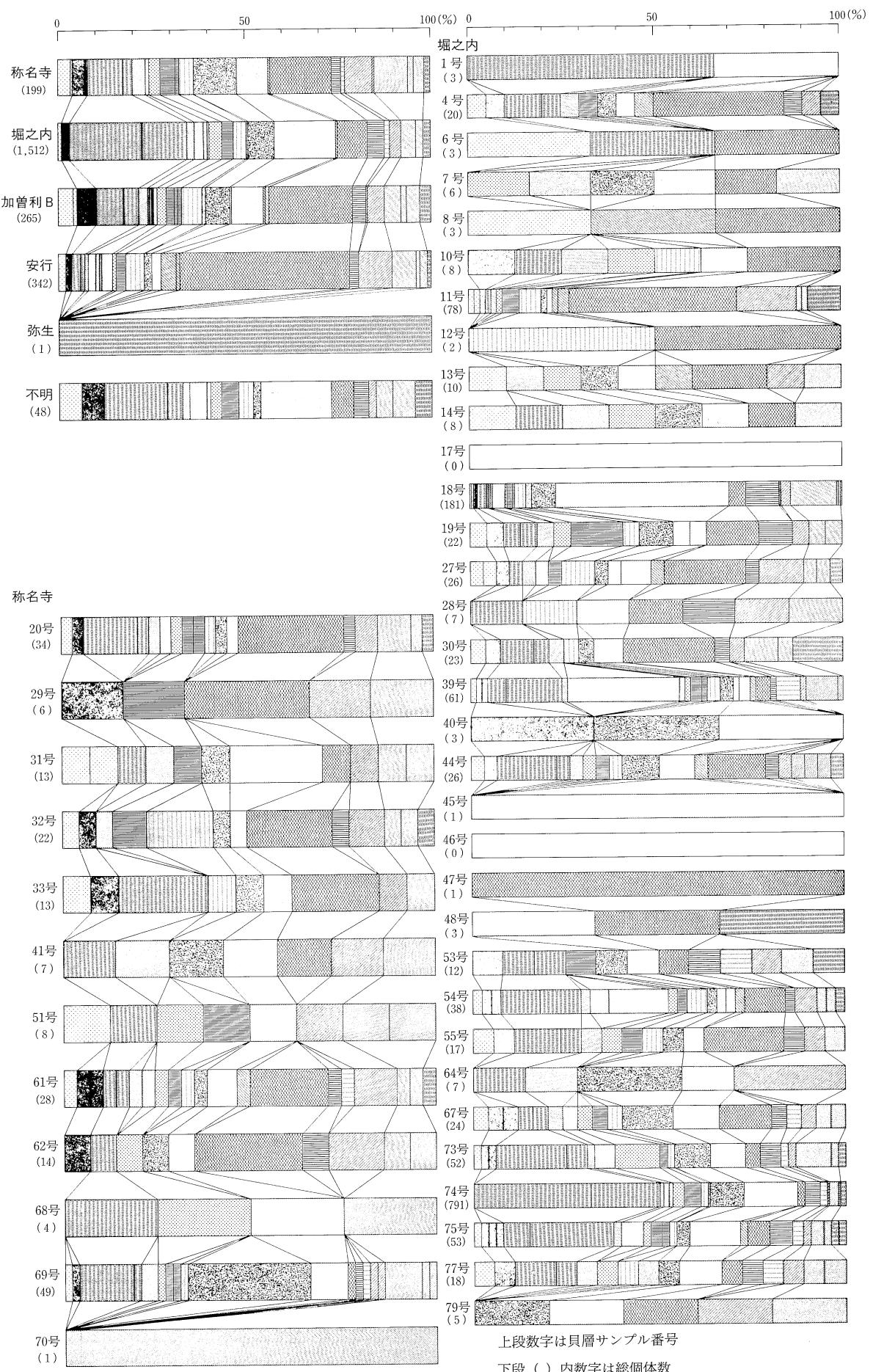
なおこの地域の前期貝塚の資料として市川市庚塚貝塚例があるが（庚塚遺跡第5地点 市川市教育委員会 1997）、この貝塚のシカの上腕骨遠位端幅は42.7、47.0の二例があり、橈骨近位端幅40台が7例中5例あり、新保田中村前遺跡例よりも大きい。脛骨の遠位端幅も祇園原、新保田中村前遺跡にはみられない40台が13例中5例もあり、前期にはより大型の個体のいたことが予測される。

第64表 出土脊椎動物種名一覧

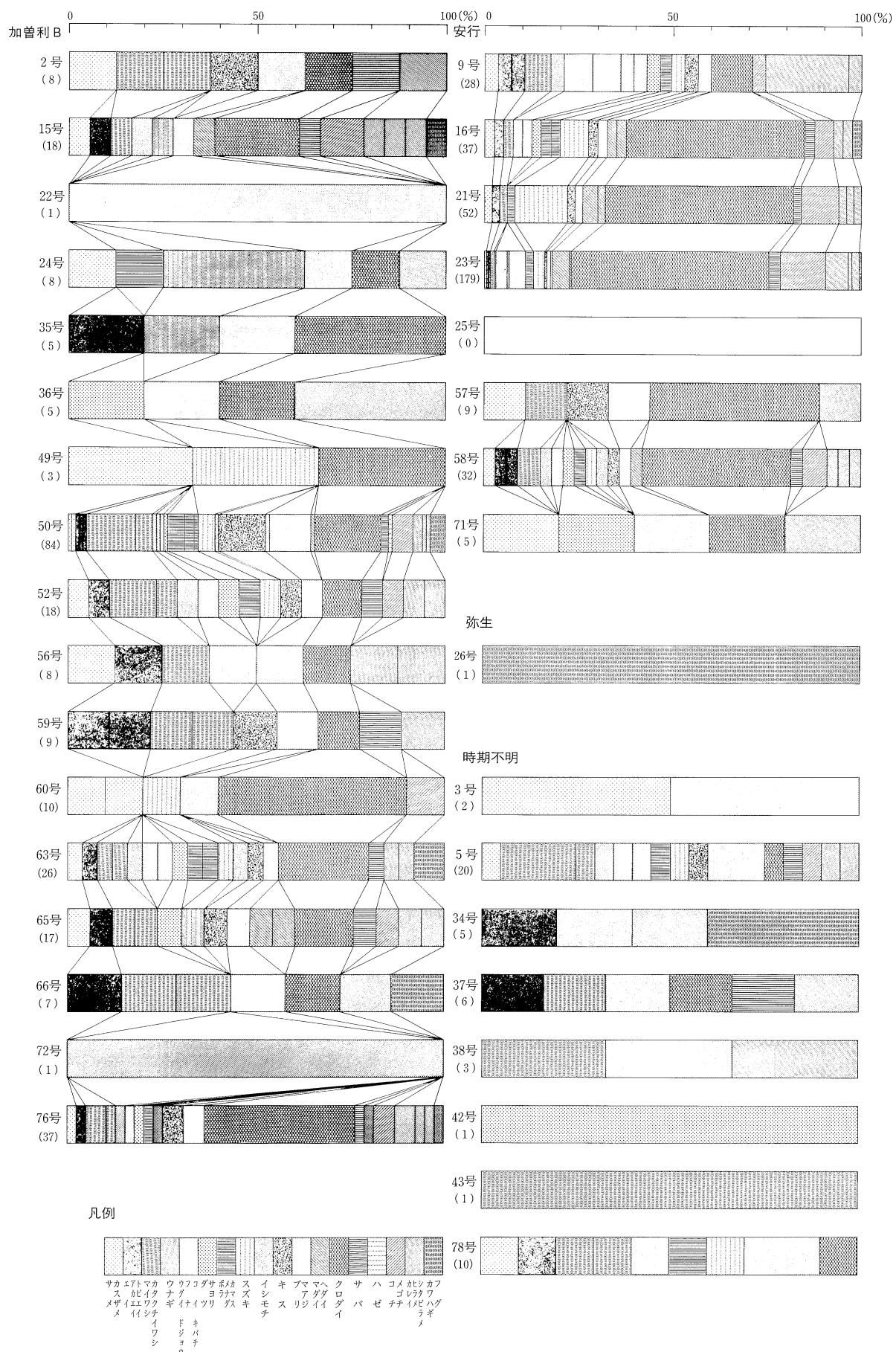
脊椎動物門	Phylum VERTEBRATA	兩生綱	Class Amphibia	哺乳綱	Class Mammalia
軟骨魚綱	Class Chondrichtyes	無尾目	Order Anura	食虫目	Order Insectivora
サメ目	Order Lamniformes	ヒキガエル科	Family Bufonidae	モグラ科	Family Talpidae
科、属不明	Family et gen. indet.	ヒキガエル	<i>Bufo bufo japonicus</i>	モグラ類	<i>Mogera sp.</i>
カスザメ科	Family Squatinidae	アカガエル科	Family Ranidae	ヒミズ類	<i>Urotrichus sp.</i>
カスザメ	<i>Squatina japonica</i>	属、種不明	Gen. et sp. indet.		
エイ目	Order Rajiformes				
科、属不明	Family et gen. indet.				
アカエイ科	Family Dasyatidae				
アカエイ	<i>Dasyatis akajei</i>				
トビエイ科	Family Myliobatidae				
トビエイ	<i>Myliobatis tobjoji</i>				
硬骨魚綱	Class Osteichthyes				
ニシン目	Order Clupeiformes				
ニシン科	Family Clupeidae				
マツワシ	<i>Sardinops melanosticta</i>				
カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>				
コイ目	Order Cypriniformes				
コイ科	Family Cyprinidae				
ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>				
フナ属	<i>Carsius sp.</i>				
コイ	<i>Cyprinus carpio</i>				
ドジョウ科	Family Cobitidae				
ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>				
ナマズ目	Order Siluriformes				
ギハヂ	<i>Pseudobagrus aurantiacus</i>				
ウナギ目	Order Anguilliformes				
ウナギ科	Family Anguillidae				
ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>				
ダツ目	Order Beloniformes				
ダツ科	Family Belonidae				
ダツ	<i>Strongylura anastomella</i>				
サヨリ科	Family Hemiramphidae				
サヨリ	<i>Hopromphus sajori</i>				
ボラ目	Order Mugilidae				
ボラ科	Family Mugilidae				
ボラ	<i>Mugil cephalus</i>				
メナダ	<i>Liza haematocheila</i>				
カマス科	Family Sphyraenidae				
属、種不明	Gen. et sp. indet.				
スズキ目	Order Perciformes				
スズキ科	Family Apogonidae				
スズキ	<i>Argyronotus argenteus</i>				
テンジクダイ科	Family Serranidae				
インモチ	<i>Lateolabrax japonicus</i>				
キス科	Family Apogonidae				
キス	<i>Argyronotus argenteus</i>				
アジ科	Family Serranidae				
マアジ	<i>Trachurus japonicus</i>				
ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i>				
タイ科	Family Sparidae				
マダイ	<i>Pagrus major</i>				
クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegeli</i>				
ヘダイ	<i>Sparus saba</i>				
サバ科	Family Scombridae				
サバ類	<i>Scomber sp.</i>				
ハゼ科	Family Gobiidae				
属、種不明	Gen. et sp. indet.				
カサゴ目	Order Scorpaeniformes				
アイナメ科	Family Hexagrammidae				
アイナメ類	<i>Hexagrammos sp.</i>				
コチ科	Family Platyccephalidae				
コチ類	<i>Platyccephalus sp.</i>				
メゴチ	<i>Suggundis meendervoorti</i>				
カレイ目	Order Pleuronectiformes				
ヒラメ科	Family Bothidae				
ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>				
カレイ科	Family Pleuronectidae				
属、種不明	<i>Pleuronectidae gen. et sp. indet.</i>				
ウンシタ科	Family Cynoglossidae				
属、種不明	<i>Cynoglossidae gen. et sp. indet.</i>				
フグ目	Order Tetraodontiformes				
カワハギ科	Family Monacanthidae				
カワハギ類	<i>Stephanolepis sp.</i>				
マフグ科	Family Tetraodontidae				
属、種不明	Gen. et sp. indet.				

第65表 魚類集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	TOTAL	サメ類	カスザメ	エイ類	アカエイ	トビエイ	マイワシ	カタクチイフシ	ウナギ	ウグイ	フナ類	コイ	ドジョウ	ギバチ	ダツ	サヨリ	ボラ	メナダ	カマス類	スズキ	イシモチ	キス	ブリ	マアジ	マダイ	ヘダイ	クロダイ	タイ科	サバ類	ハゼ類	アイナメ類	コチ類	メゴチ	カレイ類	ヒラメ	シタビラメ類	カワハギ類	フグ類	
20	24号住居	GN133	称名寺	34	1	0	1	0	0	5	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	10	0	1	0	0	2	0	3	0	1	0	1			
29	—	GN515	称名寺	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0			
31	—	GN518	称名寺	13	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0					
32	—	GN519	称名寺	22	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4	0	1	0	1	0	0	5	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	1	
33	—	GN520	称名寺	13	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
41	159号土坑	GIV404	称名寺	7	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	8	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0		
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	28	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	2	0	1	6	0	1	1	0	3	0	1	0	1	0	1
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	14	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0		
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	49	1	0	1	0	0	7	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	16	0	5	0	0	1	0	1	1	5	1	1	0	0				
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
		称名寺	計	199	7	1	7	0	1	19	5	7	0	2	0	0	0	0	6	8	0	2	8	0	23	0	17	0	1	33	0	5	2	0	15	1	17	3	6	0	3	
1	32号土坑	GN916	堀之内2	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	20	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
6	72号土坑	GN617	堀之内2	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
7	77号土坑	GN658	堀之内1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
8	80号土坑	GN653	堀之内1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
10	103号土坑	GN951	堀之内1	8	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	78	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	0	1	0	1	1	2	39	0	0	0	0	13	0	0	1	1	0	6	
12	20号住居	GN149	堀之内1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
13	107号土坑	GN907	堀之内1	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0				
14	108号土坑	GN910	堀之内1	8	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
18	116号土坑	GIV418	堀之内1	181	1	1	1	1	0	4	1	1	0	1	0	0	6	0	1	3	0	1	6	3	11	0	84	0	0	8	0	17	1	0	5	0	21	1	0	1		
19	178号土坑	GN508	堀之内1	22	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
27	—	GN803 GN106	堀之内1	26	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	7	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
30	—	GN517	堀之内1	23	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	5	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	3	
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	61	1	0	1</td																																			



第492図 時期別・地点別魚種組成(1)



第493図 時期別・地点別魚種組成(2)

第66表 軟骨魚綱 サメ類集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最 小 個 体 数	T O T A L	齒 板	腹 椎 又 は 尾 椎
20	24号住居	GN133	称名寺	1	15	0	15
29	—	GN515	称名寺	0	0	0	0
31	—	GN518	称名寺	1	1	0	1
32	—	GN519	称名寺	1	3	0	3
33	—	GN520	称名寺	1	2	0	2
41	159号土坑	GIV404	称名寺	0	0	0	0
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	1	1	0	1
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	1	1	0	1
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	0	0	0	0
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0	0	0	0
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	1	24	6	18
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0	0	0	0
		計	7	47	6	41	
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0	0	0	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	1	6	0	6
6	72号土坑	GN617	堀之内2	1	1	0	1
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	1	1	0	1
10	103号土坑	GN951	堀之内1	0	0	0	0
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	1	35	0	35
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	1	1	1	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	1	1	1	0
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0
18	116号土坑	GIV418	堀之内1	1	86	7	79
19	178号土坑	GN508	堀之内1	1	3	0	3
27	—	GN803 GN106	堀之内1	1	4	0	4
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0	0	0	0
30	—	GN517	堀之内1	1	4	0	4
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	1	6	2	4
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	0	0	0	0
44	27号住居	GIV402	堀之内1	1	7	1	6
45	—	GIV401	堀之内1	0	0	0	0
46	—	GIV405	堀之内1	0	0	0	0
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0	0	0	0
48	—	GIV407	堀之内1	0	0	0	0
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	1	5	3	2
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	1	2	1	1
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0
67	38号住居	J11	堀之内1	1	5	1	4
73	—	J10(グリット)	堀之内1	1	3	2	1
74	45号住居	J9	堀之内1	1	82	43	39
75	53号遺構	J17	堀之内2	1	8	3	5
77	54号遺構	J2	堀之内2	1	4	1	3
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0
		計	19	264	66	198	
		堀之内					
2	34号土坑	GN912	加曾利B	1	1	0	1
15	—	GN821	加曾利B	1	5	0	5
22	—	GN808	加曾利B	0	0	0	0
24	50号住居	GN113	加曾利B	1	1	0	1
35	—	GN525	加曾利B	0	0	0	0
36	—	GN526	加曾利B	0	0	0	0
49	28号住居	J7	加曾利B	1	1	1	0
50	29号住居	J22	加曾利B	1	39	9	30
52	30号住居	J24	加曾利B	1	3	0	3
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	1	1	0	1
59	32号住居	J15	加曾利B	0	0	0	0
60	33号住居	J13	加曾利B	1	2	0	2
63	34号住居	J8	加曾利B	1	4	0	4
65	36号住居	J19	加曾利B	1	2	2	0
66	37号住居	J12	加曾利B	0	0	0	0
72	42号住居	J3	加曾利B	0	0	0	0
76	51号住居	J1	加曾利B	1	12	1	11
		加曾利B	計	11	71	13	58
9	101号土坑	GN906	安行	1	7	0	7
16	—	GN820	安行	1	5	0	5
21	—	GN804	安行	1	7	0	7
23	46号住居	GN810 GN120	安行	1	93	0	93
25	49B号住居	GN114	曾谷	0	0	0	0
57	—	J21	安行	1	1	0	1
58	—	J6	安行	1	3	0	3
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	1	2	0	2
		安行	計	7	118	0	118
26	—	GN802	弥生	0	0	0	0
		弥生	計	0	0	0	0
3	1号住居	GN157	不明	1	1	0	1
5	65号土坑	GN645	不明	1	7	3	4
34	—	GN524	不明	0	0	0	0
37	—	GN527	不明	0	0	0	0
38	—	GIV307	不明	0	0	0	0
42	—	GIV330	不明	0	0	0	0
43	162号土坑	GN301	不明	0	0	0	0
78	—	J27	不明	1	1	1	0
		不明	計	3	9	4	5

第67表 カスザメ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最 小 個 体 数	T O T A L	腹 椎 又 は 尾 椎
20	24号住居	GN133	称名寺	0	0	0
29	—	GN515	称名寺	0	0	0
31	—	GN518	称名寺	1	1	1
32	—	GN519	称名寺	0	0	0
33	—	GN520	称名寺	0	0	0
41	159号土坑	GIV404	称名寺	0	0	0
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0	0	0
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	0	0	0
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	0	0	0
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0	0	0
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	0	0	0
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0	0	0
		計	7	47	6	41
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0	0	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	0	0	0
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0	0	0
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0	0	0
10	103号土坑	GN951	堀之内1	0	0	0
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	0	0	0
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0	0	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	0	0	0
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0
18	116号土坑	GIV418	堀之内1	1	86	7
19	178号土坑	GN508	堀之内1	1	3	0
27	—	GN803 GN106	堀之内1	1	4	0
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0	0	0
30	—	GN517	堀之内1	0	0	0
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	0	0	0
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	0	0	0
44	27号住居	GIV402	堀之内1	0	0	0
45	—	GIV401	堀之内1	0	0	0
46	—	GIV405	堀之内1	0	0	0
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0	0	0
48	—	GIV407	堀之内1	0	0	0
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	0	0	0
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	1	5	3
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	0	0	0
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0	0	0
67	38号住居	J11	堀之内1	0	0	0
73	—	J10(グリット)	堀之内1	0	0	0
74	45号住居	J9	堀之内1	1	11	11
75	53号遺構	J17	堀之内2	0	0	0
77	54号遺構	J2	堀之内2	0	0	0
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0	0	0
		堀之内	計	4	14	14
2	34号土坑	GN912	加曾利B	0	0	0
15	—	GN821	加曾利B	0	0	0
22	—	GN808	加曾利B	0	0	0
24	50号住居	GN113	加曾利B	0	0	0
35	—	GN525	加曾利B	0	0	0
36	—	GN526	加曾利B	0	0	0
49	28号住居	J7	加曾利B	0	0	0
50	29号住居	J22	加曾利B	1	5	5
52	30号住居	J24	加曾利B	0	0	0
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	0	0	0
59	32号住居	J15	加曾利B	0	0	0
60	33号住居	J13	加曾利B	1	1	1
63	34号住居	J8	加曾利B	0	0	0
65	36号住居	J19	加曾利B	0	0	0
66	37号住居	J12	加曾利B	0	0	0
72	42号住居	J3	加曾利B	0	0	0
76	51号住居	J1	加曾利B	0	0	0
		加曾利B	計	6	20	20
9	101号土坑	GN906	安行	0	0	0
16	—	GN820	安行	0	0	0
21	—	GN804	安行	0	0	0
23	46号住居	GN810 GN120	安行	0	0	0
25	49B号住居	GN114	曾谷	0	0	0
57	—	J21	安行	0	0	0
58	—	J6	安行	0	0	0
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	0	0	0
		安行	計	0	0	0
26	—	GN802	弥生	0	0	0
		弥生	計	0	0	0
3	1号住居	GN157	不明	0	0	0
5	65号土坑	GN645	不明	0	0	0
34	—	GN524	不明	0	0	0
37	—	GN527	不明	0	0	0
38	—	GIV307	不明	0	0	0
42	—	GIV330	不明	0	0	0
43	162号土坑	GN301	不明	0	0	0
78	—	J27	不明	1	1	0
		不明	計	0	0	0

第68表 エイ類集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最 小 個 個 体 数	齒		腹 椎 又 は 尾 椎	尾 棘	鱗 鱗
					T O T A L	齒 板			
20	24号住居	GN133	称名寺	1	14	0	13	1	0
29	—	GN515	称名寺	1	1	0	1	0	0
31	—	GN518	称名寺	0	0	0	0	0	0
32	—	GN519	称名寺	1	1	0	1	0	0
33	—	GN520	称名寺	1	16	1	15	0	0
41	159号土坑	GIV404	称名寺	0	0	0	0	0	0
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	1	13	2	11	0	0
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	1	10	2	8	0	0
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	1	3	0	3	0	0
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0
		称名寺	計	7	58	5	52	1	0
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0	0	0	0	0	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	1	1	0	1	0	0
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0	0	0	0	0	0
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0	0	0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0	0	0	0	0	0
10	103号土坑	GN951	堀之内1	0	0	0	0	0	0
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	1	6	1	4	1	0
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0	0	0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0	0	0	0	0	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	0	0	0	0	0	0
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0	0	0
18	116号土坑	GN418	堀之内1	1	4	0	4	0	0
19	178号土坑	GN508	堀之内1	1	2	0	2	0	0
27	—	GN803 GN106	堀之内1	1	3	0	2	1	0
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0	0	0	0	0	0
30	—	GN517	堀之内1	1	3	0	2	1	0
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	1	9	1	8	0	0
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	1	1	0	1	0	0
44	27号住居	GIV402	堀之内1	1	17	13	3	1	0
45	—	GIV401	堀之内1	0	0	0	0	0	0
46	—	GIV405	堀之内1	0	0	0	0	0	0
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0	0	0	0	0	0
48	—	GIV407	堀之内1	0	0	0	0	0	0
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	1	2	0	2	0	0
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	1	9	0	9	0	0
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	1	8	0	8	0	0
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0
67	38号住居	J11	堀之内1	1	5	1	4	0	0
73	—	J10(グリット)	堀之内1	1	16	5	9	0	2
74	45号住居	J9	堀之内1	2	78	29	38	2	9
75	53号遺構	J17	堀之内2	1	15	1	12	0	2
77	54号遺構	J2	堀之内2	0	0	0	0	0	0
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0
		堀之内	計	17	179	51	109	6	13
2	34号土坑	GN912	加曾利B	0	0	0	0	0	0
15	—	GN821	加曾利B	1	4	0	4	0	0
22	—	GN808	加曾利B	0	0	0	0	0	0
24	50号住居	GN113	加曾利B	0	0	0	0	0	0
35	—	GN525	加曾利B	1	1	0	1	0	0
36	—	GN526	加曾利B	0	0	0	0	0	0
49	28号住居	J7	加曾利B	0	0	0	0	0	0
50	29号住居	J22	加曾利B	1	88	8	78	0	2
52	30号住居	J24	加曾利B	1	9	3	6	0	0
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	1	1	0	1	0	0
59	32号住居	J15	加曾利B	1	4	0	4	0	0
60	33号住居	J13	加曾利B	0	0	0	0	0	0
63	34号住居	J8	加曾利B	1	27	3	23	0	1
65	36号住居	J19	加曾利B	1	9	3	6	0	0
66	37号住居	J12	加曾利B	1	3	0	2	1	0
72	42号住居	J3	加曾利B	0	0	0	0	0	0
76	51号住居	J1	加曾利B	1	26	4	22	0	0
		加曾利B	計	10	172	21	147	1	3
9	101号土坑	GN906	安行	1	18	0	18	0	0
16	—	GN820	安行	1	15	3	12	0	0
21	—	GN804	安行	1	4	1	3	0	0
23	46号住居	GN810 GN120	安行	1	95	3	91	0	1
25	49B号住居	GN114	曾谷	0	0	0	0	0	0
57	—	J21	安行	0	0	0	0	0	0
58	—	J6	安行	1	23	5	18	0	0
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	0	0	0	0	0	0
		安行	計	5	155	12	142	0	1
26	—	GN802	弥生	0	0	0	0	0	0
		弥生	計	0	0	0	0	0	0
3	1号住居	GN157	不明	0	0	0	0	0	0
5	65号土坑	GN645	不明	0	0	0	0	0	0
34	—	GN524	不明	1	1	0	1	0	0
37	—	GN527	不明	1	1	0	1	0	0
38	—	GIV307	不明	0	0	0	0	0	0
42	—	GIV330	不明	0	0	0	0	0	0
43	162号土坑	GIV301	不明	0	0	0	0	0	0
78	—	J27	不明	1	6	1	5	0	0
		不明	計	3	8	1	7	0	0

第69表 アカエイ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最 小 個 個 体 数	齒		腹 椎 又 は 尾 椎	尾 棘	鱗 鱗
					T O T A L	齒 板			
20	24号住居	GN133	称名寺	0	0	0	0	0	0
29	—	GN515	称名寺	0	0	0	0	0	0
31	—	GN518	称名寺	0	0	0	0	0	0
32	—	GN519	称名寺	0	0	0	0	0	0
33	—	GN520	称名寺	0	0	0	0	0	0
41	159号土坑	GIV404	称名寺	0	0	0	0	0	0
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	1	13	2	11	0	0
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	1	10	2	8	0	0
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	1	3	0	3	0	0
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0
		称名寺	計	7	58	5	52	1	0
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0	0	0	0	0	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	1	1	0	1	0	0
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0	0	0	0	0	0
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0	0	0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0	0	0	0	0	0
10	103号土坑	GN951	堀之内1	0	0	0	0	0	0
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	1	6	1	4	1	0
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0	0	0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0	0	0	0	0	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	0	0	0	0	0	0
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0	0	0
18	116号土坑	GN418	堀之内1	1	4	0	4	0	0
19	178号土坑	GN508	堀之内1	1	2	0	2	0	0
27	—	GN803 GN106	堀之内1	1	3	0	2	1	0
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0	0	0	0	0	0
30	—	GN517	堀之内1	1	3	0	2	1	0
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	1	9	1	8	0	0
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	1	1	0	1	0	0
44	27号住居	GIV402	堀之内1	0	0	0	0	0	0
45	—	GIV401	堀之内1	0	0	0	0	0	0
46	—	GIV405	堀之内1	0	0	0	0	0	0
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0	0	0	0	0	0
48	—	GIV407	堀之内1	0	0	0	0	0	0
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0
67	38号住居	J11	堀之内1	1	5	1	4	0	0
73	—	J10(グリット)	堀之内1	1	16	5	9	0	2
74	45号住居	J9	堀之内1	2	78	29	38	2	9
75	53号遺構	J17	堀之内2	1	15	1	12	0	2
77	54号遺構	J2	堀之内2	0	0	0	0	0	0
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0
		堀之内	計	7	18	18	18	0	0

第70表 トビエイ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	T O T A L	齒 板
				最 小 個 體 數	
20	24号住居	GN133	称名寺	0 0 0	0
29	—	GN515	称名寺	0 0 0	0
31	—	GN518	称名寺	0 0 0	0
32	—	GN519	称名寺	0 0 0	0
33	—	GN520	称名寺	0 0 0	0
41	159号土坑	GIV404	称名寺	0 0 0	0
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0 0 0	0
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	1 2 2	2
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	0 0 0	0
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0 0 0	0
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	0 0 0	0
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0 0 0	0
		称名寺	計	1 2 2	2
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0 0 0	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	0 0 0	0
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0 0 0	0
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0 0 0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0 0 0	0
10	103号土坑	GN951	堀之内1	1 1 1	1
11	19号住居	GIV822 GN148	堀之内1	0 0 0	0
12	20号住居	GN149	堀之内1	0 0 0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0 0 0	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	0 0 0	0
17	15号住居	GN151	堀之内1	0 0 0	0
18	116号土坑	GN418	堀之内1	0 0 0	0
19	178号土坑	GN508	堀之内1	0 0 0	0
27	—	GN803 GN106	堀之内1	0 0 0	0
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0 0 0	0
30	—	GN517	堀之内1	0 0 0	0
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	0 0 0	0
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	0 0 0	0
44	27号住居	GIV402	堀之内1	0 0 0	0
45	—	GIV401	堀之内1	0 0 0	0
46	—	GIV405	堀之内1	0 0 0	0
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0 0 0	0
48	—	GIV407	堀之内1	0 0 0	0
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	0 0 0	0
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	1 6 6	6
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	0 0 0	0
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0 0 0	0
67	38号住居	J11	堀之内1	0 0 0	0
73	—	J10(グリッド)	堀之内1	0 0 0	0
74	45号住居	J9	堀之内1	0 0 0	0
75	53号遺構	J17	堀之内2	1 1 1	1
77	54号遺構	J2	堀之内2	0 0 0	0
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0 0 0	0
		堀之内	計	3 8 8	8
2	34号土坑	GN912	加曾利B	0 0 0	0
15	—	GN821	加曾利B	0 0 0	0
22	—	GN808	加曾利B	0 0 0	0
24	50号住居	GN113	加曾利B	0 0 0	0
35	—	GN525	加曾利B	0 0 0	0
36	—	GN526	加曾利B	0 0 0	0
49	28号住居	J7	加曾利B	0 0 0	0
50	29号住居	J22	加曾利B	1 2 2	2
52	30号住居	J24	加曾利B	0 0 0	0
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	0 0 0	0
59	32号住居	J15	加曾利B	0 0 0	0
60	33号住居	J13	加曾利B	0 0 0	0
63	34号住居	J8	加曾利B	0 0 0	0
65	36号住居	J19	加曾利B	0 0 0	0
66	37号住居	J12	加曾利B	0 0 0	0
72	42号住居	J3	加曾利B	0 0 0	0
76	51号住居	J1	加曾利B	0 0 0	0
		加曾利B	計	1 2 2	2
9	101号土坑	GN906	安行	0 0 0	0
16	—	GN820	安行	0 0 0	0
21	—	GN804	安行	0 0 0	0
23	46号住居	GN810 GN120	安行	1 22 22	22
25	49号住居	GN114	曾谷	0 0 0	0
57	—	J21	安行	0 0 0	0
58	—	J6	安行	0 0 0	0
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	0 0 0	0
		安行	計	1 22 22	22
26	—	GN802	弥生	0 0 0	0
		弥生	計	0 0 0	0
3	1号住居	GN157	不明	0 0 0	0
5	65号土坑	GN645	不明	0 0 0	0
34	—	GN524	不明	0 0 0	0
37	—	GN527	不明	0 0 0	0
38	—	GIV307	不明	0 0 0	0
42	—	GIV330	不明	0 0 0	0
43	162号土坑	GIV301	不明	0 0 0	0
78	—	J27	不明	0 0 0	0
		不明	計	0 0 0	0

第71表 硬骨魚綱 カタクチイワシ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	T O T A L	第一 脊 椎 骨	腹 椎	尾 椎
				最 小 個 體 數			
20	24号住居	GN133	称名寺	1 10 0	6	4	
29	—	GN515	称名寺	0 0 0	0	0	
31	—	GN518	称名寺	0 0 0	0	0	
32	—	GN519	称名寺	0 0 0	0	0	
33	—	GN520	称名寺	0 0 0	0	0	
41	159号土坑	GIV404	称名寺	0 0 0	0	0	
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0 0 0	0	0	
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	1 4 0	2	2	
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	1 1 0	0	1	
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	1 1 0	0	1	
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	1 4 0	1	3	
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0 0 0	0	0	
		称名寺	計	5 20 0	9	11	
1	32号土坑	GN916	堀之内2	1 9 0	4	5	
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	1 12 0	6	6	
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0 0 0	0	0	
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0 0 0	0	0	
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0 0 0	0	0	
10	103号土坑	GN951	堀之内1	0 0 0	0	0	
11	19号住居	GIV822 GN148	堀之内1	0 0 0	0	0	
12	20号住居	GN149	堀之内1	0 0 0	0	0	
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0 0 0	0	0	
14	108号土坑	GN910	堀之内1	0 0 0	0	0	
17	15号住居	GN151	堀之内1	0 0 0	0	0	
18	116号土坑	GN418	堀之内1	0 0 0	0	0	
19	178号土坑	GN508	堀之内1	0 0 0	0	0	
27	—	GN803 GN106	堀之内1	0 0 0	0	0	
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0 0 0	0	0	
30	—	GN517	堀之内1	1 1 0	0	1	
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	9 219 3	57	159	
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	0 0 0	0	0	
44	27号住居	GIV402	堀之内1	1 26 1	8	17	
45	—	GIV401	堀之内1	0 0 0	0	0	
46	—	GIV405	堀之内1	0 0 0	0	0	
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0 0 0	0	0	
48	—	GIV407	堀之内1	0 0 0	0	0	
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	1 7 1	2	4	
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	4 17 4	4	9	
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	1 10 0	7	3	
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0 0 0	0	0	
67	38号住居	J11	堀之内1	1 22 0	8	14	
73	—	J10(グリッド)	堀之内1	3 32 3	13	16	
74	45号住居	J9	堀之内1	147 4268 147	1668	2453	
75	53号遺構	J17	堀之内2	12 305 12	115	178	
77	54号遺構	J2	堀之内2	1 5 0	3	2	
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0 0 0	0	0	
		堀之内	計	185 4956 171	1904	2881	
2	34号土坑	GN912	加曾利B	1 1 0	1	0	
15	—	GN821	加曾利B	0 0 0	0	0	
22	—	GN808	加曾利B	0 0 0	0	0	
24	50号住居	GN113	加曾利B	0 0 0	0	0	
35	—	GN525	加曾利B	0 0 0	0	0	
36	—	GN526	加曾利B	0 0 0	0	0	
49	28号住居	J7	加曾利B	0 0 0	0	0	
50	29号住居	J22	加曾利B	4 103 4	52	47	
52	30号住居	J24	加曾利B	1 1 0	1	0	
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	0 0 0	0	0	
59	32号住居	J15	加曾利B	1 2 0	1	1	
60	33号住居	J13	加曾利B	0 0 0	0	0	
63	34号住居	J8	加曾利B	1 6 0	3	3	
65	36号住居	J19	加曾利B	1 11 1	5	5	
66	37号住居	J12	加曾利B	1 3 0	1	2	
72	42号住居	J3	加曾利B	0 0 0	0	0	
76	51号住居	J1	加曾利B	1 18 1	8	9	
		加曾利B	計	11 145 6	72	67	
9	101号土坑	GN906	安行	1 3 1	1	1	
16	—	GN820	安行	0 0 0	0	0	
21	—	GN804	安行	0 0 0	0	0	
23	46号住居	GN810 GN120	安行	0 0 0	0	0	
25	49号住居	GN114	曾谷	0 0 0	0	0	
57	—	J21	安行	1 1 0	1	0	
58	—	J6	安行	1 2 0	1	1	
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	0 0 0	0	0	
		安行	計	3 6 1	3	2	
26	—	GN802	弥生	0 0 0	0	0	
		弥生	計	0 0 0	0	0	
3	1号住居	GN157	不明	0 0 0	0	0	
5	65号土坑	GN645	不明	1 12 0	0	11	
34	—	GN524	不明	0 0 0	0	0	
37	—	GN527	不明	0 0 0	0	0	
38	—	GIV307	不明	0 0 0	0	0	
42	—	GIV330	不明	0 0 0	0	0	
43	162号土坑	GIV301	不明	0 0 0	0	0	
78	—	J27	不明	1 6 0	4	2	
		不明	計	2 18 0	5	13	

第72表 マイワシ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最小個体数	TOTAL	楔耳骨	楔耳骨	主上頸骨	角骨	角骨	方骨	方骨	主體蓋骨	主體蓋骨	第一脊椎骨	第二脊椎骨	腹椎	尾椎	
						L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R		
20	24号住居	GN133	称名寺	6	248	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	67	171
29	—	GN515	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	—	GN518	称名寺	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
32	—	GN519	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
33	—	GN520	称名寺	3	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	9
41	159号土坑	GIV404	称名寺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
51	195号土坑	1号小堅穴	称名寺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
61	235号土坑	51号小堅穴	称名寺	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	14
62	236号土坑	55号小堅穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
68	267号土坑	4号小堅穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
69	268号土坑	101号小堅穴	称名寺	7	247	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	7	4	63	171
70	269号土坑	5号小堅穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	称名寺	20	536	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	13	14	136	371
1	32号土坑	GN916	堀之内2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	2	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	34	
6	72号土坑	GN617	堀之内2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	103号土坑	GN951	堀之内1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	116号土坑	GN418	堀之内1	4	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	29	121
19	178号土坑	GN508	堀之内1	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8
27	—	GN803 GN106	堀之内1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
30	—	GN517	堀之内1	2	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	50
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	3	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	7	11
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	27号住居	GIV402	堀之内1	4	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	8	23
45	—	GIV401	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	—	GIV405	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	—	GIV407	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53	210号土坑	53号小堅穴	堀之内1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	
54	213号土坑	54号小堅穴	堀之内1	4	57	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	17	33
55	222号土坑	58号小堅穴	堀之内1	2	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	6	24
64	253号土坑	10号小堅穴	堀之内1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
67	38号住居	J11	堀之内1	1	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18	8
73	—	J10(グリット)	堀之内1	10	179	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	10	9	59
74	45号住居	J9	堀之内1	246	5420	1	0	62	50	33	38	1	1	12	9	220	246	2126	2621
75	53号遺構	J17	堀之内2	4	76	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	4	28	41
77	54号遺構	J2	堀之内2	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	10
79	—	59号小堅穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		堀之内	計	294	6196	1	0	64	51	35	39	1	1	12	9	246	269	2364	3104
2	34号土坑	GN912	加曾利B	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1
15	—	GN821	加曾利B	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	
22	—	GN808	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	50号住居	GN113	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	—	GN525	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	—	GN526	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	28号住居	J7	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	29号住居	J22	加曾利B	10	166	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10	7	42	106
52	30号住居	J24	加曾利B	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4
56	221号土坑	56号小堅穴	加曾利B	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
59	32号住居	J15	加曾利B	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
60	33号住居	J13	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63	34号住居	J8	加曾利B	1	33	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	21	
65	36号住居	J19	加曾利B	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	
66	37号住居	J12	加曾利B	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
72	42号住居	J3	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
76	51号住居	J1	加曾利B	2	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	25	50
		加曾利B	計	21	320	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	13	13	98	194
9	101号土坑	GN906	安行	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	10
16	—	GN820	安行	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
21	—	GN804	安行	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	
23	46号住居	GN810 GN120	安行	2	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	41
25	49B号住居	GN114	曾谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	—	J21	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58	—	J6	安行	1	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	15
71	271号土坑	24号小堅穴	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		安行	計	6	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	33	76
26	—	GN802	弥生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		弥生	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	1号住居	GN157	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	65号土坑	GN645	不明	4	39	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	14	20
34	—	GN524	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	—	GN527	不明	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
38	—	GIV307	不明	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
42	—	GIV330	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	162号土坑	GIV301	不明	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
78	—	J27	不明	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		不明	計	8	46	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	16	24

第73表 ウナギ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最小個体数	TOTAL	鱗骨	主上頸骨		齒骨		角骨		舌頸骨		腹椎	尾椎
							L	R	L	R	L	R	L	R		
20	24号住居	GN133	称名寺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
29	—	GN515	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	—	GN518	称名寺	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
32	—	GN519	称名寺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
33	—	GN520	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	159号土坑	GIV404	称名寺	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	2	184	0	1	1	1	0	0	0	0	0	61	119
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	称名寺	7	194	0	1	1	1	0	0	0	0	0	65	125
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	103号土坑	GN951	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	116号土坑	GN418	堀之内1	1	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	54
19	178号土坑	GN508	堀之内1	1	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	12
27	—	GN803 GN106	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	—	GN517	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	1	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	73
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	27号住居	GIV402	堀之内1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
45	—	GIV401	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	—	GIV405	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	—	GIV407	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	1	16	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	8
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
67	38号住居	J11	堀之内1	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7
73	—	J10(ケリット)	堀之内1	1	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	19
74	45号住居	J9	堀之内1	8	877	4	8	1	1	7	8	6	0	0	254	588
75	53号遺構	J17	堀之内2	1	46	0	1	0	0	0	0	0	0	0	32	13
77	54号遺構	J2	堀之内2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		堀之内	計	26	1180	4	9	1	1	8	8	6	0	0	363	780
2	34号土坑	GN912	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	—	GN821	加曾利B	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
22	—	GN808	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	50号住居	GN113	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	—	GN525	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	—	GN526	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	28号住居	J7	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	29号住居	J22	加曾利B	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5
52	30号住居	J24	加曾利B	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59	32号住居	J15	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	33号住居	J13	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
63	34号住居	J8	加曾利B	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
65	36号住居	J19	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66	37号住居	J12	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
72	42号住居	J3	加曾利B	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
76	51号住居	J1	加曾利B	1	18	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13	4
		加曾利B	計	6	32	0	0	0	1	0	0	0	0	1	18	12
9	101号土坑	GN906	安行	1	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	17
16	—	GN820	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	—	GN804	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	46号住居	GN810 GN120	安行	1	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1
25	49B号住居	GN114	曾谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	—	J21	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
58	—	J6	安行	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		安行	計	3	36	0	1	1	0	0	0	0	0	0	13	21
26	—	GN802	弥生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		弥生	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	1号住居	GN157	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	65号土坑	GN645	不明	1	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	26
34	—	GN524	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	—	GN527	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	—	GIV307	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42	—	GIV330	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43	162号土坑	GIV301	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78	—	J27	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		不明	計	1	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	26

第74表 ウグイ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最小個体数													
				TOTAL		齒骨		齒骨		角骨		角骨		咽頭骨		第脊椎骨	
				L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R		
20	24号住居	GN133	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
29	—	GN515	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
31	—	GN518	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
32	—	GN519	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
33	—	GN520	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
41	159号土坑	GIV404	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		称名寺	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10	103号土坑	GN951	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
14	108号土坑	GN910	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
18	116号土坑	GN418	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
19	178号土坑	GN508	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
27	—	GN803 GN106	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30	—	GN517	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
39	156号土坑	GIV308	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
40	155号土坑	GIV403	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
44	27号住居	GIV402	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
45	—	GIV401	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
46	—	GIV405	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
47	177号土坑	GIV406	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
48	—	GIV407	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
67	38号住居	J11	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
73	—	J10(グリッド)	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
74	45号住居	J9	堀之内1	3	4	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0		
75	53号遺構	J17	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
77	54号遺構	J2	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		堀之内	計	3	4	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0		
2	34号土坑	GN912	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
15	—	GN821	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
22	—	GN808	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
24	50号住居	GN113	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
35	—	GN525	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
36	—	GN526	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
49	28号住居	J7	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
50	29号住居	J22	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
52	30号住居	J24	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
59	32号住居	J15	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
60	33号住居	J13	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
63	34号住居	J8	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
65	36号住居	J19	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
66	37号住居	J12	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
72	42号住居	J3	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
76	51号住居	J1	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		加曾利B	計	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
9	101号土坑	GN906	安行	2	6	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0		
16	—	GN820	安行	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
21	—	GN804	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
23	46号住居	GN810 GN120	安行	5	13	0	0	2	1	5	3	2	0	0	0		
25	49B号住居	GN114	曾谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
57	—	J21	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
58	—	J6	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		安行	計	8	20	2	1	3	1	6	5	2	0	0	0		
26	—	GN802	弥生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		弥生	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3	1号住居	GN157	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	65号土坑	GN645	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
34	—	GN524	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
37	—	GN527	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
38	—	GIV307	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
42	—	GIV330	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
43	162号土坑	GIV301	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
78	—	J27	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		不明	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

第75表 フナ類集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最小個体数										
				TOTAL		齒骨		角骨		咽頭骨		第脊椎骨		
L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	
20	24号住居	GN133	称名寺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
29	—	GN515	称名寺	0	0	0</								

第76表 コイ集計表

第77表 ドジョウ集計表

資料No.	遺構No.	旧遺構No.	時期	最小個体数	歯骨			咽頭骨		
					T O T A L	L	R	L	R	
20	24号住居	GN133	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
29	—	GN515	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
31	—	GN518	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
32	—	GN519	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
33	—	GN520	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
41	159号土坑	GNIV404	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
51	195号土坑	1号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
61	235号土坑	51号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
62	236号土坑	55号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
68	267号土坑	4号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
69	268号土坑	101号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
70	269号土坑	5号小豎穴	称名寺	0	0	0	0	0	0	0
			計	0	0	0	0	0	0	0
1	32号土坑	GN916	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0
4	7号住居	GN144 GN616	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
6	72号土坑	GN617	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0
7	77号土坑	GN658	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
8	80号土坑	GN653	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
10	103号土坑	GN951	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
11	19号住居	GN822 GN148	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
12	20号住居	GN149	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
13	107号土坑	GN907	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
14	108号土坑	GN910	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
17	15号住居	GN151	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
18	116号土坑	GN418	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
19	178号土坑	GN508	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
27	—	GN803 GN106	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
28	55号遺構	GN801 GN109B	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
30	—	GN517	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
39	156号土坑	GIIV308	堀之内1	1	1	0	1	0	0	0
40	155号土坑	GIIV403	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
44	27号住居	GIIV402	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
45	—	GIIV401	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
46	—	GIIV405	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
47	177号土坑	GIIV406	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
48	—	GIIV407	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
53	210号土坑	53号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
54	213号土坑	54号小豎穴	堀之内1	6	10	0	1	6	3	
55	222号土坑	58号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
64	253号土坑	10号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
67	38号住居	J11	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
73	—	J10(グリット)	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
74	45号住居	J9	堀之内1	6	6	0	0	0	6	
75	53号遺構	J17	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0
77	54号遺構	J2	堀之内2	0	0	0	0	0	0	0
79	—	59号小豎穴	堀之内1	0	0	0	0	0	0	0
		堀之内	計	13	17	0	2	6	9	
2	34号土坑	GN912	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
15	—	GN821	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
22	—	GN808	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
24	50号住居	GN113	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
35	—	GN525	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
36	—	GN526	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
49	28号住居	J7	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
50	29号住居	J22	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
52	30号住居	J24	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
56	221号土坑	56号小豎穴	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
59	32号住居	J15	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
60	33号住居	J13	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
63	34号住居	J8	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
65	36号住居	J19	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
66	37号住居	J12	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
72	42号住居	J3	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
76	51号住居	J1	加曾利B	0	0	0	0	0	0	0
		加曾利B	計	0	0	0	0	0	0	0
9	101号土坑	GN906	安行	1	2	0	0	1	1	
16	—	GN820	安行	0	0	0	0	0	0	0
21	—	GN804	安行	0	0	0	0	0	0	0
23	46号住居	GN810 GN120	安行	0	0	0	0	0	0	0
25	49B号住居	GN114	曾谷	0	0	0	0	0	0	0
57	—	J21	安行	0	0	0	0	0	0	0
58	—	J6	安行	0	0	0	0	0	0	0
71	271号土坑	24号小豎穴	安行	0	0	0	0	0	0	0
		安行	計	1	2	0	0	1	1	
26	—	GN802	弥生	0	0	0	0	0	0	0
		弥生	計	0	0	0	0	0	0	0
3	1号住居	GN157	不明	0	0	0	0	0	0	0
5	65号土坑	GN645	不明	1	2	0	0	1	1	
34	—	GN524	不明	0	0	0	0	0	0	0
37	—	GN527	不明	0	0	0	0	0	0	0
38	—	GIIV307	不明	0	0	0	0	0	0	0
42	—	GIIV330	不明	0	0	0	0	0	0	0
43	162号土坑	GIIV301	不明	0	0	0	0	0	0	0
78	—	J27	不明	0	0	0	0	0	0	0
		不明	計	1	2	0	0	1	1	